カトリック 福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人 田中重治
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

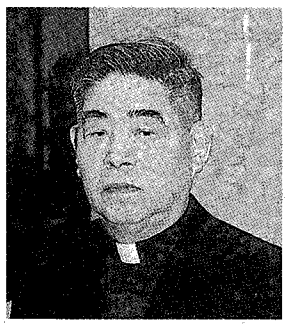
今月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】心を一つにしてイエスを告げる
【布教の意向】労働者と生活の分野の福音化
【日本の教会の意向】世界の平和を祈る

教区年間テーマ…

キリストの愛をかかげて前に進もう！

2002年 年頭のあいさつ
善い行いはいつまでも続く価値



◇教区創立75周年でもある2002年の年頭にあたり、松永久次郎司教は年頭のことばと年間テーマを発表。不安定な世界にあって、皆が平和への道を求め、平和のために祈り、分かち合う心と神に頼る心で、キリストの平和へ邁進しようと励ましている。◇

年頭のことば

新年、明けましておめでとうございます。新しい年の歩みが天の父の祝福のうちに、堅く護られますように心からお祈りいたします。

1、平和のために祈る

多数の人々が共に生活しているこの世界において、幸福の基本要素は平和です。しかし、この平和をわたしたちはまだ見いだしていないと言わなければなりません。人々の間に、民族と民族の間に、そして宗教と宗教との間にさえ真の平和は満たされていません。

確かに種々、解決困難な問題がありますが。しかし、わたしたちはどんなに困難であっても平和への道を求め、平和への道を邁進して行かなければなりません。キリストも平和へと招いておられます。平和を人々は求めています。最も弱い人も平和を渇望しているのです。全力を挙げて平和の実現に努力しなければなりません。

平和は人間の努力を前提とします。各人は、それぞれの分野で、平和のために働かねばなりません。主は言われました。「平和のために働く人は幸い」と。わたしたちも、たとい微力であっても、この人々の仲間に加わり、働かねばなりません。

2、分かち合う心

今度のアフガン戦争でも、貧しい人々の群れが多数見られました。平凡な生活の条件も満たされず、何を思って明日を希望しているのか、いや何を思って今日を過しているのかと、考えさせられる状況にありました。豊かと言われる日本では、たくさんの食物が無駄にされ、減反さえ普通のごとく行われていることを思う時、わたしたち凡人の理解を越える世界の現実があることを知らされました。分かち合うことで、何か助けにならないかと考えさせられました。生まれた地域の違いで、神が定めた性の相違のゆえに、そして、自分に責任のない数多くの差別のゆえに、平凡な人生を恵まれていない人がたくさんいます。彼らを助けるために働いている多くの人々がいます。わたしたちは自分の部分を尽くしているでしょうか。

わたしたちは一度で、一つのことで、総ての人の必要に応えることは出来ません。そこで、自分の身近にいる何人かの人のために働くのも決して無意味なことではありません。自分の出来ることをまず行い、また必要に応じて大きな運動に協力して、微力ながらわたしたちの真心を表して行くようにいたしましょう。

3、神に頼る心を持って

わたしたちは宗教者です。キリストを信じ、キリストに頼っています。全能の神がわたしたち人類の幸せを望んでおられることを教えられています。わたしたちはまず神にこの願いを捧げ、神の祝福のもとにわたしたちの努力を積み重ねて行かねばなりません。この神の聖心に叶い、お互いの幸せを築いて行かねばならないのです。その為には、神に祈るに相応しい清い心を保ち、傲慢な心を避け、この世の空しい名誉を退け、神に喜ばれる善い行いをするよう心掛けねばなりません。わたしたちが行う善い行いはいつまでも続く価値を持つことを忘れず、小さなことも大切にしましょう。

この一年で出来ることは少ないかも知れません。しかし、一歩を踏み出し、それを続けることは神の聖心に叶い、人々の心を暖かくするものです。そしてこの地上に神の国を築くことにつながります。この意味でもこの年を聖なる一年といたしましょう。

福岡教区の皆さんのお一人おひとりとご家族の上に、神の祝福をお祈りいたします。

福岡教区長
ヨセフ 松永 久次郎司教
2002年元旦

主のご降誕と新年のお慶びを申し上げます

二〇〇二年神の母聖マリア 世界平和の日

教区長 松永 久次郎司教

[福岡地区]
司教館 中浜 一男
松井 忠之
田中 重治
糸島 櫻井 尚明
今村 岩永 義人
大楠堤 敏雄
大牟田 森山 信三
小郡 牧山 勝美
久留米 三村 邦明
浦川 務
古賀 W・マヘル
乾 盛夫
笹丘 T・ドワイヤ
浄水通堤 要吉
大名町 青木 悟
牧山 美好
高宮 小池 如安
片岡 哲夫
茶山 山田 成章
西新下町 豊重
箱崎 G・ミッシェル
光丘 G・ブルニ
二日市 山元 眞
本郷 畠山 七郎
吉塚 硫黄 隆二
老司 浦口 均
大神学院 大山 悟
高見 三明
牧山 強美
白浜 満
湯淺 俊治
Z・イエール
イエズス会 塩谷 恵策
J・モラレス
曽根 忠明
G・ケルクマン
R・キエサ
A・セトアイン
萱場 基
聖パウロ修道会 永富 久雄
御受難会 鈴木 忠一
M・ベッター
美野島 M・コース
ファミリーセンター S・ライル
[北九州地区]
飯塚 山下 正
黒崎 L・ベリオン
C・バスティ
小倉 平田 敬
杉原 寛信
新田原 竹森 勇
天神町 H・キニュ
J・バイヨ
戸畑 深堀 勝人
直方・田川 中村 信哉
水巻 J・ガイヤール
門司 平田 寛
湯川浦 俊雄
行橋 川上 惣一
若松 鵜野 泰年
門司港(管理者) 牧山 重光
八王寺(パリ外国宣教会) M・ラバルタ
[佐賀地区]
伊万里 C・ガッザルディ
鹿島・武雄 L・マネルバ
唐津 V・チェリッザ
佐賀 G・フェラーラ
多久 A・テンペリーニ
鳥栖 平田 三好
馬渡島 田川 清美
呼子 伊東 成晃
ロザリオの園 A・アレグリーニ
シトー会 J・ミケレーナ
聖マリア R・マグリン
[熊本地区]
荒尾 K・オマホニ
大江・崎津・本渡 川添 猛
川原 拓也
帯山 V・ヤングキャンプ
菊池 R・オウエンス
健軍 中村 彰
島崎 F・カロール
玉名 手取 W・カリー
人吉 H・オッカロール
水俣 E・ホーガン
武蔵が丘 F・マッケー
八代 J・ノーリス
生命山カトリック別院 F・ソットコルノラ
吉岡 秀紀
司教館付 平田 三郎司教
山川 辰幸
黒川 博
久留米信愛女学院短大 高木 善行
召命の家 山頭 原太郎
パストラル W・キッペス
[海外]
米国 渡辺 隆義

時の話題

美しい晴れ 岸

司祭召命の減少の中で高齢の神父様が頑張って下さっています。価値観の変化は教会離れを増やし少子化は進む一方です。時々、教会はどうなっていくのだろうと不安になります。そういう中にあっても、使命感を持って取り組む人がいますが、一方多くは無関心にみえます。しかし教会で働く中で、信徒一人ひとりの心深くに熱い教会への思いと愛をたびたび見聞きし、希望で胸が一杯になることもあります。

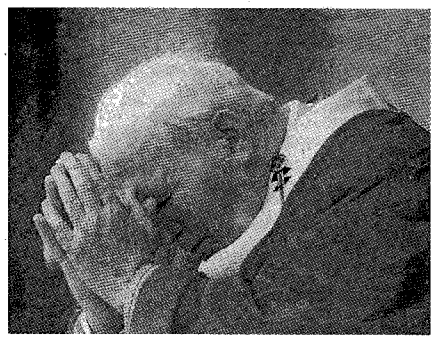
祈り 希望のささやき

永久聖体礼拝でも礼拝参加者やその家族の中からこの5年間に毎年修道者の召し出しをいただきました。熊本地区では昔から小教区合同の活動を行ってきましたが、6年前、信徒レベルでの合同永久聖体礼拝が始まり、さらに活動は活発となり、今は神学講座を協力してすすめています。各小教区の司祭や共同体の考え方、個性、やり方はさまざまです。しかし小教区をこえ協力しあい、支えあい、絆を深めるよい機会となり、熊本地区においては小教区間の壁が薄くなってきたと感じます。今後小教区がだんだん小さくなるにしても、あるいは大きく一つにまとまるにしても、互いが祈り合い、仲良く一致して、しっかりと信仰を守っていけば、その中で育つ次の世代に希望をつなぎ、その希望は新しい召命の芽をはぐくむと信じます。信仰と愛と希望のこもった祈りに、いつも全能の力で答えて下さる神様に信頼し、熊本地区では今年も共同体の祈りを捧げ続けたいと思います。

手取教会信徒

みちくさ

敬宮愛子様の誕生。皆さんはどのような心境でのこの報を見聞きしたのだろう。テレビには皇太子夫妻の車が通る道に集まって万歳をする人、おめでとうと叫ぶ人々が映され、お祝いの記帳には沢山の人が集まっていた。福岡の商店にもお祝いのメッセージを掲げたところが多数見受けられる。内親王の誕生にあやかって売り上げも伸びればと言う気持ちもあるかもしれないが▼一カトリック信者としてはこの報を聞いた瞬間は本当に喜ばしいと感じたが、落ちついてみると複雑な心境だった。カトリック信者の中には天皇制に賛成の人もいれば反対の人もいる。教区の唯一の新聞であるこの紙面でどう取り上げたらいいのだろう?どう言っても反対する人が必ずいるはずである▼カトリック教会は右よりの人も左よりの人も、老若男女、本当に一人ひとり個性豊かな人々の集まりである。思想、生活環境も様々である。しかし、同じ神様を信じ、洗礼を受けて一つのキリストの体になっているところに神秘がある。でも、神秘だから、実際には教会がひとたび政治的な発言をすると大騒動になる。賛成論、反対論、双方の意見が飛び交う。でも、同じ信者、同じ体の一員なのである。お互いの違いを受け入れ合うことの大切さがうかがえる▼そこで、天皇制の論議を抜きにして、一人の女の子がこの世に元気に生まれてきたことを素直に喜びたい。いのちの誕生は神様の祝福の証しであるからである。子どもには原罪以外、何の汚れもない。この点を大切にするのがカトリック的な一つの考えではないだろうか（T）



2002年「世界平和の日」教皇メッセージ
正義なしに平和はなく、ゆるしなしに正義はありません

米国同時多発テロの影の中教皇は、「神の恵みによって人間の最も高貴な望みが叶えられ、真の平和が勝利する世界へと本当につくり変えられる希望を、2002年の初めに抱いています」と語り始める。

平和　正義と愛のわざ

恐ろしい暴力に襲われている時に、どのようにして道徳的、社会的秩序を回復することができるのでしょうか？省察と聖書の啓示によって得られた私の確信は、ゆるしを伴った正義による応答だけだということです。

テロ行為の実体

周到に組織されたテロ組織は、巨大な財源を有し、広範な戦略を展開しつつ、罪もない人々に攻撃を加えています。テロ行為は、人のいのちの軽視の上に成り立っています。だから、テロ行為に対する自衛権が存在します。

神の名により殺してはならない

テロ行為によって人を殺す人たちは、人類に対するさげすみの感情を増殖させ、いのちと未来に対する絶望感を明らかに示します。テロ行為は、ただ人々を道具にしてしまうだけでなく、神をも道具としてしまいます。ですから、いかなる宗教指導者も、テロ行為に寛容な姿勢を示すことはできず、推奨することなどあり得ません。

ゆるしの必要

ゆるしは具体的になにによっても個人的な選択であり、基準は神の愛に置かれています。社会的なレベルでも、ゆるしが必要になります。平和は発展への条件ですが、真の平和はゆるしを通してだけ可能になるのです。

ゆるしこそが本道

ゆるしは私たちを弱くするどころか、より完全でより豊かな人間性に向かわせ、創造主なる神の輝きをより明るく照らし出すものとしてくれます。ゆるしというテーマを考えるとき、特に私は、聖地で起こっていることについて言いたいと思います。交渉による解決に向けて遂に動くべき時が来ています。どうか、相互の尊重と建設的な合意を伴う新しい時代の実現に向けて努力してください。

諸宗教間の理解と協力

諸キリスト教会や世界の偉大な宗教は、テロの社会的、文化的原因を排除するため、共に協力しなければなりません。それは、人間の偉大さとその尊厳を教え、人類家族が一つであることの強い認識を広めることで可能になります。宗教ができる奉仕は、ゆるしを教えることにつきます。

平和への祈り

平和のための祈りは、平和への決意の「後にくる」ようなものではなく、秩序と正義、自由のうちに平和を築き上げる努力の中に核をなすものです。平和のために祈ることは、正義のために祈ること、国家内と国家間の関係に適切な秩序を祈ること、自由を願い求めること、特に信教の自由を祈ることです。

この多難な時に、全人類家族が、真の永続的な平和を見いだすことができますように。そうした平和は、正義とあわれみの出会いからだけ生まれるものです。

（要約）

時のしるし

新しい世紀のカテケジス⑨

中村　彰　神父

9月に、米国同時多発テロが起き、その報復として米国はアフガニスタンのタリバン勢力と戦争を始めました。また、イスラエルでもユダヤ人とパレスチナ人の戦闘が繰り返されています。起こった出来事は報道されていますので、今の状況がどうなっているのか知っている方は多いと思います。しかし、どうしてこのような事態になったのか理解している人は少ないのではないでしょうか。

教会では「時のしるし」を読み取り、正しく対応していきましょうと教えます。それが具体的にどういうものなのかは、信徒の方々に任せているのではないでしょうか。家庭においても、教会においても、時のしるしについて分かち合うことが大切であると思います。

熊本地区の青年会では月に2度集まり、聖書の分かち合いや祈り、活動の話し合いをしています。その中で4月に錬成会をすることになり、そのテーマを決めるときに「時のしるし」の観点から考えました。その結果、テーマとして「ユダヤ教、キリスト教、イスラム教」としました。「時のしるし」として、少しでもこのテーマの理解を深めたいと考えたからです。

アフガニスタンとイスラエルの問題を単純に理解するのは難しいと思います。しかし、そこにユダヤ教、キリスト教、イスラム教が関わっていることは明らかです。アブラハムを信仰の祖先とする唯一神への信仰から見れば、皆同じです。しかし、そこに三位一体の神がくると、分かれてきます。教義や守るべき掟も異なってきます。歴史的に見ても、相互の争いの歴史があげられます。また、そこに原理主義がつくと問題は大きくなってきます。

青年会では錬成会に向けて、グループごとに課題を分けて学習し、それを発表して理解を深めていこうとしています。その中で互いの宗教の違いや共通点、宗教の教えと宗教を信じている人の行為の関係性、宗教とは何なのか、宗教にある霊性とは何なのかを考えていきたいと思っています。

他の宗教を知ることで、自分が信じている宗教がよく分かり、信仰を深めていくことができます。

今の時代に「時のしるし」は何なのでしょうか。祈りのうちに聖霊の照らしを願っていきたいものです。

健軍教会主任司祭

カトリック福岡司教区宣教史委員会を発足

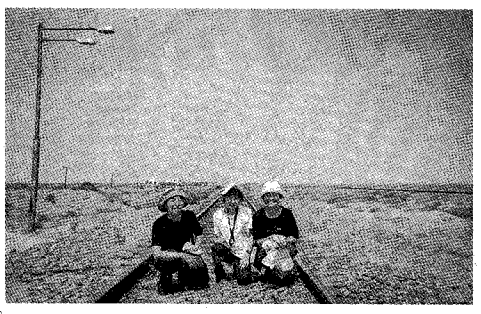
10月14日カテドラル大名町教会において捧げられた福岡教区28人の殉教者の列福祈願ミサを機会に、福岡教区としての顕彰と殉教録を発刊できないかとの要望があり、11月17日に教会の歴史、宣教の歴史、殉教の歴史を教会内外に伝えるためにカトリック福岡司教区宣教史委員会を発足した。なお、実際に活動し、信心をなした人たち、子ども達の笑顔と心でした。そこには人と笑顔、心があったように思います。涙もたくさんありました。困難なことも、どうにもならないことも…。だからこそ、助けが必要で、求めた神様が必要で、求めました。お金や物ではなく、助け合う心が必要でした。神様は本当に全ての人に平等だな、と感じました。豊かさのお金の代りに愛を、物の代りに友を与えて下さいました。

神様は、わたしたちに右と左、2本の手を与えて下さいました。右手から受けたものを自分を通して左手へ、隣にいる人と手をつなぐことによって、隣の人に。一人ひとりの関わりがつながって輪になっていく。そんな輪の一つにわたしもなれたら、これから出会う新しい出会いの中でそんな関わりが持てたらと思います。言葉、民族、習慣、環境と様々な違いを超えて、神様を通して、宗教も超え、助け合い一つになる事が出来るということを知りました。

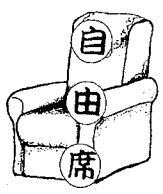
何処にいても、そこには必ず神様がいて歩いた道があると思います。その道がある限りわたしたちは何処までも歩き続けることが出来ると思います。といいながら、信仰の薄さゆえ、不安と迷いでいっぱいです。そんなわたしをいつも勇気づけてくれる言葉があります。「わたしたち一人ひとりに与えられた、たった一度きりの人生、自分ひとりだけのために生きるには余りにももったいなさすぎる」。

これから、世界中の人と一つの輪になって、一歩いっぽ、歩いていきたいと思います。

（大名町教会所属信徒）



中国で研修中の山崎さん（中）／後方はモンゴル国境



自分だけの為に生きる人生はもったいない！

山崎　敏子

2001年度派遣生としてカトリック信徒宣教者会（JLMM）よりカンボジアへ派遣されることになりました。

「カンボジア」と言われて初めて地図を見ました。「…あった！…大丈夫かな？」が第一印象です。もともと「ボランティア」はわたしにはほど遠い言葉でした。それが不思議…！こんなわたしですが、こんなわたしでさえ神様は遣って下さろうとしています。

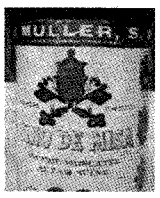
今までわたしは、本当にたくさんの人に助けられ、支えられ、関わって生きてきた、自分ひとりでは一歩も歩いて来れなかったな、そう思います。ただ、たくさんの助け、救い、支えを受けてきたその恵みを、自分の中だけにしまっておく、収めてしまうのではなく伝えていけたら、共に分かち合えればと思いました。

それに気付いたのはフィリピンでの出会いでした。アジアの貧しいといわれる国の人

信徒宣教者会とは、「全ての人々の救い」のために、信徒を宣教者として養成し、アジアを中心に海外へ派遣し、精神的・経済的に支援していくカトリックの団体です。宣教者を希望する方も募集していますが、後援会への入会も募集しています。

問合先：☎03・5632・4480　FAX5632・7920カトリック信徒宣教者会

祈りの学校へのおさそい
毎月第1火曜日は、V.マテオ神父の「祈りの学校」です。
♡11：00～15：00　♡参加費無料
❤ただし1月は15日(火)
むなかた祈りの森 福岡黙想の家
〒811-4155 宗像市名残1056
TEL 0940(32)3222 FAX 0940(32)3385

ミサ用ワイン

VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑 SOU-EN
ご葬儀
木下株式会社
TEL092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

聖マリアの奉献の祝日に サン・スルピス大神学院で感謝ミサ

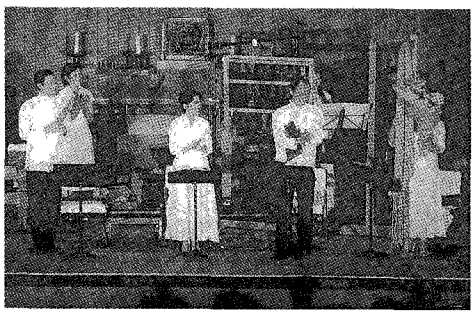
11月21日（水）聖マリアの奉献のお祝い日に、福岡サン・スルピス大神学院の神学院祭が開催され、同窓の司教・司祭や修道会の司祭など40人の司祭と関係者、そして在学中の大神学生とともに感謝のミサがささげられた。今年のミサは、司祭叙階金祝を迎えた元福岡教区司祭の高松教区長深堀敏司教が司式した。ミサのはじめに、大神学院院長の大山悟神父が同窓の司祭叙階金祝・銀祝・10周年を迎えた司祭と、この一年に帰天された司祭たちを紹介し、共にお祝いと感謝、亡くなった司祭の安息を願おうと挨拶した。ミサの終わりには、大神学院の一年の動向が報告された。またその席で、スルピス会の長老Z・イエール神父のライフワークとも言える「聖書思想事典」のCD-ROM版が完成したことがイエール師自らによって披露され、作業にかかわった方へCD-ROMがプレゼントされ、大神学生にも「コンピューターはプレゼントできないが、CD-ROMをプレゼントするので、ぜひ勉強に活かして欲しい」と一人ひとりにプレゼントされた。

現在、大神学生は8人で、集まった司祭も40人と以前に比べれば少し寂しくなった感がしたが、それぞれ久しぶりに顔を合わせる同窓生たちの親交を暖める一時となった。

説教に立つ司祭叙階50年の深堀高松教区司教

蘇る千年の響きに感動！

小倉


古楽器で現代音楽を奏でる

11月25日（日）、「千年の響き」（主催・「千年の響き」実行委員会）の小倉カトリック教会でのコンサートは、人々が音楽を通じて宗教の違いを越えてお互いの文化を理解し、協力し合うことを願って計画され、たまたま正倉院の復元古楽器に取り組んでいる仏教団体と、女子パウロ会の出会いにより実現し、当日は500人近くの人で聖堂は埋め尽くされた。

正倉院に残る断片により復元された7つの古楽器と大小のパンフルート、パイプオルガン、バイオリン、そして声明衆と新しいグレゴリオ聖歌との出会いなど、プログラムも多彩だった。曲目は全て現代音楽で、作曲家の一柳トシ氏、権代敦彦氏本人がそれぞれ指揮をした。

小倉教会の聖堂は1958年、パリ・ミッション会の故徳山登神父の設計により再建された音響が優れている教会で、そのために今回のコンサートの初演の地として選ばれた。この初演の後、国内5ヶ所と、ヨーロッパの5教会で演奏される予定である。

演奏を聴いた小倉教会長老のある婦人は、「素晴らしかった。感動しました。新しい教会の夜明けです」と感想を述べていた。

教会をコンサート会場に開放し、予想を上回る聴衆を迎え入れ、終了後、開場を後にする参加者を見送る神父をはじめ、各奉仕グループスタッフの顔は輝いていた。

福岡と宗像の市民クリスマス 市民に届ける神さまの愛！

会場はあちらです！

12月10日（月）、恒例の市民クリスマスが福岡市須崎の市民会館で開かれた。15日（土）には宗像市の宗像ユリックス・ハーモニーホールで開催された。プロテスタント諸派とカトリックの信者や司祭や牧師が集まり、市民に本当のクリスマスを知らせようと始って福岡が54回目、宗像が14回になる。

福岡市民クリスマスには師走の忙しさを縫って約1000人が集った。実行委員長の日本キリスト教団筑紫教会の鈴木岩夫牧師は「この不安定な時期に、互いに愛し合うことを教えてくださる神様に一日も早く、御国が来ますようにと祈りましょう。」と挨拶。聖歌隊の歌やクリスマスメドレーなどで心あたたまる一時を過した。

宗像市民クリスマスでは、実行委員長の日本聖公会宗像聖パウロ教会の柴本孝夫牧師が「大きな戦争や事故、事件が渦巻く不安な時ですが、そんな時だからこそ、イエス様の救いの喜びを多くの人たちと分かち合いましょう。」と語った。その後、重症心身障害者施設「久山療育園」理事長の川野直人氏のメッセージ、独り芝居の中島淳一氏の「砂漠の商人」や合同聖歌隊のメサイアなどで300人ほどの市民がクリスマスを祝った。

参加者から「宗派を越えたこのような集いをもっと大切にしたいです。宗教や宗派の違いが争いの基でないことを確かめたいです。」という声が幾人からも聞かれた。

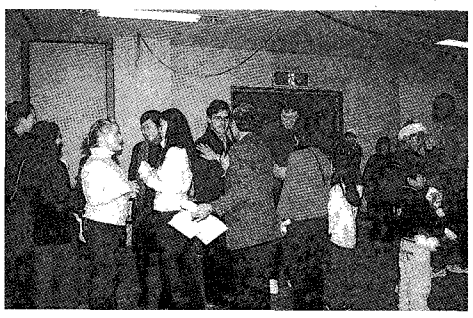
インターナショナル Xマスパーティー

大名町

大名町カトリック教会では、12月16日（日）にインターナショナルクリスマスパーティーを開いた。毎日曜日午後4時から行われている英語ミサに参加しているフィリピン、アメリカ、南米などの信徒と大名町小教区の信徒が初めて合同で行うクリスマス会となった。小教区の信徒委員会の役員と英語ミサに出ている代表者と家族が飾り付けやご馳走造りを受け持ち、11時半から始ったパーティーは200人以上の参加者でいっぱい。

大名町教会子ども会のクリスマスソング合唱で開幕し、芸達者な各国の信徒が、それぞれのお国自慢を披露するたびに大喝采をあびていた。いろいろな言葉が飛び交い、なかなか通じない言葉をジェスチャーで補いながらの国際交流がそこここで見られた。今まで、同じ教会に出入りしながら関わりの薄かった信徒同志が暖かくなる一日だった。

会費制になっていたパーティーの収益は、福岡フィリピン文化交流協会に寄付される事になっている。


ボディランゲッジも有効かな？

隣人は神の傑作

主の御降誕と新年のお喜びを申し上げます。今年も霊肉ともに恵まれた一年となるようお祈り致します。

九州最北、門司の防人の任を終え蒙古襲来の地、福岡は西新に来て、9ヶ月を数えようとしている。次の来襲に備えるにも平和すぎて手立てが見つからない。北条時宗の苦悩を味わえないまま、設置させた防塁の前にボウーッとしている。これも一重に信者が一生懸命に祈り、犠牲をしているから安閑として居れるのであろう。本当に信仰熱心な人が多い地である。ミサはもちろん、ロザリオの信心会、やれ何かの集まりと神に心を上げることを喜びとしている。これでは悪魔の襲来は難しいというものだ。

さて、神は人が為すことを良しとし、祝福して下さる。それは、神から知性と自由意志と情感を与えられた人間が、責任をもってそれらを使う時にである。逆にそれらを乱暴に使う時、たとえば神を冒涜（ぼうとく）したり、隣人をはずかしめたり、苦しめたりする時に、神はそれを決して良しとは思われない。「神と人を愛しなさい」（ヨハネ15章）と言われたイエス様は、「あなたが隣人にしたことは、私（イエス）にしたことである」（マタイ25章）とまで言われ、また、「隣人にしなかったことは、私にしなかったことである」（同章）とも言われ、私たちの隣人に対する考え方、接し方がいつも神の前で問われていることを思い起こさせる。

だから、人様のことを考えて生活したいと思うのである。そうだ、人を見るときに、そこに神の傑作を発見するようにしよう。あの人もこの人も神の手が及んだ尊敬すべき人なんだ。かけがえのない人なんだ。私さえもそうなんだ。そう思ってくると、どんな人にも情がわいてくる。嫌な自分も可愛く思えてきそうだ。神がお創りになったものに間違いはない。この一年、平和を保ってくれている人々のために神が良しとされる何かができたらいいなと思う。

西新教会主任　下町豊重神父

BOOK 読みは専科

★四季おりおりの聖書

佐久間勤 著
装丁・画 岩淵慶造
女子パウロ会 発行

ゆたかな四季おりおりの移り変わりの中で、日本人の心の奥深くにはぐくまれた年中行事。それらにつながる聖書の箇所をわかりやすく、学問的に語る。「えっ、こんなことが聖書に書かれていたの」とうれしくなってくる1冊。

バチカン放送の日本語番組で流されたものの中から選んで、書き改めたものである。

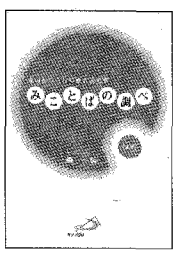
本体1300円

◇　◇　◇

★みことばの調べ

森司教の主日の福音説教集

森一弘 著



神は、凍えた心を温め、裏切られ傷ついた心を慰め、孤独な心に希望を与えようとするのです。独り子をこの世界に遣わす父なる神を動かすものは、人々に対する愛です。（本文より）主日の福音を、分かりやすく、コンパクトに、生き生きと！森司教の味わい深い言葉を通して、神の愛が心にしみわたります。すべての主日を網羅しつつも、各主日を見開き2頁ずつに収め、手軽に持ち運べる本に仕上げました。日曜日のミサの友として、また勉強会などのテキストとしても最適です。

サンパウロ　税抜き　千円

ジャパンスマイルか 株式会社
不動産／管理・仲介・売買・建設／一般建築
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL092-761-8800
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

吉田設計 株式会社
建築設計／企画・設計・監理
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-7
TEL092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811-7265

感謝と賛美のために
祭服，聖器具，聖像
信心用品，ベール，
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092-526-9176

キリストの愛をかかげて前に進もう！

2001年度教区聖書講座開講中

1月27日	聖書と典礼①	S.フランコ神父
2月24日	聖書と典礼②	S.フランコ神父
3月17日	聖書と教会の歴史	硫黄　隆二神父
4月28日	聖書と教会の掟(教会法)①	松永久次郎 司教
5月26日	聖書と教会の掟(教会法)②	松永久次郎 司教
6月23日	聖書と倫理①	小池　如安 神父
7月28日	聖書と倫理②	小池　如安 神父

会　場：カテドラル／大名町カトリック教会
時　間：第4日曜日14時～16時　　費　用：各500円

熊本地区神学講座開催中　第1期

◆1月27日　教会とは　司教・司祭の使命
　　教会とは　修道者・信徒の使命
　　松永久次郎司教
◆2月11日　教会の歴史：一般教会史
　　川添　猛神父
◆2月24日　典礼学
　　秘跡：聖体　　白浜　満神父
◆3月10日　教会法入門　　青木　悟神父
問合せ先：☎096・352・1515　手取教会　日向

若者よ／2002年7月トロントに行こう！

第17回ワールドユースディトロント大会 日本公式団体参加希望者募集中！

○日　　程：2002年7月21日～31日
○参加資格：18才～35才
○費　　用：約25万円
○福岡教区申込窓口：健軍教会・中村彰神父
　☎096・368・2825
※少しでも興味のある若者、ぜひ主任司祭か中村神父にすぐ電話しよう。
※信徒の皆さん、この大会は、後継者である若者が世界のカトリック者と教皇に出会い、神様に触れるチャンスです。協力してあげて下さい。

案内版　会合と催し

福岡黙想の家　1月

◇5日(土)～11日(金)　休館日
◇12日(土)～13日(日)　祈りの集い
◇15日(火)　マテオ神父の『祈りの学校』
◇24日(木)～25日(金)　伊都キリスト教会修養会
2月
◇5日(火)　マテオ神父の『祈りの学校』
◇9日(土)～11日(月)　在世カノッサ会黙想会
◇10日(日)～11日(月)　聖母カテキスタ会
◇16日(土)～17日(日)　山口・島根信徒養成研修会

[問合先] 黙想の家　☎0940・32・3222　FAX 32・3385

生命山カトリック別院

※祈りの集い
・1月10日(木) 10時～15時
テーマ：キリストに出会った人々
指　導：S.フランコ神父
　　Sr.マリア
※諸宗教対話研究会
日時：2月17日(日) 14時～
場所：手取カトリック教会
内容：イスラム教とはII
講師：S.フランコ神父
対象：どなたでも自由に参加出来ます。お待ちしています。
※毎月第2木曜日に祈りの集いを行っています。
[問合先]
・生命山カトリック別院
☎0968・85・3100
FAX 0968・85・3186

マグリン神父の赦しの秘跡

日時：毎月第1・3土曜日10時～12時
場所：大名町カトリック教会小聖堂

1月のこよみ

1日(火)　神の母聖マリア［守るべき祝日］
　　世界平和の日ミサ（カテドラル10：00）
　　†G.ロー［人吉教会1950］
2日(水)　†J.ドノフ［菊池教会1985］
　　†ヨゼフ牧山藤房［直方教会1993］
4日(金)　†E.モーゼ［八王寺本部1998］
6日(日)　主の公現
　　†T.フィッシャー［人吉教会1999］
13日(日)　主の洗礼
17日(木)　聖アントニオ修道院長
18日(金)　†J.M.マルタン［大牟田教会1975］
18日(金)～25日（金）
　　キリスト教一致祈祷週間
19日(土)　†J.ツルデル［大神学院1999］
　　†L.ガルニエ［大江教会1941］
20日(日)　年間第2主日
21日(月)　聖アグネスおとめ殉教者
25日(金)　聖パウロの回心
26日(土)　聖テモテ・聖テトス司教
27日(日)　年間第3主日
　　カトリック児童福祉の日（献金日）
28日(月)　聖トマス・アクイナス
2月
1日(金)　路上生活者への越冬支援炊出し［大名町教会］
2日(土)　主の奉献
3日(日)　年間第4主日
5日(火)　日本26聖人殉教者
　　松永司教司教叙階記念日
　　司祭評議会［10：30司教館新館］

◆福岡

■定期個別ゆるしの秘跡
［日時］毎月第1・第3土曜日10時から12時［場所］カトリック大名町教会小聖堂［聴罪司祭］R・マグリン神父（ミラノ会・久留米聖マリア病院付）

■福岡祈りの集い
［日時］毎週月曜11時～12時30分［場所］カトリック大名町教会［内容］聖霊による祈り◎2月18日（月）から7週間連続の集いが始ります［問合先］☎092・522・5139ブラザー床嶋

■グレゴリオ聖歌を歌う集い
［日時］1月9日（水）11時～12時15分［場所］浄水通教会聖堂［講師］坂田孝子氏［参加費］自由献金［問合先］☎096・380・5686堺

■召命祈願ミサ
［日時］1月10日（木）19時15分～［場所］福岡聖スルピス大神学院［司式者］浦川務神父（久留米教会助任）［問合先］☎092・871・4943大神［次回］2月7日（木）［司式者］山元眞神父（二日市教会主任）

■ヨアキム・アンナ信心会
［日時］1月17日（木）［場所］高宮カトリック教会［指導］小池如安神父［内容］ロザリオ・黙想・ミサ［問合先］☎092・531・6494高宮教会

■在世フランシスコ会集会
［日時］1月27日（日）14時～16時［場所］カトリック高宮教会集会所［内容］アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習［指導］小池如安神父［問合先］☎092・843・5831岩崎

■第85回福岡結婚準備講座
［日時］1月12日（土）～2月6日（水）毎水曜日と土曜日全8回19時～21時30分［場所］カトリック大名町教会［申込先］カトリックファミリーセンター☎092・541・6207

■典礼を学ぶ集い定期学習会
［日時］1月20日（日）14時～16時［場所］大名町カトリック教会1階［内容］ミサの各部の説明②［講師］白浜満神父（サンスルピス大神学院）［参加費］600円［問合先］☎0940・32・3047平井

■第17回福岡ホスピスの会
［日時］1月20日（日）14時［場所］大名町カトリック教会4階［テーマ］遺族へのアプローチII［講師］野島一彦教授（九大大学院人間環境学府教育心理学）［参加費］一般700円［問合先］☎092・737・3701福岡ホスピスの会事務局　小林・深堀

■生と老い死を見つめる会
［日時］1月27日（日）14時から［場所］カトリック大名町教会［内容］痴呆老人がかかえる問題について［講師］下田厚子さん［語り合い］死別体験者の集い［参加費］一般700円［問合先］☎092・713・8523大山・・092・607・6992村尾

■第30回典礼聖歌研修会
［日時］1月27日（日）13時から［場所］大楠教会［指導］深堀純氏［参加費］自由献金［問合先］☎092・623・5023有馬

■福岡ME案内
［日時］1月27日（日）11時から［場所］大名町教会［内容］4月27日（土）から篠栗聖心ウルスラ会研修所で行われる夫婦の集いへの案内［問合先］☎092・883・1269　目良

■美野島司牧センターのお願い
衣類のカンパをお願いします。特に冬用の男性用ズボン・ジャンバー・靴下などの衣類・洗面道具・靴をよろしくお願いします。女性用の衣類は間に合っています。また、金曜日の男性ボランティアも募集しています。衣類を頂きに来た人に出してあげたり、整理のお仕事です。
［問合先］コース神父☎092・431・1419

◆北九州

■小倉祈りの集い
［日時］1月18日（金）13時～14時30分［指導］V・マテオ神父（御受難会）［場所］小倉教会信徒会館2階［内容］「みことば」をあじわい祈る
［問合先］093・452・1556安藤

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
［日時］1月10日（木）10時～11時30分［場所］佐賀カトリック会館［内容］祈り［問合先］☎0952・72・7536吉田［次回］1月26日（土）10時～12時はミサと祈り：毎月第2木と第4土曜日に集まっています。どうぞご参加下さい。

■聖書を読む会
［日時］毎月第1木曜日、午前の部10時～11時半／午後の部19時半～21時［場所］佐賀カトリック会館［内容］「創世記」を読む［講師］A・アレグリーニ神父［テキスト］聖書［参加費］無料［問合先］☎0952・23・4754阿南

◆熊本

■第67回熊本結婚準備講座
［日時］1月21日（月）～2月18日（月）毎月曜日と火曜日全8回19時～21時30分［場所］手取カトリック教会［問合先］☎096・352・3030 FAX 096・352・1515

訃報

マイケル・コーフィールド神父（聖コロンバン会司祭）

母国のアイルランドで病気療養中の12月12日（水）、病気の為帰天。享年75歳。福岡教区には1973年から熊本の島崎教会で司牧に携わり、75年から81年までの6年間、聖コロンバン会の熊本地区長などを歴任。1999年島崎教会を退任され昨年6月アイルランドへ療養帰国中だった。

編集後記

主のご降誕と新年を迎え、皆様におめでとうのご挨拶を申し上げます。何かと暗いご時世ですが、せめて新年の初めは明るい挨拶を送りたいと思います。そしてその明るさが、新しい一年を照らし続けることを祈っています。

キリストの愛をかかげて前に進もう！という教区目標のもと、この新聞の紙面も明るい、前に向かう内容の記事が満載されればと願っています。ご協力をよろしくお願いいたします。

たちの悪い風邪が流行っています。私もひいてしまい、一ヶ月近く治らずじまいで、えへん虫をならしながら編集しました。皆さんもどうぞ体調を大切にされて活躍して下さい。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具　コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鵜木67－3
TEL 0942－77－3199
代表者　ペトロ 平田　清

"任意保険に加入してから車の運転を致しましょう"
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険
〒814-0153
福岡市城南区樋井川3丁目17－10
大石保険事務所　大石真澄
☎092-552-8195　Ⓕ092-541-7734

FUJIKI
未来へ――安心を創る
藤木工務店
福岡支店　〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-1-1　TEL 092-441-6585(代表)
取締役社長　大森　周　　福岡支店長　城戸隆秀

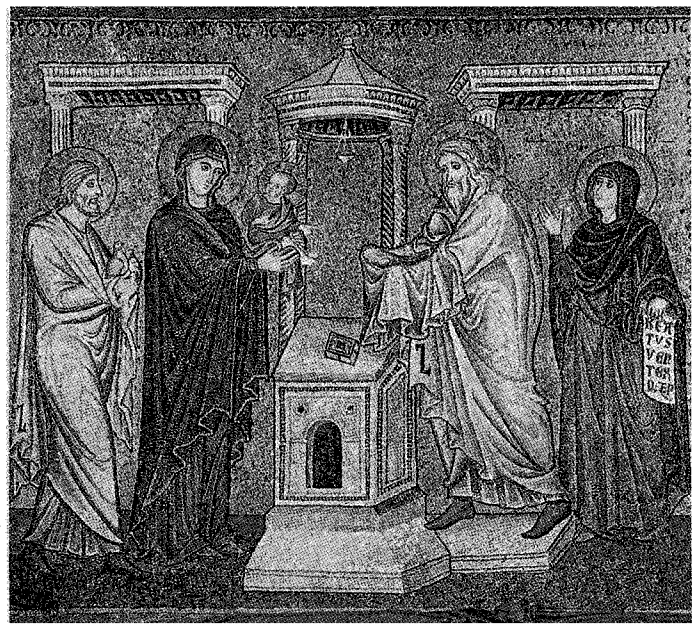
カトリック
福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　田中重治
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

今月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】命と人間の尊厳を守るカトリック病院
【布教の意向】カンボジアとラオスのキリスト教共同体
【日本の教会の意向】病者と介護者の癒し

主の奉献



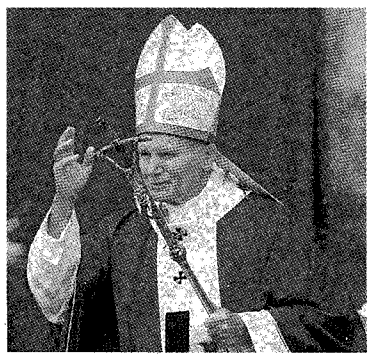
・ヨセフとマリアは律法の規定に従い、幼子イエスを誕生して４０日目に神殿にささげます。

４０日目に当たる２月２日、この主の奉献を祝いながら、両親の手によって幼子イエスが、その一生涯をささげられたように、私たちの日日の生活を神にささげること、また、幼い時から一生涯を神にささげ、主と共に歩み始める幼児洗礼の大切さを今一度思い起こしましょう！

病者への贈り物は 自分自身の奉仕

世界病者の日教皇メッセージ
インドのヴァイランカニで第10回記念式開催

今年も2月11日、ルルドの聖母の記念日に開催される第10回「世界病者の日」にあたり、ヨハネ・パウロ二世教皇は「よいサマリア人は、苦しむ人々を助けるために立ち止まる人です」と、病者への姿勢を、また、痛みや苦しみの神秘的な意味を悟ることは病者への連帯に繋がるとメッセージの中で示唆している。



10回目にあたる今年には「東洋のルルド」（88年7月31日「アンジェルス」）として有名なインド南部のマリア巡礼地・ヴァイランカニの「健康を賜う聖マリア」大聖堂で開催されます。

病める人々の必要に対する神の母の御助けは欠けることがないと確信している無数の人々が、深い信心と信頼をもってこの聖堂にやってきます。この大聖堂は、ベンガル湾に臨む、静かで、シュロの豊かに茂る環境の中にあります。ヴァイランカニは、単にキリスト教徒の巡礼者を魅了するだけでなく、他のいろいろな宗教の信奉者たち、わけてもヒンズー教徒たちをも魅了しています。

彼らは、病める者の母マリアの姿の中に、苦しむ人類に対する思いやりのある情け深い母を見ているのです。

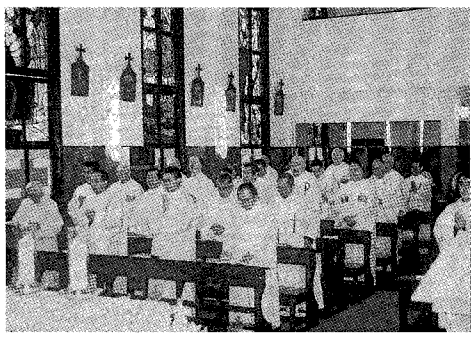
インドのような昔から深い宗教性のある土地で、神の御母にささげられたこの大聖堂は、実に、異教徒たちの出会いの場であり、また、調和のとれた諸宗教間交流のすぐれたモデルでもあります。

（つづき全文を2面に掲載）

教区司祭団が新年会
真理と愛を伝えるために全力を注ごう！

恒例の福岡教区司祭新年会が1月15日（火）催された。

11時から浄水通教会にてさげられたミサには、教区長松永久次郎司教をはじめ、50人近くの司祭が集まり、主の食卓をともにした。説教の中で司教は、年の初めにあたり、「信者に真理と愛を伝えるために全力を注ぎ、聖母マリアの取り次ぎのもとにいろいろな選択をしていこう」と司祭たちを激励した。また、教皇の平和メッセージに触れ、ゆるすことの大事さを示し、穏やかに信者と歩んでいこうと述べた。同時にC・バスチ神父をはじめ数名のシスター方が新年早々帰天されたことについて、安息を祈るとともに、キリスト者としてこの世でも天国でも生きるのは同じという気持ちを持とうとも述べた。



司教館に会場を移して開かれた祝宴では、司祭団を代表して司教総代理の川上惣一神父（行橋教会）が「司教様の病院嫌いは有名ですけれど、お体を本当に大切にして下さい」と司教に挨拶し、司祭団にも、兄弟として、本年75周年を迎える福岡教区のためにキリストの愛をかかげて前に進もうという気持ちを持って頑張ろうと挨拶した。

続いて、松井忠之神父（教区会計）の乾杯によって食事をとりながら、それぞれが新年の挨拶を交わし、お互いの親交を温め、新年をともに歩もうという心を強める機会となった。

聖パウロ修道会福岡修道院新築移転
新装なったサンパウロで記念行事も

福岡市中央区赤坂に建設が進められていた男子パウロ会の修道院と主にキリスト教書や宗教用品販売を行うサンパウロ販売部を兼ねたサンパウロ福岡センターが落成した。

12月27日（木）、教区長松永久次郎司教のもと、聖パウロ修道会日本管区長夫津木昇神父など関係者が集まって、落成祝福式が執り行われた。

聖パウロ会福岡修道院は、１９５０年に福岡市中央区小笹団地そばの広大な敷地に、修道院と志願院・小神学校を兼ねて設立された。一時は、数多くの小神学生をかかえていた時期もあった。また、広大な敷地や体育館を利用して、教区内外の各地から錬成会や遠足のために訪れる人、地域の人々がサッカー教室やバレーボールの練習場として利用するなど、教区と地域に根ざした活動をしていた。

しかし、召命の減少に伴い、すでに小神学校を閉鎖していたが、建物の老朽化、敷地の整備などに限界が来たため、昔女子パウロ会が開設されていた教区所有の土地を購入し、新しく移転、新築することになり、昨年一年間召命の家を仮住まいとしながら完成を待っていた。

新しい建物は、地下が駐車場で、１・２階がサンパウロ販売コーナー、３階が多目的ホール、４・５階が修道院となる。サンパウロ販売コーナーは1月25日に新装オープンした。

記念のチャリティーコンサートを開催

今回の新築・移転を記念して、聖パウロ会とサンパウロ主催で「アフガニスタン難民支援チャリティー・コンサート」が2月8日（金）18時30分から大名町教会聖堂で開催される。入場料はすべて難民支援に寄付される。

あわせて、サンパウロセンター3階のホールでは、2月9日（土）まで、写真パネル１００枚による「アフガニスタン難民の今日」展が入場無料で開催されている。

時の話題

酒井　修

ドミニコ会の総長フンベル師の語るに、一人の修道者があった。彼の死後、光栄に輝いてその院友の基に現れ、これを居室より連れ出し、多くの人が真白い服を着け、光明に包まれ肩には極めて美しい十字架を担ぎ行列をして天に登り行く光景を見せた。次に又同じ様に行列をして登り行く他の一行を見せた、それは前者よりも遥かに輝かしくその十字架も一層美しく見事な装飾を施してあり、彼等はこれを肩にではなく、手に携えていた。その次に第三の行列が通過した。前二者とは比較にもならぬ程輝かしくその十字架の美しさと云ったら驚くに余りある程、しかも前二者の如くその十字架を手に持つか、肩に担ぐのではなく、天使がこれを取って各々の前に進み、彼等をして一層容易に進み一層の喜びを以て己が後に従わしめるのであった。これを見た修道者は、この幻に驚きその意味を問えば、彼は静かにはっきりと答えた。「十字架を肩にした第一の行列は老年になってから入会した人々から成っている。十字架を手に携えた第二の行列は、若い青年時代から入会した人々である。さも愉快げに進んでいく第三行列は少年時代から入会し、幼い内に世の虚しきものを投げ捨てた人々である」と。

今、私たちは教区28殉教者の列福を願い信心業（勉強会・毎月の列福祈願ミサ）を続けて居ります。列福（聖）されてからではなく、今、この恵みの食卓の準備を御一緒なさいませんか。

門司教会信徒（福岡教区宣教史委員会主管）

みちくさ

「私たちの司教…」ところで、司教とはそもそもどんな方なのだろう▼司教は叙階の秘跡の一つの位階である。この秘跡によって司教は、12使徒の後継者となる。また、教会の牧者として教え、聖化し、統治するという3つの権能と職務が与えられ、そのために司祭職の充満が与えられ、司教固有の霊印が刻まれる▼司教は教区の司牧のために叙階される。新しい教区司教が必要になった場合、3名連記の候補者名簿を教皇大使が作成し、自分と様々な司教たちの意見を添えてローマに提出する。それを参考に、教皇がこの人をと自由に指名する。もちろん、名簿に載っていない人を選ぶこともできる▼こうして、教皇から任命を受けた司祭は任命書を受け取ってから司教叙階を受ける。また、決められた教区の長としてその教区の司教座（カテドラ）に着座をして正式な就任となる。この間、被選司教と呼ばれる▼教区長として司教は教区全体を愛をもって配慮する。任された自分の教区の現状を直に知るために、少なくとも5年に1度教区全体の教会や修道院、施設などを視察する義務がある。その際、堅信の秘跡が授けられることが多い。また、5年に1度、教皇に教区についての報告書を提出し、ローマに詣でて、使徒ペトロとパウロの墓参と教皇謁見をする▼ちなみに、私たちの教区長ヨセフ松永久次郎司教が長崎教区補佐司教としてローマから任命されたのが77年11月10日、78年2月5日司教叙階、福岡教区長任命が90年10月6日、着座が91年1月15日。つまり、もうすぐ司教任命・叙階銀祝なのである。（T）

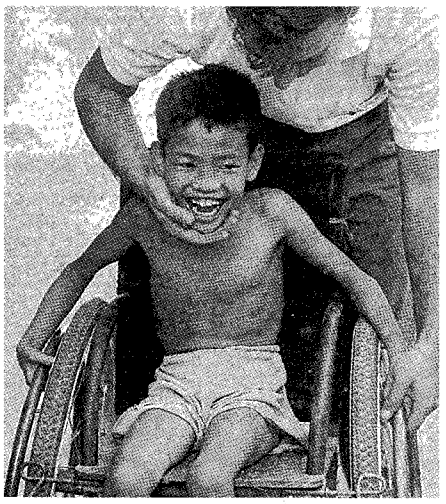
世界病者の日教皇メッセージ（1面から）
わたしたちは命の保護者、所有者ではない

「世界病者の日」は、病気で苦しむ人々のための熱い祈りで始まります。こうして、苦しむ人々への私たちの連帯を表明します。この連帯は、痛み苦しみの神秘的な意味を悟ること、また、個々人に関する神の愛によるご計画の中で果たされるその役割の不思議な意味を悟ることから生まれます。祈りで始められた「世界病者の日」は省察へと進み、苦しみの世界に対するキリスト者のこたえに関する真剣な研究へと続きます。人間の苦しみは、人間に起因する災難や、個人あるいは社会によってなされる不健全な選択によって際限なく日毎に増えつづけているかのようです。キリスト教の医療機関や病院、さらにその従業員たちの役割や任務を改めて内省するとき、この省察は、彼等の役割や任務に霊感を与える正しいキリスト教的価値を強調し、再確認するでしょう。聖なるいやし手イエスの跡に従うことには、当然、いのちの文化に寄与するという明らかな立場をとり、また、受胎から自然死に至るまでのいのちを擁護するために全力を尽くすことも含まれています。イエスは、「羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるため」（ヨハネ10・10）、世に来られたのです。このみことばは、今日の省察のテーマです。

2. 苦しみを緩和するための新しい効果的な方法を研究することは正しいことです。しかし、苦しみは、あくまでも人間のいのちの基本的な事実です。人間が奥行きの深い存在であるように、ある意味で苦しみもまた深く、人間の本質に触れるものなのです（『サルヴィフィチ・ドローリス』3参照）。医学の研究や治療は、苦しみの全てを解明するものでも、完全に克服するものでもありません。苦しみは、その深みとさまざまな形のうちに、純粋な身体的次元を超える視点から考察されます。人類のさまざまな宗教は絶えず苦しみの意味を見いだそうと努力し、苦しむ人々に、共に苦しむ心と善意を示す必要を認めています。

このために、宗教的信念から、病気の治療と回復に向けた臨床医学が始まったのです。諸宗教の歴史は、昔からすでにあった医療補助の形について物語ります。

教会は、苦しみに関する非キリスト教的解釈に、多くの有効で高尚な要素があることを認めますが、人間の偉大な神秘に関する理解はただ一つです。苦しみの基本的、最終的意味を見いだすためには、「神の愛の啓示を見なければなりません。神の愛こそ、存在するすべてのものの究極的な源だからです」（『サルヴィフィチ・ドローリス』13）。苦しみの意味に関する質問へのこたえは、「イエス・キリストの十字架において、神から与えられ」（同13）ました。こうして、原罪の結果である苦しみは、新しい意味をもつようになりました。つまり、苦しみは、イエス・キリストの救いの業への参与となったのです（「カトリック教会のカテキズム」1521参照）。キリストは、十字架上の苦しみを経て悪を支配し、私たちも悪に勝つことができるようにしてくださいました。私たちの苦しみをイエスの苦しみに合わせることによって、その意味と価値を獲得するのです。キリストは神であり人間であるがゆえに人類の苦しみをご自分の身に負い、彼において、人間の苦しみそのものはあがないの意味をもつようになりました。この人性と神性の結合のうちに、苦しみは善を生じ悪に打ち勝つのです。痛みのうちにある人々への私の強い連帯を表明しながら、熱い祈りをささげます。どうか「世界病者の日」が、病める人々にとって、彼らの生涯に意義深い新しい視野が開けていくための恵みの時となりますように。



信仰は、キリストの受難、死、復活のうちに苦しみの最終的な意味を探すように教えています。痛みや苦しみに対するキリスト教的こたえの特徴は、決して消極的なものではありません。イエスは、「方々を巡り歩いて人々を助け、悪魔に苦しめられている人たちをすべていやされた」（使10・38）のです。彼の生涯と働きに込められた愛に突き動かされる教会は、病める人々や苦しむ人々に慰めと希望を与えることによって、彼らと出会います。それは、単なる慈善の行為ではありません。献身的な世話や奉仕に導く、苦しみの共感と配慮に動機づけられているものです。それは、つきつめてゆけば、他の人々、特に苦しんでいる人々のために、自分自身を寛大な贈り物にするということです（『サルヴィフィチ・ドローリス』29参照）。「よいサマリア人」のたとえは、苦しみにあえぎ、手助けを必要としている他者を目の前にした人の高潔な心、あるいは反対の心をよく説明しています。よいサマリア人は、苦しんでいる人々を助けるために立ち止まる人です。

3. ここで、世界中の医療分野で働く数多くの人々：「医療センターの所長や院長、施設付き司祭、医師、検査官や研究者、看護婦、薬剤師、助手やボランティア」の方々に思いを馳せます。アジア・シノドス後に出した使徒的勧告の中で『アジアにおける教会』の方々を想起しているように、私は世界各地の教会を司牧訪問したとき、医療関係者のいろいろなグループのキリスト者としてのすぐれたあかし、特に、障害者や末期患者のために働く人たち、また、エイズのような新しい病気の蔓延と戦う人たちのあかしに深く感動しました（『アジアにおける教会』36参照）。「世界病者の日」を行う中で、教会は、病人の看護に全力を尽くす多くの司祭、修道者、信徒の無私無欲の奉仕に、感謝と敬意を表します。この方々は、主イエスに対する信仰と、よいサマリア人のスピレーションを受けながら、病める人、苦しむ人、死に臨んでいる人たちと寛大にかかわっています。最後の晩餐における「私の記念としてこれを行いなさい」との主の命令は、ただパンを割くことだけでなく、私たちのために主キリストがささげられた体と、流された血をも指しているのです（ルカ22・19～20参照）。言い換えれば、自分自身を贈り物として他の人にえることを示唆しています。空間が東西南北、上下左右のように4つに分けられるので、全四方を表していると思います。新約聖書の福音書は4つあって全世界にキリストの福音を伝える書物です。6は、完成を表す7に1つ足りないので、不足、不完全を意味します。ヨハネ福音書2章にはカナの婚礼の話に6つの水がめが出てきますが、これは旧約時代の不完全さを意味していると思います。また、黙示録13章に666が出ていて、6を3回重ねることで一番悪い反キリストを表しています。7は完成、完全を意味します。神の世界を表す3と全世界を表す4を合わせて総ては完成されるからです。1週間は7日で、虹は7色、音階は7つあります。創世記2章には神が7日目に創造を休まれた話があります。マルコ福音書8章にはパンの増加の奇跡が出ていますが、キリストは7つのパンを裂き、残ったパン屑は7かごありました。マタイ福音書18章には7の70倍までも人の罪を赦しなさいとあります。教会の教えでも7つの罪源、聖霊の7つの賜物、7つの秘跡があります。

このように簡単に見ただけでも聖書に出てくる数の意味を知っているだけで、聖書の読み方が深まります。皆さんも勉強されることをお勧めします。この他にも、8、10、12、40など聖書の中で大切な数がありますが、次回とします。

健軍教会主任司祭

4. 病める人や苦しむ人との接触のうちに、教会は、「神の姿に創造され、神が与えてくださった尊厳と奪うことのできない人権」（『アジアにおける教会』33）を与えられた人間の、正確で完全な一つのビジョンに導かれます。その結果、教会は技術的に実行可能な原理にではなく、倫理的に認められるものを主張しています。最近の膨大な医療技術の進歩と能力は、私たち全員にいのちの賜物に関する大きな責任を与えます。いのちは、いかなる発達過程にあっても、またどんな状況の中にあっても厳然として自らの尊厳と権利を保持しているからです。私たちは、いのちに対するあらゆる侵害、あらゆる排斥行為に警戒しなければなりません。「わたしたちは、いのちの保護者であって、所有者ではありません。……受胎の時から人間のいのちは神の創造行為に加わり、いのちの源であり唯一の目標である創造者との特別なきずなを永遠に保ちます」（同35）。

愛に固く根ざしたキリスト教の医療機関は、弱い人や病める人を癒したイエスの使命を継続しています。それらの機関がいのちの文化を認め保証する場である限り、人類の苦しむあらゆるメンバーはそこで癒されるとの期待にこたえ続けるであろうと、私は確信しています。身心が傷ついている人々を病める人々の慰めであるマリアが愛情深く守り続けてくださいますよう、また、治療を受けている人々に恵みを取り次いでくださいますように祈ります。マリアが、私たちの苦しみを御子の苦しみに合わせるのを助けてくださいますように。私たちは、御父の家での救いを目指し、喜んで希望をもって歩いているのです。

ヨハネ・パウロ二世
（訳：カトリック中央協議会事務局）

聖書と数

新しい世紀のカテケジス⑩

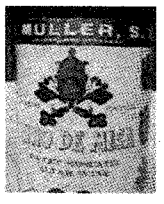
中村　彰　神父

2000年にオリエンス宗教研究所からミシェル・クリスチャン著「聖書のシンボル50」が出版されました。

この本を読んで聖書に出てくるシンボルの意味が少し分かるようになりました。今回はこの本を参考にしながら、私見も交えて聖書に出てくる大切な数についてその象徴的な意味を紹介したいと思います。

まず1は、ものの始まりを意味し唯一の神を指しています。また、ものが一つにまとまる意味で一致も意味しています。創世記11章のバベルの塔の話に1が出てきます。次に3は、神の世界、完全を意味しています。時間が過去、現在、未来の3つに分けられるので、総てのものを始めから終わりまで支配する神の完全性を表しているのではないかと思います。ヨブは3日間大きな魚の中にいました。キリストは3日目に復活されました。典礼の中でもあわれみの賛歌、感謝の賛歌、平和の賛歌は同じ意味の言葉が3回繰り返されます。4は、全宇宙、全世界、自然を意味しています。空間が東西南北、上下左右のように4つに分けられるので、全四方を表していると思います。新約聖書の福音書は4つあって全世界にキリストの福音を伝える書物です。6は、完成を表す7に1つ足りないので、不足、不完全を意味します。ヨハネ福音書2章にはカナの婚礼の話に6つの水がめが出てきますが、これは旧約時代の不完全さを意味していると思います。また、黙示録13章に666が出ていて、6を3回重ねることで一番悪い反キリストを表しています。7は完成、完全を意味します。神の世界を表す3と全世界を表す4を合わせて総ては完成されるからです。1週間は7日で、虹は7色、音階は7つあります。創世記

むなかた祈りの森
グループ・個人の黙想、研修会等に…
カトリック福岡黙想の家
PRAYER GROVE MUNAKATA
聖堂／洋個室30室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.btm

ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命 お問い合せは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
ご葬儀
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

ありがとう！バスチ神父とコーフィールド神父
北九州・熊本地区の教会の再建と支え

クロード
バスチ神父

黒崎教会助任のクロード・バスチ神父（パリ外国宣教会）が1月1日（火）午後12時4分、新田原聖母病院で急性白血病のために帰天。享年77才だった。

バスチ神父は1924年フランスに生まれ、47年6月29日にパリ外国宣教会の司祭として叙階された。叙階後、中国への最後の宣教師として派遣されるが、共産主義に反抗したとして6ヶ月の拘留後、51年に中国から強制退国、香港で療養後、52年に来日し、戸畑教会と小倉教会の主任と付属幼稚園園長を永年務め、多いときは年に100人近い人に洗礼を授けるなど、北九州で洗礼を授けた人は生涯で二千人を越えている。90年からは八王寺本部付きとして戸畑・黒崎教会の助任を務め、年末に入院する間際まで、聖書と要理の勉強会を続けていた。

1月1日に遺体をパリ外国宣教会本部に安置して追悼ミサが、2日に小倉教会で通夜がささげられ、教区長松永久次郎司教主司式で、パリ外国宣教会日本管区長ミシェル・コーナン神父、たまたま北九州を訪れていた高松教区長深堀敏司教をはじめ、22人の司祭と400人を超す信者によって祈りがささげられた。3日には葬儀ミサ・告別式がささげられ、40人を超す司祭と600人を越える信者が集い、大勢の司祭団が参列してバスチ神父の葬儀ミサ

大勢の司祭団が参列してバスチ神父の葬儀ミサ

年末に入院後、様態が急変し、神の母聖マリアのお祝いのミサが各地でささげられ、正月を祝う中、聖母訪問会のシスターの祈りの中、バスチ神父は帰天した。神父の棺の中にはトレードマークだったパイプと、いつも欠かさず唱えていた聖務日課の本が収められていた。

病気療養のため2001年6月より母国のアイルランドに帰国していたマイケル・コーフィールド神父（聖コロンバン会）が12月12日急性肺炎のため帰天された。享年75才。

マイケル　コーフィールド神父

コーフィールド神父は1926年アイルランドに生まれ、51年12月21日に司祭に叙階され、53年に来日。大阪教区、横浜教区で活躍後、73年からは島崎教会の主任司祭を務め、75年から81年までは熊本地区長も兼任された。その後、一旦大分教区に転任するも、再び島崎教会主任として戻り、活躍していた。99年、肺炎による肺機能障害のため現役を引退し、手取教会に移って熊本地区の司牧の手伝いをしていた。

12月21日（金）に手取教会にて追悼のミサが教区長松永久次郎司教の主司式でささげられ、17人の司祭と150人近くの信者が集まり、コーフィールド神父の安息を祈った。この日は丁度、神父の叙階金祝の記念日に当たっており、同じ日に叙階され、日本で一緒に活躍してきたショーン・ライル神父（ファミリーセンター）が叙階の時の祭服を身にまとい、金祝のお祝いで同級生が夏に集まったときのことや、コーフィールド神父の思い出を説教の中で分かち合った。ミサ後、コーフィールド神父を忍んで、遺影の前で焼香し、心からの感謝の祈りをささげた。

インターナショナル　フェスティバル熊本
すべての人が参加できる教会をめざして

料理もインターナショナルに！

1月14日（月）12時30分から、手取カトリック教会信徒会館でインターナショナル・フェスティバル熊本地区集会が開催され、100人を越える参加者が集まった。5人の司祭、40人を越える外国の方とその家族、そして60人以上の日本人信徒が初めて一堂に会しての交流会が開かれた。

地区長のF・マッケイ神父（武蔵ヶ丘教会）がまず挨拶、続いて、M・コース神父（美野島司牧センター・教区難民移住移動者委員会担当）による増加する外国籍信者とその取りまく様々な問題の説明が行われた。そして、W・カリー神父（手取教会）の祈りで楽しい会食が始まった。みんなで一緒に作ったパエリヤや手取教会マリア会のオリジナルスープ、各自が持ち寄った素晴らしい料理の数々、それらを食べながらの楽しい語らい、そしてスペインのダンスにフィリピンのバンブーダンス、日本童謡などで、本当に素晴らしい一時を過ごした。

引き続いて、福岡教区難民移住移動者委員会が昨年行ったアンケート調査や入管局の統計をもとにした移住者の実態報告が行われ、これからの教会の大きなテーマとして、外国籍信者の問題があることが話し合われた。

その後、3人の司祭によるミサが、英語、日本語、それにタガログ語とスペイン語を加えて執り行われた。国際化する日本教会のこれからの問題、平和をもたらす教会、誰にでも開かれている教会、そのための祈りがささげられた。

各地で教会の後継者の成人式

1月13日（日）、各地の教会で成人を祝う式が行われた。

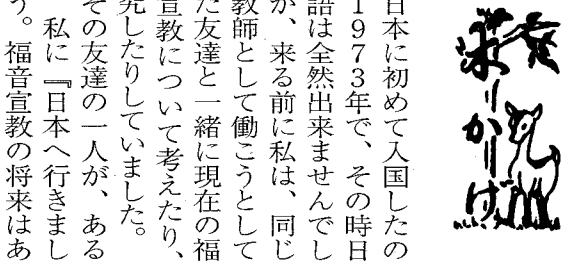
各地区で合同の成人式を行ったこともあったが、成人の祝いだけは本人が育った教会共同体の中で、身近な人々に祝福していただきたいとの、特に家族の声から各小教区で祝うようになった。

主任の平田神父に祝辞をもらう小倉教会の新成人

大名町教会では7人が成人式に臨んだ。かつての教会学校のリーダーからの「よい大人の信徒になって下さい」という励ましや、「教会の担い手になって下さい」という信徒会長のあいさつに、7人とその家族に緊張と喜びが溢れていた。

牧山神父から祝福される大名町教会の新成人

ひとりの宣教師が証の場を求めて
日本で歩んだ道



日本に初めて入国したのは1973年で、その時日本語は全然出来ませんでしたが、来る前に私は、同じ宣教師として働こうとしていた友達と一緒に現在の福音宣教について考えたり、研究したりしていました。

その友達の一人が、ある日、私に『日本へ行きましょう。福音宣教の将来はあそこで分かるようになる』と言いました。

そのことばの意味は、多くの国で、宣教師の役割はいろんな福祉のことも含むし、リーダー的立場から関わりますが、日本ではよく進歩した社会の中で、みんなと一緒に歩みながら、キリストの良い知らせの意味を見いだす役割になるということでした。

ヨーロッパから見た当時の日本は『経済的な奇跡』の国でした。本当の奇跡であるか、それとも矛盾の中で実現される奇跡であるかなどを理解するために現実を知るのは大切ではないかと思いました。

ですから、日本に着いた時は、他の3人の友達と既に一つの計画を立てていました。それは、出来るだけ社会の現状を知るために、日常生活に入り込むという事でした。そのために、教会の建物、施設、学校ではなく、キリストの信仰のしるしがないところで住んだり働いたりしようと思いました。私たちの宣教会の責任者たちが納得した上で、初めに東京の新宿駅のそばにあった普通のアパートを借りて経済的な自立を目指して、日本語を勉強しながら、専門学校などでイタリア語を教えていました。大学生、いろんな会社の若い事務員に出会いながら、社会の現状や若者の考え方などを少しでも学んだというだけではなく『自由な出会い』というすばらしさに目覚めたと思います。すなわち、社会の中で、いろんな関係の仕方が決まっていますが、お互いが自由に出会い、話せるのは、開放的な関係になりますし福音を証するための理想的な状態になります。

ジャンピエロ・ブルニ神父（光丘教会主任・ミラノ宣教会）…来月号に続く…

BOOK 読みま専科

★サンパギータの白い花
松井　友著
表紙・絵　施設の子ども
女子パウロ会　発行

フィリピン、ミンダナオ島の小さな村に日本人夫妻が開いた子どもの家。商社を辞め全てをかけ、このミンダナオの村に施設を建てた鳥山氏の『見える行動で、見えない愛を表現したい』という情熱の形である。幼くして人生の困苦を知ったこどもたちの、人間らしい生活を取り戻した明るい姿、それを見て次第に癒されていく著者の記録である。

本体　1600円

◇　◇　◇

★司祭の霊性
ホアン・エスケルダ・ビフェト著
小平正寿訳

司祭のアイデンティーが問われる昨今、本書はまさにそれへの答えを見事に提供しています。司祭にとってはもちろんのこと、修道者や一般の信徒の皆さんにも必読の書と言えます。特に司祭について著者は、キリストを伝えること、つなぐこと、そしてみわざを続けること、と3つの「T」を示しています。それはよい牧者キリストとなり、神の愛を示していかなければならないのですから、と。

サンパウロ　税抜き2800円

ジャパンスマイルか株式会社
不動産／管理・仲介・売買・建設／一般建築
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL092-761-8800
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

吉田設計株式会社
建築設計／企画・設計・監理
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-7
TEL092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811−7265

感謝と賛美のために
祭服，聖器具，聖像
信心用品，ベール，
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092−526−9176

キリストの愛をかかげて前に進もう！

2001年度教区聖書講座開講中

2月24日　聖書と典礼②　S．フランコ神父
3月17日　聖書と教会の歴史　硫黄　隆二神父
会　場：カテドラル／大名町カトリック教会
※できるだけ聖書をご持参ください。
時　間：第4日曜日14時～16時　費　用：各500円

熊本地区神学講座開催中　第1期

◆2月11日　教会の歴史：一般教会史　川添　猛神父
◆2月24日　典礼学　秘跡：聖体　白浜　満神父
◆3月10日　教会法入門　青木　悟神父
※第2期は5月12日から開講。
問合せ先：☎096・352・1515　手取教会　日向

若者よ／2002年7月トロントに行こう！

第17回ワールドユースディトロント大会 日本公式団体参加希望者募集中！

○日　　程：2002年7月21日～31日
○参加資格：18才～35才
○費　　用：約25万円
○福岡教区申込窓口：健軍教会・中村彰神父
☎096・368・2825
※少しでも興味のある若者、ぜひ主任司祭か中村神父にすぐ電話しよう。
※信徒の皆さん、この大会は、後継者である若者が世界のカトリック者と教皇に出会い、神様に触れるチャンスです。協力してあげて下さい。

聖霊による刷新セミナー

(1)2月18日《神の愛》　V.マテオ神父
(2)2月25日《救いのみわざ》　下町豊重神父
(3)3月4日《新しい生命》　青木　悟神父
(4)3月11日《神の賜物の受領》　小池如安神父
(5)3月18日《聖霊の満たし》　マッケイ神父
(6)3月25日《聖霊の内での成長》　ドワイヤー神父
(7)4月1日《ミサ／キリストの証人》　松永久次郎司教
ところ：カテドラル大名町教会1階講堂
時　間：期間中毎週月曜日10：30～12：30
参加費：自由献金
主　催：聖霊による刷新セミナー事務局
問合先：事務局（☎092-522-5139 床嶋）

アフガニスタン難民支援 チャリティー・コンサート

日　時：2月8日(金) 18時開場
場　所：大名町カトリック教会聖堂
出　演：大阪ハインリッヒ・シュッツ室内合唱団／シンフォニア・コレギウム大阪
参加費：前売券2000円／当日券2500円
主　催：聖パウロ修道会／サンパウロ

忘れてしまわないでください。今ここで起っていることを！

案内版　会合と催し

福岡黙想の家　2月

◇5日(火)　マテオ神父の『祈りの学校』
◇10日(日)～11日(月)　聖母カテキスタ会　御受難会きょうだい会
◇16日(土)～17日(日)　山口・島根信徒養成研修会
◇20日(水)　ミカエル会
◇23日(土)～24日(日)　四旬節の黙想会①
3月
◇2日(土)～3日(日)　四旬節の黙想会②
◇5日(火)　マテオ神父の『祈りの学校』
◇9日(土)～10日(日)　四旬節の黙想会③
［問合先］黙想の家　☎0940・32・3222　FAX 32・3385

生命山カトリック別院

※祈りの集い
・2月14日(木) 10時～15時
・3月14日(木) 10時～15時
テーマ：キリストに出会った人々
指　導：S.フランコ神父　Sr.マリア
※諸宗教対話研究会
日　時：2月17日(日) 14時～
場　所：手取カトリック教会
内　容：グループの反省と将来展望
※黙想会
日　時：3月8日(金)～10日(土)
テーマ：十字架の神秘と座禅
指　導：S.フランコ神父
［問合先］
・生命山カトリック別院
☎0968・85・3100
FAX 0968・85・3186

緊急　越冬炊出しにご協力を！

日　時：2月中の火曜日と金曜日
問合先：大名町カトリック教会

ごあんない

※寺濱亮司大神学生が祭壇奉仕者に！
日時：3月9日(土) 11時
場所：久留米カトリック教会
※恵みの時を分かち合おう！

2月のこよみ

2日(土)　主の奉献
3日(日)　年間第4主日
5日(火)　日本26聖人殉教者　松永司教司教叙階記念日　司祭評議会［10：30司教館新館］　路上生活者への越冬支援炊出し［大名町教会］
10日(日)　年間第5主日　大名町教会堅信式
11日(月)　ルルドの聖母［世界病者の日］　東光町ルルド祭［13：30］　建国記念日
13日(水)　灰の水曜日　大斎・小斎
14日(木)　†J.オマラ［荒尾教会1974］
16日(土)　†J.ボア［黒崎教会1957］
17日(日)　四旬節第1主日　今村教会堅信式
22日(金)　聖ペトロ使徒座　†F.ベルトラン［門司港教会1940］
23日(金)　†パウロ糸永武男［今村教会1992］
24日(日)　四旬節第2主日
26日(火)　今村信徒発見135年　†F.ドルエ［八王寺教会1983］　†G.オーブリ［大神学校1985］
28日(木)　†マルチノ青木保［浄水通教会1997］
3月
2日(土)　†R.ミケレ［鹿島教会1988］　†J..オブライエン［手取教会1990］
3日(日)　四旬節第3主日
5日(火)　松永司教霊名の祝い［浄水通教会11時］
ゴチックは司教日程

◆福岡

■福岡祈りの集い
［日時］毎週月曜11時～12時30分［場所］カトリック大名町教会［内容］聖霊による祈り◎2月18日（月）から7週間連続の集いが始ります［問合先］☎092・522・5139ブラザー床嶋

■福岡地区婦人会勉強会
［日時］2月5日（火）10時から［場所］大名町カトリック教会講堂［内容］高齢化社会の中のボランティア［講師］田中英樹氏（特別養護老人ホーム富の里生活相談員）［参加費］無料［問合せ先］☎092・531・1856牛尾

■グレゴリオ聖歌を歌う集い
［日時］2月6日（水）11時～12時15分［場所］浄水通教会聖堂［講師］坂田孝子氏［参加費］自由献金［問合先］☎096・380・5686堺

■召命祈願ミサ
［日時］2月7日（木）19時15分～［場所］福岡聖スルピス大神学院［司式者］山元眞神父（二日市教会）［問合先］☎092・871・4943大神学院

■第30回典礼聖歌研修会
［日時］2月10日（日）13時から［場所］大楠教会［指導］深堀純氏［参加費］自由献金［問合先］☎092・623・5023有馬

■召命を共に祈る会
［日時］2月21日（木）14時30分［場所］召命の家［指導］浦川務神父（召命担当）［次回］3月14日（木）

■ヨアキム・アンナ信心会
［日時］2月21日（木）［場所］高宮カトリック教会［指導］小池如安神父［内容］ロザリオ・黙想・ミサ［問合先］☎092・531・6494高宮教会

■在世フランシスコ会集会
［日時］2月24日（日）14時～16時［場所］カトリック高宮教会集会所［内容］アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習［指導］小池如安神父［問合先］☎092・843・5831岩崎

■生と老い死を見つめる会
［日時］2月24日（日）14時から［場所］カトリック大名町教会［内容］「ターミナルケアと「喪失体験と悲嘆」のビデオによる話し合い［語り合い］死別体験者の集い［参加費］一般700円［問合先］☎092・713・8523大山・092・607・6992村尾

■美野島司牧センターから
衣類のカンパをお願いします。特に冬用の男性用ズボン・ジャンバー・靴下などの衣類・洗面道具・靴をよろしくお願いします。女性用の衣類は間に合っています。また、金曜日の男性ボランティアも募集しています。衣類を頂きに来た人に出してあげたり、整理のお仕事です。
［問合先］コース神父☎092・431・1419

◆北九州

■小倉祈りの集い
［日時］2月15日（金）13時30分～15時［指導］V・マテオ神父（御受難会）［場所］小倉教会信徒会館2階［内容］「みことば」をあじわい祈る［問合先］093・452・1556安藤

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
［日時］2月14日（木）10時～11時30分［場所］佐賀カトリック会館［内容］祈り［問合先］☎0952・72・7536吉田［次回］2月23日（土）10時～12時はミサと祈り・毎月第2木と第4土曜日に集まっています。どうぞご参加下さい。

■聖書を読む会
［日時］毎月第1木曜日、午前の部10時～11時半／午後の部19時半～21時［場所］佐賀カトリック会館［内容］「創世記」を読む［講師］A・アレグリーニ神父［テキスト］聖書［参加費］無料［問合先］☎0952・23・4754阿南

平和を共に考える2月11日 佐賀の集い

日時：2月11日(月) 13：30
場所：佐賀カトリック幼稚園
演題：信仰と政治…核兵器の道徳性と合法性をめぐって…
講師：高橋眞司氏
主催：佐賀カトリック正平協

◆熊本

■第67回熊本結婚準備講座
［日時］2月4日（月）～2月18日（月）毎月曜日と火曜日全8回19時～21時30分［場所］手取カトリック教会［問合先］手取カトリック教会☎096・352・3030 FAX 096・352・1515

編集後記

外を見ると雪が舞っています。久しぶりに本格的な冬の寒さの中で今月号の編集をしました。さすがに、暖房を入れないと指先がかじかんでキーボードをまともに叩けないほどでした。寒い寒い。

教区として、年末から新年にかけて、司祭やシスターの帰天が相次ぎ、暗くて寒いような1年の始まりでした。でも、新しい修道院、司祭新年会で見た元気な司祭の笑顔、そしてなにより、あの教会学校でのちびっ子たちが立派に成人したことを編集しながら、新年の初めは明るい、希望のあるものだと感じています。

いよいよ四旬節も始まりますが、明るい話題の記事を心からお待ちしています。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具　コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鵜木67－3
TEL 0942－77－3199
代表者　ペトロ 平田　清

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険
〒814-0153
福岡市城南区樋井川3丁目17－10
大石保険事務所　大石真澄
☎092-552-8195　Ⓕ092-541-7734

未来へ――安心を創る
藤木工務店
FUJIKI
福岡支店　〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-1-1　TEL 092-441-6585(代表)
取締役社長　大森　周　福岡支店長　城戸隆秀

カトリック 福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　田中重治
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

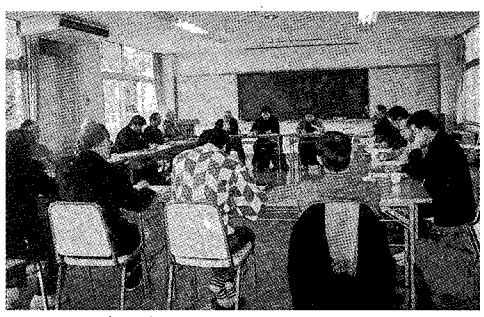
今月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】福音的愛徳となる社会活動のために
【布教の意向】アフリカ諸国民の和解と連帯
【日本の教会の意向】洗礼志願者とともに歩む

2月5日今年度第2回司祭評議会開催

宣教司牧評議会や神学校入学希望者の扱い等検討

福岡教区創立75周年／司教叙階銀祝なども


白熱した討議がつづく司祭評議会

初めに、松永久次郎司教から、前日に葬儀ミサがささげられた山川神父の葬儀に関し司祭方の協力に感謝すると共に、司祭自身の健康に気をつけて欲しいと挨拶があった。

報告事項として、まず、前回の司祭評議会で取り上げられた司牧評議会設立準備の経過が報告され、正式に準備委員会が発足したこと、名称を「福岡教区宣教司牧評議会」と決定したことが報告された。その後の委員会で、宣教司牧評議会について共通認識を深める作業が進められ、来年4月の正式設立を目指して話し合いを続けることが報告された。次に、小神学校入学希望者についての取扱いについて説明された。これは、是非小神学校に入りたいと申し出た小学6年生がいたため、教区長と話し合いの上、長崎大司教の了承のもと長崎のカトリック神学院（小神学校）にお願いすることになったためで、今後も教区として長崎カトリック神学院に入学希望する者がいる場合、①まじめに司祭職を希望している男子②主任司祭の推薦があること③長崎の南山中学か南山高校の入試に合格することにより神学院への入学が許可される。ただし、学費及び本人の小遣いは家族が全面負担することを条件とし、希望者は11月末日までに主任司祭を通して事務局に届け出ることになった。続いて、松永司教が長崎の補佐司教に叙階されたのが1977年2月5日で、来年が司教叙階銀祝になるので何かお祝いをするか検討して欲しいこと、また、3月9日寺濱神学生の祭壇奉仕者選任式が久留米教会で行われるので参加をお願いしたいと報告があった。

議事に入り、まず「召命をともに祈る会」について話し合われた。まず、召命担当の浦川務神父から会の設立経過説明がなされ、97年から信徒も参加してもらう形になったが、参加者は減っており、もう一度、会のあり方についてを考える時期に来ているのではないかという提案と各地区に召命担当司祭をおき、司祭自身も、そして小教区としても召命のために祈ることを大切にして欲しいと要望があった。まず、小教区に根ざした召命促進の活動を続けることと、一度、司祭が集って召命のために祈る機会を持とうという意見が出された。

次に、長崎カトリック神学院（小神学校）を神学院卒業後、大神学院に入学するまでどう取り扱うかが審議された。大半の意見は長崎にあるコレジオ（中神学校）にお願いした方がよいとの意見だったが、特別の世界として普通の社会人として生活させることも必要ではないかという意見もあった。また、コレジオは日本でも長崎にしかなく、今後、長崎管区、そして全国レベルでコレジオのあり方を考えていくようにすべきという意見も出された。基本として、神学院卒業後は長崎コレジオにお願いしてみることにし、本人の学力、適正を見た上で幅を持たせることとし、いずれにせよ、召命担当司祭を中心に司祭が積極的に関わり、指導していくことが確認された。

最後に、長崎教区から福岡教区が分離したのが1927年7月16日で、今年が教区創立75周年にあたるので、何かお祝いをするかが討議された。まず、75とは大きなお祝いかが問題となり、大げさなお祝いをする必要はないが、節目として何かお祝いをした方が良いという総意だった。そこで、具体的に何をするかが討議され、様々な行事が提案される一方で、単に記念行事だけでなく、霊的に内面を深める機会、雰囲気作りも大切、聖体奉仕者などの信徒の養成の場を考える、まずは戦前戦後、困苦欠乏の中で司祭信徒が一丸となって現在の教会の礎を築いた歴史を振り返ることの大切さも提案された。取りあえず、記念のミサはぜひ必要ということで、今年11月4日をメドに調整することになり、信徒の代表を加えた実行委員会を設立し、そこで具体的な企画を煮詰めてもらうこととし、実行委員長に司教総代理の川上惣一神父を選出し、委員選出については委員長に一任することになった。

世界青年の日
あなたがたは地の塩 世の光である。

2000年のワールドユースディに参加した日本メンバーの一部

皆さんに先駆けた証人や師のあとに従って下さい。神の掟に忠実であること、また、キリストが十字架上で流された御血をもって印をつけられた新しい契約に忠実であることによってのみ、新しい千年期の使徒であり、証人であり得るでしょう。
（世界青年の日教皇メッセージから）

時の話題

光の路

田丸　鋭

♪大空を渡る日の光は清く心地よき輝きに闇はうせゆく／光の路を踏みゆくわれら／とこしえに保たん明るき心　♪偽りも怠りも卑しき欲も／打ち破り浄むるは心の光／光の路を踏みゆくわれら／とこしえに保たん明るき心。

これは、ボーイスカウトが集会時に愛唱する歌で私も今奉仕しているスカウト活動でよく口にしています。スカウトに宗教心を継続させるための歌でもあります。

教会の祈りの中で、神の十戒を唱えるのに似ています。光という言葉から、闇夜を照らすことを連想します。

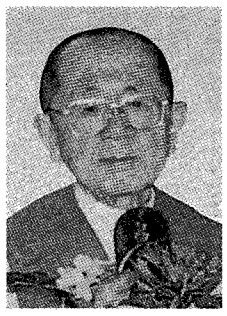
佐賀教会で毎月配布の機関紙『エクレシア』（教会→ギリシャ語）と一緒に渡される『心のともしび』のモットー《暗いと不平を言うよりも、すすんであかりをつけましょう》が思い浮かびます。

今私達は悲痛な事件をよく耳にする受難の時代にいると言えましょう。自殺者、路上生活者の気持ちも分からず、“自分さえよければいい”という考えではなく、神から遣わされた信者としての自分に誇りをもって、死の闇に一灯の光を灯していくことが大事だと思います。佐賀教会のある通りを町内ではエンジェルストリートと名付け、教会のある街として、町の誇りにしてくださっています。

聖霊の光を受けて、「自分にできることは精一杯やりなさい」との声を聞き、人々の奥底にある空を見つめながら、そこに神の慈しみを見いだしていくようプラス思考で光の路を踏んで行きましょう。

佐賀教会信徒

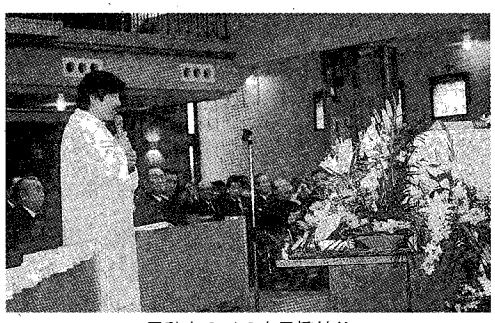
マテオ山川辰幸神父様お別れの日


山川辰幸神父

長崎で病気療養中だったマテオ山川辰幸神父が、2月2日（土）午後7時55分、入院先の長崎市の病院で、慢性腎不全、多臓器不全のため帰天された。享年73才だった。

山川神父は1928年長崎県下五島の水の浦出身、54年3月19日浄水通教会で司祭に叙階。その後、大名町教会・久留米教会の助任を経て、初代の吉野教会主任、新田原、西新、大名町、二日市教会の主任と付属幼稚園の園長を務めた。その間、新田原教会の聖堂、司祭館建設、糸島教会の創立に尽力し、教区顧問、司祭評議会評議員などを歴任するとともに、数多くの司祭、修道者を産み出した召命の父親であり、祈りの人、信者と共に歩む慈父だった。99年1月に病気療養のため宮崎カリタス会経営の長崎のケアハウスに移り療養中だった。

2月3日（日）午後、長崎教区の司祭やシスター、ケアハウスの在居者も多数参列し、ケアハウスで追悼ミサがささげられた後、福岡から迎えに行った司祭によって遺体は大名町教会に移され、同日19時より松永司教主司式のもと、40人の司祭団と300人の参列者によってしめやかに通夜がささげられた。翌4日（月）教区の司祭団と新田原や教区内外のシスターなど60人の信者が集まり、葬儀ミサ・告別式が荘厳にささげられた。


弔辞をのべる山元眞神父

山川神父の遺骨は8月15日の教区和田墓地ミサの際の納骨まで、司教館新館チャペルに安置されている。できれば日中お祈りに来て欲しい。

長崎大司教区補佐司教に
高見三明師

高見三明師

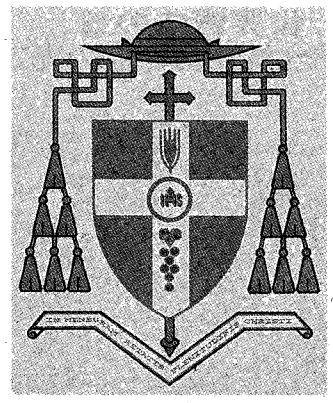
ヨハネ・パウロ2世教皇は2月7日、福岡サン・スルピス大神学院教授のヨゼフ高見三明神父（55才）を長崎大司教区補佐司教に選任したことを発表した。司教叙階式は4月29日（月）10時より浦上天主堂で行われる。それまでは被選司教と呼ばれる。

高見師は1946年長崎市三ツ山教会出身。1972年3月20日司祭叙階後、ローマに留学し、76年から大神学院の教授を務め、91年4月から97年3月まで院長を務めた。97年4月から一年間の休暇を取り、その間、本人の強い希望で吉塚、浄水通教会の司牧の手伝いをし、信徒の好評を得ていた。被選司教のために祈りをささげよう。

みちくさ

今年は年度末と復活祭が見事に重なる。ただでさえ忙しいのにという声をよく耳にする▼復活の主日はそもそも、イエス様がユダヤ人の過越祭の時に弟子たちと最後の食事をし、十字架にかけられ、3日目に復活したことに起源がある。この過越祭が春分の日の後の満月の日に当たるので、4世紀には復活祭は春分の日以降の満月の次の日曜日と定められた▼聖なる3日間と呼ばれる主の晩さんの夕べのミサ（聖木曜日）～主の復活の夕の祈りがいかに重要かはその意味あいを考えただけでも明らかである。まさに、実際にイエス様が味われた受難・死・復活を記念し追体験するだけでなく、その恵みを今ここにもたらす。そのためにも、日曜日を除いた40日間の準備の時を四旬節として教会は設けている▼西洋と違い、日本はちょうど聖なる3日間が年度末、年度始めの頃にあたるため、何かと落ちつかない。教会でも、決算、人事異動、幼稚園の卒園、入園式など慌ただしい時期である。信者だからといって会社を早退したり休むわけにもいかない。聖なる3日間の典礼にあずかるのはまさに至難の業なのかもしれない。それにしても、集まる信者の数が昔に比べると激減しているというのは何か寂しい▼イエス様は当時の社会に反抗したとして十字架につけられた。しかし、実際にはわたしたちの罪のゆるしのためにご自身をささげてくださった。わたしたちもしかたないで済ませてしまわず、何とかしてこの主の殉難・死・復活の恵みの時を共有する努力を惜しむべきではないのでは。（T）

2002年四旬節司教教書 聖母マリア


ヨセフ松永久次郎司教の紋章

†　聖父と聖子と聖霊のみ名によって　アーメン

二一世紀の初めに、信者の皆様の上に神の祝福を祈り、聖母マリアの御加護をお祈り申し上げます。天の祝福のもと、皆様が健康で、善きお働きを続けられるようお祈り申し上げる次第です。

さて、この度は、キリストの母、そしてキリスト信者の母なる聖マリアについて考えて見ることに致します。

聖マリアはキリストの救いのみ業の中で、大切な役割を果たして居られます。そして、それは私たち信者の希望であり、慰めでもあります。

一、キリストの母マリア

父なる神は御子をこの世にお遣わしになるに当たり、母として一人の女性・乙女マリアを選ばれました（教会憲章三二以下）。この神秘的な御父の選びのうちに聖マリアの秀れた聖性が基礎ずけられています。聖マリアは、原罪のいかなる汚れにも染まらずにこの世にお生まれになり、地上生活の間の神の聖心のままに生き、地上生活の道程を終えた後、肉身も霊魂もともに天の栄光に上げられました。この無原罪の御宿りと被昇天は、聖母マリアに無償で与えられた特別の恩典であります。

聖母マリアはお告げの時（教会憲章五六）、キリストの母となる使命をうけ、ベトレヘムにおけるキリストの誕生から十字架上のゴルゴタまで、母の務めを、忠実に細心の注意を払って果たされました。聖書の中で、聖母が何時もキリストのお側におられるのを（例えばルカ一一、二七）認めるのは、わたしたちの喜びでもあります。

二、キリスト信者の母なるマリア

あのゴルゴタで十字架上のキリストから、「婦人よ、ご覧なさい、あなたの子です。」（ヨハネ一九・二六）とのお言葉をうけ、キリスト信者の母となる使命を与えられました。そして選ばれたすべての人の永遠の完成の日まで（教会憲章六二）、その役割を果たして居られます。聖母マリアは休むことなく、わたしたちのことを心にかけられ、その配慮も怠ることはありません。

聖母マリアは穏やかな優しい心の持ち主でした。神の心に従うために、苦しいこの世の中にあってもその務めも全うされました。心を取り乱すことなく、怒ることなく毎日の働きを続けて行かれました。カナの婚礼の時、人々の心配を前取りして、何もなかったかのように、問題を解決してくれました（ヨハネ二・一以降）。周りの人々はマリア様の配慮に深い感謝の心を持ったことだと思います。

同じように、今もわたしたちのために、教会のために何くれと配慮し、取り計らってくださいます。天国に行ったとき、聖母マリアのご加護がわたしたちの人生の数多くの場所にあったことを確かめ、感謝の心に満たされることでしょう。たとえ今、わたしたちは自覚することがなくても聖母マリアへの感謝の心を持たねばならないと思います。

三、すべてのお恵みの執りなし手

聖母マリアはまた、すべてのお恵みの執りなし手でもあります。この意味で、「願いの全能者」と呼ばれることもあります。勿論、マリアは人間であり、全能者ではありません。しかし、御子キリストに対して力強い執りなしをすることで、すべてのお恵みをわたしたちに与えるからです。わたしたちは多くのお恵みを必要とします。どんなお恵みが必要であるかさえ知らないこともあります。わたしたちはすべてを聖母マリアに委ねてお願いする必要があります。

この世に生きているわたしたちは、まず心と体の健康を祈らねばなりません。わたしたちにとって未来は、多くの場合未知の世界です。わたしたちの明日のために、聖母マリアに祈る必要があります。

四、マリアに対する信心

聖母マリアに対する信心はたくさんあります。わたしたちは数多くの信心の中、どれかを選んで自分に習慣づけ、一生の自分の信仰生活の特徴とするようにしなければならないと思います。大人になっても、子どもの心を失わないで、母マリアの前で、子どもであることの喜びに、そしてその慰めに与ることが必要です。母マリアに対する子どもの心を決して失ってはならないと思います。

聖母マリアに対する信心は伝統的なものに、ロザリオの信心があります。わたしたちはこれを大切にして、聖母マリアを称え、その代祷をお願いするようにしなければならないと思います。

キリスト信者の毎日の務めを真心込めて果たし、聖母マリアの執りなしに未来をお任せして、大いなる希望を持って前に進みましょう。聖母マリアのお護りの中に確かな歩みを続けることが出来ると思います。わたしたちは、聖母マリアのご加護を願い、明るく頼もしい心で、信者としての歩みを続けてまいりましょう。

二〇〇二年　四旬節
教区長　ヨセフ　松永久次郎
福岡教区のみなさんへ

聖書と数2

新しい世紀のカテケジス⑪

中村　彰　神父

今回は前回に続き、聖書に出てくる数の象徴的な意味を考えていきます。まず8は、完全、完成を意味する7の次にくる数なので新しい始まりを意味します。ペトロの手紙一の3章20節にノアの箱船に乗り込んだ8人だけが救われましたとあります。洪水によって人類を滅ぼした神は、8人から新しい人類を起こされます。また創世記21章4節には、アブラハムが神から命じられたとおり8日目に息子イサクに割礼を施したとあります。割礼は唯一の神を信じるユダヤ教の男子が全員受ける、契約のしるしでもあります。またキリストは週の初めの日、8日目に復活されました。

10は人間の指の数できっちりと数えられる数です。減らすことも、増やすこともできません。出エジプト記20章に十戒が出てきます。神との契約は忘れられない数で、減らすことも増やすこともできません。またマタイ福音書25章には10人のおとめのたとえ話があります。5人の賢いおとめと5人の愚かなおとめの違いは決定的です。

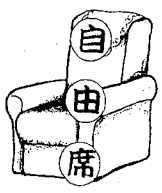
12は神の民イスラエルの部族数を表わす数で、完全を意味しています。1年が12ヶ月に分けられることから、12でひとまとまりの完全数としたと思われます。あるいは神の世界を表わす3と自然界を表わす4をかけると12になるからかもしれません。旧約聖書ではホセアからマラキに至る小預言者は12人います。新約ではキリストも新しい神の民の使徒として弟子の中から12人を選ばれました。黙示録21章には新しいエルサレムの描写として12と12×12の144、12×1000の12000という数字が出てきます。神の国の完成された姿を表わしています。

最後に40はまず一世代を意味します。エジプトを出たイスラエル人はシナイの荒れ野を40年間旅しました。エジプトを出た世代が亡くなるまで荒れ野に留まったということです。また、この期間に様々な苦難や試練にあったので、試練の期間も意味しています。創世記7章のノアの洪水の物語では、四十日四十夜地上に雨が降りました。また出エジプト記24章でモーセはシナイ山に四十日四十夜留まりました。新約ではキリストは公生活の前に40日間、試練の時を過ごされました。教会が復活祭を準備する40日間を四旬節とするのはここから来ています。

聖書に出てくる数は象徴的な使われ方以外にもたくさんあります。どうぞ勉強してください。

健軍教会主任司祭

誘導ブロックを頼りにしている人がいます



柚木　智子

「障害者」と聞けば、どのような方を思い浮かべますか。「障害者」といえば、何をイメージしますか。

私たちのまわりを見渡して下さい。生まれつき障害をもっている方もいらっしゃれば事故や病気で障害をもたれた方もおられます。今、障害がなくても、事故や病気で障害者となる可能性は誰にでも多分にあります。視覚・聴覚・肢体・内臓・精神など…障害を持っているということは、不幸なことではありません。多少不便ではあるかもしれませんが、手話や車椅子など補うものがあれば不自由はしません。

「障害者」に対する言葉で「健常者」があります。障害を持たない「健常者」は、本当に「健常者」なのでしょうか。

現代社会は健常者中心の社会です。障害者が街中を移動するにはかなりの問題があります。ハード面では最近見直されつつありますが、現状はまだまだです。

視覚障害のための道標である誘導ブロック

それ以上に問題なのが、「健常者」の心無い対応です。歩道に付いている誘導ブロック（黄色の突起物）は、視覚障害者のための道案内です。線状のブロックは進め、点状のブロックは止まれです。

一度目を閉じて誘導ブロックを歩いてみてください。ブロックの上に、自転車やバイク、ひどい時には車が駐車されています。この状態で安心して歩けるでしょうか。聴覚障害者は外見だけでは健常者と何ら変わりません。声をかけられても聞こえないので、当然反応しません。ですが、そうとは知らない人は何て感じの悪い人なんだろうと誤解をしてしまいます。

その他様々な誤解・偏見を持たれているために、「障害者」と「健常者」の間に厚い壁を作っているように見えます。

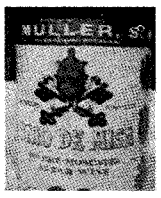
「健常者」は自分をいつも中心に考え、自分より恵まれている人を羨ましがり、自分より劣る人を差別する傾向があります。それは、「心の障害者」ではないでしょうか。

同じ立場で自他の良さを認め合い、助け合い、支えあうことから住み良い社会が成り立って行くのだと思います。

教会は小さな社会です。赤ちゃんから高齢者までさまざまな方が集り、学校もあります。まずは、教会の中から誤解や偏見を取り除いてみませんか。

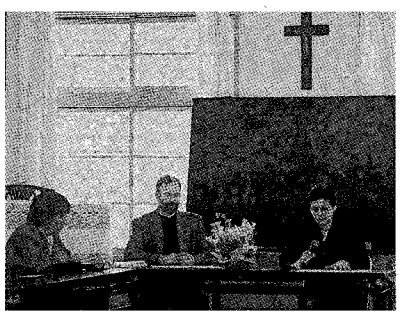
大名町教会信徒

むなかた祈りの森
グループ・個人の黙想、研修会等に…
カトリック福岡黙想の家
PRAYER GROVE MUNAKATA
聖堂／洋個室(洗面トイレ付)／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ　デ　ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社　大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑 (SOU-EN)
ご葬儀
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

熊本諸宗教対話研究会グループ
イスラム教について学ぶ
熊本


諸宗教対話集会で話すフランコ神父とSr.マリア

昨年12月2日に熊本の手取教会で諸宗教対話研修会が行われた。

研修会のテーマは「イスラム教について」。このテーマは前もって決められていたものだがたまたま、9月のテロ事件もあり、人々の関心がイスラム世界に向けられていたこともあって70人以上の参加者があった。

講演を始める前に、講師のS・フランコ神父（生命山）は、フランシスコの「平和の祈り」に続いてイスラム教が一番大切にしている「開扉（かいじ）」を全員で唱和した。

講演の内容は(1)現在のイスラム社会、(2)開祖ムハマドについて、(3)教義の内容…五行（①信仰告白・②祈り・③喜捨・④断食・⑤巡礼）、(4)イスラム教における宗教と政治の特別な関係等が話された。

現在、新聞やテレビで毎日放送されているアフガニスタン、イスラムの社会、その内情、世界状況について改めて知り、考え、キリスト者としてどの様に対処すべきかを考えさせられるものだった。

講演の最後にフランコ神父は「教会は真理を守るために戦った時代もあった。真理は大切です。同時に人間の尊厳や自由は守られなければならない。戦争によってではなく、宗教間の対話、相手を受け入れ尊重する対話の道が今こそ求められている。」と結んだ。

聖パウロ修道会／サンパウロ社新築移転記念
難民支援チャリティーコンサートに600人
福岡

感動を胸に会場を出る聴衆

アフガニスタン難民支援チャリティ・コンサートが、2月8日（金）大名町教会聖堂を会場に催された。このコンサートは、聖パウロ修道会とサンパウロ社が赤坂（福岡市中央区）への新築移転を記してアフガニスタン難民に対する多くの人々の関心と思い、そして祈りを少しでも深めることができればと主催し、その主旨に共感した大阪の、オルガニスト当間修一氏と同氏によって創設されたシンフォニア・コレギウム大阪、そして大阪ハインリッヒ・シュッツ室内合唱団が喜んで演奏会を引き受けてくれたことによって実現した。当日はあいにくの雨にもかかわらず、各地から600人近くの人が足を運んだ。

また、この企画に賛同した大神学生や大名町教会の青年や信徒などがボランティアで会場準備や整理にあたった。

合唱団男子のグレゴリオ聖歌「レクイエム」で開幕した演奏は、演奏者の平和への祈りが聴衆にも深く伝わるものだった。第2部で演奏された池辺晋一郎作曲の「レクイエム　いのちこそ」は、戦争の悲惨さと犠牲者への追悼の念を強く抱かせた。最後に、聴衆も一緒にBelieve（NHKテレビの「生もの地球紀行」テーマソング）を歌い、世界平和への熱い思いを全員で共感する一時だった。

参加した人からは、期待以上のコンサートで圧巻だったとか、改めて難民のために祈ろうという気持ちになったなど感激した感想が聞かれた。なお、収益金は全額アフガニスタン難民支援活動を行っているNGOに寄付されることになっている。

佐賀正平協が2月11日に集い
佐賀

平和をともに考える2月11日佐賀の集い

佐賀カトリック正義と平和協議会主催による「平和を共に考える2月11日佐賀の集い」が2月11日（月）午後1時30分より佐賀カトリック幼稚園講堂で開催された。

講師は長崎大学教育学部教授で、昨年カトリックの洗礼を受けた高橋眞司氏。演題は「信仰と政治」―核兵器の道徳性と合法性をめぐって―。

原爆によって罪のない人がむごい死を強制された。被爆者は原爆地獄を証言し、それをつくってはならないという使命感がある。

1963年12月7日、東京地裁において、原爆は国際法違反であるという「判決」が下された。1996年7月8日、国際司法裁判所（ICJ）において、核兵器の道徳性と合法性が否定された。

1980年12月11日、原爆被爆者対策基本問題懇談会は「受忍論」を打ち出し、いまだにその根本的考えは変わっていない。

「正義、正義を追い求めよ！」（申命記16・20）

「平和をつくる人々は幸いである。その人たちは神のこと と呼ばれる」（マタイ5・9）

キリスト者として活動することは世の姿を変える事である。平和を創造する事である。

信仰者は政治にどのように向き合うのか？　今、真に日本と世界の状況を見るにつけ問われていると熱く語った。

話の内容が難解ではあったが、一つのきっかけとして今後の活動の糧となったことは間違いなく、充実した一日であった。

キリスト教一致祈祷集会
福岡

受付奉仕の朝祷会メンバーとドワイヤー神父

1月24日（木）19時から、キリスト教一致祈祷週間にちなみ、今年のテーマ『神よ、命の泉はあなたにある』（詩編36・10）のもと、日本基督教団渡辺通教会で「祈祷集会」が開かれた。主式は聖公会の浜生牧師、説教を大名町教会主任の青木悟神父が行った。

カトリックから信徒、教区や宣教会、修道会の司祭など20人、キリスト教各派の信徒や牧師が30人ほど集り、熱心な祈りが捧げられた。

共同祈願の後、平和のしるしの交換としてカトリック・聖公会共通訳の「主の祈り」を全員で唱えた。

準備委員会は数十年前から地道に続けられている各宗派が参加する「朝祷会」のメンバーによってなされた。

朝祷会とはキリスト教各派の信者が現在は九州キリスト教会館（福岡市舞鶴）に毎週月曜日の早朝から集り、祈りを捧げた後、朝食を取りながら互いの理解を深めるエキュメニカル運動である。

ひとりの宣教師が証の場を求めて
日本で歩んだ道 II

友達がマスコミについて興味を持つようになり、別の道を選んだ時、私は、働く青年のことを考えて、JOC（カトリック青年労働者連盟）と協力するのを求めました。当時JOCと協力した司祭たちから広い心で受け入れられて、兵庫県の姫路と高砂で、社会の現状を青年たちと共に体験しました。その時、初めに借りた家で、後で高砂の『働く人の家』に住んで、1977年からある土木関係の小さな会社に日雇人として雇われることになりました。それから12年間にわたって、週に3日間ぐらいの程度で、いろんな現場を回ったり、いろんな人と一緒に働いたり話したりすることができました。宣教師である私にとって、どれほどこの体験が大切であったかということを表すために、次のエピソードで述べたいと思います。

ある日、他の仲間と一緒に古い家を解体するという仕事をしていました。埃のなかで、床にあった解体された部分から出る釘を踏まないように警戒しながら、天上から突然何か落ちるかもしれないと考えて緊張していました。その上、その日は安全のためにかぶるべきヘルメットが私たちに渡されなかったのです。しかし、昼前に、元請会社の監督が来て、現場の外の埃のない安全なところに立ち、あれこれと命じていました。彼はちゃんとヘルメットをかぶっていました。結局、私は現場の状態を知らない、外から指導するあの監督と同じようになりたくないのです。

1997年NICEの時に出された日本の教会の方針を喜んで受け入れました。一昨年、4年間フィリピンの現状を体験してから日本に戻り、光丘の共同体と共に歩み、福音宣教を優先し、社会と共に歩み、小さな人々を大事にすることを目指しています。前の体験を大事にして『自由な出会い』のすばらしさにいつも目覚め『現場の状態を知らない監督』にならないように気をつけています。　G・ブルニ神父（光丘教会主任）

BOOK 読みは専科

★聖書を生きる3
―愛といのちと神のはからい―
問瀬　雅夫　著
ドン・ボスコ社　発行

「聖書を生きる」「聖書を生きる2」につづく、3部作シリーズの締めくくりにふさわしい新刊。人生で最も関心のある「愛・結婚・性・いのち・生と死」などの大切な問題をカトリックの観点から述べた本書は、思春期にある若い人々にはもちろんのこと、人生を深く考える人々にも勧められる。倫理や宗教の授業にも使用されている。

本体　650円

◇　◇　◇

★砂漠の呼び声
イエスの小さい姉妹
マドレーヌの伝記
キャサリン・スピンク著
関本　肇訳

この伝記は、二十世紀を神の導きのまま生き抜いた小さい姉妹マドレーヌの生涯に刻まれた神の軌跡をたどる。世界の隅々に「友愛の家」を建て、その実現のための緊張と苦難に満ちた歩み…。それは、貧しき人々のただ中に溶け込み生きる。観想修道会生活の新しい一つのかたちを示している。

サンパウロ
税抜き1800円

ジャパンスマイルか
株式会社
不動産／管理・仲介・売買・建設／一般建築
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL092-761-8800
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

吉田設計
株式会社
建築設計／企画・設計・監理
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-7
TEL092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811-7265

感謝と賛美のために
祭服、聖器具、聖像
信心用品、ベール、
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092-526-9176

キリストの愛をかかげて前に進もう！

マグリン神父のゆるしの秘跡

日　時：毎月第1と第3土曜日
場　所：大名町カトリック教会小聖堂

2001年度教区聖書講座開講中

3月17日　聖書と教会の歴史　硫黄　隆二神父
4月28日　聖書と教会の掟(教会法)①　松永久次郎司教
5月26日　聖書と教会の掟(教会法)②　松永久次郎司教
会　場：カテドラル／大名町カトリック教会
※できるだけ聖書をご持参ください。
時　間：第4日曜日14時～16時　費　用：各500円

熊本地区神学講座開催中　第1期

◆3月10日　教会法入門　青木　悟神父
※第2期は5月12日から開講。
問合先：☎096・352・1515　手取教会　日向

若者よ／2002年7月トロントに行こう！

第17回ワールドユースディトロント大会 日本公式団体参加希望者募集中！

○日　　程：2002年7月21日～31日
○参加資格：18才～35才
○費　　用：約25万円
○福岡教区申込窓口：健軍教会・中村彰神父
☎096・368・2825
※信徒の皆さん、この大会は、後継者である若者が世界のカトリック者と教皇に出会い、神様に触れるチャンスです。協力してあげて下さい。
※枝の日の世界青年の日のメッセージで教皇は青年たちに「あなた方は地の塩、世の光です」と、そしてトロントで会いましょうと呼びかけられています。

聖霊による刷新セミナー

(3)3月4日《新しい生命》　青木　悟神父
(4)3月11日《神の賜物の受領》小池如安神父
(5)3月18日《聖霊の満たし》　マッケイ神父
(6)3月25日《聖霊の内での成長》ドワイヤー神父
(7)4月1日《ミサ／キリストの証人》
松永久次郎司教
ところ：カテドラル大名町教会1階講堂
時　間：期間中毎週月曜日10：30～12：30
参加費：自由献金
主　催：聖霊による刷新セミナー事務局
問合先：事務局（☎092-522-5139床嶋）

案内版　会合と催し

福岡黙想の家　3月

◇2日(土)　若松教会教会学校十字架の道行き
◇2日(土)～3日(日)　四旬節の黙想会（来住神父）
◇5日(火)　マテオ神父の『祈りの学校』
◇9日(土)～10日(日)　在世カノッサ会
◇11日(月)～12日(火)　伊都教会・牧師の集い
◇16日(土)～17日(日)　四旬節の黙想会（マテオ神父）
◇18日(月)～20日(水)　御受難会共同体の日
◇23日(土)～24日(日)　四旬節の黙想会（来住神父）
◇27日(水)　ミカエル会
◇28日(木)～31日(日)　聖週間と御復活の黙想（鈴木神父）
4月
◇1日(月)～5日(金)　オブレート会
◇2日(火)　マテオ神父の『祈りの学校』

一寒さにも関わらず木々の若芽はしっかり芽吹いています。四旬節中に一度は静かな一時を家族や友人と。お待ちしています。
[問合先] 黙想の家　☎0940・32・3222　FAX32・3385

生命山カトリック別院

※祈りの集い
・3月14日(木)　10時～15時
・4月11日(木)　10時～15時
テーマ：キリストに出会った人々
指　導：Sr.マリアとS.フランコ神父
※黙想会

日　時：3月8日(金)　16：00～10日(日)　14：00
テーマ：十字架の神秘と座禅
指　導：S.フランコ神父
※静寂の中での祈りと、遠く有明海をのぞむ山の頂上で迎える朝。
[問合先]・生命山カトリック別院
☎0968・85・3100
FAX0968・85・3186

3月のこよみ

3日(日)　四旬節第3主日
笹丘カトリック幼稚園落成祝福式
5日(火)　松永司教霊名の祝い［浄水通教会11時］
6日(水)　†H.ジョリ［久留米教会1966］
9日(土)　寺濱神学生選任式［久留米教会11：00］
10日(日)　四旬節第4主日
12日(火)　†F.M.ヴェイヨイ［唐津教会1973］
16日(土)　†L.M.ベリボ［箱崎教会1977］
17日(日)　四旬節第5主日
長崎信徒発見記念日
19日(火)　聖ヨセフ　松永司教霊名祝日
†J.ベラス［水俣教会1990］
†M.ボネ［新田原教会1959］
24日(日)　受難の主日（枝の主日）　世界青年の日
25日(月)　受難の月曜日
26日(火)　受難の火曜日
聖香油ミサ［カテドラル15：00］
†J.ドイル［荒尾教会1982］
†J.ムルグ［小倉教会1989］
27日(水)　受難の水曜日
28日(木)　聖木曜日
主の晩餐のタベのミサ［カテドラル19：00］
29日(金)　聖金曜日（主の受難）　大斎・小斎
聖地献金日
30日(土)　聖土曜日
復活徹夜祭［カテドラル19：00］
31日(日)　復活の主日
4月
7日(日)　花岡山殉教祭　ゴチックは司教日程

◆福岡

■福岡祈りの集い
［日時］毎週月曜11時～12時30分［場所］カトリック大名町教会［内容］聖霊による祈り◎2月18日（月）から7週間連続の集いが始まっています［問合先］☎092・522・5139ブラザー床嶋

■グレゴリオ聖歌を歌う集い
［日時］3月6日（水）11時12時15分［場所］浄水通教会聖堂［講師］坂田孝子氏［参加費］自由献金［問合先］☎096・380・5686堺

■召命を共に祈る会
［日時］3月14日（木）14時30分［場所］召命の家［指導］浦川務神父（召命担当）［次回］4月18日（木）

■第18回福岡ホスピスの会
［日時］3月17日（日）14時～16時半［場所］カトリック大名町教会4階［テーマ］高齢者のターミナルケア［講師］今林恵美子氏（原土井病院総看護婦長）［参加費］会員500円／一般700円［問合先］☎092・731・3701福岡ホスピスの会事務局［次回］5月12日（日）

■ヨアキム・アンナ信心会
［日時］3月21日（木）［場所］高宮カトリック教会［指導］小池如安神父［内容］ロザリオ・黙想・ミサ［問合先］☎092・542・6180小田部

■在世フランシスコ会集会
［日時］3月24日（日）14時～16時［場所］カトリック高宮教会集会所［内容］アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習［指導］小池如安神父［問合先］☎092・843・5831岩崎

■生と老い死を見つめる会
［日時］3月24日（日）14時から［場所］カトリック大名町教会［内容］障害を持った人と共に生きる［講師］松岡美紀氏（理学療法士・麻生リハビリテーション専門学校教員）［語り合い］死別体験者の集い［参加費］一般700円／会員500円［問合先］☎092・713・8523大山・・6072・6992村尾

■黙想会
［日時］4月7日（日）13時～16時［場所］聖パウロ修道会［内容］講話とゴミサ［指導］パウロ会鈴木信一神父［参加費］自由献金［主催］聖パウロ修道会・協力者会［問合先］☎092・721・2031聖パウロ修道院永富神父※どなたでも参加出来ます。

■第26回カナの会出会の集い
［日時］4月7日（日）11時～16時［場所］むなかた祈りの森（黙想の家）［指導］鈴木忠一神父（黙想の家）［対象者］20歳以上の独身男女［参加費］昼食費含め2000円［申込み締きり］3月31日［問合先］☎092・771・0793前野良子

■第86回福岡結婚準備講座
［日時］5月8日（水）から6月1日（土）まで毎週水曜日と土曜日の全8回／19時～21時30分［場所］カトリック大名町教会［問合先］カトリックファミリーセンター☎092・541・6207FAX552・5022

■美野島司牧センターから
衣類のカンパをお願いします。特に冬用の男性用ズボン・ジャンバー・靴下などの衣類・洗面道具・靴をよろしくお願いします。女性用の衣類は間に合っています。また、金曜日の男性ボランティアも募集しています。衣類を頂きに来た人に出してあげたり、整理のお仕事です。
［問合先］コース神父☎092・431・1419

◆北九州

■小倉祈りの集い
［日時］3月15日（金）13時30分～15時［指導］V・マテオ神父（御受難会）［場所］小倉教会信徒会館2階［内容］「みことば」をあじわい祈る［問合先］093・452・1556安藤

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
［日時］3月14日（木）10時～11時30分［場所］佐賀カトリック会館［内容］祈り［問合先］☎0952・72・7536吉田［次回］3月23日（土）10時～12時はミサと祈り：毎月第2木と第4土曜日に集まっています。どうぞご参加下さい。

■聖書を読む会
［日時］毎月第1木曜日、午前の部10時～11時半／午後の部19時半～21時［場所］佐賀カトリック会館［内容］「創世記」を読む［講師］A・アレグリーニ神父［テキスト］聖書［参加費］無料［問合先］☎0952・23・4754阿南

◆熊本

■第68回熊本結婚準備講座
［日時］5月7日（月）～6月3日（月）毎月曜日と火曜日全8回19時～21時30分［場所］手取カトリック教会［問合先］手取カトリック教会☎096・352・3030FAX096・352・1515

寺濱亮司神学生祭壇奉仕者に

日　時：2002年3月9日(土)　11時～
場　所：久留米カトリック教会
被選者：寺濱亮司神学生
（久留米教会出身）
☆寺濱神学生のためにお祈り下さい。
また、教会学校の子どもや侍者会の出席を待っています。

編集後記

暑いのやら寒いのやら分からない天気が続き、乾燥し切った空気で皮膚もパリパリになるなど、2月として本当に体調を管理するのが難しかったように感じますが、皆さんはいかがでしたか？

ところで、この教区報は新聞なので、限られた時間と字数で、特に記事を書くのは難しいことです。原稿をお願いしても「私にはちょっと」という方がたくさんいます。そういう中、今年度「新しいカテケジス」ということで原稿連載に挑戦して下さった伊東成晃神父様、中村彰神父様どうも有り難うございました。皆さんも、ぜひ難しくても原稿にチャレンジして下さい。そして、写真もお寄せ下さい。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具　コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鵜木67－3
TEL　0942－77－3199
代表者　ペトロ 平田　清

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険
〒814-0153
福岡市城南区樋井川3丁目17－10
大石保険事務所　大石真澄
☎092-552-8195　Ⓕ092-541-7734

FUJIKI
未来へ――安心を創る
藤木工務店
福岡支店　〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-1-1　TEL 092-441-6585(代表)
取締役社長　大森　周　福岡支店長　城戸隆秀

カトリック 福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　田中重治
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

今月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】現代世界における家庭の召命
【布教の意向】勇気と励ましの源である
現代の殉教者
【日本の教会の意向】司祭、宣教者・修道者への召命

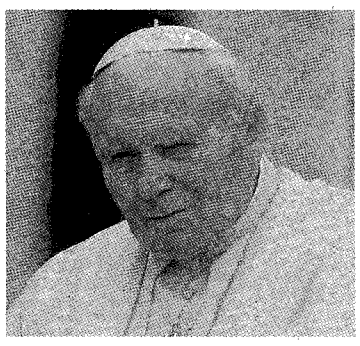
レンブラントの『エマオの夕餉』から

アレルヤ　アレルヤ　アレルヤ！
主は復活し私たちの間に住んでおられます！

ヨハネ・パウロ二世教皇メッセージ
世界召命の日　「聖性への召命」

1.「神に愛され、召されて聖なる者となった」皆さんに、「わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように」（ロマ1・7）。

ローマのキリスト者に送られた使徒パウロのこのことばが、今回の世界召命祈願日のテーマである「聖性への召命」へと私たちを導きます。《聖性》旧約の『レビ記』が想起するところによれば、聖性は恵みであり、信者一人ひとりの目標です。「あなたたちは聖なる者となりなさい。あなたたちの神、主であるわたしは聖なる者である」（19・2）。



私は、使徒的書簡『新千年期の初めに』の中で、「聖性を目標として司牧計画を立てる」ように招きました。それは、「洗礼が人をキリストに一致させ、聖霊の住まいとさせることによって神の聖性に招き入れることである限り、その人が最低限の倫理観と底の浅い宗教観を表面的に生きる安易な生活で満足するのは矛盾である、という信念」を表明するためです。そしてまた、「普通のキリスト教的生活の『気高さ』を、信念をもって新たに提示する時です。教会共同体生活およびキリスト者家族の生活はすべて、これに方向付けられていなければなりません」（31）。

教会の第一の務めは、聖性の道で、キリスト者を助け導くことです。それというのも、信仰の知性によって照らされた信者たちが、キリストのみ顔を知ってこれを観想することを学び、また、キリストのうちに、自分の真のアイデンティティーと、主が一人ひとりに委ねられた使命を見いだすためです。そのようにして、彼らは、「使徒や預言者という土台の上に建てられています。そのかなめ石はキリスト・イエス御自身であり、キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて成長し、主における聖なる神殿となります。」（エフェソ2・20―21）

今年の聖なる3日間の典礼を通して、イエス・キリストの復活の命に与った方は、福岡教区内でも1万7千人近くに及びます。そして、復活徹夜祭の中で洗礼を受け、復活の命に生きるものとなった新しい大人の兄弟たちも100人近くになります。この喜びを、これからの生活の中で私たちは深めていくことが大切です。復活されたイエス・キリストは、復活の体を受け、全世界、全時代に生きる人々と共に歩む方となられたからです。エマオに向かう弟子たちが最初は気づかなくても後であの方がイエスであったと分かったように、私たちも日々の生活の中で起る様々な出会い、出来事を通して、復活されたイエス様に出会っています。その出会いに気づく体験を繰り返す内に、復活の喜びはより深くなっていきます。光の内に歩みましょう！

（つづき全文は2面）

時の話題
Sr. 村木　敏子

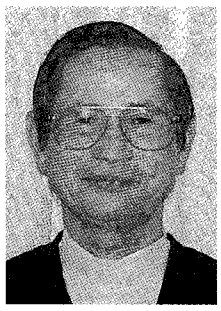
嘘も方便？

〝牛肉は今、買わないで〟〝産地記入があるから大丈夫〟〝いや、この頃の日本人は嘘をつくからね〟こんな会話がまさに的中してしまった今日この頃である。雪印食品、続いては鹿児島の鶏肉偽装騒ぎ、あちらの食品、こちらの食品もと、連日、新聞をにぎわしている。もう、どの肉も危なくて食べられない。

いつ頃から、日本人がかくも正直でなくなってしまったのか？いつ頃から嘘がこんなに日常化してしまったのだろう？いや、日本には嘘を正しとする考えが昔からあったのではないのか？〝嘘も方便〟と。人は生きねばならぬ。そのため、わが会社は存続しなくてはならぬ。仕事の成功のためには手段も選ばず、嘘も方便だとすれば、人の言葉はどこまで信じてよいのか、誰が線を引けるのだろうか？どうしても発言に困ることはある。その時には黙することはできる。どうしても黙すことができない時は、〝二重真理〟という逃げ場は許されている。（発言者と聞き手がそれぞれ異る解釈ができる言葉を使う）しかし、言葉を発する以上は、真実でなくてはならぬということが求められている。まして、人の健康を直接左右する食品表示においては、正しくあってほしいのは当然のことである。自分の属する会社の存続、発展は、生きるために大切なことである。が、人の健康という代償を要求する権利は、人にも会社にもないはずである。私は〝嘘も方便〟という言葉が日本人を狂わせていると思っているが如何であろう。

（幼きイエス会会員）

ミカエル平田寛神父の葬儀ミサに700人



平田寛神父

門司教会主任司祭・門司聖母幼稚園園長のミカエル平田寛神父が3月7日（木）21時10分、胸部大動脈解離のため帰天された。享年61才だった。

平田寛神父は1941年3月3日三井郡北野町生まれ、今村教会で受洗、1967年3月15日に司祭に叙階。その後、新田原教会助任として赴任直後にバイクによる事故で足を切断しなければならないかもしれないけがを負うが奇跡的に回復し、健軍、福岡小神学校、大名町、吉塚、小倉、久留米教会の助任司祭を経て、湯川教会主任、小倉教会主任を務め、2000年4月から門司教会の主任司祭を務めていた。その間、教区顧問、司祭評議会評議員、教悔師、カトリック看護連盟担当、社会福祉法人カトリック社会事業協会理事長などを歴任し、常に社会の中にあって弱い人、困っている人に手を差し出す司祭として飛び回り、亡くなる直前まで元気に活躍していた。

兄弟である司祭たちに担われて…

突然の訃報だったが、3月8日（金）19時から大名町教会に遺体を移して松永久次郎司教主司式により、通夜が営まれ、50人の司祭と500人の参列者が故人を偲んで祈りをささげた。翌9日（土）には健軍時代の主任司祭だった前大分教区長平山高明司教を始め60人の司祭と700人の参列者で聖堂が埋め尽くされ、荘厳に葬儀ミサ・告別式がささげられた。

平田寛神父の遺骨は8月15日の教区和田墓地ミサの際納骨されるまで、司教館新館チャペルに安置されている。

寺濱亮司神学生が祭壇奉仕者に選任

3月9日（土）14時30分より寺濱神学生の出身教会である久留米教会（主任三村邦明神父）で、松永久次郎主司式の祭壇奉仕者選任式ミサがおこわなれた。祭壇奉仕者は、ミサの中で司祭を助け、祭壇周りの仕事や聖体拝領の手伝いをし、病人に聖体を運ぶ務めを正式に頂いた者となる。午前10時からの予定だったが、奇しくも平田寛神父の葬儀ミサと重なり、時間を午後に移しての式だった。ちょうど平田神父が久留米教会助任の時、可愛がってもらう中で司祭召命を感じた寺濱神学生にとっては複雑な心境であったが、平田神父の意志を引き継いで、司祭を目指してこれからも頑張りたいと決意を新たにしていた。

みちくさ

一年は一月から十二月まである、そしてひと月には通常三十の平凡な日が続く。また、四季は春夏秋冬と並び決して違うことはない。思いがけない寒暖変化の違いが見られることはあるが、四季の歩みは厳として残る▼人生には幼年期、少年少女期、青年時代・壮年時代、そして熟年期、老年期と続く。一つの年齢に好ましいことは必ずしも他の時には相応しくない。その時その時の特徴と必要があり、わたしたちはそれぞれの時に相応しい対応を考えねばならないのだ▼年をとって今思うことは若かった時代に、朝の黙想の方法を良く身につけておくべきだったと思う。毎日過ぎる時間を自分自身の進歩に大きく寄与できたであろう。どれほどの時間を素晴らしく活用出来たであろうと思うとき、残念である▼ああいうときは初めにこそ自分のものにしておくべきだったのであると思う。あのときの指導者たちはどうしていたのだろう。その責任は誰が取ってくれるのだろう▼物には時があり、果物には旬がある。旬のものこそ最高の味である。最高の味を贈るためには、努力するとともに、時を待たねばならない。人間の真心と時の実りがあってこそ優れた産物となるのである。単なる速成栽培であってはならないのである▼ビニールハウスのせいだろうか、近頃は年間を通じて四季の果実をいただくことが出来るようになった。だけどその味はどうだろう。季節の感覚は大丈夫だろうか。いわば季節に逆らって実る西瓜は季節本来の味を具えているだろうか。季節が与える味を神のお恵みとして、造化の神の贈り物として、心ゆくまで味わいたいと思う今日である。（M）

聖性への召命

教皇ヨハネ・パウロ二世「世界召命祈願日」メッセージ

〈1面から〉

教会は、あらゆる召命を自分のうちに集めます。召命は、神がご自分の子らの間に起こされるものであり、教会自身、聖なる三位一体の神秘の光り輝く反映として召されています。教会は、「父と子と聖霊の一なる神によって一つに集められた民」です。教会は自らのうちに、み名を聖化し、み旨を完成するようにとすべての人を招く御父の神秘を宿しています。また、教会は、神の国を知らせるようにと御父から遣わされた御子の神秘、ご自分の弟子になるようにとすべての人を招く御子の神秘を保護しています。さらに、教会は、御父が御子イエス・キリストを通してお選びになった人びとを、使命のために聖別する聖霊の神秘のいわば宝庫なのです。

教会共同体が、主から受けたあらゆる召命を表現する場であるということから、2002年4月21日、復活第4主日に行われる世界召命祈願日にあたり、北米において、司祭・修道者のための第3回アメリカ大会が開催される予定です。新しい福音宣教の核をなす問題点の一つに取り組もうとする、アメリカの教会およびアメリカ大陸圏のこの大会主催者と参加者の方々に私の心からの喜びと祝賀の意を表し、本大会の成功を祈りたいと思います。この重要な大会が、「新世界」のキリスト者の間に、召命への新たな努力と寛大な熱意を燃え立たせることができるよう、皆さんもお祈りください。

2. 教会は「聖性の家」であり、その魂は聖霊によって吹き込まれたキリストの愛です。教会において、すべてのキリスト者は神のことばを聴き、祈り、熱心に秘跡に近づき、一人ひとりの兄弟のうちにつねにキリストのみ顔を尋ね求めながら、各自の召命を発見し実現するよう、互いに助け合います。このようにしておのおの、いただいた賜物に応じて信仰の道を進み、希望に燃え、愛に励みます(『教会憲章』41参照)。一方、教会は「イエス・キリストの神秘の無限の豊かさを明らかにし、また新たに体験させ」(『信徒の召命と使命』55)、神の聖性を、人間生活のあらゆる身分と状況の中に浸透させます。それは、すべてのキリスト者が、主のぶどう畑の労働者となり、キリストの体を建てあげるためです。

しかし、教会におけるあらゆる召命が聖性への奉仕のためであるとしても、その中の幾つか、例えば叙階されて役務に携わる司祭職への召命や奉献生活への召命などは、まったく特殊な形をとっています。そこで今日は、これらの召命に特別に注目し、いっそう熱心に祈るよう皆さんを招きたいと思います。

司祭職への召命は、「本質的に叙階の秘跡に由来する聖性への招きです。聖性とは神との親密さであり、貧しく、貞潔で、謙虚なキリストに倣うことです。それは無条件で魂を愛すること、魂の真の善のために自らをささげることです。さらにまた、それ自体聖であり同時にわたしたちが聖なる者であることを望む教会を愛することです。これはキリストが教会に託した使命です」(『現代の司祭養成』99)。イエスは、特別な親しさのうちに(ルカ8・1―2・22・28参照)「自分のそばに置くため」(マルコ3・14)に使徒たちをお招きになります。それは、彼らを単に天の国の神秘に参与させる(マタイ13・16―17参照)だけでなく、より高尚な忠誠を彼らから期待し、彼らを、招かれた使徒的役務にふさわしい者とするためです。イエスは、使徒たちからより厳しい貧しさ(マタイ19・22―23参照)と、すべての人の後ろに付くしもべのへりくだり(マタイ20・25―27参照)を要求なさいます。また、受けた権能への信仰を彼らに問いただし(マタイ17・19―21参照)、使徒職の効果的な手段としての祈りと断食(マルコ9・29参照)、および利己的でないことをお求めになります。「ただで受けたのだから、ただで与えなさい」(マタイ10・8)と。彼らから、単純さと率直さに裏打ちされた賢さ(マタイ10・26―28参照)と、摂理へゆだねること(ルカ9・1―3・19・22―23参照)を期待されます。また、師が制定された秘跡の執行者、および主のぶどう畑の労働者(ルカ12・43―48参照)として、身に引き受けた責任の自覚を欠くことはできません。

奉献生活は、聖性へのキリスト教的あらゆる召命の内的な本性と、「ただ一人の花婿」キリストに向かう花嫁である教会のはりつめた緊張を表します。「福音的勧告に従うことの表明がキリストの秘義と密接に結ばれているという事実と、イエス自身が、決定的な終末的価値として選んで示した生き方を、何らかの形で実現する義務」(『奉献生活』29)をもっておられたからです。このような生活への召し出しは貴重な恵みであり、必要な恵みです。この召命は、今日なお、貞潔で貧しく従順なキリストの弟子として神の絶対的な優位性をあかしし、また、救い主の生き方のうちに霊的生活の完成に向かう特別に恵まれた道があることを人びとに示すという奉仕なのです。

今日、ある状況の中で見られる司祭職や奉献生活への志願者の不足は、神のみことばや、キリストによって制定された秘跡の聖性を、自分の聖なる生活をもって立証するようにと招かれるであろう人びとの選別と養成に、いっそう慎重な注意を払うよう刺激するはずです。これは、たいして要求もせず、平々凡々な養成と霊性で事足れりとする指導からはほど遠いことです。

3. 教会は、司祭職への召命と修道生活への召命が、つねに霊性の中心、司牧活動の中心、信者の祈りの中心であるように対策を講じなければなりません。実にこれらの召命は、神の民の生活と聖性にとって必要不可欠な召命なのです。

まず、司教たちや司祭たちは、賜物として受けた役務の聖性の証人であってください。自分たちの生活と教えをもって、よい牧者であるイエスに従う喜びと、救いの過ぎ越しの神秘を新たに生きる力を示してください。特に若い世代の人たちに、聖師イエスのあとに従って神に完全に属することを選び、すべての人が豊かないのちを得るようにと自己をささげる者(ヨハネ10・10参照)に取っておきのわくわくするような冒険を、自らの模範をもって目に見えるものにしてください。

「教会の使命の決定的な要素として教会のまさに中心に」(『奉献生活』3)いる男女の奉献生活者は、自分たちの存在がキリストに堅く根ざしていること、修道生活が「交わりの家、交わりの学校」(『新千年期の初めに』43)であること、教会の中で聖霊がつねにいきいきと保ち続けている「愛の夢」(同50)が鼓動していることを、他者への謙虚で忠実な奉仕をとおして示してください。観想への愛、兄弟たちに奉仕する喜び、天の国のために生きる貞潔、自己の役務への寛大な献身のうちに、一つひとつの召命への招きの力が宿っていることを忘れないでください。

家庭は、教会における召命の未来に決定的な役割を果たすよう招かれています。夫婦愛の聖性、家庭生活の調和、生活の日常的問題に立ち向かう信仰の精神、他者に中でもより貧しい人びとに開かれていること、キリスト者共同体の生活への参加などは、神の招きに耳を傾け、子どもたちの側からの寛大なこたえを待つつのにふさわしい環境を作ります。

4. 「だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい」(マタイ9・38・ルカ10・2)。キリストのこの命令に従い、あらゆる世界召命祈願日は、濃密な祈りの時としての特徴を帯びるものです。召命のため神に向かって絶え間なくささげられる熱い祈りに、キリスト者共同体全体を巻き込まなければなりません。キリスト者共同体が、信者たちを神との対話へと教育し、彼らを「独り子をお与えになったほどに、世を愛された」(ヨハネ3・16)御父の愛につねにいっそう開かれるように養成する、真の祈りの学びの場になる(『新千年期の初めに』33参照)のは、何と重要なことでしょう! 培われ、生きられた祈りは、愛のうちに教会の建設に協力するため、キリストの霊の導きに身を委ねるのを助けるでしょう。

このような状況の中で、キリストの弟子は、すべての人がキリストに出会い、神の子の自由に到達するようにとの熱い望みのうちに成長するのです。この熱い望みは、信者を、マリアの模範に倣って余すところなく寛大に、主に向かって素直に「はい」と答えることができるよう導くでしょう。

聖なる父よ、私たち人類を愛してくださる父よ、私たちは、聖なる司祭召命や修道召命が教会に不足するようなことはなさいません。祈りましょう。

刈り入れの主は、聖なる司祭職や修道生活への召命が、あなたの聖性を表しますように。

あなたのぶどう畑に、聖なる働き手を送ってください。

彼らが、世のただ中で、あなたの民を聖化する聖なる司祭を、あなたの教会に送ってください。

彼らが、情熱的な愛をもって働きますように。

彼らが、聖霊に突き動かされて、御子キリストの救いを地の果てに至るまでもたらしますように。

アーメン。

男・女の奉献生活者を、数多く送ってください。

恵みによって、あなたの民が聖化する聖なる司祭を、あなたの教会に送ってください。

いま人類は、勇敢な福音の伝達者、苦しむ人びとへの寛大な奉仕者が必要なのです。

私たちは声をあげてあなたに祈ります。

憎しみ、暴力、抑圧のしるしが深く刻み込まれています。

しかしまた、多くの人びとの心には、正義、真理、恵みに対する渇きがいっぱいです。

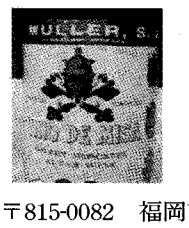
彼らは、あなたの御子イエスにおいて成就した救いをもたらす人を待ち望んでいます。

司祭異動

伊東成晃神父(呼子教会主任)▽大名町教会助任＝浦川務神父(久留米教会助任)▽久留米教会助任＝田中重治神父(司教秘書)▽司教秘書・法人事務・公証官・教区報編集長＝牧山美好神父(大名町教会助任)▽崎津教会・大江教会小教区管理者・本渡教会助任＝川原拓也神父(長崎教区・本渡・崎津・大江助任)※川添猛神父(長崎教区)は本渡教会に居住地変更▽パリ外国宣教会八王寺支部＝J・ガイヤール神父(水巻教会主任)▽パリ外国宣教会八王寺支部＝M・ラバルタ神父(八王寺つき)▽横浜教区へ＝G・フェラーラ神父(佐賀教会主任・ミラノ会)▽大阪教区へ＝吉岡秀紀神父(生命山・コンベンツアル会)▽4月1日付

呼子教会主任＝A・テンペリーニ神父(多久教会主任)▽多久教会主任・多久カトリック幼稚園園長＝C・ガッザルディ(伊万里教会主任兼任)▽大牟田教会主任・天使幼稚園園長・吉野天使幼稚園園長＝A・スカットロン神父(ミラノ会・イタリア本国)▽佐賀教会主任・佐賀カトリック幼稚園園長＝深堀勝人神父(戸畑教会主任)▽行橋教会主任・行橋カトリック幼稚園園長・田川カトリック幼稚園園長＝山元眞神父(二日市教会主任)▽二日市教会主任・二日市カトリック幼稚園園長＝佐賀教会主任・ミラノ会)▽大阪教区へ＝吉岡秀紀神父(生命山・コンベンツアル会)▽4月1日付

むなかた祈りの森
グループ・個人の黙想、研修会等に…
カトリック福岡黙想の家
PRAYER GROVE MUNAKATA
聖堂／洋個室(洗面トイレ付)／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合せは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑 [SOU-EN]
ご葬儀
木下株式会社
TEL092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

聖ヨセフ・松永司教の霊名のお祝い
新任地へ移動する司祭たちを励ましながら

3月5日（火）、教区長ヨセフ松永久次郎司教の霊名のお祝いミサが11時より浄水通教会でささげられ、40人弱の司祭と信者が集まった。ミサを主司式した松永司教は説教の中で、聖ヨセフは教会の保護者であるので、今日は教会全体、わたしたち一人ひとりのお祝いの日であると述べ、聖ヨセフのように沈黙のうちに神に感謝をささげつつ、すべてをとりまとめていくようにと呼びかけた。

会場を司教館新館5階に移して開かれた祝宴で、司教総代理の川上惣一神父が放蕩息子のたとえから、司祭団が時には弟のように、あるいは兄のようになってしまうが、いつも父と同じように松永司教がわたしたちを見守ってくださることに感謝し、よき息子となれるよう努力しようと司祭たちに呼びかけた。こうして開催された祝宴では、ヨセフの霊名を持つ司祭たちと特に喜びを交わすときとなった。

また、新しく教区に来られた司祭の紹介が事務局よりなされ、4月の異動で福岡教区を離れることになった佐賀教会のジョルジョ・フェラーラ神父もお別れの挨拶をするなど、喜びと同時にあらたな出会いと別れの季節である春を感じさせる集いとなった。

福岡教区司祭のために祈り続けて50年
―誓願から70年カルメル会のシスター三木―

Sr.三木　愛

2月25日（月）、福岡カルメル会修道院において、シスター・イエズスのマリー・ジェルメーヌ三木愛（通称愛さん）の誓願70周年記念が祝われた。シスターは、1909年、フランスのパリに生まれ、ショレのカルメル会修道院に入会、1932年2月25日初誓願を宣立した。1933年、東京のシャンボン大司教の「邦人司祭の養成と日本人の救いのために日夜祈る人々を」との懇願に応えて、ショレのカルメルから東京に日本最初のカルメルが創立されたとき、最年少のシスターとして参加、当時24才の有期誓願者だった。1952年には創立したばかりの福岡のカルメルに移り、1957年、2人のベルギー人のシスターと共に日本に帰化。三人は聖パウロ三木を崇めて三木の姓を頂き、それぞれ、三木信、三木望、三木愛となった。その後、京都、大分などの同会の創立を助け、1979年からは福岡に在籍。現在93歳、高齢ながら若者に負けない抜群の記憶力で、ローマのカルメル会本部や、外国の諸修道院との連絡、交流を引き受けている。教会の必要、教区のため、司祭のため、全世界の平和のために絶えず祈り、心の目を大きく開いて日々の生活をいきいきと生きていることが伝わってくる。日本を愛し、日本人の救いのために生涯を献げているこのシスターに接するとき、神に満たされた人の温かさと優しさに大きく包まれるのを感じる。来年の2月25日は来日70年、日本の女子跣足カルメル修道会の創立70周年でもある。

一方、同会のシスターが若くして亡くなった。十字架のヨハンナ小川文子シスターが3月13日（火）膵臓がんのため帰天。享年57歳。1966年3月28日に福岡カルメル会に入会、美しい歌声で祈りの雰囲気づくりに貢献しながら36年の修道生活をまっとうした。

笹丘カトリック幼稚園新園舎落成

3月3日（日）、福岡市中央区の笹丘カトリック幼稚園（理事長マイクル・スタンリ神父、園長トマス・ドワイヤ神父）の新園舎の祝別式と落成式が福岡教区長松永久次郎司教を迎え、関係者と共に執り行われた。この幼稚園は聖アウグスチノ会が担当する笹丘カトリック教会（信徒数860人）に隣接し、開園時は閑散とした小高い丘の上に立つ質素な建物であったが、以来40年にわたりキリストの愛の教えに基づいて、神さまを愛し、祈りと感謝をささげる心、そして他者を愛する思いやりの心を子ども達のうちに育んできた。今や開園時とは異なり、住宅やマンションが立ち並ぶ中に新設された新園舎は、従来の教育をさらに深め発展させるために最適な環境と言える。見る者を魅了する建築は園長の三つの夢、日本の伝統的な木造建築により暖かみを出すこと、園児達の年齢に関わらず一つの家族として保育室を同じフロアーに配置すること、そして保護者の集まる部屋が幼稚園と園児達の家族の架け橋となること、以上を実現させたものであり、（株）ZEN環境設計の中村久二氏と（株）グローバル・トレック社の山崎ロバート氏との親密な連携、及び（株）藤木工務店の技術力により具体化された。新しい世紀を担う子ども達が、「光の子」として歩むように祈る園長をはじめ教職員の優しい眼差しが、祝賀会で元気に幼稚園の歌を歌う子ども達に注がれていた。

喜びいっぱいの園児達

第41回クルシリヨがもうすぐです！

私は、5月3日から5日まで、福岡黙想の家で開催された第40回クルシリヨに参加しました。私は、内容については何も知らなかったので、最初は、期待とやや不安な気持ちもありました。クルシリヨはスペインで始まり、アメリカ・ヨーロッパ・アジアに広まったことや、福岡教区では40回目と知り驚きました。

私が聞参加して思ったことは、神様からの恵みの3日間で、充実した時間を過ごすことができ、とても楽しかったことです。本当に素晴らしいプログラムで、私は信徒として、神様に信頼し、全てを委ね、主の道具となって、どんな時も喜んで生きていこうと決心しました。また、クルシリヨ参加者のために、各小教区や修道院からのたくさんのお祈りと犠牲を捧げて下さっていることにとても感動し、ありがたく、嬉しく思いました。そのお陰で、わたしたち参加者一人ひとりには、神様が祝福と恵みをたくさん注いで下さったと確信しています。

そして、最後の参加者の皆さんの感想を述べる時には、一人ひとりが神様の愛に満たされ、喜びが一杯で、希望を持って、力強く話をされる姿がとても印象的でした。

多くの人に第41回へのご参加をお勧めします。

川の流れのように…

1952年3月19日、青木功師、村岡久義師と私は浄水通教会において司祭に叙階されました。今年は、世間流では、司祭叙階の金祝ということになります。

慶事というべきでしょうが、少し淋しさがこみあげてきます。なぜ？前記両師が私を独りぼっちにして、早々と天国へ旅立ってしまったからでした。そして50年の歳月は、若草のような私を枯れ草同然の身に変えてしまいました。

大神学院卒業（しばらくして司祭叙階）の頃の私は、病弱の身でもあって司教館勤務の司祭となりました。今日まで、教会の助任司祭の経験を持たない未熟な司祭です。新生活11カ月目に、神の重い十字架が与えられました。肺結核になり、1年3カ月の入院加療生活を余儀なくされました。28歳の青年司祭でしたが、引退司祭同様の身に置かれてしまいました。人生には、一本だけではなく大小さまざまの十字架を頂くものです。そしてその十字架には、神の慈しみと警告を意味するものがあるように感じています。

1996年5月、もっと大きい十字架が負わされました。大動脈弁狭窄症のため、6時間の大手術を受け、4カ月の入院生活を過ごしました。2年の生存可能と脅されながら受けた手術であったが、神は決してお見棄てにはならない。十字架の痛みの後には、復活の喜びがあることを体験させてくださった、と思っています。退院後に、ある人が「あなたは入院中少しも手を取らなかったですネ」と慰めはげましてくれましたが、私の生活信条は、み旨に逆らわない、いわば自然体で生きることを考えています。私の司祭職は、自ら選んだのではなく、キリストに選ばれ、与えられたものであることを忘れてはならない。

50年の司祭生活をふり返りみるとき、川の流れのように、時には穏やかに、時には荒々しく流れてきたと思います。しかし私の命は、自分のものではなく、与え主の神からの借りもの、神の所有物に外ならない。生かされている身を自覚し、ひたすら感謝の念を心に銘記すべきではないでしょうか。頭（髪）も体も枯すすきに近づいているが、まだ命の根（心）は残っているようであるから、枯れないように生きる水を願いたいと思います。

茶山教会主任山田成章神父

BOOK 読みは専科

★自立する心を育てて
久野信著

「子供の自立を目指して」「天までとどけ小さな声」に続く第三作目が本書です。実は、最初からこのような計画で書き始めたわけではないのです。体調をくずし、入退院を繰り返す、苦しい日々の中で生まれた3冊目です。不思議ですが、私自身も、書きながらやはり「書かされた本」だと感じました。自分が一生懸命に向かい合ってきた一人ひとりから実際に得たものを、伝えなければという一心でした。

サンパウロ　本体1400円

◇　◇　◇

★最後の日記
『信仰と友情の旅』
H・J・Mナウエン著
大原千佳子　訳
女子パウロ会　発行

この日記はヘンリ最後の一年の貴重な心の日記である。

〔サバティカル一年の日記〕

著者はその三週間後にこの世を去るとは知らずに、人生をまとめあげる歩みを記し続けた。この世から神の家に帰る旅への彼の考え方などが随所に出てくる。…この束の間の世の中を嘆くのをやめよう。はかないものの中に輝く永遠だけを見て生きよう。わたしは永遠が見える空間、永遠があがめられる場所をつくりたい。…

本体2400円

ジャパンスマイルか
株式会社
不動産／管理・仲介・売買・建設／一般建築
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL092-761-8800
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

吉田設計
株式会社
建築設計／企画・設計・監理
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-7
TEL092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811-7265

感謝と賛美のために
祭服．聖器具．聖像
信心用品．ベール．
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092-526-9176

キリストの愛をかかげて前に進もう！

2001年度教区聖書講座開講中

4月28日　聖書と教会の掟（教会法）①　松永久次郎司教
5月26日　聖書と教会の掟（教会法）②　松永久次郎司教
6月23日　聖書と倫理①　小池　如安神父
7月28日　聖書と倫理②　小池　如安神父
会　場：カテドラル／大名町カトリック教会
※できるだけ聖書をご持参ください。
時　間：第4日曜日14時～16時　　費　用：各500円

第41回 教区クルシリヨ開催

…休んで、開いて、出会って、喜びを…
「キリストの愛をかかげて前に進もう！」

♣日　　時：5月3日(金)10時 ～ 5日(日)16時
♣場　　所：福岡黙想の家(宗像市名残立山1056)
☎（0940）32-3222
♣参 加 費：12,000円
♣携 行 品：ロザリオ、着替、寝間着、洗面用具
（筆記用具、その他は事務局で用意します。）
◆指導司祭：下町豊重神父※お待ちしています。
♠福岡教区クルシリヨ事務局
（連絡先）〒813-0042福岡市東区舞松原5-23-9
☎FAX（092）661-0120　大谷真造

教区広報の日・研修会

日　時：5月5日(日) 14：00～16：00
会　場：カテドラル大名町教会1階講堂
講　師：松隈康史氏（中央協議会広報部）
テーマ：インターネット／福音宣教の新たな場
教皇メッセージを受けて
参加費：自由献金
対　象：広報やインターネットに興味のある人
主　催：教区広報委員会
問合先：司教館広報部（☎092-522-4059）
※世界のカトリック教会から発信される情報にもっと近くなるチャンスを見つけよう。

召命黙想会のお知らせ

日　時：2002年5月11日（土）14時
～12日（日）17時
テーマ：神のパートナーとして呼ばれて
場　所：戸塚　聖母の園研修の家
費　用：2000円
対　象：18歳から35歳までの未婚の女性
申込先：〒161-0032　新宿区中落合2-4-13
マリアの宣教者フランシスコ修道会
シスター村松　直子

案内版　会合と催し

福岡黙想の家　4月

4月
◇1日(月)～5日(金)　オブレート会会議
◇2日(火)　マテオ神父の『祈りの学校』
◇7日(日)　カナの会
◇10日(水)　ミカエル会
5月
◇3日(金)～5日(日)　福岡教区クルシリヨ
◇7日(火)　マテオ神父の『祈りの学校』

♠新しいいのちの季節！あたたかな日差しをあびて、『祈りの森』は春らんまん！！皆さまどうぞお出かけください。お待ちしています。
[問合先] 黙想の家　☎0940・32・3222　FAX 32・3385

マグリン神父のゆるしの秘跡

日　時：毎月第1と第3土曜日
場　所：大名町カトリック教会小聖堂

生命山カトリック別院

※祈りの集い
・4月11日(木) 10時～15時
・5月9日(木) 10時～15時
テーマ：キリストに出会った人々
指　導：Sr.マリアと
S.フランコ神父
※研修会
・4月12日(金)～14日(日)
テーマ：ミサと茶の湯
指　導：S.フランコ神父
前川よし子氏
参加費：10,000円（宿泊とも）
※静寂の中での祈りと、遠く有明海をのぞむ山の頂上で迎える朝。
[問合先]
・生命山カトリック別院
☎0968・85・3100
FAX 0968・85・3186

4月のこよみ

4月
5日(金)　†F.ブレンゲ［佐賀教会1946］
7日(日)　復活節第2主日
カテドラル特別献金日
花岡山殉教祭
†C.シュミッツ［黙想の家1988］
8日(月)　神のお告げ
12日(金)　†パウロ大野正恒［泰星学園校長1985］
13日(土)　福岡教区司教座教会献堂記念日
14日(日)　復活節第3主日
15日(月)　†J.ドレル［直方教会1984］
22日(日)　復活節第4主日
召命祈願日
25日(木)　聖マルコ福音記者
†A.レウトル［新田原教会1944］
28日(日)　復活節第5主日
29日(日)　長崎大司教区補佐司教叙階式［浦上教会10：00］
シエナの聖カタリナ
みどりの日
5月
3日(金)～5日(日)
クルシリヨ［黙想の家］
4日(土)　聖心のウルスラ宣教女修道会来日50周年記念ミサ
5日(日)　復活節第6主日
世界広報の日（献金日）
唐津教会創立100周年
教区広報担当者研修会［大名町教会14：00］
†F.ルマリエ［八代教会1945］
ゴチックは司教日程

◆福岡

■聖霊による刷新セミナー
［日時］4月1日（月）10時30分から［場所］大名町カトリック教会大聖堂［テーマ］ミサ／キリストの証人［講師・司式］松永久次郎司教［問合先］☎092・522・5139ブラザー床嶋

■福岡祈りの集い
［日時］毎週月曜11時～12時30分［場所］カトリック大名町教会［内容］聖霊による祈り・セミナーが終了しますから通常の例会になります［問合先］☎092・522・5139ブラザー床嶋

■グレゴリオ聖歌を歌う集い
［日時］4月3日（水）11時12時15分［場所］浄水通教会聖堂［講師］坂田孝子氏［参加費］自由献金［問合先］☎096・380・5686堺
［次回］5月1日（水）11時
［内容］聖母マリアの祝日のためのミサ曲によるミサ

■黙想会
［日時］4月7日（日）13時～16時［場所］聖パウロ修道会
［内容］講話とごミサ［指導］パウロ会鈴木信一神父［参加費］自由献金［主催］聖パウロ修道会・協力者会［問合先］☎092・721・2031聖パウロ修道院永富神父※どなたでも参加出来ます。

■第26回カナの会出会の集い
［日時］4月7日（日）11時～16時［場所］むなかた祈りの森（黙想の家）［指導］鈴木忠一神父（黙想の家院長）［対象者］20歳以上の独身男女［参加費］昼食費含め2000円
［申込み締きり］3月31日［問合先］☎092・771・0793前野良子

教区福岡地区婦人会総会とお知らせ

総会とミサと講演会

日　時：4月18日(木) 10時
場　所：大名町カトリック教会
対　象：福岡地区のカトリック女性
※午後1時からの講演会はどなたでも参加自由です。お待ちします。
テーマ：気づいていますか身近な暴力（DV）
講　師：Sr.前田照子（札拝会日本管区長）
阿部利恵子氏（ミカエラ寮職員）

■ヨアキム・アンナ信心会
［日時］4月18日（木）［場所］高宮カトリック教会［指導］小池如安神父［内容］ロザリオ・黙想・ミサ［問合先］☎092・542・6180小田部

■召命を共に祈る会
［日時］4月25日（木）14時～
［場所］召命の家［指導］浦川務神父（召命担当）

■在世フランシスコ会集会
［日時］4月28日（日）14時～16時［場所］カトリック高宮教会集会所［内容］アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習［指導］小池如安神父［問合先］☎092・843・5831岩崎

■生と老い死を見つめる会
［日時］4月28日（日）14時から［場所］カトリック大名町教会［内容］ビデオによる研修と総会［語り合い］死別体験者の集い［参加費］無料
［問合先］☎092・713・8523大山：607・6092村尾

■第86回福岡結婚準備講座
［日時］5月8日（水）から6月1日（土）まで毎週水曜日と土曜日の全8回／19時～21時30分［場所］カトリック大名町教会［問合先］カトリックファミリーセンター☎092・541・6207 FAX 552・5022

■第19回福岡ホスピスの会
［日時］5月12日（日）14時～16時半［場所］カトリック大名町教会4階［テーマ］乳ガンの早期発見と治療の選択
［講師］前川宗一郎医師（福岡市民病院外科部長）［参加費］会員500円／一般700円
［問合先］☎092・731・3701福岡ホスピスの会事務局［次回］7月14日（日）

■美野島司牧センターから
衣類の寄付をお願いします。男性用ズボン・靴下などの衣類・洗面道具・靴をよろしくお願いします。女性用の衣類は間に合っています。［問合先］コース神父☎092・431・1419

◆北九州

■小倉祈りの集い
［日時］4月19日（金）13時30分～15時［指導］V・マテオ神父（御受難会）［場所］小倉教会信徒会館2階［内容］「みことば」をあじわい祈る［問合先］093・452・1556安藤

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
［日時］4月11日（木）10時～11時30分［場所］佐賀カトリック会館［内容］祈り［問合先］☎0952・72・7536吉田［次回］4月27日（土）10時～12時はミサと祈り・毎月第2木と第4土曜日に集まっています。どうぞご参加下さい。

■聖書を読む会
［日時］毎月第1木曜日、午前の部10時～11時半／午後の部19時半～21時［場所］佐賀カトリック会館［内容］「創世記」を読む［講師］A・アレグリーニ神父［テキスト］聖書
［参加費］無料［問合先］☎0952・23・4754阿南

◆熊本

■第68回熊本結婚準備講座
［日時］5月7日（月）～6月3日（月）毎月曜日と火曜日全8回19時～21時30分［場所］手取カトリック教会［問合先］手取カトリック教会☎096・352・3030 FAX 096・352・1515

編集後記

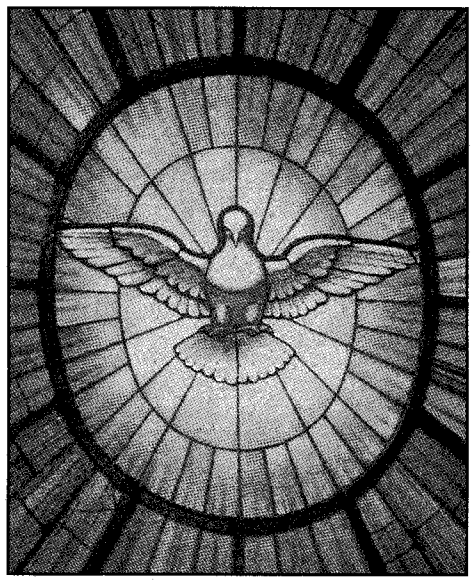
編集長に任命されて、早いもので2年が流れました。今回の人事異動に伴い、突然でしたが、筆を下ろすことになりました。新しい編集長、牧山美好神父様のご活躍を祈りつつ、今までご協力頂いた、またご意見等お寄せ頂いた皆様に感謝しております。特に、二人っきりの編集部の相方を務めて下さった深堀さん、ありがとうございました。どうぞ、これからも皆さんのご協力をお願いしつつお別れしたいと思います。（田中神父）

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具　コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鵜木67－3
TEL 0942－77－3199
代表者 ペトロ 平田　清

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険
〒814-0153
福岡市城南区樋井川3丁目17－10
大石保険事務所 大石真澄
☎092-552-8195　Ⓕ092-541-7734

FUJIKi
未来へ――安心を創る
藤木工務店
福岡支店 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-1-1　TEL 092-441-6585(代表)
取締役社長 大森　周　　福岡支店長 城戸隆秀

聖霊降臨



合同堅信式のごあんない

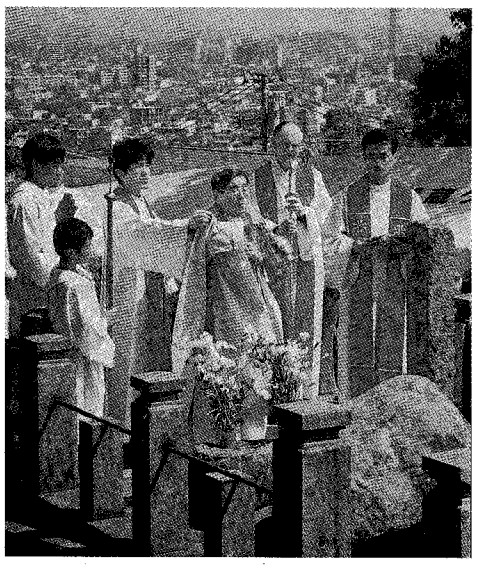
日　時：2002年５月19日（聖霊降臨の主日）
　　14時
場　所：カテドラル大名町カトリック教会
※全教区内でこの復活祭に受洗された方などを中心に堅信式が行われます。教会の誕生の日でもある聖霊降臨を共に祝いましょう。

殉教者小笠原玄也一族の証しを讃える

花岡山の一族15人の墓前に250人が集う

熊本市

小笠原玄也とマリアみや一族が眠っている熊本市の花岡山殉教者墓地広場で4月7日（日）恒例の殉教祭が行われた。熊本地区を中心に250余人が集まり、郷土の殉教者に思いを馳せ、その信仰を讃え、彼らの列福を熱心に祈った。



熊本花岡山殉教祭が4月7日（日）午後2時から、小笠原玄也・マリアみや一族殉教者墓地広場にて松永久次郎司教主司式により挙行された。

今年は天候にも恵まれ、さわやかな春の陽射しのもと、地元熊本および教区各地から司祭、修道者、信徒など約250人が集った。

式典は、小笠原玄也とその妻マリアみや一族15人が眠る墓域の潅水・献香から始まった。次いで墓前にて15人の殉教者達の列福を求める祈りが、参列者一同で唱和された。

殉教ミサは、司教と地元熊本地区小教区の司祭など6人の共同司式で捧げられた。

司教はこのミサの説教の中で、今、私たちが讃えている殉教者達は身をもって神を証した人たちであり、私たちがその信仰に倣うべき者であることに言及しながら、「小笠原玄也一族が生きていた封建主義時代、絶対的権威をもった君主が民を治めていたが、殉教者達はこの君主の上に万物の創造主である神の存在を信じていた。殉教者達の流した血は私たちの信仰の遺産である。そして、この信仰は、これからも神の実在を永久に証するものである」と語った。

ミサの奉納の中で15人の殉教者一人ひとりの名前を記した十字架が、修道者、信徒たちの手によって祭壇中央に捧げられた。この十字架は、キリストの証人として生命を神に捧げた殉教者たちの一途な生き方を、私たちに思い起こさせるものである。

殉教者たちの一日も早い列福の実現を願う思いで、参加者の心は一つになり、熱心な祈りが続いた。参加者の一人は、「わたしたちは信仰を生きること、伝えることの難しい時代に生きていますが、殉教者たちの模範を見つめながら歩んで行きたい。そして今日、私たちが捧げたあの15本の十字架があらわしていることを、生活の場で証しするものになっていきたいと思います」と語っていた。

聖香油ミサと司祭職制定の祝い
金祝・銀祝を迎えた司祭を囲んで

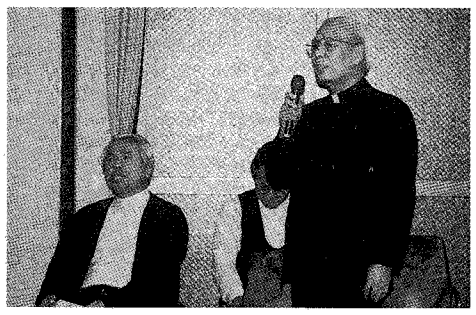
3月26日（火）午後3時から、カテドラル大名町教会で、松永久次郎司教主司式で聖香油ミサが捧げられた。約60人の司祭が集った。

聖香油ミサは聖木曜日に行われるが、福岡教区では司牧上の理由から、直前の火曜日に行われている。

司教を中心に教区内の司祭たちが共に捧げるミサの中で、香油の聖別、病者の油・洗礼志願者の油の祝福が行われる。また、このミサは、司教と司祭の深い結びつき表すしるしともなっている。

松永司教は説教の中で、今年の聖木曜日、司祭たちに宛てた教皇ヨハネ・パウロ2世の手紙の内容を紹介し、神のゆるしとあわれみを表す和解の秘跡（ゆるしの秘跡）の重要性について諭した。説教の後、司祭たちは司教のすすめに従って、叙階の時の約束を更新した。

ミサ終了後、1階ホールに会場を移して、司祭職制定と司祭叙階50周年、25周年の祝賀会が催された。金祝は山田成章神父（茶山教会主任）、片岡哲夫神父（聖フランシスコ会・高宮教会助任）の2人。



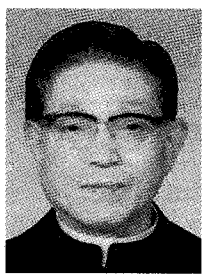
挨拶に立った山田神父と聞き入る竹森神父

銀祝は竹森勇神父（新田原教会主任）、渡辺隆義神父（米国・聖パトリック教会）の2人である。この日は山田、竹森両神父が参加した。紹介に続き、司祭団を代表して司教総代理の川上惣一神父（二日市教会主任）が祝辞を述べた。

挨拶に立った山田神父は、これまでの司祭としての歩みの中で、支え共にいてくださった神と人々に対して感謝を述べた。

この集いの中で、異動により、福岡教区を離れることになった吉岡秀紀神父（コンベンツアル聖フランシスコ会）と御受難会の修練長として再度福岡黙想の家に赴いた来住英俊神父の挨拶があった。

訃報：ペトロ黒川博神父様



黒川博神父

4月4日（木）午後8時15分、荒尾市の病院でペトロ黒川博神父が帰天。享年80歳。

黒川神父は1921年9月15日韓国の仁川で生れ、1934年には帰国して福岡泰星中学校（小神学校）に入学している。兵役とソビエト抑留の苦難を経て、1943年福岡サン・スルピス大神学院に入学。1954年3月19日浄水教会で司祭に叙階された。久留米教会助任の後、今村教会助任、熊本の琵琶崎修道院つき司祭を務め、1958年12月に地行教会（現在は礼拝会修道院）に主任司祭として着任、大牟田教会、八代教会と歴任。1989年6月病気治療のため引退し療養中であった。

「五島から福岡に出て来て家もなく困っていた時にとても親切にお世話くださった神父様でした。」と言って涙ぐむ参列者もいて、彼の人柄を偲ばせた。

司祭人事

門司教会管理者＝伊東成晃神父（水巻教会主任兼任）4月23日付▼司祭評議会評議員＝深堀勝人神父（佐賀教会主任）4月25日付

時の話題

中尾　昌子 氏

21世紀を担うこども

あちこちに美しい花が咲き、新緑が芽吹いて大自然が一気に活気づくこの時期、新入児を迎え、歓喜あふれる中で新学期が始まった。

しかし、子ども達をとりまく社会情勢は悪化しているように思える。新聞紙上でも子供の虐待のニュースは、日常茶飯事となってきている。全く胸がしめ付けられる思いである。

幼稚園でも数年前からエンゼルプランが掲げられ、子育て支援として、保育園は夜間保育、幼稚園は預かり保育がすすめられている。これらのプランは、どう見ても子供サイドでないことが残念である。幼児にとって一番安心していられる母親、家族との時間は、ますます奪われつつある。

犯罪の陰に幼児期の問題が浮上してきている事実は明らかにされながらも、子供の現実は理解されていない。このままだと、次の世代はどうなっていくのだろうと案じずにはいられない。幼児期は愛情をたっぷり受けて、平和な心で過ごすことが、人格を形成していく上にも、またこの子ども達が将来平和な社会を築くための基盤としても大切なことだと思われる。

「幼子を私のところに来させなさい。・・・神の国はこのような人のものである。」（ルカ18章16節）とイエスも子ども達をどんなに大切にされたかが、みことばからも分かる。子ども達の小さな声に耳を傾け、大事に育むことの大切さを、まずは教会の中から広げていけたらと切に願うこの頃である。

（八幡カトリック幼稚園園長）

みちくさ

風薫る5月。教会ではこの月を聖母マリア様の月と呼んでいる。イエス・キリストのお母さん、そして私たちのお母さんであるマリア様を特に近くに感じながら、祈るとき▼「マリアさまのこころ…」、子どもたちはこの歌が大好き。私も大声で一緒に歌いながら、ふと思った。青空、樫の木、サファイア、うぐいす、やまゆり、そのいずれも私たちの近くではみられない。本物に触れてみたい、という衝動に駆られる▼マリア様は神の愛と恵みを満ち溢れるばかりに受けられた。いつもイエスと一緒に歩まれる方。あの十字架の大きな苦しみの時にも、傍らにいた。御子の救いの業に自らを差し出し貫いた生涯だった▼マリア様はまた、いつも人々と一緒に歩まれる。御子が約束された聖霊を待つ間、弟子たちを励まし、共に祈られた。初めから聖霊を豊かに受け、聖霊に向かって心をいっぱいに開くマリア様が、祈る教会の中心にいたのは何とも意義深い。御子が、すべての人に母として与えた方が、いよいよその姿を生き始めておられたのである▼マリア様は教会のかたどりといわれる（教会憲章63参照）。いまマリア様は自分のうちにはじめられ、御子によって成就された救いを、教会の中に見たいと望んでいる。この母の願いの中に置かれていることを覚えて、私たちも祈ろう。教会に聖霊を待ち望む心、聖霊に向かって開かれた心が強く大きく育ちますように▼神と人々との心をつなぐマリア様の働きはきょうも続いている。すぐ耳元で聞こえるかも知れない。「あの人の言う通りにしてください」と励ます声が。（F）

カトリック福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　牧山美好
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

今月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】福音による希望の信用できる証人：キリスト者
【布教の意向】女性の家庭の召命と社会的召命
【日本の教会の意向】聖霊の恵み

聖パウロ会の歩み

聖パウロ会移転新築開業記念

昨年の12月27日新築移転した聖パウロ会が、それを記念し2月8日にはアフガニスタン難民支援のチャリティーを開催した。今回は5月5日（日）の広報の日にあたって、福岡教区内で社会的コミニケーションメディアを用いて福音宣教活動を行っている聖パウロ修道会について、同会会員の鈴木信一神父が会の歩みを紹介する。

テレビもラジオもなかった時代に誕生した聖パウロ会

聖パウロ会は1914年に創立されました。当時は、コミニケーション・メディア幕開けの時代、世界にはまだテレビもラジオも存在しませんでした。これらの文明の利器が発明され世界中に広まるのは、創立直後のことです。

パウロ会が創設された理由

本会の創立当時、新しい「情報伝達手段」としての出版は驚異的な力を発揮していましたが、教会はこれにかかわることをためらっていました。しかし、誰かがこれを教会と結びつけ、福音宣教活動に役立てる必要がありました。そこでパウロ会が創設されたのです。パウロ会の若き創立者は、かれが生きている時代の「しるし」を次のように読みとったのでした。

――新しい社会的コミニケーション・メディアの誕生は、宣教活動に飛躍の可能性と必要性を与えた。

――人類の将来は、新しい社会的コミニケーション・メディアの利用方法にかかっている。

聖パウロ修道会の創立者

パウロ会の創立者アルベリオーネ神父は1884年、北イタリアの寒村に生まれました。司祭職を志していたかれは、20世紀が始まる前夜である1900年12月31日の夜、祈りの中で「時のしるし」を感じとります。まだ16歳の神学生でした。それから14年後に、かれはパウロ会を創設します。北イタリアはアルバ教区の、若干30歳の教区司祭でした。

理解されなかったパウロ会

今日のような情報化社会の中では、パウロ会の存在は当然と考えられています。むしろ、その非力さが嘆かれているのが現状です。しかし、創設当時は、決してそうではありませんでした。

当時、新しく生み出されるコミニケーション・メディアを宣教に用いるという発想は、無謀かつ冒涜とさえ思われていました。そのため、パウロ会はその創設当時から、多くの無理解と非難に満ちた道を歩いたのでした。今では考えられない疑問が投げかけられていました。

――シスターが自動車を運転していいのですか！

――修道者が店を開いて、商売をしてもいいのですか！

――修道者が工場を建てるのですか！

こうした疑問は、当時の教会としては極めて正論でした。しかし時代は変わりました。パウロ会創立から50年後に、教会は第二バチカン公会議の『広報機関に関する教令』によって、創立者が先駆的に始めた新しい使徒職活動に、荘厳な承認を与えたのでした。今日の情報化世界にあって、パウロ会の存在は、当然あるべきものと認められるに至ったのでした。

なぜ「聖パウロ」なのか

本会の創立者は、そのモデルを聖パウロに見出しました。パウロほどキリストを人々に激しく語り伝えた人はかつていませんでした。彼は深い霊性と超人的な活動力の両方を持ち合わせ、両方をみごとに両立させた偉大な使徒でした。聖パウロはたくさんの手紙を書き残しましたが、これは当時の社会的コミニケーション・メディアにほかなりませんでした。「もし聖パウロが現代に生きていたら、きっとジャーナリストになって世界中を飛び回っていただろう」と言われましたが、こうした視点に立って、社会的コミニケーション・メディアを活動の手段とするパウロ会が誕生し、その活動と霊性のモデルとしてパウロが選ればれたのでした。

日本におけるパウロ会

日本におけるパウロ会の創立者は、アルベリオーネ神父の四天王のひとりであったパウロ・マルチェリーノ神父です。1934年（昭和9年）11月10日、満州事変、上海事変、国連脱退と軍事色を深めていた日本に向けて出発しました。マルチェリーノ神父32歳、ベルテロ神父28歳でした。パウロ会が誕生してから20年目のことです。

両神父が神戸港に着いたのは、12月8日、ちょうど無原罪の聖母の祝日でした。片道切符で来日し、機を待つこと一年半、1936年4月にやっと東京教区内での居住許可と司牧許可がおりたのでした。その間、サレジオ会の神父様方がかれらを励まし支えてくださったのでした。

出版社の設立（誠光社／中央出版社／サンパウロ）

来日から5年後の1939年、彼らは出版活動の拠点となる「誠光社」を開設し、『おもしろいためになる本』『名もなき島』『ハンス物語』などの単行本の出版を開始します。しかし、日本は第二次世界大戦へ、政府はその統制を強めていきました。1942年（昭和17年）5月には企業整備令が出され、当時のカトリック出版社はすべて廃業を迫られましたが、マルチェリーノ神父の呼びかけでカトリック六社（教成社〈現ドン・ボスコ社〉、光明社、聖母の騎士社、欧亜書房〈現エンデルレ書店〉、日本天主公教会出版社、誠光社〈現サンパウロ〉）が合併し、「中央出版社」が誕生しました。社屋は千代田区六番町にあった元カトリック中央協議会の敷地内でした。

終戦とともに、合併していた各社は独立していきましたが、人材などの面で主力を投入していた聖パウロ会が「中央出版社」の名を引き継いだのでした。「中央出版社」という社名はその後長く使用されましたが、1996年に現在の「サンパウロ」に改名され、同時に世界のパウロ会で使用されているロゴマークを採用しました。

日本における本格的な活動の開始

教皇ピオ12世から聖パウロ修道会が最終的認可を得たのは1949年のことでした。これ以後、日本における活動の展開の凄まじさには目を見張るものがあります。

1949年1月には月刊誌『家庭の友』を創刊し、10月には福岡修道院および書院「九州出版社」を開設します。翌1950年3月には福岡小笹修道院が落成し、4月には司教団から『カトリック新聞』の編集を委託されます。このころ、東京阿佐ヶ谷の映画館オデロン座での映画会（月一回）も開始し、そして1952年3月には「文化放送」を開局したのでした。

福岡での九州出版社

福岡教区と聖パウロ会

かねてから九州に志願院を設立する構想がありましたが、1949年10月、福岡教区でこれが実現する運びになりました。これは深堀仙右衛門司教様や、当時の大名町教会主任の伊東誠二神父様のご理解とご支援のおかげでした。東京の共同体から派遣されたベルテロ神父、カステロット神父、山野修道士の3名は、大名町教会に隣接した建物を書店および仮の修院として使用することを許されます。その書院は「九州出版社」という名でした。次いで、当時はまったくの山地であった小笹の丘陵を切り開いて、木造平屋の修院が建てられました。当時、木造家屋は、食堂・兼・学習室という、それはそれは質素なものでした。それでもそこに集う志願者たちは希望と夢に胸をふくらませていたのでした。小笹の修道院は少しずつ体裁を整えていき、やがて1954年11月には鉄筋コンクリートの建物が完成し、これが2001年の移転までの使用されたのでした。小笹の修道院で生活をしたパウロ会の志願者たちはその数300名以上になります。多いときには40名を超える志願者たちが小笹の丘の修道院で共同生活を営んでいました。しかし、時代とともに志願者の数は減少し、とうとう2000年にその閉鎖が決定され、このたびの赤坂への移転が実現したのでした。

当時の木造平屋の修道院

小笹の丘に完成した鉄筋の修道院

これからのサンパウロ福岡センター

サンパウロ福岡センターは、人と人、人と神様との「出会いの場」に育つことをめざしています。販売活動だけではありません。1階の20名収容の宣教会議室、2階のチャペル、3階の120名収容のホールは、どなたにでもご利用していただくためのものです。2月の「アフガニスタン難民支援チャリティー・コンサート」と平行して開催された「写真パネル100枚によるアフガニスタン難民の今日」や、4月のミニ黙想会などがここでおこなわれました。

門を入ると「使徒の女王聖マリア」が迎えてくれた

パウロ家族の紹介

聖パウロ女子修道会、師イエズス修道女会、聖パウロ修道会の3会は、「パウロ家族」を形成しています。いずれもアルベリオーネ神父によって創立され、補完しあう霊性を生きているからです。

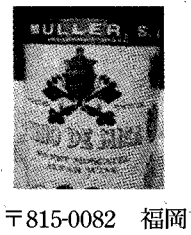
最後に

パウロ会の歩みは、たくさんの方々によって支えられ励まされてきました。日本での、文字通りゼロから始まったその歩みは、多くのよき理解者のご支援と励ましなくしてはありえませんでした。これからもそうです。わたしたちは、ここまで育てていただいたご恩に感謝申し上げるとともに、微力ながら、わたしたちにできる奉仕に邁進していきたいと決意を新たに致します。

2月8日 チャリティー・コンサート 収益金のご報告

1,471,079円の収益がありました全額をNPOピース・ウィングズ・ジャパン、燈台、ペシャワール会を通してアフガニスタン難民支援に送金致しました。

むなかた祈りの森
グループ・個人の黙想、研修会等に…
カトリック福岡黙想の家
PRAYER GROVE MUNAKATA
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命 お問い合せは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

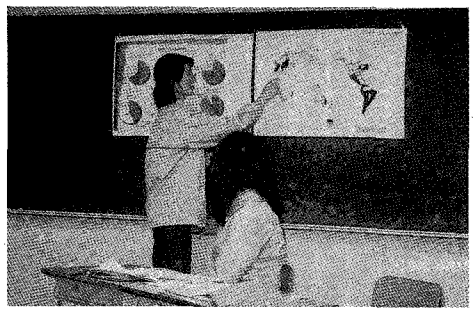
別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

熊本地区の青年が勉強会

中東問題に理解を深める…多様性の一致

召命の家

神様のお恵みと春の陽気に恵まれた4月13日（土）と12日（日）の両日、熊本市内5教会の11人の青年と中村彰神父（健軍教会主任）、Sr.益田の計13人が福岡市浄水通の召命の家に集った。テーマは『時のしるし』ということで、昨年の同時多発テロを含め中東問題に理解を深める上で必要と思われる『キリスト教、ユダヤ教、イスラム教』を3グループに分けて分かち合いを行った。


研究発表にも熱が入る…

はじめに中村神父は「最近のカトリック教会の諸宗教に対する考え方や対話について」、さらに「主の教えを実行することで周囲の人に福音的な価値観を伝えていくことが宣教につながる」と話した。

次に、項目を聖典、教義、掟、教祖、歴史、人口分布に絞り、互いを比較できるような形でグループ発表を行った。各グループ30分の持ち時間をオーバーする程白熱したものであった。

分かち合いは、中東問題の研究不足、時間不足の為、予定していたよりも深くはできなかったが、テーマに行きつくところまでの準備ができた成果は大きい。今後の月2回の聖書勉強会で「政教分離の法則・原理主義とは？」など引続き分かち合って行きたい。

また、他宗教と比較することにより、キリスト教のすばらしさを再認識する事ができました。締めくくりに中村神父は、『各宗教の真理を尊重し合いながら対話を進め、互いの信仰を深めていくことが大切である』と語った。

過密なスケジュールではあったが、深夜に指導司祭を囲んでの卓球大会も行い、容赦のない中村神父の一人勝ちという結果で楽しく有意義な錬成会の幕を閉じた。

気づいていますか 身近な暴力！

福岡地区婦人会が総会とDVを学ぶ集い

ガテドラル

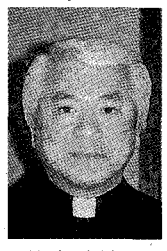
体験を語るSr.前田と阿部氏

福岡教区福岡地区婦人会（会長＝牛尾伝枝大楠教会信徒・顧問牧山美好神父）が5月18日（木）、カテドラル大名町教会で第19回総会と講演会を開催した。午前中に開催された総会では、創立の頃から絶やさず行っているボランティア活動の報告が目を引いた。地区婦人会は教区行事への奉仕ばかりでなく、永年にわたってボランティアグループ「モニカ会」が地道な奉仕を続けている。今村にある特別養護老人ホーム「聖母園」や篠栗にある「篠栗荘」、前原にある「富の里」、それにホスピス福岡亀山栄光病院の4ケ所である。それぞれに担当の責任者が1年間の活動を報告する中で「月に1度の奉仕ですが、不便な所にあるので出かける時に腰が重い時もあります。でも喜んで待っていてくださる入所者の方々の笑顔やひと月振りのおしゃべりに花を咲かせる昼食時間で、止められなくなるのですよ。」という発表に、賛同の拍手がわいた。

また午後には、連帯している日本カトリック女性団体連盟が司教団の「いのちへのまなざし」を受けて、『沖へ漕ぎだそう』をテーマに5月27日から開催する福岡大会を見据え、いのちと人権をテーマとした講演会を持った。テーマは、法律の施行に伴い話題が多くなってきたドメスティックバイオレンス（DV）を取り上げ、18年の実績を持つ礼拝会（管区長＝シスター前田照子）経営のミカエラ寮職員の阿部利恵子氏からその現状を、寮の創設者でもあるシスター前田管区長に日本におけるDVの実態を聞いた。参加者の一人は「暴力の身近さに息もできないほど緊張し、体が痛いほどでした」と語った。

最後に、地区婦人会の会員はもちろん全国で展開中の日カ連の「いのちを守る運動基金」から福岡教区にあるミカエラ寮に対して支援金の贈呈が行われた。

平和を感じるとき！


竹森勇神父

自然破壊、テロ、戦争、リストラ…、最近、地球の平和がおびやかされ、『平和』を感じる時が少ない現代社会・世界のように思われてならない。その様な折り「日本は平和だな…」とつくづく感じさせられるひとコマもある。福岡ドームでのプロ野球・伝統の一戦＝巨人対阪神戦観戦のひととき。広くて明るいドーム内のグラウンドで、白球の行方に全神経を集中させてプレーする、プロ野球選手たち。そして、その一挙手一投足に注視するスタンドの5万人の大観衆…プロ野球の醍醐味を生で味わいながら…ホームランでも出ようものなら、無意識の内に総立ちになって大歓声の渦にのみこまれて、まさに選手と観客が一体となってドーム内は興奮した雰囲気と化す。そんな時こそ、全ての疲れとストレスを忘れて、プロ野球の魅力に酔いしれる時…この瞬間だけは『なんて、日本は平和なんだろう！』と痛感させられてならない。野球というスポーツを通して感じさせられる『平和』の一瞬・ひとコマである。

『主の平和』と交わす、ミサの中での『平和のあいさつ』がある。日常生活での、平和のひとこまは様々の形で感じる機会がある。ところで、私たちは、キリスト者としての『心の平和』・『魂の平和』・『信仰生活の平和』を、いつ、どのような時に感じているだろうか？

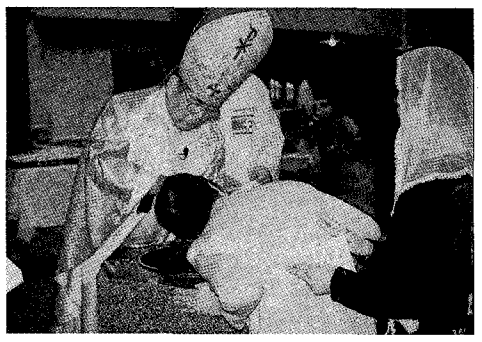
『互いに平和の挨拶を交わしましょう』…ミサの中での「平和のあいさつ」こそが、キリストとの真の平和、やすらぎ、幸せを感じるはずであるが、果たして、どこまで、その平和を実感出来ているだろうか…？

私たちは、ミサにあずかる度毎に、教会聖堂という、『霊的なドーム球場』で、キリストに成りきってミサを司式する司祭の一挙手一投足に注視し、司祭と信徒が一体となって、キリストの受難・死去・復活を再現する、ミサという『感動のドラマ』の渦の中にのみ込まれながら、心身共に、真の平和、幸せを感じるべく、司祭と信徒が一丸となって、積極的なミサ聖祭への与り方と、感謝の祭儀の捧げ方の一つのあり方を考察してみてはいかがだろうか！

新田原教会主任

2002年復活祭 教会が新しい民を迎えた日

3月30日（土）、教会は復活徹夜祭を祝った。この教会



19時から松永久次郎主司式により徹夜祭の典礼が行われた。この日、20名の洗礼志願者が洗礼式に臨んだ。四旬節を通して、志願者たちは教会共同体の中で、直前の準備を続けて来た。この恵みの時を待ち望んでいたのは志願者にとどまらず、志願者を迎え入れ、彼らのために祈り続けて来た共同体も同様だった。

この日洗礼の恵み与った志願者も、それぞれ違う人生の時を重た人たちである。教会を訪れるに至った動機、また最初に訪ねた時期も異なっている。そうした彼らが教会での学びの機会に出会い、共に過す時間を経て、心を通い合わせる仲間に成長した。

志願者たちからは、やや緊張した表情もうかがえた。しかし、かれらは復活されたイエス・キリストのみ言葉を聞き、共同体の祈りと司教の励ましに後押しされながら、神のとりなしを求める連願の後、洗礼の秘跡に用いられる水の祝福が行われ、続いて司教が志願者に対して悪霊を拒否する意志、また信仰の内容を信じる意志を問うと、彼らはこれに力強く呼応した。その後、志願者は洗礼盤へと導かれ、司教は一人一人の名を呼びながら額に水を注いで洗礼を行った。

白衣をまとい、復活の大ろうそくから火を受けて、受洗者は主キリストの輝きの中にひとつとされた。そして洗礼名が授与された。引き続き行われた感謝の祭儀では、受洗者によって奉納されたパンとぶどう酒が、聖別された後、受洗者は初めて聖体を拝領した。続けて来た1名（31日にはさらに2名）も加わった。

式後、受洗者たちを囲む祝福の輪の中で、かれらもほっとした様子で、「とても嬉しいです」、「これからも勉強を続けながら、自分のペースで歩んでいきたいです」と喜びを語っていた。

BOOK 読みは専科

★来てください 沈むことのない光
テゼ共同体 編
打樋 啓史 訳
久野 信 著

初期のキリスト教徒たち、主に「教父」と呼ばれる人々の著作の中からテゼ共同体が意味深いと考えた言葉を選んだ「抜粋集」です。専門書向けの言葉を一般の読者でも読みやすくなっている。テゼ共同体が生きようとする霊性を深く理解し、その霊性がどのような歴史的系譜に連なるものかを知る上で豊かな示唆を与えてくれる。

サンパウロ　本体1200円

◇　◇　◇

★ああどうしようのスズメさん
メリル・ドウニー 著者
ウイリアム・ゲルダート絵
蛯名 啓 訳
女子パウロ会 発行

イギリスで生れた子どもと大人の絵本。とっても心配性のスズメがいた。兄さんたちは、楽しそうに歌っているのに、このスズメだけはうかない顔。『ああどうしよう！』と啼くばかり。食べ物のこと、寒い冬、恐ろしいタカのこと等。「この世は怖いことばっかり」と震えていた。そんなある朝、このスズメが胸をはって羽ばたき、大声で明るく歌いだした。いったい何が？

本体2400円

ジャパンスマイルか 株式会社
不動産／管理・仲介・売買・建設／一般建築
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL092-761-8800
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

吉田設計 株式会社
建築設計／企画・設計・監理
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-7
TEL092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811-7265

感謝と賛美のために
祭服．聖器具．聖像
信心用品．ベール．
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092-526-9176

キリストの愛をかかげて 前に進もう！

2001年度教区聖書講座開講中

5月26日　聖書と教会の掟（教会法）②　松永久次郎司教
6月23日　聖書と倫理①　小池　如安神父
7月28日　聖書と倫理②　小池　如安神父
会　場：カテドラル／大名町カトリック教会
※できるだけ聖書をご持参ください。
時　間：第4日曜日14時～16時　費　用：各500円

広報研修会

ところ：カテドラル大名町教会1階講堂
日　時：5月5日(日) 14：00～16：00
講　師：松隈康史氏（中央協議会広報部）
テーマ：インターネット／福音宣教の新たな場
　　教皇メッセージを受けて
参加費：５００円
対　象：広報やインターネットに興味のある人
　　小教区の広報に携わっている人
主　催：教区広報委員会
問合先：司教館広報部（☎092-522-4059）
※世界のカトリック教会から発信される情報にもっと近くなるチャンスを見つけよう。

熊本地区神学講座開講 第2期

◆5月12日　ミサ：感謝の祭儀　白浜　満 神父
◆5月26日　人間とは：認識能力、意志能力、感情かかわりの能力　大山　悟 神父
◆6月9日　人間とは：人格、良心、自由、善と悪、行為、責任　M･コース神父
◆6月23日　人間と倫理　牧山強美 神父
※2003年3月9日まで、全18回。
問合せ先：☎096-352-1515　手取教会　日向

第29回 日カ連福岡大会

日　時：2002年5月27日(月) 9時30分～28日(火) 12時30分
テーマ：「沖に漕ぎ出そう！」
　　…いのちへのまなざし…を受けて
内　容：基調講演と分科会
講　演：いのちへのまなざし…宮原良治司教
　　分科会への導入……野島一彦教授
分科会：①教育　②暴力(DV)　③人権
場　所：カテドラル大名町カトリック教会
参加費：5,０００円（２カ間の昼食含む）
問合先：☎092-522-4059　深堀
主　催：日本カトリック女性団体連盟
共　催：福岡教区福岡地区婦人会

案内版　会合と催し

福岡黙想の家　5月

◇3日(金)～5日(日)　福岡教区クルシリヨ
◇7日(火)　マテオ神父の『祈りの学校』
◇8日(水)　ミカエル会
◇11日(土)～12日(日)　泰星学園ＯＢ黙想会
◇15日(水)～16日(木)　平和の元后マリアの共同体
◇17日(金)　宗像和善の聖書
◇18日(土)～19日(日)　山口・島根信徒養成研修会ASIPA
◇20日(月)～22日(水)　八代ナザレ園職員研修会
◇24日(金)～26日(日)　福岡黙想の家後援会黙想会
◇26日(日)　福岡黙想の家後援会総会
※新緑のルルドのマリア主をたたえ小鳥もうたう祈りの森で
[問合先] 黙想の家　☎0940・32・3222　FAX 32・3385

マグリン神父のゆるしの秘跡

日　程：5月25日(土)…5月のみ1日
場　所：大名町カトリック教会小聖堂

生命山カトリック別院

※祈りの集い
・5月9日(木) 10時～15時
テーマ：キリストに出会った人々
指　導：Sr.マリアと S.フランコ神父
※研修会
・5月31日(金)～6月2日(日)
テーマ：諸宗教対話とは何か？
指　導：S.フランコ神父
参加費：10,000円（宿泊とも）
※静寂の中での祈りと、遠く有明海をのぞむ山の頂上で迎える朝、新緑は今日に痛いほど美しい！
[問合先]
・生命山カトリック別院
☎0968・85・3100
FAX 0968・85・3186

5月のこよみ　聖母月

3日(金)　福岡教区修道女連盟総会［カテドラル］
3日(金)～5日(日)　クルシリヨ［黙想の家］
4日(土)　聖心のウルスラ宣教女修道会来日50周年記念ミサ
5日(日)　復活節第6主日
　世界広報の日（献金日）
　教区広報研修会［大名町教会14時～16時］
　唐津教会創立100周年
　†F.ルマリエ［八代教会1945］
9日(木)　召命祈願ミサ［サン・スルピス大神学院19時15分］
10日(金)　†F.チリ司教［初代福岡教区長1930］
12日(日)　主の昇天
　老司教会ふれあいバザー／笹丘教会バザー
14日(火)　聖マチア使徒
　†ヨハネ棚町正刀［茶山教会1968］
19日(日)　聖霊降臨の主日
　合同堅信式［カテドラル14時］
22日(水)　助祭・司祭候補者認定式［大神学院16時半］
26日(日)　三位一体の主日
　福岡聖書講座［カテドラル14時］
　日本カトリック女性団体連盟総会［カテドラル］
27日(月)～28日(火)　日本カトリック女性団体連盟福岡大会［カテドラル］
31日(金)　聖母の訪問
6月
2日(日)　キリストの聖体
　新田原教会聖体大会／鳥崎教会聖体行列
4日(火)　†ミカエル西田邦洋［若松教会1996］
ゴチックは司教日程

◆福岡

■福岡祈りの集い
［日時］毎週月曜11時～12時30分［場所］カトリック大名町教会［内容］聖霊による祈り［問合先］☎092・522・5139ブラザー床嶋

■グレゴリオ聖歌を歌う集い
［日時］5月1日（水）11時12時15分［場所］浄水通教会聖堂［講師］坂田孝子氏［参加費］自由献金［問合先］☎096・380・56866堺［次回］6月5日（水）11時［内容］聖母マリアの祝日のためのミサ曲によるミサ

■第86回福岡結婚準備講座
［日時］5月8日（水）から6月1日（土）まで毎週水曜日と土曜日の全8回／19時～21時30分［場所］カトリック大名町教会［問合先］カトリックファミリーセンター☎092・541・6207 FAX 552・5022

■召命祈願ミサ
［日時］5月9日（木）19時15分［場所］サン・スルピス大神学院［司式］下町豊重神父（西新教会主任）［問合先］☎092・871・4943大神学院

■第19回福岡ホスピスの会
［日時］5月12日（日）14時～16時半［場所］カトリック大名町教会4階［テーマ］乳ガンの早期発見と治療の選択［講師］前川宗一郎医師（福岡市民病院外科部長）［参加費］会員500円／一般700円［問合先］☎092・731・3701福岡ホスピスの会事務局［次回］7月14日（日）

バザー　笹丘教会 老司教会　日程　5月12日

■ヨアキム・アンナ信心会
［日時］5月16日（木）［場所］高宮カトリック教会［指導］小池如安神父［内容］ロザリオ・黙想・ミサ［問合先］☎092・542・6180小田部

■召命を共に祈る会
［日時］5月23日（木）14時30分［場所］召命の家［指導］浦川務神父（召命担当）

■在世フランシスコ会集会
［日時］5月26日（日）14時～16時［場所］カトリック高宮教会集会所［内容］アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習［指導］小池如安神父［問合先］☎092・843・5831岩崎

■生と老い死を見つめる会
［日時］6月2日（日）14時から［場所］カトリック大名町教会／5月は休会です。6は第1日曜日ですからご注意ください。［問合先］☎092・713・8523大山・・2・7607・6992村尾

■典礼を学ぶ集い
［日時］6月16日（日）14時から16時［場所］カテドラル大名町教会［内容］ことばの典礼（聖書朗読・説教）［参加費］一回600円・年間全4回分2000円［締切り］6月日［申込先］☎0940・3・8122井上元之［次回］7月21日（日）

■美野島司牧センターから
衣類の寄付をお願いします。男性用ズボン・靴下などの衣類・洗面道具・靴をよろしくお願いします。女性用の衣類は間に合っています。［問合先］コース神父☎092・4・1・1419

◆北九州

■小倉祈りの集い
［日時］5月17日（金）13時30分～15時［指導］V・マテオ神父（御受難会）［場所］小倉教会信徒会館2階［内容］「ことば」をあじわい祈る［問合先］093・452・1556安藤

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
［日時］5月9日（木）10時～11時30分［場所］佐賀カトリック会館［内容］祈り［問合先］☎0952・72・7536吉田［次回］5月25日（土）10時～12時はミサと祈り：毎月第2木と第4土曜日に集まっています。どうぞご参加下さい。

■聖書を読む会
［日時］毎月第1木曜日、午前の部10時～11時半／午後の部19時半～21時［場所］佐賀カトリック会館［内容］「出エジプト記」を読む［講師］A・アレグリーニ神父［テキスト］「新聖書［参加費］無料［問合先］☎0952・23・4754阿南

◆熊本

■第68回熊本結婚準備講座
［日時］5月7日（月）～6月3日（月）毎月曜日と火曜日全8回19時～21時30分［場所］手取カトリック教会［問合先］手取カトリック教会☎096・352・3030 FAX 096・352・1515

人間一人の生命は全地球よりも重い シスターヘレン来日記念講演会

熊本会場：同仁堂ホール（上通町）
日　時：5月18日(土) 14：30～
福岡会場：福岡交通センター8階AB
日　時：5月19日(日) 13：30～
主　催：生命山シュバイツァー寺
※映画「デッドマン・ウォーキング」の原作者Sr.ヘレンのお話

編集後記

このたび教区報の編集に当らせて頂くことになりました。牧山美好神父です。どうかよろしくお願いいたします。

今年は季節の進行が、だいぶ早いようです。自然界には、日頃、ついつい心の広がりを忘れがちな人間たちを目覚めさせ、癒す力があると思うのですが…。今年はちょっと様子が違います。ゆっくり花を味わうどころではありません。

自然界まで忙しくなって来たのかな？いや、もしかすると自然界もいま深く傷つき、人間や他の生物たちを養い、癒すための力が弱くなって来ているのかも知れません。あるいは、人間がいつの間にか負った傷の深さを彼らは教えようとしているのでしょうか。

平和と共生の道を探る努力を、あきらめないで続けていかなければ、と思います。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具　コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鵜木67－3
TEL 0942－77－3199
代表者　ペトロ 平田　清

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険
〒814-0153
福岡市城南区樋井川3丁目17－10
大石保険事務所　大石真澄
☎092-552-8195　Ⓕ092-541-7734

FUJIKI
未来へ――安心を創る
藤木工務店
福岡支店　〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-1-1　TEL 092-441-6585(代表)
取締役社長　大森　周　福岡支店長　城戸隆秀

カトリック 福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　牧山美好
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

今月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう

【一般の意向】世界平和への様々な宗教の協力
【布教の意向】活動の場で洗礼を受けた者として生きる
【日本の教会の意向】仕事を探す人々のために

福岡教区創立75周年の祈り

すべての人の救いを望まれる父なる神よ、あなたは、この地に多くの宣教師を送り、彼らの働きにより、神の民としての確かな礎を築いてくださいました。そして、彼らの証しによって、まことの信仰の道を示してくださいました。

私たちが、福岡教区創立七十五周年に当たって、受け継いだ信仰の恵みを大切にし、豊かにして伝えていく力をお与えください。

洗礼によって新しく生まれ、救いの恵みにあずかった私たちが、いのちを与え尽くされた、ひとり子キリストの愛に倣い、互いにゆるしあい、助けあい、弱さを担いあって、キリストにおいて一つであることの喜びを証ししていくことができますよう、お導きください。

一致の源、証しの力である聖霊よ、すべての教役者と信徒が司教を囲み、み言葉に導かれ、秘跡の力に養われて一つになり、共に働いて宣教の使命に邁進することができるよう、豊かな恵みを注いでください。

私たちの母であるマリアよ、あなたの取り次ぎによって、司祭・修道者の召命が豊かに与えられますように。

私たちの主イエス・キリストによって。アーメン。

（2002年3月福岡教区長　松永久次郎司教認可）

75周年について2面に詳細を掲示

唐津教会　創立100年を喜ぶ486人の信徒

26聖人が通った港町に聖堂が建って一世紀

唐津教会（佐賀県）は今年、創立百年を迎え、5月5日（日）感謝ミサ・記念式典が挙行された。この日を準備してきた同教会の信徒、佐賀県内の各教会からの信徒代表、プロテスタント諸教会、仏教界から約200人が集い、喜びをともにした。

唐津の地に教会が産声をあげたのは、1902（明治35）年、城内ニノ門に設立されたのがはじまりである。当時、信徒数は10人。佐賀教会から山口宅助神父が巡回司牧していた。1927年、福岡教区設立とともに唐津教会も福岡教区に編入され、パリ外国宣教会司祭が担当するようになった。その後、教会は二度の移転を経て、1941年、現在の山下町に移り聖ヨセフ教会と命名された。1954年からはミラノ宣教会司祭が担当。1961年に墓地を設立。同年に幼稚園園舎が完成し、聖堂は1966年に落成、その後一部改修を行い、現在に至っている。

100周年の祝賀の席で歓談する

記念感謝ミサは松永久次郎司教の主司式で、ミラノ宣教会日本管区長ビッフィ・マウリツイオ神父、佐賀地区の司祭が共同司式した。松永司教は「百年という間に数多くの神様のお恵みがあり、数多くの人々の真心が捧げられた。過ぎ去った百年は実に尊い宝物である。心から神に感謝しよう」と呼び掛け、この節目を未来へ向かって福音宣教の門出とするように励ました。

唐津は、1597（慶長2）年、日本のカトリック教会最初の殉教者26聖人が長崎へ向かう旅の途中で一夜を過ごした地である。これを記念して2000年には市内魚屋町に26聖人顕彰碑が建立された。

挨拶に立った主任のチェリッツァ神父は「殉教者の血はキリスト信者の種子」という教父の言葉を引用しながら「26聖人殉教者の血は、唐津教会にとっても大切な信仰の種であった。この百年間は26聖人とともに、多くの信者たちが皆、それぞれの種をまいて教会を育ててくれた。そして神が彼らの労苦に報いて下さった」と感慨深く語った。

現在の信徒数は486人。

合同堅信式　12の教会から57人が聖なる塗油を受ける

5月19日（日）、教会の誕生を祝う聖霊降臨の主日に、14時からカテドラル大名町教会で松永久次郎司教主司式による合同堅信式ミサが荘厳に行われた。

今年は教区内12の教会から57人が堅信の秘跡に臨んだ。その多くは今年の復活徹夜祭に洗礼を受けた人たちである。ミサには約20人の司祭と600人の信徒が参加した。

松永司教は、説教の中で「堅信がもたらす素晴らしい光の恵みは、人生をどのように切り拓いていったらよいかを教える。この恵みを十分活かすために、力の恵みも与えられる。また堅信の秘跡は人間の協力を必要とする秘跡である。聖霊に協力し、真心を尽くして神に仕える心、人々に奉仕していく心を育ててほしい」と諭した。

続いて堅信の秘跡が行われた。受堅者の名前が呼ばれ、まず司教は受堅者に信仰を宣言するよう願い、司教と全司祭は按手して、聖霊の豊かな賜物を祈り求めた。そして受堅者はひとりづつ司教の前に進み出て、聖香油で額に十字を印された。引き続いて行われた祝賀式で、司教の手から堅信証明書と記念品が受堅者の代表に贈られた。また、挨拶に立った福岡地区信徒協代表の山崎昌典氏（糸島教会信徒）は「私たちがキリストの愛の証しとなるように、自分にできる小さなことを、心をこめて行おう！」と励まし、こうした私たちの働きの源泉は聖体とみことば、そして教会共同体との深い交わりであることを強調した。

受堅者を代表して大名町教会の松本健司氏が感謝の言葉を述べた。この日、教会は聖霊の恵みによりキリストの証人となった人々を喜びむかえ、新しい力に満たされた。

聖心のウルスラ宣教女修道会

教育と福祉に捧げる来日50周年を祝う

挨拶に立たれた総長Sr.マリア・ルイザ・C

5月4日（土）、聖心のウルスラ宣教女修道会本部（管区長シスター富山憲子：福岡市南区塩原）において、松永久次郎司教と8名の司祭による共同司式で修道会来日50周年記念感謝のミサが捧げられた。同会の50年間の歩みに与えられた神の大きな恵みを思い、参列者、会員共に感謝することが出来た。ミサの奉納行列では、50年前最初の宣教女として来日した三名のシスターガエターナによってパンとぶどう酒が奉納された。

ミサ後、聖心ウルスラ幼稚園に会場を移し、記念祝賀の集いが催された。会は和やかな雰囲気に包まれ、その中で、安藤正太郎氏によるヴァイオリン演奏が行われ、しばし心の癒しと祈りにも通じる感動のひとときを過ごした。

同会は1952年、日本二十六聖人殉教者の祝日に来日し、多くの困難のうちに日本における宣教の土台が築かれていった。現在は福岡市に修道会本部を置き、宮崎県、三重県、東京都の各支部で教育事業・社会福祉事業・教会奉仕にと日々の奉献生活を捧げている。イタリア・パルマ市に貧しく小さく芽生えたウルスラ会の霊性と精神は、来日最初の宣教女によって日本人会員に受け継がれた。また、神の証し人としてふさわしい明朗快活・家族的な親しい雰囲気は、今も使徒的な宣教女魂となっている。これからも神のより大いなるご光栄と人々の救いのために、さらなる刷新と再創立への躍動的な歩みが期待されている。

時の話題

歌う教頭（全校朝礼）

水谷　繁夫　氏

全校朝礼で私が話すことになった。▼先日、東京で独り住まいをしている息子から電話があり、母親の初めの言葉は「元気でいるか？」でした。母親にとっての最大の関心事は息子の大学や仕事のことよりは、まず子どもが元気で過ごしているかどうかでした。私も生徒に「元気かー！」とよく声を掛けます。中学1年生の諸君は「先生、元気です、学校が楽しいです！」と、それこそ元気に大きな返事が返ってきますが、高校三年生にもなると、「元気です！」とすぐさま返事をすることには躊躇しているようです。「元気？」と「心が健康ですか？悩みのない、晴々とした気持ち。汚れのない、清い心。そんな心持ちで、毎日を笑顔で過ごしていますか？」という意味が分かっているからでしょう。本当に元気でいることは年齢を重ねるほど難しいことなのです。さて、いまは一年で一番美しいとき、母を思うにふさわしいときです。カトリック教会にとっても、聖母マリアを思い、私たちの罪のあがないのために神様に取りなして下さる聖母を讃え、感謝を捧げます。本校の今年の目標は『美しく在ろう、美しく成ろう』です。内面的な美しさを大切にしましょう。そしていつも私たちの健康を願い、心配して下さっているお母さまに感謝しましょう。▼最後はさだまさしの歌『案山子』で締めくくった。「元気でいるか　町には慣れたか　友だち出来たか　寂しかないか　お金はあるか　こんどいつ帰る・・・・・」

（泰星中学高等学校　教頭）

みちくさ

聖母月の五月が過ぎ去り、聖心の六月を迎えました。時節も年間となり、平凡な長い毎日になりました▼大自然も春から夏へと、美しい若葉から成長の青葉の季節となり、それぞれの働きと時に移りました。今こそ、信仰に活きる私たちの働きが求められるときとも言えます。植物も動物もそれぞれ自分の働きを続け、神様を賛美しています▼私たち信者の務めは「神の礼拝と隣人への愛の業」ですが、私たちはそれぞれ真心を尽くして、それを毎日の生活で実行しているでしょうか。私たちの生活の中でそれが目立っておりそれが特徴になっているでしょうか。神を称える大自然の中でその良き代表者となり、人々の生活を支える良き働き人となっているでしょうか▼田園の中に建つ教会が人々の祈りの声を支え、街中の修道院は人々の嘆願のハーモニーを伝え、こうして私たちの社会は創造主を賛美する素晴らしい大楽器となることでしょう▼工場で仕事に従事するものも、家庭でその日その日の勤めを果たす人も、病人や老人に奉仕する人も、それぞれの務め仕事を通して愛の賛歌を歌う人の仲間に加わることが必要です▼もしこれが現実の姿であるとしたら、私たちは神の国の住人としての役割を果たしている人の仲間になります▼どんな身分にあり、どの仕事を受け持っているとしても素晴らしい価値を持つ神の業に参加していることになります。私たちは神が期待した人間の働きの場にいることになります。これこそ、神が期待される素晴らしい世界です。（J）

2001年 福岡教区現勢

福岡教区教勢統計　2001年12月末現在

小教区名	在籍信徒数			不明	死亡	転入		転出		洗礼			求道者		初聖体	堅信	ミサ参加者			外国語	教会学校			
	男	女	合計	計	計	男	女	男	女	幼児	成人	合計	男	女	計	計	主日	復活	降誕祭		教師	幼小	中学	高校
糸島	163	181	344	27	2	7	10	2	2	1	2	3	2	3	3	1	100	200	180		7	29	12	6
今村	440	553	993	0	12	1	6	8	3	21	2	23	0	4	11	0	700	800	900		4	65	27	0
大楠	145	196	341	18	3	10	10	9	23	6	1	7	15	21	9	26	205	310	690	40	17	44	9	6
大牟田	90	169	259	23	3	3	4	6	3	6	6	12	4	4	13	16	100	130	400	15	8	32	9	9
小郡	185	202	387	42	2	6	4	0	2	1	2	3	0	0	5	0	80	160	240		1	13	7	0
久留米	455	595	1,050	322	11	4	5	6	10	19	9	28	4	10	12	27	600	750	750	30	7	54	29	0
古賀	414	485	899	43	4	13	21	6	8	6	4	10	1	7	10	16	220	500	579		10	54	43	22
笹丘	358	501	859	39	8	4	21	11	9	5	10	15	1	1	18	33	230	250	370		4	54	23	15
浄水通	223	326	549	16	3	13	9	12	15	1	1	2	10	120	4	13	130	250	650		18	41	22	27
大名町	700	1,049	1,749	238	20	30	63	17	23	18	21	39	7	51	43	30	650	1,350	3,500	120	13	35	23	6
高宮	152	235	387	26	2	1	7	7	6	2	2	4	1	6	5	2	150	280	450		7	34	12	12
茶山	265	286	551	0	6	2	4	6	6	0	2	2	0	1	2	0	268	441	260		4	15	7	1
西新	548	682	1,230	21	7	17	15	25	22	6	9	15	2	4	19	0	400	450	650		8	55	33	0
箱崎	102	162	264	24	0	6	9	1	1	0	2	2	4	6	6	28	90	120	200		4	14	0	0
光丘	550	630	1,180	88	3	15	8	5	5	9	15	24	0	2	23	2	350	405	555		7	57	32	12
二日市	282	388	670	13	2	7	17	3	7	13	7	20	4	2	14	21	250	350	600		7	51	24	0
本郷	318	358	676	11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	20	350	550	650		6	24	27	0
吉塚	333	448	781	0	6	12	14	6	6	7	3	10	1	1	8	3	180	310	360		2	34	6	1
老司	321	360	681	0	4	3	6	10	13	6	4	10	0	10	16	2	130	280	952		6	55	4	0
小計	6,044	7,806	13,850	951	103	154	233	140	164	127	102	229	56	253	223	240	5,183	7,886	12,936	565	140	760	349	117
飯塚	105	140	245	0	1	0	0	0	0	2	1	3	1	2	2	10	70	170	190		3	10	0	0
黒崎	478	669	1,147	25	18	5	6	4	4	8	4	12	6	8	8	2	400	500	800		11	37	14	0
小倉	930	1,419	2,349	318	15	7	15	40	54	5	10	15	2	5	16	1	500	800	1,000	10	10	35	2	0
新田原	873	983	1,856	0	15	8	7	6	12	5	0	5	0	0	18	0	850	1,500	1,400		11	97	62	0
田川	59	91	150	26	0	0	0	1	2	1	0	1	0	1	0	0	30	60	80		2	0	0	0
天神町	117	188	305	30	4	0	3	8	8	0	1	1	1	19	6	1	80	140	150	10	3	16	1	0
戸畑	337	442	779	0	3	2	4	4	4	7	14	21	0	3	20	28	180	420	680		19	34	32	42
直方	96	96	192	6	2	0	1	0	2	2	0	2	0	3	8	0	45	100	120		1	35	9	2
水巻	341	435	776	0	4	5	12	0	3	8	4	12	0	0	5	18	150	350	350		12	35	17	0
門司	208	288	496	30	8	4	7	2	1	0	4	4	0	3	6	1	220	250	450		12	10	3	0
湯川	574	665	1,239	27	13	14	16	4	8	14	1	15	1	1	8	1	300	500	550		11	42	5	3
行橋	339	380	719	11	4	4	8	5	5	4	1	5	0	1	3	0	260	380	630		15	41	20	0
若松	96	137	233	43	3	2	1	0	1	3	6	9	0	0	6	1	70	150	200		3	15	5	0
小計	4,553	5,933	10,486	516	90	51	80	74	104	59	46	105	11	46	106	63	3,155	5,320	6,600	20	113	407	170	47
合計	10,597	13,739	24,336	1,467	193	205	313	214	268	186	148	334	67	299	329	303	8,338	13,206	19,536	585	253	1167	519	164
伊万里	118	150	268	15	0	1	0	0	0	3	2	5	0	13	5	13	60	140	160		7	26	11	0
鹿島	23	30	53	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	15	30	55		2	0	0	0
唐津	213	273	486	19	2	4	3	1	3	3	2	5	0	0	11	0	100	170	270		7	35	12	0
佐賀	294	430	724	38	12	4	4	4	7	10	15	25	0	5	25	1	170	250	500	25	4	28	0	0
多久	57	62	119	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	25	53	61		2	5	0	0
武雄	39	52	91	0	2	3	2	0	0	0	1	1	0	3	2	1	25	60	93		2	13	5	0
鳥栖	168	237	405	3	5	6	5	6	4	2	2	4	1	2	9	1	100	260	270		2	57	6	6
馬渡島	180	187	367	0	3	0	0	6	3	2	1	3	0	1	4	0	340	380	400		3	36	14	0
呼子	149	159	308	36	7	1	0	0	0	2	0	2	0	0	5	1	150	280	290		3	23	18	0
合計	1,241	1,580	2,821	111	31	19	16	17	17	13	19	32		26	39	10	985	1,623	2,099	25	32	223	66	6
荒尾	46	98	144	13	1	3	2	0	3	0	0	0	0	2	0	3	40	60	60		2	4	4	1
大江	127	193	320	1	6	0	0	0	0	8	1	9	0	0	4	0	150	270	300		3	16	12	0
帯山	131	181	312	7	2	4	2	12	11	1	5	6	2	4	5	0	80	110	130		5	21	1	0
菊池	23	57	80	33	0	0	0	0	0	0	1	1	0	8	1	6	25	45	45		2	0	0	0
健軍	174	246	420	0	4	1	4	3	3	4	3	7	1	3	3	1	140	200	250		8	24	11	17
崎津	100	137	237	3	8	0	0	0	0	2	2	4	0	0	2	0	70	150	150		2	14	10	0
島崎	136	213	349	0	5	3	1	3	3	2	6	8	0	0	11	1	180	280	310		4	17	0	0
玉名	47	78	125	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	55	120	140	15	4	10	5	4
手取	344	711	1,055	6	13	5	5	16	21	6	18	24	6	28	27	0	350	550	750		14	66	21	0
人吉	57	122	179	0	3	1	5	1	6	1	2	3	2	3	3	0	50	100	130	20	1	17	8	0
本渡	65	129	194	95	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	30	40	50		2	0	0	0
水俣	34	47	81	13	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	7	8	30	50	80	12	3	4	0	0
武蔵ケ丘	146	230	376	0	5	9	13	15	11	1	5	6	0	5	9	18	200	250	350		10	19	11	14
八代	41	97	138	4	0	0	1	0	0	1	1	2	0	2	1	1	75	110	200		3	1	0	0
合計	1,471	2,539	4,010	175	49	28	33	51	62	26	44	70	12	56	73	37	1,475	2,335	2,945	47	63	213	83	36
総計	13,309	17,858	31,167	1,753	273	252	362	282	347	225	211	436	79	381	441	350	10,798	17,164	24,580	657	348	1603	668	206

福岡教区総人口　7,751,210人　司祭総数　98人　修道士・修道女総数　441人　神学生　2人

1927 福岡教区が独立教区になって75年 2002

1927年（昭和2年）7月16日福岡教区が創立された。10年前福岡教区は今村地区での信徒発見125年を祝った。殉教の時代を経て、再び今村の地で宣教が始まったのは「1879年（明治12年）ジャン・マリー・コール神父によってであり、明治14年8月には今村に最初の教会が献堂され、プチジャン司教が祝別した。」と25年前に出された福岡教区創立50周年の記念誌『萌芽』に記されている。

それから天草、馬渡島、福岡、小倉、久留米、熊本、と宣教の足はのばされ教会堂も建てられ、求道者、受洗者も増えていった。先月の唐津教会など、すでに百周年を祝った教会はこの頃に精力的な宣教が行われていた地方である。

1927年7月16日付で、ローマの布教聖省は、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県をチリー司教のもとに福岡教区とし創立させた。（翌1928年3月29日付けで宮崎県と大分県は分離しサレジオ会に依託された。）

この時、福岡県には今村、大牟田、久留米、大名町、新田原、小倉、天神町、門司の6教会、佐賀県には佐賀、唐津、馬渡島、松島、呼子の5教会、熊本県には手取、琵琶崎、八代、人吉、崎津、大江の6教会があった。修道会は久留米と熊本にショファイユの幼きイエズス修道会、シャルトル聖パウロ修道女会、マリアの宣教者フランシスコ会があった。信者総数は約七千九百人と『萌芽』には記されている。

昨年の現勢報告を見ると信者総数は三万一千七百九人とある。

教区長松永司教は75年の感謝と信仰の深まりを求めて教区民が巡礼を行うことを勧め、免償を付与している。

巡礼地＝大名町教会・古賀教会・小倉教会・黒崎教会・手取教会・八代教会・崎津教会及び根引山・佐賀教会・唐津教会・トラピスト修道院聖堂・カルメル会修道院聖堂・聖クララ修道院聖堂、以上の巡礼地の1ケ所で聖体訪問、ロザリオ1本、教皇様の意向のための祈り（主の祈り・聖母マリアへの祈り・栄唱を各1回づつ）の信心行を果たすこと。期間は2003年の7月16日までとなっている。

免償＝赦された罪に対する現世での罰が神から赦されることと。正しい心構えと定められた条件を満たすキリスト信者はこの赦しを教会の取り次ぎによって得られる。全免償によって、現世での全ての罰が赦され、また、部分免償によってその一部の赦しが得られる。信仰上の理由で免償を受けようという意向を持つことが必要です。

教区現勢をみて

2001年の各小教区の動向について報告が出揃い、12月31日現在の福岡教区の情勢が浮かび上がった。大聖年を終えて最初の教区の一年の歩みである。

在籍信徒数をみると、前年より74人少なくなっている。受洗者については、二年ぶりに幼児受洗者が成人受洗者数を上回った。

主日のミサ参加者がやや増え、復活祭ミサについてみれば、256人の増加である（前年比）。このデーターが共同体の活力ある祈りと活動に結びつくことを願いたい。

教会学校生徒数について、幼児・小学生が前年比377人の減少。中学生についても149人の減少である。子供たちをめぐる状況は変化し続けており、信仰教育に対する保護者、小教区共同体の姿勢が問われているといえよう。今こそ子供たちを、神の愛に気付き、応える人間へと育てていくよう熱意をもって取り組みたいものである。

福岡教区創立75周年記念ミサの案内

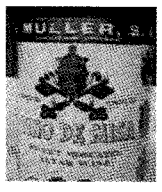
今年、福岡教区は創立75周年を迎える。教区では実行委員会（委員長＝川上惣一神父教区総代理）を設置し検討会を持って来た。その結果、1面に掲載した「75周年の祈り」を教区民がこぞって唱えることを勧めている。また、巡礼なども勧められている。これらの信心行は1年間を通して行われるが、7月に記念ミサを行うことが左記の通り決定された。また、11月にも記念行事が予定されている。

感謝ミサ

7月14日(日) 各小教区主日のミサで記念ミサ

7月16日(火) 11時よりカテドラルで教区合同の記念ミサ

むなかた祈りの森
グループ・個人の黙想、研修会等に…
カトリック福岡黙想の家
PRAYER GROVE MUNAKATA
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

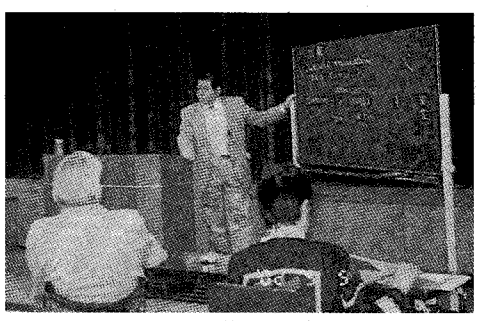
ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ　青木 彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

教区広報研修会

インターネットで福音宣教は可能か？

5月5日（日）福岡教区広報委員会主催の広報研修会が開催された。テーマは第36回「世界広報の日」教皇メッセージに因んで『インターネット…福音宣教の新たな場・フォーラム』。


インターネットを使った話しに熱が入る

例年になく若い参加者が多かったのはテーマによることだろう。熊本、佐賀、北九州、福岡市内など多くの小教区から高校生や青年等40人が参加した。

講師は日本カトリック教会の中枢とも言える、カトリック中央協議会広報部の松隈康史氏。

今回のテーマにふさわしく、講演のなかで松隈氏は実際にパソコンの画面をスクリーンに映しながら、福音宣教の新たな手段としてのインターネットの効果として、日本のほかヴァチカンや韓国、アメリカなどの教会のホームページを紹介した。

また、アメリカでの情報として、修道会の情報をインターネットで入手する若者など、実際にこれらの手段が生かされている実情も紹介。しかしその一方で、コンビニエンスストアの商品棚を例に、氾濫する情報が価値を伴っていない状況が述べられたが、そこからは教会がその情報のひとつに相対化されることへの危惧が感じられた。

また特に今回の講演では、各教会の広報担当者の参加が多く、質疑においても、それぞれが受け手ではなく情報の発信者として、どのようにインターネットを活用していったらよいのか、という点に関心が集まっていた。この点に関しては、電子メールの活用を含めた今後の課題であるように思われる。

講演の最初に、松隈氏は東京・秋葉原の様子をビデオで紹介し、ネオンサインの輝く繁華街のかたすみに、プロテスタントの教会がひっそりと建っている風景は、インターネット空間における教会の姿を象徴するものであろう。情報の交錯する現代社会に教会が福音を伝えていくうえで、インターネットはどのような可能性を持っているのかを、今回の講演は参加者に考えさせるものであった。

第41回クルシリヨに25人参加

ゴールデンウイーク中の5月3日（金）から5日（日）にかけて、第41回クルシリヨが福岡黙想の家で開催された。今年の特徴は若者の姿が目立ったことである。神学生・志願者・高校生・中学生を合わせて25名が参加した。研修活動全体に大変活気があふれていた。スタッフも、例年になく活発だった参加者の熱気に押されて、随分張り切っていたようである。

ルルドで祈りを捧げる参加者

アンケートによると、今回の参加のきっかけは、ほとんどの人が教会の役員や司祭からうながされてのことだったようである。居眠りする暇もない程の過密スケジュールの中で、参加者はいつの間にか研修の流れに乗っている自分に気付くことになったようだ。初日・二日目と悪天候だったため、室内行事が重なり、参加者の気分も多少は湿りかかったが、三日目の朝は気持ちよく晴れ、ルルドでのミサに与ることができ、最後まですっきりとした気持ちで研修にはげむことができた。

また、今回もたくさんのパランカが寄せられ、これが張り出されると参加者はみな目を見張って驚いていた。いままでにパランカ（霊的花束）を作成したり、お祈りを捧げたりしていたとしても、これほどとは予想しなかったからであろう。多くの人の祈りに支えられて、今年も無事クルシリヨを終了することができ、参加者・スタッフ全員感謝と喜びで満たされていた。

福岡教区修道女連盟総会を開催

2002年5月3日、福岡カテドラル・センターで、福岡教区修道女連盟2002年度総会が行われた。総会に先立って、松永久次郎司教の「キリストの教会」と題する講演による研修会が開かれた。

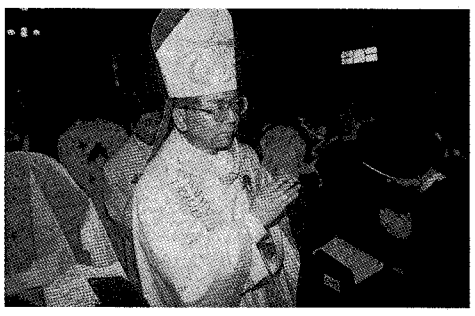
ユーモアを交えながら平易な表現で教会論を理路整然と展開する司教の講話は、参加した90余人のシスターたちの宣教活動を鼓舞するものであった。

教会の本質を①秘跡②神の民の集い③教会の使命の三側面から説き明かされたが、とくに力を込めて語られた点は次の通りである。

教会にとって大切なことは、まず神を愛すること、次に兄弟である人々を大切にすることに尽きる。キリストの神秘体としての私たちは各自の自発的な協力でひとつの命につながる恵みを受ける。修道者に対して神への愛で光り輝くようにと促された。

講演後、松永司教主司式のもと、三人の司祭との共同司式のミサが捧げられ、その後、総会を開いて、新役員の紹介、新旧年度の活動・会計の報告や審議がなされ、滞りなく終了した。

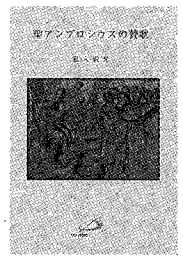
高見三明司教叙階式
長崎浦上天主堂で2000人が祝う


叙階式を終え、祝福しながら退堂する新司教

2002年2月7日に教皇ヨハネ・パウロ二世によって長崎大司教区（教区長・島本要大司教）の補佐司教に選任されていたヨセフ高見三明被選司教の司教叙階式が4月29日（月）10時、島本要大司教主司式により、長崎カテドラル浦上教会で挙行された。日本の17人の司教、カナダからローマ留学時代の同級生のリユク・ブシャール司教をはじめ、長崎教区、福岡教区などから集まった2000人以上の司祭、約2000人の信者が参加した。高見三明司教は福岡サン・スルピス大神学院で神学生養成に尽力し、吉塚教会、浄水通教会などで奉仕したこともある。福岡教区からは共同聖別司教として松永久次郎司教が参加、司祭、信徒も多数参加して祈りをささげた。

BOOK 読みは専科

★聖アンブロシウスの賛歌
家入　敏光　訳



ミラノの司教、聖アンブロシウスは、西方教会における典礼の改革者であり、その典礼の伝統は今日まで受け継がれている。本書はアンブロシウスが創作した賛歌の邦訳であり、アンブロシウス典礼を理解する上で非常に貴重な資料であると同時に、当時のキリスト教を理解する上でも貴重である。第二部にはブルデンテイウスの賛歌『殉教の勝利の栄冠について』を収録している。

サンパウロ
税抜き　2400円

◇　◇　◇

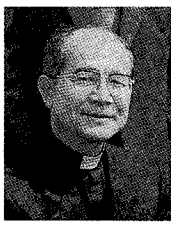
★『行きづまったとき』
P・オサリバン　著者
山岡　三治　SJ　監修者
小熊　晴代　訳者
池田　雅彦　画・装丁

経験豊かな霊的指導者・黙想指導者・著者であるパトリック・オサリバンは気さくな語り口で描いてくれます。私たちがどのように神との関係を育むための道を歩めばよいのか、その関係を曇らせる陰である罪をどのように見ればよいのか、このアプローチの中心にあるのは、人間イエスの真の姿であり、生活の中でイエスの過越しの神秘を生きようとする私たちの姿勢です。

女子パウロ会　発行
本体　1200円

母のいのり

塩谷恵策神父



四、五歳の時だったと思います。ある日、母にひどく叱られました。何をしたのかは憶えていませんが、あまりの剣幕に、今日は並の謝り方ではだめだと感じ、幼いなりに一生懸命「謝罪」の言葉を探しました。とっさに浮かんだのが『桃太郎』の絵本の中で、鬼が桃太郎に謝る時のせりふです。鬼がしたように私も母の前に手をついて、「もう決して致しませんから、命ばかりはお助けください」と言って詫びました。母は吹き出しそうになるのを懸命にこらえ、コワイ顔を続けるのに苦労したと、後から聞きました。

弟と私は小学生になるとますます悪くなり、母のコワイ顔ぐらいではびくともしなくなりました。そんなある日また叱られました。大声で怒鳴りつけても、いささかも反省の色がみられず、母は困り果てて急に沈黙しました。「嵐の前の静けさか？」と息を呑んで窺っていると、母は静かに「二人ともそこに座りなさい」と言いました。いつもと雰囲気が違うなと思いつつ、弟と二人膝頭をそろえて正座すると、母も正座しお祈りを始めました。

「神様、あなたからお預かりした子どもたちをどう育てればいいのでしょう。もう私の手には負えなくなりました。子どもたちと、この愚かな母親をお導きください」と。

「愚かな母親」という表現を今も憶えています。雷にも嵐にもめげなかった私たち兄弟にも、母の涙ながらの祈りは大変こたえ、「本当に悪かったなあ」と心底感じたものです。

☆　☆　☆

教育や躾が難しい世の中になりましたが、真心こめて我が子のために祈る父、母がいる限り子は育つと思います。手探りで、戦後の貧しい時代に私たち兄弟四人を、祈りながら育ててくれた父母に感謝しています。

美しい賛美歌の一節

「母は　涙乾く間なく　祈ると知らずや」がすべての子どもたちに通じますように。

（イエズス会福岡修道院）

ジャパンスマイルか
株式会社
不動産／管理・仲介・売買・建設／一般建築
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL092-761-8800
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

吉田設計
株式会社
建築設計／企画・設計・監理
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-7
TEL092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811-7265

感謝と賛美のために
祭服．聖器具．聖像
信心用品．ベール．
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092-526-9176

キリストの愛をかかげて 前に進もう！

2001年度教区聖書講座開講中

6月23日　聖書と倫理①　小池　如安神父
7月28日　聖書と倫理②　小池　如安神父
会　場：カテドラル／大名町カトリック教会
※できるだけ聖書をご持参ください。
時　間：第4日曜日14時～16時　費　用：各500円

熊本地区神学講座開講 第2期

◆6月9日　人間とは：人格、良心、自由、善と悪、行為、責任　M・コース神父
◆6月23日　人間と倫理　牧山　強美神父
◆7月14日　キリスト教的人間論：神の似姿としての人間　牧山　勝美神父
※8月中はお休みです。
※2003年3月9日まで、全18回。
問合せ先：☎096-352-1515／携帯090-8664-4039 手取教会　日向までご遠慮なく。

典礼を学ぶ集い

開催日と学習内容
ことばの典礼
①6月16日(日)　聖書朗読、説教
②7月21日(日)　答唱詩編、アレルヤ唱
③10月20日(日)　ミサを歌う
④1月19日(日)　信仰宣言、共同祈願
(事情によって変更になることがあります。)
講　師：
①と④　白浜満神父（福岡聖スルピス大神学院）
②と③　深堀純先生（福岡聖スルピス大神学院）
時　間：14時～16時
場　所：カテドラル大名町教会
参加費：1回600円／年間一括2,000円)
申込先：☎0940-33-8122　井上元之
※申込みは、出来るだけお早めにお願いします。
典礼に関心のある方はどなたでも参加できます。

ご案内

司祭・修道者の召命を求めて

平山高明司教講演会

日　時：7月20日(土) 13時～16時
場　所：カトリック健軍教会（熊本市）
講　師：平山高明司教（前大分教区長）
演　題：召命は信頼して祈る家庭から
ミ　サ：召命祈願ミサ
問合せ：☎096-368-2825　健軍教会
主　催：熊本地区　召命を共に祈る会

イエズスの友情を育てる

黙想会のご案内

日　時：7月20日(土) 10時 ～ 21日(日) 16時
テーマ：イエズスの友になること
講　師：W.キッペス神父（パストラル教育センター長）
場　所：福岡黙想の家（☎0940-32-3222）
費　用：12、000円
連絡・申込先：☎FAX 0942-34-8581　谷村
☎0942-31-4834　W.キッペス

案内版　会合と催し

福岡黙想の家　6月

◇4日(火)　マテオ神父の『祈りの学校』
◇8日(土)～9日(日)　福岡地区信徒使徒職協議会
◇16日(土)～17日(日)　聖母カテキスタ会
◇22日(土)～23日(日)　福岡地区正平協
◇30日(日)　日本キリスト教折尾教会

7月
◇2日(火)　マテオ神父の『祈りの学校』
◇5日(金)　むなかた和善の聖書

※やわらかい初夏の光が、美しいステンドグラスを通して射し込む聖堂の中心に、船越画伯の十字架のキリストが微笑みかける。痛むほど悲しみに満ちてみられる時もある。
[問合先] 黙想の家　☎0940・32・3222　FAX 32・3385

マグリン神父によるゆるしの秘跡

日　程：毎月第1と第3土曜日　10時～12時
場　所：大名町カトリック教会小聖堂

生命山カトリック別院

※祈りの集い
・6月13日(木) 10時～15時
テーマ：キリストに出会った人々
指　導：Sr.マリアと S.フランコ神父
※熊本諸宗教対話グループ集い
・6月16日(日)
11時手取教会を出発

場　所：佐賀県伊万里市の西念寺
時　間：14時～16時
内　容：井手恵住職との対話

※静寂の中での祈りと、遠く有明海をのぞむ山の頂上神に向かう。

[問合先]
・生命山カトリック別院
☎0968・85・3100
FAX 0968・85・3186

6月のこよみ　みこころの月

2日(日)　キリストの聖体
新田原教会聖体大会／島崎教会聖体行列
4日(火)　†ミカエル西田邦洋［若松教会1996］
7日(金)　イエスのみ心
8日(土)　聖母のみ心
9日(日)　年間第10主日
11日(火)　聖バルナバ使徒
16日(日)　年間第11主日
21日(金)　†深堀仙右衛門司教［第3代教区長1985］
†平田好［門司港教会1938］
23日(日)　年間第12主日
聖ペトロ使徒座への献金日
福岡聖書講座［カテドラル14時］
24日(月)　福岡教区全司祭研修会［～26日］
29日(土)　聖ペトロ・聖パウロ使徒
30日(日)　年間第13主日
7月
3日(水)　聖トマ使徒
†平田正喜［老司教会1994］
7日(日)　年間第14主日
11日(木)　聖ベネディクト修道院長
14日(日)　年間第15主日
16日(火)　カルメル山の聖母
福岡教区創立75周年記念日
75周年感謝合同ミサ　［カテドラル11時］

ゴチックは司教日程

◆福岡

■生と老い死を見つめる会
［日時］6月2日（日）14時から［場所］カトリック大名町教会［内容］遺言・正しい判例［講師］三浦啓作弁護士（大名町教会信徒）♥遺族の悲嘆ケアの集いもあります。［お知らせ］6月から偶数月の第1日曜日に変更致します。［参加費］会員500円／一般700円［問合先］☎092・713・8523大山・6072・6992村尾

■福岡祈りの集い
［日時］毎週月曜11時～12時30分［場所］カトリック大名町教会［内容］聖霊による祈り［問合先］☎092・522・5139ブラザー床嶋

■召命祈願ミサ
［日時］6月13日（木）19時15分［場所］サン・スルピス大神学院［司式］杉原寛信神父（小倉教会主任）［問合先］☎092・871・4943大神学院

■典礼を学ぶ集い
［日時］6月16日（日）14時から16時［場所］カテドラル大名町教会［内容］ことばの典礼（聖書朗読・説教）［講師］白浜満神父（大神学院）［参加費］一回600円：年間全4回分2000円［締切り］6月11日［申込先］☎094・033・8122井上元之［次回］7月21日（日）

■ヨアキム・アンナ信心会
［日時］6月20日（木）［場所］高宮カトリック教会［指導］小池如安神父［内容］ロザリオ・黙想・ミサ［問合先］☎092・542・6180小田部

■在世フランシスコ会集会
［日時］6月26日（日）14時～16時［場所］カトリック高宮教会集会所［内容］アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習［指導］小池如安神父［問合先］☎092・843・5831岩崎

■召命を共に祈る会
［日時］6月27日（木）14時30分［場所］召命の家［指導］浦川務神父（召命担当）

■グレゴリオ聖歌を歌う集い
［日時］6月27日（木）11時12時15分［場所］聖クララ寮聖堂（福岡市南区塩原）［講師］坂田孝子氏［参加費］自由献金［問合先］☎096・380・5686堺

■第31回福岡典礼聖歌研修会
［日時］6月30日（日）13時から［場所］カトリック光丘教会［講師］深堀純氏（サン・スルピス大神学院）［参加費］自由献金［問合先］☎092・623・5023有馬

■第20回福岡ホスピスの会
［日時］7月14日（日）14時～16時半［場所］カトリック大腸ガンの早期発見と治療の選択［講師］瀬尾洋介医師（元九州ガンセンター消化器外科）［参加費］会員500円／一般700円［問合先］☎092・731・3701福岡ホスピスの会事務局

◆北九州

■小倉祈りの集い
［日時］6月21日（金）13時30分～15時［指導］V・マテオ神父（御受難会）［場所］小倉教会信徒会館2階［内容］「みことば」をあじわい祈る［問合先］093・452・1556安藤

■美野島司牧センターから
衣類バンクに寄付をお願いします。男性用スボン・靴下など衣類・洗面道具・靴をよろしくお願いします。女性用の衣類は間に合っています。また、火曜・金曜日13時から衣類バンクの奉仕者を募っています。［問合先］コース神父☎092・431・1419

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
［日時］6月13日（木）10時～11時30分［場所］佐賀カトリック会館［内容］祈り［問合先］☎0952・72・7536吉田［次回］6月22日（土）10時～12時はミサと祈り：毎月第2木と第4土曜日に集まっています。どうぞご参加下さい。

■聖書を読む会
［日時］毎月第1木曜日、午前の部10時～11時半／午後の部19時半～21時［場所］佐賀カトリック会館［内容］「出エジプト記」を読む［講師］A・アレグリーニ神父［テキスト］聖書［参加費］無料［問合先］☎0952・23・4754阿南

◆熊本

■熊本召命を共に祈る会
［日時］7月20日（土）13時から［場所］健軍教会［内容］講演と召命祈願ミサ［講師］平山高明司教（前大分教区長）［問合せ先］☎096・368・2825健軍教会

編集後記

本号で掲載の通り、今年7月16日、福岡教区は創立75周年をむかえます。一言で75年と申しますが、刻んできた時間には確かに重みがあります。その時の流れの中に、かけがえのない一人ひとりが歩んだ人生があります。いま、私たちも先に生きてきた人々の姿を見つめ、その人々が生命を燃やして伝えてくれたもの、伝えようとしているものを、感謝のうちに受けとめたいと思います。そして、この記念を共にむかえ、感謝し合う仲間をぜひ感じたいですね。今度は、私たちが仲間と心を合わせ、未来を生きる人のために力を尽していくのです。自らの生命とその業を、永遠に続く価値の脈の中にひとつに結びあわせながら。さあ、『福岡教区創立75周年の祈り』、さっそく教会で、家庭で、また集会の時などに心を合わせて唱えはじめましょう！

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具　コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鵜木67－3
TEL 0942－77－3199
代表者　ペトロ 平田　清

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険
〒814-0153
福岡市城南区樋井川3丁目17－10
大石保険事務所　大石真澄
☎092-552-8195　Ⓕ092-541-7734

FUJIKI
未来へ――安心を創る
藤木工務店
福岡支店 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-1-1　TEL 092-441-6585(代表)
取締役社長 大森　周　福岡支店長 城戸隆秀

カトリック
福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　牧山美好
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

今月の意向

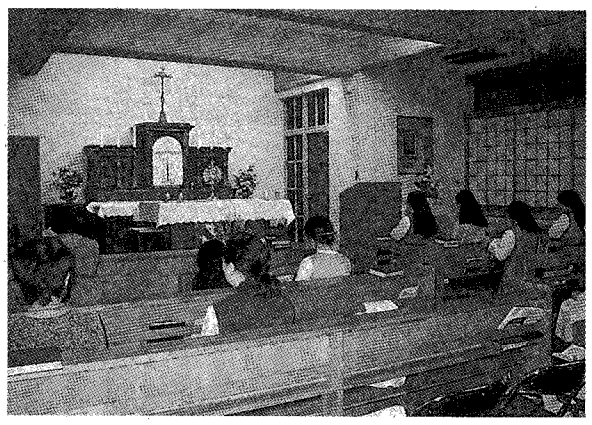
教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】神の神秘の芸術的表現のために
【布教の意向】インドのキリスト者と信仰告白
【日本の教会の意向】小教区での諸行事と宣教

召命を共に祈る会が徹夜祈祷の集いを開催

静寂の天神に夜通し響く祈りの声

カテドラル

福岡教区の召命担当司祭浦川務神父（大名町教会助任）が指導する「召命を共に祈る会」は恒例になっている召命を祈る徹夜祈祷会を、6月8日（土）から9日（日）の早朝までアクセスを考慮してカテドラルで開催。若い信徒など60余人の参加があった。


たえることなく熱心な祈りが捧げられる大名町教会の小聖堂

恒例の、召命を共に祈る会（担当：浦川務神父）主催による徹夜祈祷会が「働き手を送ってくださるように祈りなさい」をテーマに、6月8日（土）から9日（日）にカテドラル大名町教会で行われた。徹夜した人、また時間帯に訪れた人を含めると、のべ60余人が参加。交通機関がストップする深夜にもこの場を訪れ、ご聖体を囲み、祈りをつらぬいた。

8日午後7時の召命祈願ミサから始まった祈祷会は、ミサの厳かな雰囲気の中、ご聖体が小聖堂祭壇上に安置され、徹夜の祈祷会がスタート。翌朝7時の感謝ミサまでの時間を各修道会、青年たちが一時間を目安に担当しながら祈りをリードした。

浦川神父指導のもと、教区修道女連盟の協力もあり内容も充実したものとなった。シスターたちは独自の祈りや聖歌を用い、また青年は若者らしく元気な祈りを捧げた。また教区創立75周年の祈り、召命を求める祈り、ロザリオなどを捧げ、午前0時からの合同礼拝では、十字架の道行きも行われた。翌朝7時のミサでの松永久次郎司教の「ひとりひとりの声かけからはじめてください」ということばはとても印象的だった。

参加者の一人は「これを機に、召命をもっと身近に感じたい」と話していた。また、若者たちが、ひとりでも多く司祭や修道者への召命に応えられるように祈り、これからも召命のために祈りを続けようと決意を新たにしていた。

また、今回の参加者増は会場へのアクセスの良さだろうという関係者の感想もあった。

福岡教区創立75周年記念ミサのごあんない

小教区での感謝ミサ
7月14日（日）

記念日ミサ
7月16日（火）11時
カテドラル大名町教会

感謝の集い
11月4日
サン・スルピス大神学院

※2面で募集の作品の展示、優秀作品の表彰。
小教区・修道会の紹介パネル展示。

田丸篤新司祭の初ミサ　出身の佐賀教会で

カテドラル

初ミサを恩師・先輩など佐賀地区の司祭とともに

5月26日（日）三位一体の主日に佐賀教会にて同教会出身で、去る3月21日に広島教区平和記念聖堂でイエズス会の司祭として叙階を受けたハインリッヒ田丸篤神父による初ミサが行われた。

同教会出身者の司祭叙階は、昨年のフランシスコ・マリア古里慶史郎神父に続き2年連続である。

ミサには佐賀教会とゆかりのある司祭8人および佐賀県各教会の信徒代表を含む、約200人の信徒が参加した。

田丸神父はミサの中で、「自分の為にだけ生きがちな私たちを決して責めたりなさらない慈しみ深い神様の心に私たちも応えましょう」と諭した。

聖体は、田丸神父により参加者一人ひとりに授けられた。参加者一同、新司祭のこれからの司祭生活の上に豊かな神の恵みがあるよう祈りを捧げてください」ということばはとても印象的だった。

参加者の一人は「これを機に、召命をもっと身近に感じたい」と話していた。また、若者たちが、ひとりでも多く司祭や修道者への召命に応えられるように祈り、これからも召命のために祈りを続けようと決意を新たにしていた。

また、今回の参加者増は会場へのアクセスの良さだろうという関係者の感想もあった。

日本カトリック女性団体連盟福岡大会開催

「沖に漕ぎ出そう！」と三百人

カテドラル

大会の実行委員を務めた地区婦人会の面々

日本カトリック女性団体連盟（会長＝浜野房江／顧問＝宮原良治司教）が、5月26日（日）から28日（火）までの3日間、『沖に漕ぎ出そう！』をテーマに第28回総会福岡大会をカテドラル大名町教会で開催した。地元の福岡地区婦人会から150人、他の14教区から約140人が参加。26日の総会に続き、27日9時30分からの福岡大会の開会に当り松永久次郎司教が歓迎の挨拶に立ち「エワ（いのち）と命名された女性は命を守り育む特性を与えられています」と激励した。

午後の分科会に向けた基調講演で大分教区長でもある顧問の宮原良治司教は「女性がその胎内に全く別の命を宿すことから神の愛、いつくしみを直観する」と、命の与え主である神と、そのいつくしみのもの…と宣べ続けて50年

神の証人／マテオ・ベッター神父帰天

V．マテオ神父

御受難修道会司祭マテオ・ベッター神父は、2002年6月3日（月）午前6時11分、東福岡病院（古賀市流）で90年と168日の人としての生涯を終え、彼が宣べ続けた神の愛の中に生きるものとなった。居合わせた御受難会の兄弟たちは「彼が愛し続けた神様に出会っているような顔でした」と話していた。

3日黙想の家で行われた仮通夜には聖堂に溢れるばかりの人々が集い祈りと聖歌が遅くまで続いた。4日のカテドラルでの通夜、5日13時からの葬儀には全国から700人ほどの人々が参列し別れを惜しむと共に、彼との出会いを感謝し、神への取りなしを願う人々の列が続いた。

時の話題

山頭 原太郎 師

オーイ　そこで離されるなよ

桜が美しく咲き、新入生が元気よく登校する姿は本当に魅力的でした。しかし、もう花も散って、あの新入生たちの元気な姿があまり見えなくなりました。雨が多くなり、むし暑くて汗が体中から吹き出す頃になると、新入生の顔にも何となく暗い疲れが目立つようになります。こうした傾向も自然なことだがこの時期こそ、マラソンにたとえるならばトップ集団ができ始める大切な時です。陸上の監督が大声を張りあげて《そこで離されるなヨ》と声援を送る時です。多くの元気だった新入生が落伍しはじめるのもこの頃です。

小神学校跡に独り読書しながら、私もオーイ、そこであきらめるなヨーと叫びたくなって筆をとった次第です。

人間は疲れてくると自分に都合のいいことを考えるようになります。勉強に疲れてくると、こんなことして何の役に立つのかとか、先生が嫌いだからこの教科はやめたと言う人もいます。中間考査の点のことだけ等ともっともらしい理由を持ち出し勉強をやめる人もいる。こうした暗い考えは、その本人から出ているものではないのです。疲れから出てくる声です。サッカーの選手を見たでしょう。相手チームの選手が邪魔しにくるのを見ては、次から次へとその邪魔をかわして、ゴールを目指し歯をくいしばって努力している。あの勢いと粘り強さで取り組むならば、私たちにも驚く仕事ができるようになりますヨ。《オーイ、そこで投げ出すんじゃないぞ》―。

召命の家　教区司祭

みちくさ

日韓共同開催のサッカーワールドカップが終った。日本・韓国代表チームの活躍は国中をわかせた。12人目の選手ともいわれるサポーターの熱気もすさまじかった。試合会場を揺り動かすほどの声援、スタンドはチームカラー一色で埋めつくされた▼これほどの国際大会となると、表面化していないものも含め組織・運営などで多くの問題を抱えているだろう。また、それぞれのチームでも、大小様々なトラブル、予想外の事態が発生することもあろう。これらとどう取り組み、解決していくかという問題解決のプロセスそのものも、ひとつの戦いといえるかもしれない▼異なる言語、メンタリティーを持った人々が、サッカーという一つのスポーツを体験する。参加の仕方は選手としてプレーする、応援する、問題に対処するなど様々だ。今回、アジアで大会が行われたことで、サッカーを体験する世界、チャンスがまた少し広がったのは確かである▼熱戦を終えて、日本代表チーム監督は、選手のこれまでの努力をねぎらい、今大会での活躍をたたえた。そして、最後に、「日本サッカーは、ここまで大きく成長した。しかし、先にはさらに困難な戦いが待っている。」と語った。目標めざし、チーム一丸となって突き進み、一つの成果を手にした今、彼は選手たちに、これからもっと大きな夢に向かってチャレンジしてほしい、との願いをこめた。▼福岡教区創立75周年、記念の時が始まる。仲間と共に、先人たちが歩んだ道のりを学ぼう。そして語り合おう。神の恵みのもとにあるいまを、未来を。

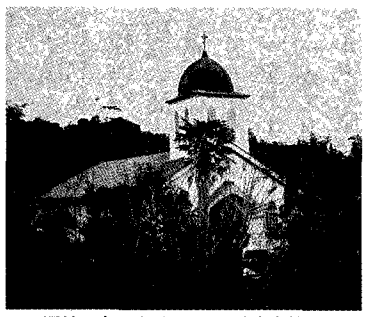
（F）

1927年　福岡教区　2002年
創立75周年を記念する(1)

福岡、佐賀、熊本三県にまたがる福岡教区は1927年（昭和2年）に創立され、本年7月、75周年を迎えた。創立時7900人の信徒数、19教会で芽を出した共同体は、信徒数31167人、55教会と各種施設を擁する若木に成長した。発展に尽力した信仰の祖先の足跡を、今号と来月号の二回にわたって概観する。

教区創立前

明治新政府によりキリシタン禁教の高札が日本全国の町や村から下ろされると、幕末からすでに横浜や長崎に入国していた宣教師たちは、ただちにキリシタンの集団を探し出してその育成に当たった。福岡教区内でいえば筑後今村、天草、馬渡島、松島、呼子の信者集団である。その一方、


明治12年に創立された馬渡島教会

宣教師たちは未だ福音が告げられていない、いわゆる新しい宣教の地を求めて各地に伝道した。その結果、福岡、小倉、久留米、熊本、人吉、佐賀、唐津に新しい神の民の共同体が誕生した。

宣教師たちはまた、ショフアイユの幼きイエズス修道会、シャルトルの聖パウロ修道会、マリアの宣教者フランシスコ修道女会、ビンセンシオ・ア・パウロ愛徳会などを久留米、熊本、人吉、八代、福岡等に招聘して、学校や幼稚園、診療所を設置、孤児や身寄りのない人、困窮家庭などに助けの手を差しのべ、福音の教えを実践していった。

教区創立

こうした中で、ローマ教皇庁布教聖省は、1927年（昭和2年）7月16日付けで、それまでの長崎教区を二分割して、長崎県一県をもって長崎教区、福岡、熊本、佐賀、大分、宮崎県をもって新しく福岡教区を創立した。

F・チリー司教

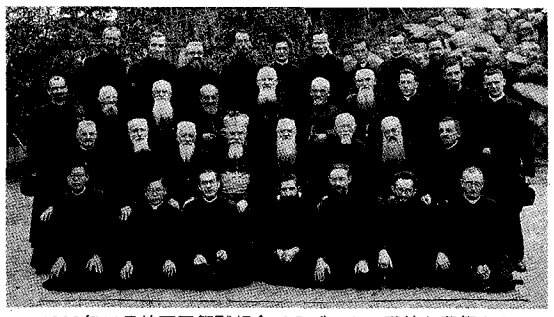
初代 F・チリー司教

本県に手取、琵琶崎、八代、人吉、崎津、大江の計19教会があった。司祭はパリ外国宣教会司祭20人と、トラピスト会付司祭3人、信者は790人であった。

チリー司教は長崎浦上教会で司教に叙階され、翌年1月16日に赤レンガの大名町教会に着座した。司教は同年福岡市内荒戸町（現荒戸交差点付近）に土地と民家を得て司教館とし、また現在の司教館、召命の家（旧福岡小神学校）、雙葉学園の土地を購入して、教区の発展の基礎を築いたが、在任2年余、病に倒れ45歳で久留米で帰天した。

第2代 A・ブルトン司教

第2代福岡教区長には東京・本郷教会のA・ブルトン師（パリ外国宣教会）が任命され、31年東京関口教会で司教に叙階されて、10月18日大名町教会に着座した。以来12年余の在任中、特に修道会の招請、聖堂の建築と小教区の新設、司祭養成など教区の土台作りに奔走した。新しく聖母訪問会（ブルトン司教が創立）、聖アンナ修道会、幼きイエス会（ニコラ・バレ）、援助修道会などが教区内で学校、病院、診療所、幼稚園などを開設、そのほとんどの事業は現在まで引き継がれている。信徒の増加にともない、大名町教会はじめ新田原、小倉、八幡、崎津、大江、大牟田の各教会も新聖堂が新築され、また主に長崎から出て来て北九州地方に散在する信者のために飯塚、戸畑教会などが新設された。


1939年11月教区司祭黙想会でのブルトン司教と司祭たち

これまで一人もいなかった邦人司祭がブルトン司教時代に一挙に9人誕生した。後に福岡司教となる深堀仙右衛門、平田三郎の両神父もこの時代に叙階された。

またブルトン司教は就任後すぐに、九州の司教たちに諮った上で、福岡に大神学校を開設することを決意し、カナダの聖スルピス会に協力を要請した。これに応えてモントリオールよりスルピス会員が来福、大牟田、ついで福岡・大濠に大神学校予科を設置して、将来の大神学校開設に向け準備に着手した。34年、現在地に司教館が完成して荒戸町の仮住まいから移転した。

第3代 深堀仙右衛門司教

教区として着実な歩みを続けていたが、これをとりまく日本の社会は全体主義への傾斜を強め、国家による宗教統制が進み、ついに教会の主要な地位に外国人がつくのを認めない方針が打ち出された。外国人教区長は教皇に辞任を申し出て受理され、次々と邦人教区長が任命された。

ブルトン司教は41年福岡教区長を辞し、代わって深堀仙右衛門神父が教区長に任命された。

特に41年から45年の終戦までの4年間、22名いた宣教師のほとんどが敵性外国人として各地に抑留され、残された7名の邦人司祭は権力者の監視を受けながらも、公に信仰を表明することもはばかられ重圧の中にあった信者の司牧に当った。いくつかの教会や修道院の建物は軍に接収されたり、強制疎開で破壊されて、主日のミサも思うにまかせなくなっていた。

叙階直後の深堀仙右衛門司教

八幡、久留米両教会は爆撃を受けて炎上した。

戦局いよいよ急を告げる重苦しい雰囲気の中で、45年5月27日、深堀教区長の司教叙階式が大名町教会で行われた。小神学生が頬を涙でぬらしながら聖歌を合唱したと伝えられている。

（続きを次号に掲載予定）

福岡教区創立75周年記念行事

福岡教区は今年、75周年の記念すべき年を迎えています。長崎教区は1927年7月16日をもって分割され「福岡教区」が誕生しました。

神の恵みに支えられ、導かれて歩んだ年月を顧みる時、そこに教区のために尽くした歴代の司教、司祭たち、修道者、そして多くの信徒たちのいきいきとした姿が浮かび上がります。福岡教区のすべての信者にとって、心を神に向かわせ、ともに感謝し喜びを分ち合う、まさに恵みの時といえましょう。

この度、教区では「記念行事準備委員会（責任者＝川上惣一神父）」を発足し、すでに「創立75周年の祈り」を作成・配付しました。現在、記念ミサや各種行事の取り組みについて検討・準備をすすめています。

下記に記念行事を紹介しています。作品募集も行われます。これから百年、二百年後までも、先人の尊い労苦を伝え、私たちが個人として、また小教区共同体として、この節目の時を生きている事に気づき、未来へ向かって希望を抱き力強く前進するためにも、積極的な参加と取り組みを期待しています。

創立75周年に当り、教区長松永久次郎司教は感謝のため、また信仰を深めるために教会の巡礼を勧め、下記の条件のもと免償が付与されるようにした。

1．巡礼地
（福岡地区）
カテドラル大名町教会、古賀教会
（北九州地区）
小倉教会、黒崎教会
（熊本地区）
手取教会、八代教会、崎津教会及び根引山
（佐賀地区）
佐賀教会、唐津教会
（修道院聖堂）
厳律シトー会（トラピスチヌ）伊万里の聖母修道院聖堂
女子跣足カルメル修道会カルメル山の聖母修道院聖堂（西区）
聖クララ会聖堂（小郡教会隣）

2．免償の付与について
次の条件を果たすことによって免償が付与される。
①上記の巡礼地の1ケ所へ参詣する。少人数でも、グループで指定巡礼地に参詣することがすすめられる。
②規定の信心業をはたす。規定の祈りは次の通り。
聖体訪問、ロザリオ1環、教皇様の意向のための祈り（主の祈り・聖母マリアへの祈り・栄唱を1回づつ）
＊免償を受けるための一般的要件として
⑴ゆるしの秘跡を受けること　⑵聖体を拝領すること

3．免償付与期間
2002年7月16日(火)～2003年7月16日(水)

4．免償の種類・回数
以上の条件を果たす場合、一日に1回全免償が付与される。
一日に複数回数を果たす場合、2回目からは部分免償となる。

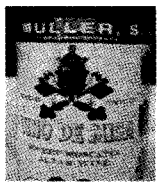
作文・シンボルマーク・テーマソング募集

(1) **作文募集**
＊**タイトル**
自由。「信仰の喜び」「教会・教区の歴史に対する思い」「信徒としての召命」「未来の教会、私たちの夢」「教区の殉教者を偲んで」など今日までの教区の歩みに対する感謝や信仰生活を深めるためのキリスト者としての決意などが伝わるもの。
＊**文字数**
800字以内
＊**対象者**
教区内の全信者を対象とする。求道者も応募できる。年齢は問わない。特に、教会の次世代を担う子どもたちの参加について各小教区での配慮をお願いしたい。
＊**応募期限と応募先**
9月30日（月）必着。小教区で取りまとめ「福岡教区本部事務局広報部」宛に送付する。

(2) **福岡教区シンボルマーク**
創立75周年テーマソング
この2つの企画の応募締切は8月31日（土）必着。

(3) **教会・修道会等紹介パネル**
各小教区、修道会、宣教会の歴史を振り返り、先達の労苦を偲ぶとともに神の恵み深さを知り、今後の信仰生活の充実に役立てることを目的とする。小教区共同体が一体となって作成に取組んでほしい。
＊**パネルのサイズ**
180センチ×90センチ
◎**詳細は各小教区に近日中に配付される予定。**

むなかた祈りの森
グループ・個人の黙想、研修会等に…
カトリック福岡黙想の家
PRAYER GROVE MUNAKATA
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

VINO DE MISA（ヴィノ デ ミサ）
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
木下株式会社
TEL092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

召命を願い、奉仕の喜びを祈った聖母行列

久留米教会の聖母月

5月12日（日）、久留米教会（主任　三村邦明神父）では9時のミサに引き続いて聖母行列が行われた。

当教会では聖母月には月曜日から金曜日の日中、信者が集まりロザリオの祈りと霊的読書を行っているが、その一環としてこの行列が行われている。

マリアさまが先頭です！

今年の行列は聖母像を据え、飾りのほどこされたみこしを先頭に、侍者、三村神父、助任の田中重治神父とマグリン神父（マリア病院付き）、そして200人の信者たちが続いた。聖堂を出て、隣接する聖母幼稚園の園庭を一周して再び聖堂へという順路をたどった。短い行列ではあったが、その間、全員で声を合わせてロザリオを唱え、最後には子どもたちが聖母像の前に花を捧げて祈った。

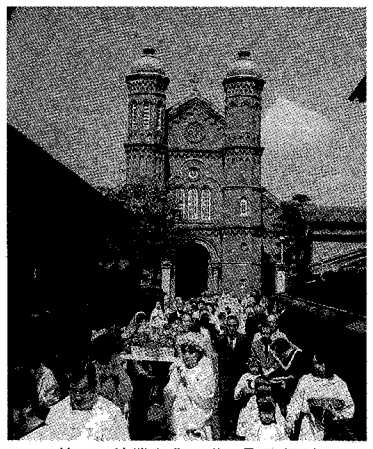
久留米教会では出身の寺濱亮司神学生のため、また司祭・修道者への召命の恵みを願って毎月第二土曜日と日曜日のミサに引き続いて、聖体賛美式を行い熱心に祈っている。この日も第二日曜日に当っていたため、行列に引き続き聖体賛美式を行い、この世にご聖体の秘跡をもたらす司祭、また生涯をかけて神のみ旨に生きる修道者の召命の大切さを思い返し、そのために聖母を通して祈ることの必要性を改めて感じるひとときともなった。

聖母園と今村教会

5月20日（月）には、社会福祉法人希望の丘（カトリック愛苦会）の老人ホーム聖母園（大刀洗町大字今）主催の聖母行列が行われた。

当日は五月晴れに恵まれ、今村教会から聖母園まで、聖母マリアをたたえながら行列が行われた。今村教会の信徒が59人、養護・特別養護老人ホーム（園長：萩原アサエ）のお年寄りと職員が110人、海の星保育園（園長：萩原美代子）から46人、1歳から103歳までという幅広い年齢層から総勢215人が参加し、心をひとつにして祈り、ミサを捧げた。

毎年行われるこの聖母行列がめざすのは、「希望の丘が掲げている、聖母マリアのご加護のもとに利用者への奉仕につとめるという開設当時からの理念を思い返す」こと、そして、たくさんの善意と援助を寄せてくれた人々に対して感謝を捧げることにある。


美しい鐘楼を背に進む聖母行列

また、この日、病床にあり、行列に参加することのできない人のために、苦しみを捧げ、平安な日々を過ごすことができるように祈った。

ミサを司式した岩永義人神父は「今日、世界で争いが絶えず、悲しい出来事が相次いで起こっているが、聖母の取り次ぎによって、和解と一致をもたらす恵みが与えられるよう、そしてお互いがゆるしあう心に目覚め、希望と喜びを持って皆が一つになることができるように祈ろう」と呼びかけた。

子どもが何度でも母親を呼ぶように、マリア様に祈りをささげること、それは私たちに失いかけた大切な態度を思い起こさせる。自分のためだけでなく、身近な人そして世界に生きる人々のことを思う心が養われる。聖母月にあたり、マリア様を大切にするこころ、人々を愛し、平和を願うここころが広がる行事となった。

熊本では聖体行列　島崎教会

6月2日（日）キリストの聖体の祭日に、午前11時から熊本・島崎教会にて恒例の聖体行列が行われた。

ご聖体を賛美して子どもたちが花びらをまく

天候に恵まれ、熊本市内の各教会から司祭、修道女、信徒約200人がこれに参加。

行列は聖堂を出て、マリアの宣教者フランシスコ修道院聖堂まで、約一キロの行程で行われた。その間、ロザリオの祈りと聖歌を交互に唱和し、一般公道を約300メートルほど進み、修道院の裏門に到着した。敷地内には待労病院、老人入所・介護施設聖母の丘などがあり、各施設の正面にて、高齢者のための聖体による祝福が行われた。この度に、神を賛美して、子供たちが撒く色とりどりの花びらが空に舞った。

その後、修道院の聖堂に、参加者全員が集い、聖体賛美式が行われ、行列は無事終了した。

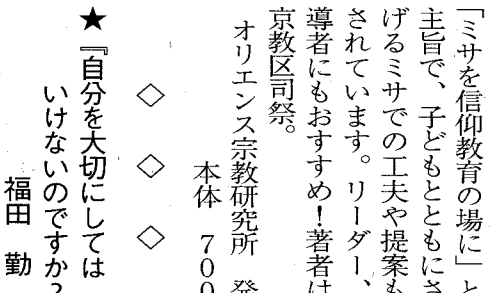
ところで、当教会の聖体行列は、百年ほど前、救ライ事業のため島崎の地に設立されたマリアの宣教者フランシスコ修道院で毎年、行われているものを当教会が引き継ぎ、その後、40数年間一度もかかすことなく、小規模ながら毎年実施され、現在にいたっている。聖体の祭日が6月の梅雨時期と重なるにもかかわらず、毎年続けられてきた。この祝日は、島崎小教区の人々にとって特別の日となっている。

好評の「典礼を学ぶ集い」開講

典礼の精神をよく学び、奉仕の努めをふさわしく実践するための学習会「典礼を学ぶ集い」が今年も6月16日（日）、大名町教会を会場に70人ほどが参加して開講した。

昨年度より、ミサの準備と「開祭」の部から系統的に学びはじめ、今年度は4回の予定でテーマが「ことばの典礼」。今回はその第1回目である。講師は、この学習会を最初からリードし、分かりやすい解説で好評を得ている白浜満神父（福岡サン・スルピス大神学院）。

「ことばの典礼」では、聖書の朗読を通して、神が実際に「今、ここで」語りかけている。わたし（たち）は、まずそれをよく「聴く」ことが大切であると神の愛と、私たちを救いに導く知恵が語られ、ちを受け、新しい生活へと決意を新たにする場、まさに神と人間のコミュニケーションが行われる時である。

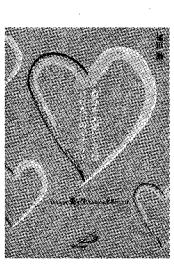


子どもたちに向けて、ミサの流れに沿い、その内容と意味が、さし絵もまじえてやさしく解説されています。また「ミサを信仰教育の場に」との主旨で、子どもとともにささげるミサでの工夫や提案もなされています。リーダー、指導者にもおすすめ！著者は東京教区司祭。

オリエンス宗教研究所　発行
本体　700円

◇　◇　◇

★『自分を大切にしてはいけないのですか？』
福田　勤　著

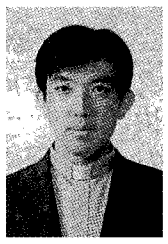


「自分を捨てて、神と隣人を愛しなさい」「えっ？自分を大切にしてはいけないのですか？」誰もが一度はぶつかる疑問。キリストの説く真実の愛とは何かを著者が語ります。著者は戦争直後に両親を亡くし、自暴自棄になったといいます。しかし何年もの療養生活のあと、神父になろうと決意しました。その心の軌跡をふりかえりつつ、いま必要なことは、現代人が見失っている「無限なるものにゆだねる心」をとり戻すことだと教えます。

サンパウロ　税抜き
1400円

★『みんなでささげる　わたしたちのミサ』
江部　純一　著

イエス様の心を伝える


田丸　篤　神父

皆さんはじめまして。私は佐賀教会出身で、今年の3月21日に広島の司教座聖堂で司祭叙階を受けました田丸神父です。イエズス会に所属し、現在広島の祇園教会で働いています。司祭になってまだ3ヶ月程ですが、今の心境を少しお話したいと思います。

最近カンボジアの教会で働いている方の話を聞く機会がありました。その方のお話では、カンボジアの教会が大切にしていることは、まずカンボジアの人々の声に耳を傾けることから始める。今この国で起こっている事態をしっかり受けとめて初めて、宣教という働きもできるということでした。自分が住む地域の人々の生活、その人々が今何を考え、何に悩み苦しんでいるのか、そのことをしっかりと受けとめ、また自分たちがその人々に対してできる精一杯のことを行っていく中で、初めて福音も伝えられるということです。最初から「キリスト教の勉強会をします。集まりませんか。」という呼びかけではなく、まずその地域の人々の声に耳を傾ける努力、人々と実際に関わる努力をしていくという働きの中でこそ、イエス様の心も伝えられるということです。そしてその地域の人たちが、カトリック教会の人たちは、なぜこんなに自分たちのことを大事にしてくれるのだろうと思うなら、隠さずにイエス様がおられること、そのイエス様の心の中は小さき人々に対する慈しみで一杯であること、自分もそのイエス様の心に倣いたいからこのようなことを行っていると明言することも忘れないようにしているそうです。イエス様の心に倣った実際の働きを通して福音を伝えていくこと、そして自分たちの働きをイエス様に対する愛と少しでもこのイエス様の心に倣いたいという思いで行うこと。人々のためにおにぎり一つでも、イエス様が好きだから、そのイエス様の心に倣いたいから、という思いでにぎるなら立派にイエス様の心を伝えていることになると思います。

イエズス会司祭
広島教区祇園教会助任

BOOK 読みは専科

ジャパンスマイルか株式会社
不動産／管理・仲介・売買・建設／一般建築
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL092−761−8800
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

吉田設計株式会社
建築設計／企画・設計・監理
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-7
TEL092−711−0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811−7265

感謝と賛美のために
祭服．聖器具．聖像
信心用品．ベール．
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092−526−9176

キリストの愛をかかげて前に進もう！

熊本地区神学講座開講 第2期

◆7月8日　神とその認識　大山　悟神父
◆9月9日　神・聖霊・恩寵　F.マッケイ神父
◆9月23日　三位一体の神　櫻井尚明神父
◆9月23日　マリア論　櫻井尚明神父
※8月中はお休みです。
※2003年3月9日まで、全18回。
問合せ先：☎096-352-1515／携帯090-8664-4039
手取教会　日向までご遠慮なく。

福岡典礼を学ぶ集い

【開催日と学習内容】
…ことばの典礼…
②7月21日(日)　答唱詩編、アレルヤ唱
③10月20日(日)　ミサを歌う
④1月19日(日)　信仰宣言、共同祈願
(事情によって変更になることがあります。)
講　師：
②と③ 深堀純先生(サン・スルピス大神学院)
④　白浜満神父(サン・スルピス大神学院)
時　間：14時～16時
場　所：カテドラル大名町教会
参加費：1回600円／年間一括2,000円
申込先：☎0940-33-8122　井上元之
典礼に関心のある方はどなたでも参加できます。
1回目は終了しましたがとても好評でした。

ご案内　司祭・修道者の召命を求めて　熊本

平山高明司教講演会

日　時：7月20日(土) 13時～16時
場　所：カトリック健軍教会（熊本市）
講　師：平山高明司教（前大分教区長）
演　題：召命は信頼して祈る家庭から
ミ　サ：召命祈願ミサ
問合せ：☎096-368-2825　健軍教会
主　催：熊本地区　召命を共に祈る会

イエズスの友情を育てる

黙想会のご案内

日　時：7月20日(土)10時～21日(日)16時
テーマ：イエズスの友になること
講　師：W.キッペス神父（パストラル教育センター長）
場　所：福岡黙想の家（☎0940-32-3222）
費　用：12,000円
連絡・申込先：☎FAX 0942-34-8581 谷村
☎0942-31-4834　W.キッペス

結婚のための出会いを希望される方
「きょうが記念日」になる集いを企画しました

第27回カナの会

と　き：2002年8月25日(日) 10：30～
ところ：召命の家（浄水通教会となり）
対　象：20歳以上の独身男女／会費：2000円
申込み・問合せ：各小教区カナの会担当者
主　催：カトリック福岡司教区「カナの会」

案内版　会合と催し

福岡黙想の家　7月

◇5日(金)　宗像・和善の聖書
◇6日(土)～7日(日)　山口・島根信徒養成研（AsIPA)
◇20日(土)～21日(日)　グループ黙想会（Fr.キッペス）
◇20日(土)～23日(火)　聖母幼稚園職員研修会
◇24日(水)～31日(水)　『修道女のための黙想会』
指導：鈴木神父《参加者募集中！／会費55,000円》

8月
◇1日(木)～10日(土)　幼きイエズス修道会　黙想会
◇11日(日)～17日(土)　サレジオ会　黙想会
◇19日(月)～28日(水)　幼きイエズス修道会　黙想会
◇30日(金)～31日(土)　伊都キリスト教会　修養会
［問合先］黙想の家　☎0940・32・3222　FAX 32・3385

マグリン神父のゆるしの秘跡

日　程：毎月第1と第3土曜日
場　所：大名町カトリック教会小聖堂

生命山カトリック別院

※祈りの集い
・7月11日(木) 10時～15時
テーマ：キリストに出会った人々
指　導：Sr.マリアと S.フランコ神父
※研修会
・8月6日(火)～9日(金)
大学生を対象とした研修会
・8月13日(火)～17日(土)
対　象：日本で働く若い宣教司祭
テーマ：日本の文化、宗教について。日本におけるインカルチュレーション
※お気軽にお問合せ下さい。
［問合先］
・生命山カトリック別院
☎0968・85・3100
FAX 0968・85・3186

7月のこよみ

7日(日)　年間第14主日
11日(木)　聖ベネディクト修道院長
14日(日)　年間第15主日
16日(火)　カルメル山の聖母
福岡教区創立75周年記念日
75周年記念日ミサ　［カテドラル11時］
20日(土)　†平田勇［西新教会1980］
†W. シュルツ［吉塚教会1987］
21日(日)　年間第16主日
WYDトロント大会［福岡教区青年4人参加］
22日(月)　マグダラの聖マリア
25日(木)　聖ヤコブ使徒
†J.ラグレブ［門司天使園園長1982］
†J.ブルトン［呼子教会1957］
26日(金)　聖ヨアキムと聖アンナ
27日(土)　†L.ルリエ［聖小崎育児園園長1970］
28日(日)　福岡聖書講座［聖書と倫理Ⅱ：カテドラル14時］
29日(月)　聖マルタ
31日(水)　聖イグナチオ・ロヨラ
†平田惣五郎［浄水通教会1989］
8月
4日(日)　年間第19主日
†M.ボンカズ［田川教会1991］
6日(火)　日本カトリック平和旬間（～15日）
11日(日)　平和を祈る集い 福岡［カテドラル13時］
講演会とインターナショナルミサ
ゴチックは司教日程

福岡

お知らせ
カテドラル大名町教会
主日のミサ時間変更
7月7日(日)から
9時→9時30分に

■福岡祈りの集い
［日時］毎週月曜 11時～12時30分［場所］カトリック大名町教会［内容］聖霊による祈り［問合先］☎092・522・5139ブラザー床嶋

■第20回福岡ホスピスの会
［日時］7月14日（日）14時～16時半［場所］カトリック大名町教会4階［テーマ］大腸ガンの早期発見と治療の選択［講師］瀬尾洋介医師（元九州ガンセンター消化器外科）［参加費］会員500円／一般700円［問合先］☎092・731・3701福岡ホスピスの会事務局

■召命を共に祈る会
［日時］7月25日（木）14時30分［場所］召命の家［指導］浦川務神父（召命担当）

■次回の召命祈願ミサ
［日時］10月10日（木）19時15分［場所］サン・スルピス大神学院

■グレゴリオ聖歌を歌う集い
［日時］7月25日（木）13時～14時30分［場所］聖クララ寮聖堂（福岡市南区塩原）［内容］レクイエム（死者の為のミサ曲）［講師］坂田孝子氏［参加費］自由献金［問合先］☎096・380・5686堺

■在世フランシスコ会集会
［日時］7月28日（日）14時～16時［場所］カトリック高宮教会集会所［内容］アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習［指導］小池如安神父［問合先］☎092・843・5831岩崎

■生と老い死を見つめる会
［日時］8月4日（日）14時から［場所］カトリック大名町教会［内容］「老について」…元気で生きるために…［講師］福岡生と老い・死をみつめる会会長：鬼木保之氏♥遺族の悲嘆ケアの集いもあります。［参加費］会員500円／一般700円［問合先］☎092・713・8523大山：607・6992村尾

■平和を祈る集い講演とミサ
［日時］8月11日（日）13時～15時30分［場所］カテドラル大名町教会［内容］講演会とインターナショナルミサ［講師］カテドラル大名町教会主任司祭［テーマ］アフガニスタンの将来への展望［ミサ］国際ミサ

■第87回福岡結婚準備講座
［日時］9月11日（水）～10月9日（水）までの毎週水曜日と土曜日全8回19時～21時30分［場所］大名町カトリック教会［問合せ先］ファミリーセンター☎092・541・6207

■美野島司牧センターから
衣類バンクに寄付をお願いします。男性用ズボン・靴下などの衣類・洗面道具・靴をよろしくお願いします。女性用の衣類は間に合っています。また、火曜・金曜日13時から衣類バンクの奉仕者を募っています。［問合先］コース神父☎092・431・1419

福岡地区納骨堂管理委員会

●一般清掃日
7月28日(日)　8時から清掃
11時ミサ(雨天の時／8月4日)
●和田墓地解放日
8月13日～15日　10時～15時
●和田墓地追悼ミサ
8月15日(水)　14時

わたしたちは神さまの子ども！ 8/20

召命学校開校

と　き：8月20日(火)15時受付～22日(木)13時解散
ところ：召命の家（浄水通教会となり／旧小神学校）
対象者：小学5年生から中学3年生までの男子
持って来る物：ロザリオ・洗面具・水泳用具・上グツ
定　員：30人／参加費：1,000円
申込先：☎092-741-3687　大名町教会　浦川務神父
申込み締きり：8月4日(日)まで

北九州

■小倉祈りの集い
［日時］7月19日（金）13時30分～15時［場所］小倉教会信徒会館2階［内容］「みことば」をあじわい賛美する祈り［問合先］093・452・1556安藤

佐賀

■佐賀祈りの集い
［日時］7月11日（木）10時～11時30分［場所］佐賀カトリック会館［内容］祈り［問合先］☎0952・72・7536吉田［次回］7月27日（土）10時～12時はミサと祈り：毎月第2木と第4土曜日に集まっています。どうぞご参加下さい。

■聖書を読む会
［日時］毎月第1木曜日、午前の部10時～11時半／午後の部19時半～21時［場所］佐賀カトリック会館［内容］「出エジプト記」を読む［講師］A・アレグリーニ神父［テキスト］聖書［参加費］無料［問合先］☎0952・23・4754阿南　8月中はお休みです。

熊本

■第69回熊本結婚準備講座
［日時］9月2日（月）～10月1日（火）までの毎週月曜日と火曜日全8回19時～21時30分［場所］手取カトリック教会［問合せ先］手取教会☎096・352・3030

編集後記

マテオ神父様の訃報のお知らせを書きながら、今年帰天された神父様方のお顔を思い出していた。身近な執りなし手が天国に増えたことになると思いながらも、少なくとも今年、もう訃報のお知らせを書くことがないようにと願わずにはいられない。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具　コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鵜木67－3
TEL 0942－77－3199
代表者 ペトロ 平田 清

"任意保険に加入してから車の運転を致しましょう"
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険
〒814-0153
福岡市城南区樋井川3丁目17－10
大石保険事務所 大石真澄
☎092-552-8195 Ⓕ092-541-7734

未来へ――安心を創る
FUJIKI
藤木工務店
福岡支店 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-1-1　TEL 092-441-6585（代表）
取締役社長 藤木鐵三　福岡支店長 城戸隆秀

2002年8月6日～15日

日本カトリック平和旬間
各地の【平和を祈る集い】

福岡会場
日程：8月11日（日）
第1部　講演会　13時～
テーマ：アフガニスタンの将来への展望
講　師：野坂秀男氏
（カリタス・ジャパン事務局長）
第2部　平和祈願ミサ　14時30分～
インターナショナルミサ
…民族・宗教の違いを越えた平和を願って…
司　式：M・コース神父（司牧センター）
献金の意向：アフガニスタン難民支援のため

北九州会場
日時：8月11日（日）
1　記念講演会　13時～
テーマ：同時多発テロから1年
講師：森山信三神父（戸畑教会主任）
2　平和祈願ミサ　15時～
北九州地区司祭団共同司式

佐賀会場
日　時：8月11日（日）　11時～
松永久次郎司教主式「平和祈願ミサ」

福岡教区創立75周年を祝う

創立記念日のミサに500人の信徒

福岡教区は1927年7月16日、長崎教区から分かれ、フェルディナン・チリー司教を初代教区長に戴いて創立された。以来、歴代の5人の司教に導かれて歩みを続け、本年、創立75周年をむかえた。これを記念して、教区内の各小教区において7月14日（日）に感謝ミサを行なった。創立記念日にあたる7月16日（火）には、カテドラル大名町教会で第五代教区長松永久次郎司教主司式により、記念ミサが挙行された。

資料に目を通す司祭たち

「この記念を、未来へ向かう教区の出来事に！」との松永司教の意向で、ミサは叙階年で一番若い司祭である牧山美好神父（司教秘書）が担当することになった。

牧山神父は「創立75周年を迎えたことを、祖先たちをはじめ、みんなで心を合わせて感謝したい。今日のこの喜びは、私たちの間にとどめ置かれるものではなく、普遍教会・神の民全体と一致した喜びであり、これから出会うひとびとへと広げられていくはずのものである」と述べた。また「教区のこれまでの歩みの中に生きた人々の信仰の模範に倣うこと、そして信仰の遺産を後世に伝えること、これは今の時代を生きる私たちの重大な責務である」と語った。さらに「教会は救いのしるしとなるように世に遣わされている。罪と死に打ち勝ち、人類と神を和解させたイエス・キリストをすべての人が必要としている。宣教者である私たち一人ひとりが、まず自分の信仰を活性化させ、たとえ徒労に終るかのように見える現実の中でも、豊かな実りを信じて福音宣教を続けていこう」と呼びかけ、説教を結んだ。

共同祈願では司祭、信徒の代表者が、福岡教区の発展のため、司祭、修道者の召命のため、家庭のため、子どもたちのため、困難や病気で苦しんでいる方のため、滞日外国人のために祈りを先唱し、結びには全員で「福岡教区創立75周年の祈り」を唱えた。

派遣の祝福の前に、松永司教は「この聖なる祭に多くの方が参加してくださったことを、心から感謝したい。この75周年の祝いは、過去を祝うというより、未来のために、特別の祈りをこめ、喜び合って、力強く前に進むことをあらわしている。過去に隠されている数多くの恩人に心から感謝し、今から先、もっと力強く、もっと聖霊に満たされて、世を力強く歩み、神の国を広げることをめざすものである。そのために皆さんのご協力を切にお願いしたい。マリアのみ手に未来をゆだねて、すべての困難の中で私たちを守ってくださるよう祈ろう」と語った。

創立記念日ミサは、7月16日（火）11時から、創立以来司教座がおかれ、教区の母教会であるカテドラル大名町教会で挙行された。平日にもかかわらず、教区内外各地から500余人が集った。ミサの開始を告げる鐘の音が教区民の喜びと感謝を代表するかのように鳴り響き、聖堂内では参加者がひとつとなって入祭の歌を唱和する中を、教区の神学生が先立って進み、45人の司祭がこれに続いた。行列の最後に、教区長松永久次郎司教が入堂した。

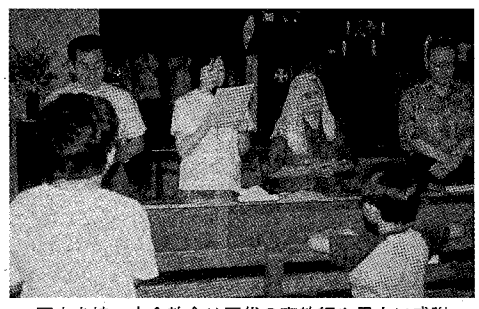
教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】良心の問題としての環境の尊重
【布教の意向】バラックの多い都市で働く宣教者のために
【日本の教会の意向】平和のための一歩

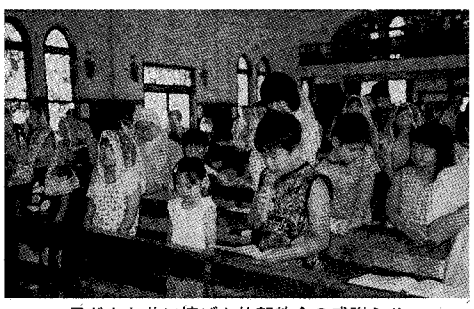
7月14日（日）には全小教区で祝いのミサ

100周年に向かう手取教会の子どもたち

教区創立75周年記念日に先立って、直前の7月14日（日）主日に合わせて、教区内のすべての教会で感謝ミサがささげられた。朝から厳しい暑さに見舞われたが、信者はそれぞれの小教区聖堂に集い、冷房設備のない聖堂では、吹き出す汗を拭いながら、これまでに受けた数々の恵みを思い起こし心を合わせて神を賛美した。このミサを通じて、教区創立75周年の記念が信者一人ひとりにとって、より身近なものとなった。

この日は年間第15主日にあたっていたが、ミサでは準備委員会により作成された祈願文が用いられ、共同祈願、聖歌などを通して、共同体が心を一つにして祝うことができるよう配慮されていた。聖書朗読は、この主日のものが用いられた。いみじくも福音のテーマは種まきのたとえで語られた神の国（マタイ13章1節～23節）。ガリラヤの湖のほとりで告げ知らされたイエスの喜びの知らせはこの日、福岡教区民の心をとらえ深く胸を打つものとなった。


歴史を持つ小倉教会は歴代の宣教師や恩人に感謝


子どもと共に捧げた佐賀教会の感謝ミサ

また未来へ向かう歩みについて考えることも行われた。夏休みを前に、子どもとともに捧げるミサが行われた教会もあり、そこでは教区の未来を生きる子どもたちが中心になって典礼奉仕を行った。

子どもたち、そして彼らがこれからも建設し続けるこの教区の上に、神からの豊かな祝福と恵みがあるようにと願わずにいられない。また彼らの中から司祭、修道者となって、福岡教区という神のぶどう畑で働く人が数多く誕生することを切に願った。

時の話題

藤田みどり

カギがないんです！

カギの110番の電話受付の仕事をしています。一日に約100本の電話を受けます。

あらゆる電話の中で、家であれ車であれ「開かなくなった！！」これが一番多いのですが、予想だにしていなかった事態に年齢、性別、社会的地位も関係なく、みなさん一様にあわてふためいています。人は不自由を感じなければ、その物の大切さに気が付かない、という悪い癖をもっているようです。かく言う私も、ある日いきなり自分の部屋のノブが壊れた時はかなり動揺してしまいました。カギは開いて当然なもので開かない場面など普通想像しないものです。

でも実は、今日開いたカギが明日も開く、ということは決して当たり前なことではないのですね。「明日の約束は確率の高い偶然への賭けである」と以前どこかで聞いたことがありますが、「偶然」ということでもないように思います。やはりこれも神様からの恵みのたまものなのでしょう。人はどうしても良かったことと、悪かったことだけは鮮明に覚えていて、そのつど「あーよかった。感謝致します。」とか「赦してください」などと結構神様を意識することがあるように思います。

だが、何事もなかった、いつもと同じ平凡な一日、そんな日こそ神様に感謝を忘れないでいたいものです。

大名町教会信徒

みちくさ

百周年へ向かう新たな旅がはじまった。宣教する共同体をめざして、私たちのさらなるチャレンジが今まさに始まるのである。キリストの愛をかかげて前へ進もう！▼私たちに与えられた信仰、この恵みを自分の中に息づかせ、だれかに伝える使命に精一杯生きられたらどんなに素晴らしいだろう。今こそ、この使命をしっかりと自覚し、心に期すこの生き方を熱望したいと思う。そして「新たな派遣の力を一人ひとりに！」と心から祈り求めようではないか▼現代の教会がおかれている状況は困難に満ちている。また、取り組まなければならない多くの課題がある。キリストの福音を出会う人、出会う文化の中で開花させていくことは、いつの時代の宣教者たちも直面した課題である。今もなお福岡教区は信仰の未開拓地として、広大な部分を残している。パウロは『私は福音を恥としない。福音は信じる者すべてに救いをもたらす神の力である（ローマ1章16節）』との確信をもっていた。私たちの心は燃えているだろうか▼キリストはいま、ご自分の協力者と定めた教会を通して、その使命を果たされる。イエス・キリストは父なる神の御心を行う。御父の御心とは、すべての人をイエス・キリストのもとに一つに集めること▼宣教という業、それはすぐに目に見える成果で報われるわけではない。けれども神のことばは必ず豊かな実りをもたらすと信じて、決して諦めるまい。そして弟子としての心をもって見つめ続けよう。たゆまず宣教する師キリスト、その姿を。（F）

カトリック福岡教区報
松永久次郎司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　牧山美好
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

1927年　福岡教区　2002年
創立75周年を記念する(II)

第3代 深堀仙右衛門司教

1945年（昭和20年）8月15日太平洋戦争が終結。まもなく思想統制は廃止され、信教の自由が保証されて、カトリック教会は信仰を公然と表明できることになった。

1946年当時の福岡教区の信者数は約一万二千人、深堀仙右衛門司教他司祭は、戦時下辛酸をなめた宣教師を含めて27人、うち邦人は8人であった。教会には敗戦で心のよりどころを失った多くの人たちが精神の渇きを癒すべく大勢押し寄せ、司祭たちは修道者と協力して教理指導に当たり、1947年には720余人に洗礼を授けた。

一方信徒も、特に1947年から1948年にかけて発足した諸運動をとおして積極的に宣教分野にかかわった。小倉教会で発足したJOC（カトリック青年労働者連盟）は青年労働者のために、また佐賀教会で最初のグループができたレジオ・マリエは自己の成聖を通して人々の救いのために、それぞれ活発に活動を展開した。この二つの運動はともにその後福岡教区からまたたく間に全国に広がっていった。

またSVP（聖ビンセンシオ・ア・パウロ会）もキリストの愛の教えを生活の中で実践し貧しい人たちに奉仕した。その他「教区布教委員会」を結成して宣教活動を組織化するなど、深堀司教のもとに司祭、修道者、信徒は一致協力して、福音を広く多くの人と分かち合うべく、祈り活動した。

1950年レジオ・マリエ誕生の時

1948年、福岡・浄水通りに福岡サン・スルピス大神学校を開設（1951年現在地に移転）、1950年叙階の青木保、糸永武の両師を先頭に次々と邦人司祭が巣立っていった。一方外国人宣教師も大挙来日し、1948年に北九州地区がパリ外国宣教会に、1950年に熊本地区が聖コロンバン会に、1952年に佐賀地区がミラノ外国宣教会にそれぞれ委託され、残る地区が邦人司祭地区となった。

多くの男女修道会が教区内に進出し、小教区での宣教司牧、教育、福祉、出版事業を開始。観想修道会も各地に定住し祈りと生活をもって教区を支えた。

第4代 平田三郎司教

1969年末、深堀仙右衛門司教に代わって大分教区長であった平田三郎司教が福岡教区長に任命され、翌年1月23日着座した。戦後からこの年までに、教区内には35の小教区が誕生、それまでの20教会とあわせ現在の大半の小教区がこの時期までに生まれた。

この小教区と修道会の諸活動をもとに平田司教は、自ら参加した第2バチカン公会議（62年～65年）の決定を福岡教区内でも少しずつ実施に移していった。1970年、教区司祭評議会が、1971年に成直後にはセンターを会場に「第1回福音宣教推進全国会議」長崎教会管区信徒公聴会が開かれ、九州各地からの代表400人が「開かれた教会」をめぐり本大会（87年）へ向けて活発に意見交換した。

カテドラル献堂式後、祝賀会での平田司教と来賓の司教たち

第5代 松永 久次郎 司教

1990年10月、平田三郎司教は定年により教区長職を辞し、後任に長崎教区補佐司教松永久次郎司教が教区長に任命され、翌1991年1月15日着座した。

松永司教はまず、郷土の信仰の先祖顕彰を通して福岡教区信仰共同体の誇りと一致を鼓舞するため、1992年11月、筑後今村の信徒発見125周年祭を教区民とともに祝った。熊本、佐賀、北九州などの殉教者の顕彰も引き続き行われ、列福運動も進められている。

1990年12月27日福岡に到着し歓迎を受ける松永司教

司教は様々の機会に「信徒の養成」、中でも信仰の継承とある「キリスト者の家庭の養成」を訴える。これは「命の文明」を提唱する教皇ヨハネ・パウロ2世や「家庭」をテーマにした「第2回福音宣教推進全国会議」（93年）など世界や日本の動きと連動するものである。これに応えて各種研修会や様々の集いが開かれてきたが、これからも一層押し進められなければならない課題である。

特に1980年代末から危機が叫ばれていた司祭の高齢化と減少、神学生の減少の問題はここに至ってさらに深刻さを深めている。これに対して「召命をともに祈る会」などが各地に起こされて熱心な祈りが捧げられているが、実際にいかにして召命の増加をはかるか、価値観の多様化、少子化の中での、青少年の養成を含む家庭での信仰養成ともからんで大きな課題である。

またますます国際化する教会の司牧宣教には信徒、司祭、修道者の協力が一層求められるであろう。これまで福岡教区を豊かに成長させてくださった神に変わらぬ信頼を寄せ、100周年へ向けてあらたな一歩を踏み出そう。（編集部）

福岡教区宣教司牧評議会設立
2003年4月より始動

昨年9月の司祭評議会の提案と教区長の決定を受け、同年10月に川上惣一師・松井忠之師・平田敬師・中浜一男師の4人の司祭、川島晋二氏（水巻教会）・長濱聡氏（八代教会）・松尾隆氏（水巻教会）の信徒3人が選出されて、設立準備委員会が結成された。

今日までに、5回の準備委員会を重ねて、「福岡教区宣教司牧評議会」の名称を決定し、規約を作成した。

2002年7月3日に教区長松永久次郎司教から規約全般に対しての認可が降り、今後、規約に従って評議員が選出されることになる。

規約によれば、司教総代理と教区会計部長に加えて、任期を2年とする評議員として地区司祭代表5人、司祭評議会代表2人、宣教会司祭と修道会司祭及び修道士代表の計3人、教区修道女連盟から2人、信徒代表10人、それに教区長が任命する若干名の人選を行い（規約第5条・第4条）、2003年4月に設立発足する予定となった。

本会は松永司教の諮問機関であり、司教の諮問に答申するのを旨とし、決定権をもたない（規約第2条）。

本会の目的は、福岡教区の神の民が一体となって福音宣教共同体を構成し、信仰共同体の充実・発展のため神の民の声を広く聞き、教区全体における宣教司牧に関する事柄について答申する。

(1)教区長の諮問に応じて調査・研究・審議して結果を文書または口頭で教区長に答申する事。

(2)教区長の要請に応じて、上記の事柄について実際的な結論を提示し、具体案を作成し、その実施を推進することにある（規約第3条）。

「神の民」を表現できるよう、教区の全構成員の各パートの代表者が、それぞれのパートの意見を収集したり、集約したりしながら、一同に会して討議できる場となる。

また、本会の議題を選定し決定するのはあくまで、教区長の権限であるが、評議員は（全教区の神の民は評議員を通して）本会の議題案を書面で、提案理由をも明記し、本会の事務局長を通して、教区長に提出することができる（規約第8条）。

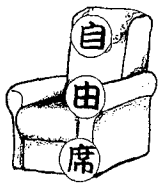
文責：中浜一男

シエラレオネにもう一度

福吉　三代子

逃げまどった川岸に立つ、ルンサの少年とシスター

5年前の8月10日「平和祈願ミサ」で、内戦が激しくなったアフリカのシエラレオネのルンサから帰国中のシスター根岸（ご聖体の宣教クララ会）の報告を聞いた。「アフリカには武器を作っている国はありません。武器が持ち込まれなければ平和で、親しみやすい人々ばかりです」と言われた言葉を思い出す。その後、シエラレオネに戻った彼女は1998年の2月にジャングルを逃亡中に反乱軍に捕まり、命からがら生還した。4年間の国外退去を余儀なくされてもどりますが私たちの貧しい修道会がもう一度、学校を再建できるかと考えると心が重くなります。でも今まで23年間何もないところから日本の支援者の援助で三千人の子どもたちに給食を与え、教育を授けてこれました。私には両手を切られ、目に燃えるプラスチックの棒を入れられ焼かれた子どもたちを遠くの出来事としてほっておけません。



皆さん、もう一度手を貸してください。再建には二千万円が必要です。二万人の人が千円ご支援くだされば、ルンサは再建できます。あの国の子どもたちは皆兄弟のよう。もらったアメ玉1つを皆んなで分け合う人です。助けてください。シエラレオネを、子どもたちを。（小倉教会信徒）

手を貸す運動本部（代表：佐藤正明）☎042・726・6459　振込先：郵便振替00130・4・16565

むなかた祈りの森
グループ・個人の黙想、研修会等に…
カトリック福岡黙想の家
PRAYER GROVE MUNAKATA
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン
ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

「生命倫理に関して」司祭研修会

福岡教区内の全司祭研修会が、6月24日（月）から26日（水）にかけて、唐津ロイヤルホテルで行われた。講師は神言修道会司祭、南山大学教授の濱口吉隆師。38人の司祭が参加した。

今回の研修会のテーマは「生命倫理に関する問題」。これらの問題の中には、司祭が司牧の現場で直面することがらも多く含まれており、司祭一人ひとりが自らの司牧的背景をもって参加することになったと思う。2001年に司教団が出した『いのちへのまなざし』に対する反響は大きく、小教区やグループで勉強会が開かれ、多くの人が理解を深めようとしている。

資料に目を通す司祭たち

司祭たちは、この研修会を機に今日の生命科学の進歩とそれにともなう倫理の諸問題について学び、できるだけ多くのケースにふれることができればと願いつつ、積極的に講議に臨んだ。濱口師はこうした期待に応え、生命倫理に関する多くの問題について自らが執筆したテキストと今回の研修会のために入念に準備されたかなりの分量にのぼる資料をもとに、熱のこもった講議を行った。

取り扱った内容は、生殖医療（人工授精と体外受精と代理出産）について、優生思想と出生前診断（遺伝子治療）について、脳死と臓器移植について、安楽死と尊厳死について、ヒトクローンとヒト胚の研究（再生医学）について、などである。

今回は限られた時間だったため、細部にわたる詳しい説明を聞くことはできなかった。だが質問の時間において、司祭が司牧生活の中での出来事を吐露しつつ発言するたび、そこに居合わせたみんなの問題として意識され、ともに考えることが出来たのは素晴らしい実りであったと思う。

二つの修道女会で喜びの誓願と着衣式

カルメル会で誓願式

女子跣足カルメル会の初誓願式は、7月13日（土）14時から、カルメル山の聖母修道院（福岡市西区）で行われた。今回、初誓願を立願したのはシスター御復活のマグダレナ鬼塚智子さん。ミサは松永久次郎司教主司式で行われた。

司教は説教で、修道会全体が若い志願者を育て、若い志願者が修道会を育てることをユーモアをまじえながら語り、立誓願者と姉妹を迎える修道家族をあたたかく励ました。

続いて行われた誓願式で、司教は「一層深く神と結ばれ、完全にキリストに従うために貞潔、清貧、従順を捧げること、またキリストの神秘体である全教会のために、孤独と絶えない祈りのうちに、神に身を捧げる」という福音的勧告の実践に生きる意志をたずねた。立誓願者は問いかけに「望みます」と力強く応えた。続いて立誓願者は修院長の前で誓願文を読み、誓願文は祭壇に奉納された。次に、会則と会憲の書が司教によって授与された。

「望みます」と誓願の強い意志を表明

愛苦会で着衣式

カトリック愛苦会（大刀洗町）の着衣式は、7月21日（日）10時から、今村教会で行われた。着衣したのは、今村教会出身のテレジア橋本香奈子さん。ミサは松永久次郎司教が主司式した。今村教会主任の岩永義人神父、愛苦会会員が働いている社会福祉法人「希望の丘」理事長の萩原栄三郎神父（コンベンツァル聖フランシスコ会）も長崎から駆け付け共同司式した。

着衣を終え、感謝の花束を両親に贈る橋本さん

司教は説教の中で「今日の出来事の本当の意味を悟るには、まだ十分でないかも知れない。けれども喜びをもって、喜びを与えるために生きていってほしい」と諭した。そして「いつの日か、愛苦会が複数の修道院に広がり、正式な修道会に発展するように」と希望を述べた。説教の後、小教区の信徒が見守る中で着衣式が始まった。祝福された修道服とメダイを受け修道服に着替えた新会員は既会員ととともに司教の前に進み出て、神の恵みと聖母マリアの御保護のもとに、キリストの福音的勧告に従い、清貧、貞潔、従順の私的誓願を立て、神の光栄のために生涯を捧げる奉献を行った。奉納では、橋本さんが両親と一緒にパンとぶどう酒、献金を祭壇まで運んだ。

熊本で信徒宣教者の活動始まる

ビン・アルバさん

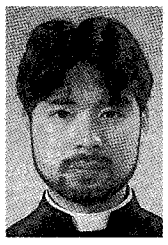
フィリピン・カトリック信徒宣教者会のビン・アルバさんが来日した。熊本地区で、福岡教区初めての信徒による宣教活動がスタートする。

熊本地区の千余人の外国籍カトリック信者の多くがフィリピン人。日本人と結婚している人も多く、個人的には信仰を持ち続けても、日本の教会共同体にとけ込むことが難しいのが現状である。また子どもの信仰教育や日本の教会への参入の支援には多くの課題がある。このことで熊本地区の司祭たちが検討を重ね、フィリピンの信徒宣教者会に協力を要請し、ビン・アルバさんの派遣来日が実現した。

ビンさんは以前、東京大司教区で8年間働いた経験を持つ。彼女は、熊本県に住むすべてのフィリピン人と連絡を取ることから始め、地元の教会の助けを得ながら、彼らが自立し、やがてこの地の共同体の一員になっていくよう助けたいと願っている。

このカトリック信徒宣教者会は日本の信徒宣教者会と同じで養成を受けた信徒による宣教団体で、要請のあった地域や国に派遣され、各自の才能と賜物を活かしながら、彼らが地の教会共同体と共に働くことを目的としている。

探していた答え


川原昭如 神父

ある青年の話。彼はカトリックの多い田舎で生れ、カトリックの家庭に育ちました。物心ついたころにはもう教会に通いだし、侍者をし、小学校高学年のころには自分から自然と司祭になりたい、と思うようになりました。彼は両親に神学校へ行きたいと伝えました。

終学年を迎え、大神学校に進学する時が来ました。彼は自分の召命を見つめ直すため、上長に外国で勉強することを願いました。その願いは聞き入れられ、外国での生活が始まりました。新しい生活、新しい出会いは、再び彼に喜びを与えてくれました。しかし、それも長くは続きませんでした。それで彼は聖地巡礼を思い立ちました。探していた答えを見つけるために。エルサレムをはじめローマ、ルルド、ファティマあらゆる聖地に行き、多くの教会で祈り、黙想しました。しかし、それでも答えは見つかりませんでした。彼は休暇で何年かぶりに自分の田舎に帰り、ミサにあずかりました。子どもたち、お年寄りが一緒に唱える祈りの声を聞いて彼はふと我に返りました。そこに彼の探していた答えがあったのです。こんなにも近くに。彼はこうして助祭・司祭に叙階され、神父をやっています。彼はとても幸せです。

私たちは時として代わり映えのない毎日に耐えられず、ドラマティックな出会い、非凡な出来事などに憧れます。しかしながら、この平凡に見える毎日こそ大事に過してほしいと思います。なぜなら、私たちの信じている神は、この日、この時、この一分一秒の内に語りかけてくださるのですから。

（サン・スルピス大神学院　長崎教区司祭）

訃報

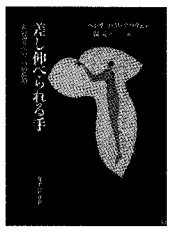
ヨゼフ 中村 芳廣 様

直方・田川教会主任司祭、中村信哉神父の尊父。

6月23日に帰天。6月26日に小倉教会で葬儀ミサが執り行われた。享年67才。

BOOK 読みは専科

★差し伸べられる手
真の祈りへの三つの段階
H・J・M・ナウエン著書
三保 元 訳者

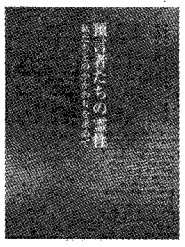


本書は「イエス・キリストの精神に基づいた人生とはどのような意味を持っているかという問いへの答えである」と著者は言っている。まず内奥の自己に手を差し伸べる第一孤独から独りである事へ・他　人間同士手を差し伸べよう　第二敵意からもてなしの心へ・他　神に手を差し伸べる　第三幻想から祈りへ・他　祈りの道を自身の体験に基づいて述べた霊的生活の書である。

女子パウロ会　発行
本体　1500円

◇　◇　◇

★預言者たちの霊性
私たちとのかかわりを求めて
マグダレナ・E・トーレス・アルビ 著
南大路 くに 訳



「続旧約聖書による霊性―預言者を読む」の改訂新版

本書は、遥かなる旧約の時代の預言者たちをとおして、ご自身を啓示された神のみ言葉への案内書です。混沌とした現代にあって、信仰者としての生き方を模索する現代のキリスト者は、本書に中にそのヒントを見い出すに違いありません。　サンパウロ

税抜き　2500円

ジャパンスマイルか 株式会社
不動産／管理・仲介・売買・建設／一般建築
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL092-761-8800
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

吉田設計 株式会社
建築設計／企画・設計・監理
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-7
TEL092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811-7265

感謝と賛美のために
祭服．聖器具．聖像
信心用品．ベール．
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092-526-9176

キリストの愛をかかげて 前に進もう！

福岡黙想の家　8月／9月

◇1日（木）～10日（土）　幼きイエズス修道会　黙想会
◇11日（日）～17日（土）　サレジオ会　黙想会
◇19日（月）～28日（水）　幼きイエズス修道会　黙想会
◇30日（金）～31日（土）　伊都キリスト教会　修養会

9月

◇1日（日）～6日（金）　オブレート会黙想
◇3日（火）　祈りの日
◇9日（月）～10日（火）　カトリック児童施設協研修会
◇10日（火）　祈りの日
◇14日（土）～15日（日）　きょうだい会
◇15日（日）～16日（月）　聖母カテキスタ会
◇17日（火）　祈りの日
◇24日（火）　祈りの日
◇28日（土）　日本キリスト教団修養会

［問合先］黙想の家　☎0940・32・3222　FAX32・3385

生命山カトリック別院

※祈りの集い
・8月8日（木）10時～15時
テーマ：キリストに出会った人々
指　導：Sr.マリアとフランコ神父
※研修会
・8月6日（火）～9日（金）
大学生を対象とした研修会
・8月13日（火）～17日（土）
対象：日本で働く若い宣教司祭
テーマ：日本の文化、宗教について。日本におけるインカルチュレーション
［問合先］
・生命山カトリック別院
☎0968・85・3100
FAX0968・85・3186

熊本地区神学講座開講 第2期

◆9月8日　人間と徳：習得的徳、枢要徳　大山　悟神父
◆9月22日　結婚と性　宮原良治司教
※8月中はお休みです。
問合せ先：☎096-352-1515／携帯090-8664-4039
手取教会　日向までご遠慮なく。

わたしたちは神さまの子ども！ 8/20 召命学校開校です！

と　き：8月20日（火）15時受付
～22日（木）13時解散
ところ：召命の家（浄水通教会となり）
対象者：小学5年生から中学3年生までの男子
持って来る物：ロザリオ・洗面具・水泳用具・上グツ・バスタオル
定　員：30人／参加費：1,000円
申込先：☎092-741-3687
大名町教会　浦川務神父
申込み締切り：8月4日まで

第27回カナの会

結婚のための出会いを希望される方
「きょうが記念日」になる集いを企画しました
と　き：2002年8月25日（日）10：30～
ところ：召命の家（浄水通教会となり）
対　象：20歳以上の独身男女／会費：2,000円
申込み・問合せ：各小教区カナの会担当者
主　催：カトリック福岡司教区「カナの会」

東光町ルルドのミサ

8月はお休み。次回は9月11日（水）

案内版　会合と催し

8月のこよみ

6日（火）　主のご変容
日本カトリック平和旬間（～15日）
†E．ベノア［門司港教会1962］
8日（木）　†P．マルケシーニ［待労病院付き1980］
11日（日）　平和を祈る集い福岡［カテドラル13時］
講演会とインタナショナルミサ
12日（月）　新田原教会納涼祭
†A．ブルトン司教［第2代福岡教区長1954］
†J．オサリバン［熊本地区長1983］
13日（火）　教区墓地開放（～15日）
14日（水）　聖マキシミリアナ・コルベ殉教者
†ミカエル木村義巳［馬渡島教会1967］
15日（木）　聖母の被昇天
教区墓地ミサ（和田墓地14時）
18日（日）　年間第20主日　大名町教会納涼会
19日（月）　†ステファノ川口康頼［小神学校校長1991］
20日（火）　教区幼稚園連盟夏期研修会
†L．デシャンブ［八王寺本部2001］
†D．グリフィン［玉名教会2001］
22日（木）　天の元后聖マリア
24日（土）　聖バルトロマイ使徒
笹丘教会聖アウグスチノ祭
27日（火）　聖モニカ
福岡教区地区婦人会感謝ミサ［カテドラル10時］
28日（水）　聖アウグスチノ司教
29日（木）　洗礼者聖ヨハネの殉教

マグリン神父によるゆるしの秘跡
日　程：毎月第1と第3土曜日
場　所：大名町カトリック教会小聖堂

9月のこよみ

1日（日）　年間第22主日
呼子教会堅信式
筑後地区スポーツ大会（大刀洗運動公園）
3日（火）　**第1回司祭評議会**（司教館10時半）
†P．コトレル［熊本地区で宣教1928］
8日（日）　年間第23主日　聖マリアの誕生
10日（火）　日本205福者殉教者
14日（土）　十字架称賛
15日（日）　年間第24主日　悲しみの聖母
†A．ヒューゼ［福岡司教館1944］
16日（月）　**福岡地区信徒協研修会**［大名町教会9時半から］
17日（火）　†P．オジョニ［ロザリオの園1982］
20日（金）　聖アンデレ金と同志殉教者
21日（土）　聖マタイ使徒福音記者
22日（日）　年間第25主日
世界難民移住移動者の日（献金日）
27日（金）　聖ビンセンチオ・ア・パウロ
28日（土）　聖トマス西と15殉教者
29日（日）　年間第26主日
若松教会堅信式
茶山教会巡礼旅行
†Y．ヴィオン［福岡司教館1969］

10月

1日（火）　幼きイエスの聖テレジア
2日（水）　守護の天使
3日（木）　†E．ラゲ［福岡司教館1929］
4日（金）　アシジの聖フランシスコ
5日（土）　二日市教会マリア祭（ローソク行列）

ゴチックは司教日程

◆福岡

■福岡祈りの集い
［日時］毎週月曜11時～12時30分［場所］カトリック大名町教会［内容］聖霊による祈り［問合先］☎092・522・5139ブラザー床嶋

■召命を共に祈る会
［日時］8月8日（木）14時30分［場所］召命の家［指導］浦川務神父（召命担当）

■ア・カペラーズ in 高宮教会
［日時］8月18日（日）13時30分から［場所］高宮カトリック教会聖堂［入場料］無料整理券発行［問合先］☎090・5021・5907菊池

■グレゴリオ聖歌を歌う集い
［日時］8月22日（木）13時～14時30分［場所］聖クララ寮聖堂（福岡市南区塩原）［内容］レクイエム［講師］坂田孝子氏［参加費］自由献金［問合先］☎096・380・5686堺・次回9月26日（木）

■第87回福岡結婚準備講座
［日時］9月11日（水）～10月9日（水）までの毎週水曜日と土曜日全8回。19時～21時30分［場所］カトリック大名町教会［問合先］☎092・541・6207カトリックファミリーセンター

■第32回典礼聖歌研修会
［日時］9月22日（日）13時から［場所］光丘カトリック教会［講師］深堀純氏［参加費］自由献金［問合先］☎092・623・5023有馬

■在世フランシスコ会集会
［日時］9月22日（日）14時～16時［場所］カトリック高宮教会集会所［内容］アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習［指導］小池如安神父［問合先］☎092・843・5831岩崎：8月は休会。

2002年度福岡地区信徒協研修会
今、見つめ直そう家族のかかわり
「いのちへのまなざし」を受けて
講　師：宮原良治司教（大分教区長）
日　時：9月16日（月）9：50～16：00
会　場：カテドラル大名町教会
参加費：1,000円（弁当500円別途注文）
申込み：各小教区、修道院毎にまとめて
締きり：9月3日（火）必着

■生と老い死を見つめる会
［日時］10月6日（日）14時から［場所］カトリック大名町教会［内容］生と老を取り巻く現代医療［講師］三木浩二医師（小倉記念病院）♥遺族の悲嘆ケアの集いもあります。
［参加費］会員500円／一般700円［問合先］☎092・713・8523大山：

◆北九州

■小倉祈りの集い
［日時］8月16日（金）13時30分～15時［場所］小倉教会信徒会館2階［内容］「みことば」をあじわい賛美する祈り［問合先］093・452・1556安藤

■召命を共に祈る会
［日時］9月12日（木）14時［場所］小倉カトリック教会

■美野島司牧センターから
美野島衣類バンクでは、限定男性用ズボン・Tシャツ・靴下・洗面道具・靴など寄付を待っています。また、火曜・金曜日13時から衣類バンクの奉仕者を募っています。［問合先］コース神父
☎092・431・1419

■次回の召命祈願ミサ
［日時］10月10日（木）19時15分［場所］サン・スルピス大神学院［主式］伊東成晃神父（水巻教会主任司祭）

■一日黙想会のご案内
［日時］10月15日（火）10時から16時［場所］高宮カトリック教会［テーマ］「私はあなたを友と呼ぶ」［指導者］ケヴィン・スカロン神父（聖ヴィンセンチオ会）とシスターブリージ・マッケナ（聖クララ会）［連絡先］☎092・541・6207ライル神父

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
［日時］8月24日（土）10時～12時［場所］佐賀カトリック会館［内容］ミサと祈り
［日時］9月12日（木）10時～11時30分［場所］佐賀カトリック会館［内容］祈り
［日時］9月28日（土）10時～12時はミサと祈り［問合先］☎0952・72・7536吉田：毎月第2木と第4土曜日。どうぞご参加下さい。

◆熊本

■第69回熊本結婚準備講座
［日時］9月2日（月）～10月1日（火）までの毎週月曜日と火曜日全8回19時～21時30分［場所］手取カトリック教会［問合先］手取教会☎096・352・3030

■聖書を読む会
［日時］毎月第1木曜日、午前の部10時～11時半／午後の部19時半～21時［場所］佐賀カトリック会館［内容］「出エジプト記」を読む［講師］A・アレグリーニ神父［テキスト］聖書［参加費］無料［問合先］☎0952・23・4754阿南［8月は休会］

日・祝日の閉店時間変更と夏期休業のお知らせ

♣日・祝日の営業
営業時間が午前11時から午後4時までに変わります。

♣夏期休業
8月12日（月）～17日（土）

セント・ポール FUKUOKA

編集後記

暑さ本番、元気にこの夏を乗り切りましょう！
教区報9月号は休刊です。次号は10月1日発行になります。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具　コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鵜木67－3
TEL　0942－77－3199
代表者　ペトロ 平田　清

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険
〒814-0153
福岡市城南区樋井川3丁目17－10
大石保険事務所　大石真澄
☎092-552-8195　FAX092-541-7734

FUJIKi
未来へ――安心を創る
藤木工務店
福岡支店　〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-1-1　TEL 092-441-6585（代表）
取締役社長　藤木鐵三　福岡支店長　城戸隆秀

カトリック 福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　牧山美好
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

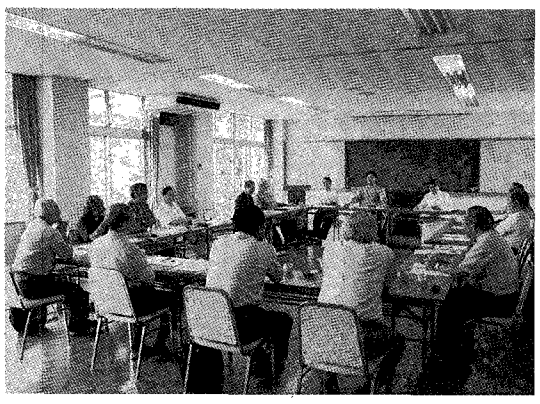
今月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】小教区における新福音宣教
【布教の意向】貧しい人々に対するキリストの愛を勇気をもって告げる
【日本の教会の意向】家族の絆

教区行事の予定等を確認

2002年度第1回司祭評議会を開催

2002年度第一回司祭評議会が、9月17日司教館新館で開催された。創立75周年の節目を迎え、福音宣教の新たな船出をした福岡教区が、これから取り組んでいく課題について討議し、司祭の減少化に伴う方策の一つとして聖体奉仕者養成なども検討された。



経過の報告があった。規約については本年7月3日付けで教区長松永司教により認可されている。今後は規約に基づいて人選に入り、2003年4月1日の発足をめざす。

今回の議題として、2003年度年間計画（教区行事予定）が取り扱われた。その主なものをあげると、司祭新年の集いは1月15日（水）に浄水通教会で行われる。2月5日に司教叙階25周年を迎える教区長松永久次郎司教の記念のミサを2月11日（火・ルルドの聖母／建国記念日）にカテドラルで行う。教区の全司祭を対象にした研修会は6月24日（火）から26日（木）に開催される。場所、講師、テーマなどについては未定。教区邦人司祭黙想会は10月20日（月）から24日（金）に行われる。

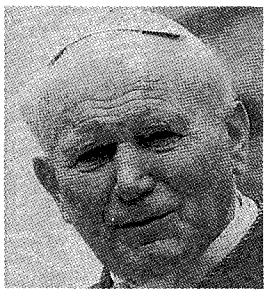
続いて、司祭減少化対策が話し合われた。また、現在まちまちになっている聖体奉仕者の制度を教区で統一したものとするため、準備作業にあたる小委員会を設置することとなった。

今年に入り、教区では司祭の訃報が相次いだ。司祭がこれからも任務を果たし続けるために、まず自分の健康に十分留意するよう心がけようと呼びかけ合った。そのため年一回の邦人司祭の黙想会の折りに健康診断を実施することを義務化することになった。

最初に、教区創立75周年記念行事の詳細について実行委員長川上惣一神父から報告が行われた。次に、教区宣教司牧評議会設置へ向けた準備

2002年10月20日 世界宣教の日

宣教は、ゆるしを告げ知らせること

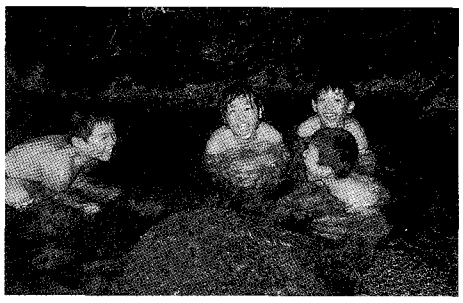


福音宣教は教会の使命です。

キリスト教のメッセージの核心は、十字架に付けられて死に、復活されたキリストの過越の神秘を告げ知らせることです。

十字架の観想から、一致とゆるしのうちに生きること、平和と交わりのうちに生きることを学びましょう。…十字架上のキリストの叫びは、失望している人の苦悩を裏切ることはありません。それは、すべての人の救いのために、御父に御自分のいのちをささげる御子の祈りだからです。（教皇ヨハネ・パウロ二世の世界宣教の日メッセージより）

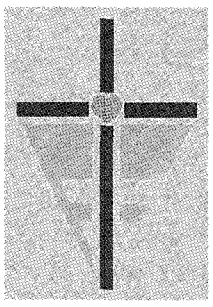
召命学校を開催 わたしたちは神さまの子ども！



川遊び楽しいけど寒い～！

今年も8月20日（火）から22日（木）の2泊3日の日程で召命学校（主催＝教区召命育成担当＝浦川務神父）が召命の家で行われた。参加者は福岡市内、近郊の教会はもちろん熊本の玉名教会を始め北九州は小倉、戸畑、黒崎教会からと広く、21人の参加があった。

◇シンボルマーク



キリストである十字架の中心に愛の象徴のハートを置いて、福岡のイニシアルのFをバックに置いてみました。

ハートを中心に四方に伸びる十字架は福岡、北九州、佐賀、熊本地区を表しています。

制作：豆塚孝子（大楠教会信徒）

教区創立75周年記念実行委員会公募から シンボルマークとテーマソング発表

◇『とびたとう』　♪手をとっていきていく♪
作詞：松山由香利　作曲：松山りり・松山るり
（3人は親子で糸島教会信徒）

一致と和の人、ミカエル堤要吉神父帰天

堤要吉神父

最期まで浄水通教会の主任司祭を務められた、ミカエル堤要吉神父が2002年8月18日（日）、9時8分帰天。享年78歳。主日に当っていたためミサ中や、ミサの準備中に訃報が届いた各小教区では、早速その旨が信徒に知らされ祈りが捧げられた。

18日の夜は、浄水通教会で仮通夜が営まれ、翌19日、カテドラルで本通夜、20日11時より葬儀ミサが執り行われた。

今年は「わたしたちは神様のこども」をテーマにかかげ、小教区の壁を超えた仲間作りやスタッフの神学生との触れあいを通じて、神様の呼びかけの身近さを感じられるようにプログラムされていたものであった。

季節的に少し涼しくなっていたためか、川遊びよりも大神学校での野球の方に歓声が上がっていたようだった。

参加した子供たちからは「ロザリオなど慣れない祈りで少し大変だったが、他の教会の人と友達になれたので楽しかった。また、来年も参加したい」という声がきかれた。

さまざまな神様の呼びかけに答えて召命の道を歩み出した神学生の姿に、参加者が召命へのきっかけを見い出すことが出来ればと願っている。

堤神父は、1929年11月22日飽の浦（長崎市）に生れ、1943年4月大神学校に入学して後、4年におよぶビルマでの兵役を体験、1954年3月19日浄水通教会で司祭に叙階された。馬渡島教会、二日市教会、大楠教会、茶山教会、浄水通教会で宣教司牧に力を尽くした。

同時に各教会付属の幼稚園園長を歴任し、いつもニコニコして声を掛けてくれる園長先生として子どもたちに親しまれた。

この間、司教総代理、教区責任役員、教区顧問、司祭評議員、教区会計などの重責を歴任した。

島本要大司教帰天

島本要大司教

8月31日（土）22時30分、長崎大司教区長フランシスコ・ザビエル島本要大司教が帰天。享年70歳。

高見三明司教による葬儀ミサが、9月3日（火）、浦上教会で執り行われ約三千人の人々が参列。福岡教区からも松永司教をはじめ、大勢の司祭、修道者、信徒も参列しその遺徳を偲んだ。

司祭人事

浄水通教会主任＝中浜一男神父（教区事務局長兼務）9月1日付▼多久教会主任＝A・テンペリーニ神父（休暇）9月1日付▼笹丘教会助任＝今田昌樹神父（城山教会助任）7月1日付▼崎津カトリック保育園園長＝川原拓也神父9月1日付

時の話題

最後の言葉

片柳弘史

9月5日がやってきた。97年のこの日にマザー・テレサが87歳で帰天したが、あれからもう5年になる。マザーが帰天したとき、多くの新聞は「もう息ができません」という言葉を彼女の最後の言葉として伝えた。そのあと私は、マザーの臨終に立ち会った神父様や臨終の直後に駆け付けたブラザーと話す機会があった。彼らの話によると、実はマザーの最後の言葉についてはどうも不確実な点があるらしい。

マザーの臨終直後、多くの記者が修道院に押しかけた。そのとき、マザーの後継者であるシスター・ニルマラは、マザーの最後の言葉は「もう息ができません」だったと記者に語った。これが通信社を通して世界に伝えられて、日本の新聞にも載ったというわけだ。しかしこの発表の直後に、他のシスターから異議が出た。医師としてマザーの最後に立ち会ったそのシスターによれば、マザーは息を引き取る直前までそのシスターと一緒に「イエスよ、あなたを愛します。イエスよ、あなたを信頼します」と小声でつぶやくように祈っていたというのである。そうだとすれば、マザーの最後の言葉はこの祈りだったことになる。

今となっては、マザーの最後の言葉がなんだったのか誰にもはっきりとは分からない。イエスの最後の言葉も、福音書によって違っていることを思い出させる。マザーの最後の言葉として、みなさんはどちらがふさわしいと思われるだろうか。

（イエズス会神学生）

みちくさ

近ごろ、福岡教区で、また近隣の諸教区で、余りにも早い（と思われる）帰天の報が聞かれる。驚かされると共に哀悼の心切なるものを感じる。この地上にもまだ働く人が必要だったのに、と強く感じさせられたり、も少し健康に気を配っておられたらと思ったりする▼葬儀に参列して教えられることは多いが、ほとんど全ての方の場合、立派な方であり、私たちが見習うべき手本を示しておられた方であることである。これらの方々に倣って生きていかねばならぬと思わされる▼ある方は聖徳の香を強く残されたようで、列福も列聖もまだと云うのに、今すぐにでも、取り次ぎのお祈りを捧げたいという、気持ちになったりする。ある場合は、故人の人柄の善さ・暖かさが教えられて、すばらしい方だったと再認識させられることもある。改めて故人の遺徳を偲ぶ次第である▼ところで、私が神様から召されるとき、人はどんなに云ってくれるであろうか。小さな悪口とも取れる言葉であったり、冷たい沈黙だけであろうか。神に召されてから、何と云われようとかまわないことであり、残った人々も決して冷たく故人のことを語らないであろう。でも残したマイナスの印象が真実であったとしたら、寂しいことである▼この世の人の評価はどうでもかまわない、神様のみもとにおける審判こそ大事である。と同時に、人々にも暖かい印象を残しておきたいものである。何はともあれ聖マリア様の憐れみにより、穏やかな判決を願うのみである▼時は十一月を前にして、それぞれ行く末を思うに相応しいときである。（M）

日本二八八殉教者列福申請の中にあって教区二十八人の殉教者の列福を願う心を新たに

いま私たちは、郷土の殉教者の一日も早い列福を願っている。教区内で現在申請中の殉教者は28人。八代の殉教者11人、天草の殉教者アダム荒川、小倉の殉教者デイエゴ加賀山隼人、花岡山に眠る小笠原玄也とマリアみやその家族15人である。

教区としての顕彰と殉教録を発刊できないかとの要望があり、教会の歴史、宣教の歴史、殉教の歴史を教会内外に伝えるために、二〇〇一年十一月十七日にカトリック福岡教区宣教史委員会が発足した。

キリシタン教理の根本概念

殉教者を考え、列福を願おうとしているが、当時の信者がどのような教理に基づいて、信仰を証ししていたか、いくつかの根本概念を紹介したい。

(1) 神概念

神の認識は、教理書（ドチリイナ・キリシタン）の第一章には「道理の光」による認識を強調し、それは神の存在をはじめ、神が創造主、全智全能の主宰たることなどが、人間本来の知恵でわかり得ることを述べている。実際にはザビエルをはじめ、彼の後継者も自然界の諸現象から創造主たる神の存在と、特性を説明した。そして、この絶対者は生ける神であり、我々人間と生き生きとした交わりが出来る。このペルソナ的な神概念こそ、キリシタンの信心生活に於いてその最も強い活力となった。人の知恵で得られる神認識は、あくまでも外面にとどまり、神の内面には入れない。神の内的生活については、キリストの啓示によってのみ、それを或る程度まで知り得る様になった。

(2) 神人たるキリスト

「デウス・パアデレの真の御子にて御座いますデウス・ヒリイヨ、貴きビルゼ・マリアの御胎内にをひて、我等が肉体に変わらざる真の色身と真のアニマを受け合わせ給ひて」というドチリイナの言葉は、神のいわゆる受肉の玄義を述べている。そして、「真の人となり玉ふと云へ共、デウスにて御座います御所は、変わり玉ふ事なく、いつも同じきデウスにて御座います也」と続けて、キリストにおいて神性と人性とが完全に残り、従ってキリストは真の意味で「神人」であると強調している。

(3) 救いの概念

キリスト教の救いの教えは、本質的に罪からの救いである。「ドチリイナ」に見られる罪（科）、まず原罪（オリジナル科）と自罪（ペルソナ科）に区別される。原罪なり自罪なりのこれらの罪の状態によって神の子に召された人間は罪人になり、あるいは「天魔の奴」となった。要するにこの罪の状態には、人間の不従順によって生じた神に対する侮辱と人間自身の恩寵損失という二要素がある。ここにキリストの救世事業の意味がある。「御主ゼス・キリスト天魔の奴となりたる所をうけかえし玉ふ」ばかりでなく、神が一切の罪の赦しと共に、人祖の失った恩寵と神的生命を再び施し、人間を「神の子」（デウスの養子）の次元まで上げ、将来には天の幸福を約束している。

(4) 教会の概念

救世の事業を続け、全ての時代を通じて全人類に神の教えを伝え、救いの恵みを分配するために、キリストは教会を設立した。

キリシタンの用語ではたいてい、信者団体を一般にキリシタンダアデ（Christndade）、組織された共同体をエケレジア（Ecclesia）、教会建築をイケレジャ（Igreja）と区別していた。（例外もある）。そして、この教会意識はザビエルの時代から徳川時代の弾圧を通して明治の信徒発見まで、日本のキリシタンにとって大きな支えとなった。

キリストは、その昇天にさきだって、その十二使徒に教導職、司祭職、牧職（指導職）与え、彼等を世界へ派遣した（マタイ28・20）。教会の中心であるこの使徒団の頭としてペトロを任命し、彼には首位権、支配権（鍵の力）、立法権（繋ぐ、解くの権）を与えた（マタイ16・18）。教会はこの頭ペトロとその後継を頂点として、司教団は教会の組織のいわば骨格となっている。これらの教会を言い表す言葉として、教会は磐・家・町・国・民・花嫁・母などと言われて居り、キリシタン達のドチリイナにはその称号を最も親しみのある「母」と言う言葉で表わしている。「サンタ・マアテル・エケレジア」―聖なる母である教会は信者たちに永遠の命を取り次ぐものとして、彼等を養い、母の暖かい愛を以て彼等を最後まで導くのである。

(5) 秘跡・ミサ聖祭の概念

キリシタンにとっての教会と密接な関係を持っているのは秘跡である。キリストが教会とその司祭たちに救いの賜物の分配を委ねた（Ⅰコリント4・1）ばかりでなく、その方法をも定めたのである。

「ドチリイナ」では従来の神学に従って七つのこの様な秘跡を挙げている。秘跡はすべて神の恩寵を施すが、その上に夫々の特別な恵みと助けを与える。最も基本的で不可欠なのは洗礼である。これによって初めて罪の赦しと神の御寵を受け、母なる教会のメンバーとなる。

この秘跡の定式書であった「サカラメンタ提要」には、各秘跡の項にローマ公教要理から採って日本語の訓示が付加されており、夫々の秘跡の意味、効果、またそれのための心得を説明している。

次に、聖体の秘跡と深い関係を有するものはミサ聖祭である。キリシタン達がミイサ（Missa）と称したこの礼拝と奉献は、キリシタンにとって神に捧げる祭儀として最も重要な宗教行事である。一六〇〇年刊「ドチリイナ」にはこの祭儀の目的として感謝・贖罪・祈願の三つ挙げられている。

なぜ、今、列福を求めるのか

＝殉教者の意味を考える＝

今、私たちに問われているのは、殉教者の生き方に倣って殉教の精神を生きることです。そこで、殉教の精神とは何かを一緒に深め、さらに、日本の教会の信者が殉教者に倣って、現代に生きるその意義を考えたいと思う。

殉教者とは、一般的に『証人』の意味を表わしています。キリスト教の用語としては、【イエス・キリストを忠実に証明するために生命をささげた人】という意味で使われています。イエス・キリストは父のみ旨を果たすために自らをいけにえとしてささげました。そのためにあらゆる侮辱や苦しみ、嘲笑を忍び、沈黙を貫かれました。そしてついに十字架の死によってご自分の生命をささげました。また、自分を死に追いやった人々をゆるし、彼等のために祈りました。この態度こそ、後に続く殉教者の模範であり、原型でした。殉教者たちはイエスの模範に励まされて、自分の苦しみと生命をささげて、イエス・キリストの忠実な証人となったのです。

私たち信仰者も、イエスの模範と殉教者の生き方に励まされて、自分の苦しみ、自分の生命そのものをささげるように招かれています。殉教者を敬うとは、自ら殉教の精神を生きることを表わしています。

○殉教は救いの計画の実現

「血を流すことなしに罪がゆるされることはない」（ヘブライ9・22）。イエスが流された血は、すべての人々の救いの原因でした。イエスが死の苦しみを味わったことによって、初めて人類に救いがもたらされました。マリアはイエスの殉教に深くかかわっていることから、「殉教者の母」として尊ばれました。殉教者は自分の苦しみを通してイエスとともに人類の救いに参加した人たちです。私たち信仰者にもイエスは「自分を捨て、自分の十字架を背負って、私に従いなさい」（マルコ8・34）と言われて、ご自分とともにこの世界の救いに参加するように招いておられます。

それでは、主イエスの招きに、私たちはどのように応えることができるのでしょうか。その主な務めは、みことばを宣布することと、秘跡によって信仰者の生活を高めることです。私たち信仰者には教会生活、特に秘跡を大切にすることが勧められます。

日本の殉教者は何よりも教会の生活、特に聖体祭儀と悔い改めの秘跡を大切にしました。殉教者に倣うとは、教会の秘跡を大切にし、それを自分の生活に活かすことにあります。また、日本の教会は、どのようにキリスト教を日本の文化に根づかせるかに苦労してきました。その中で、みことばこそ信者を励ます大切な手段であると感じています。

以上のようなことから、殉教者を崇敬するにあたっては、まず、自分と教会とのかかわりを振り返ってみることをお勧めします。

○殉教者はあかしする人

『わたしは真理について証しをするためにこの世に生まれ、そのためにこの世に来た』（ヨハネ18・37）イエスは弟子たちに、将来自分と同じように迫害されると預言しました。その時は、聖霊が話してくれるので心配するなとも言っています（マタイ10・16～21参照）。殉教者はこの世界で『真理のあかし』するために遣わされ、そのことのために受難し、そのためにこの世に生きてきました。その中で、みことばこそ信者を励ます大切な手段であると感じています。

以上のようなことから、殉教者を崇敬するにあたっては、まず、自分と教会とのかかわりを振り返ってみることをお勧めします。

○殉教は聖人になる道

初代教会の信仰者は殉教者への崇敬をもっていました。また、殉教へのあこがれを抱いていました。彼らこそ、イエスの模範に完全に倣った聖人として考えていたからです。一粒の麦が地に落ちて死ねば何倍の実を結ぶとイエスは言います。殉教者の遺徳を偲ぶとは、自ら神に向かって成聖の道を歩むことを意味しています。大切なことは信仰者一人ひとりが、召されたそれぞれの道に従ってイエスに倣い、よりよい社会の建設のために最善を尽くすことなのです。

○殉教は永遠の生命をもたらす

日本の殉教者は最後のお別れに、『パライソ（天国）で会いましょう』と挨拶しています。彼らは、見えないあの世のことよりも、今の生活が大切であると何度も諭されました。その結果、うつけとか、狂喜の沙汰呼ばわりされました。永遠という観点に立って、殉教者は現世の出来事を解釈します。現代社会は刹那的なもの、今の世のことのみを追う傾向がありますが、殉教者は永遠で不変の価値がこの世にあることを私たちに告げています。永遠の生命を信じて神にすがって生きることより、弱い私たちも殉教者の強い生き方を自分のものとして生きることができるのです。

（大聖年準備特別委員会のメッセージより　十九九六年一月）

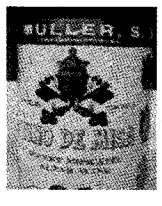
文責：教区殉教者顕彰推進

福岡教区二八名殉教者列福祈願司教ミサ

日時：10月13日(日)　14時より

場所：カテドラル大名町カトリック教会

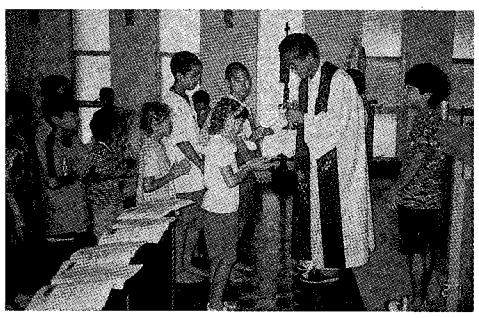
むなかた祈りの森
グループ・個人の黙想、研修会等に…
カトリック福岡黙想の家
PRAYER GROVE MUNAKATA
聖堂／洋個室(洗面トイレ付)／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑 (SOU-EN)
カトリックのご葬儀
木下株式会社
TEL092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

熊本地区サマーキャンプ　召命の家

7月26日から28日まで、召命の家で熊本地区サマーキャンプが行われた。当日は良い天気に恵まれ、天草、人吉、水俣など熊本県内各地の教会から子どもたちとリーダー約70人が参加し、有意義な三日間を過ごした。


ご聖体のイエス様と出会った

今年は指導司祭の中村彰神父を中心に、練成会方式で進められた。テーマは『ミサとわたしたち』。聖書からミサの起源や意味を学んだ。他にも教会の祈りやロザリオの祈りの唱え方を説明を聞きながら詳しく学んだ。子どもの一人は「ロザリオはマリア様にバラの花を一つずつささげること。みんなでロザリオをしている時、一つひとつ花がさいているんだなと思いました」と感想を述べていた。

バーベキューやゲームなどを通して、子どもたちはすぐに打ち解け、楽しいひとときを過ごした。

食事や掃除などで福岡の婦人会、祈りの集いの人々の協力があった。この機会に、地区をこえた交流、信仰の分かち合いができたことはすばらしい体験だった。

北九州CYGは八女でキャンプ

7月28日から30日まで、CYG恒例のキャンプがグリーンピア八女で行われた。今年のスローガンは『星空のように輝こう!CYGの仲間』。川遊び、班ごとの食事作り、料理コンクール、キャンプファイヤー、星の観察など楽しい内容がいっぱいだった。このキャンプは、小教区の枠を超えて、他の教会の人と一緒に協力し合って作り上げていく貴重な体験でもある。参加者の一人は「こんなにたくさん思い出ができるとは。友だちと交換した名刺は宝物。ここでの思い出も宝物です」と感想を述べていた。今年のキャンプもリーダーや多くの人の祈りと協力に支えられて、子どもたちの心にかけがえのない思い出の灯りをともすことが出来た。大自然に抱かれてともに祈りながら神様を感じ、すばらしい仲間と出会った子どもたちは、本当にまぶしいほど輝いていた。

教区内各地の平和旬間

熱心に平和を祈った（佐賀教会）

今年も日本カトリック平和旬間にあたって、8月11日、教区の各地区で平和を考え祈る集いが開催された。福岡地区では、大名町教会を会場に講演会と平和祈願ミサが行われた。講演会ではアフガニスタン視察を終えたカリタス・ジャパン事務局長の野坂秀男氏が『アフガニスタンの将来への展望』と題して講演した。その後、美野島司牧センターのマルセル・コース神父主司式により平和を祈るインターナショナルミサが行われた。

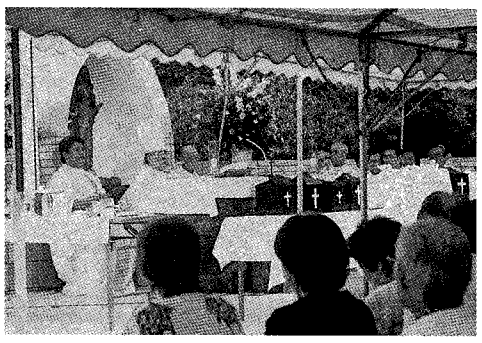
北九州地区では小倉教会で森山信三神父（戸畑教会主任）が『同時多発テロから1年』と題して講演を行い、その後平和祈願ミサが行われた。

佐賀地区では、佐賀教会で松永久次郎司教と佐賀地区司祭団の共同司式による平和祈願ミサが行われた。ミサに集った200余人が心をひとつにして平和を求め、祈りを捧げた。この日は子どもたちが中心にミサの奉仕を担当した。このミサの体験を通して、子どもたちが平和を愛し、希望して生きる価値に気づくことを切に願うものである。

和田墓地でミサと納骨式

8月15日聖母被昇天の祭日には、教区各地の墓地や納骨堂で死者を追悼するミサが捧げられている。この日、和田墓地納骨堂で松永司教主司式により行われたミサには、12人の司祭、500余人の信徒と修道者が参列した。

松永司教はミサの結びで、「亡くなった人のことを思い、祈ることはカトリックの美しい信仰の行いである」と述べ、信仰に基づいたこの行いを大切にしていくようにと諭した。


今年相次いで帰天された、山川辰幸神父、平田寛神父、黒川博神父と9人の信徒の納骨も行われた。

福岡地区信徒使徒職協議会研修会開催
今、見つめ直そう家族の関わり！

9月16日（敬老の日）、福岡地区信徒協は、講師に宮原良治司教（大分教区長）を迎え恒例の信徒研修会を、テーマ「今見つめ直そう家族の関わり…『いのちへのまなざし』を受けて…」として開催した。

会場となったカトリック大名町教会で、午前と午後の2回の講話の間に少人数での分かち合いを入れたプログラムに、福岡地区20の小教区から150人ほどの信徒と修道者が参加した。

真剣に分かち合う参加者

午前の講話で宮原司教は、日本カトリック司教団メッセージの「いのちへのまなざし」が出された意図を「現代には びこる死の文明に代わるいのちの文明を築くチャレンジであった」とした。その上で、「イエスが生涯の大半を平凡な家庭人として過したことは、日常生活こそ大切であること、また最初の奇跡を婚宴の場で行われたことは、結婚と家庭生活が祝福された場であり、大切にされるべきである」と語り、まず福音の中に目を向けることの重要性を指摘した。

午後には、教会法上の結婚問題について、結婚に失敗した人々への配慮、裁くのではなく、個人としてまた教会共同体として支え、励ますことの必要性を具体的なケースを示して語った。

分かち合いの中では「家庭の中での対話は難しい」、「生活の多忙の中に流されて、子どもへの信仰教育ができなかった」、「離婚した友人に今日の話を是非話してあげたい」等の声が出ていた。

研修会最後のミサの中、松永司教は「日常生活の中で、普通の生活の中で、人々にキリストを伝える人になってください」と諭した。

蒔かれた種は生き続けて…

A.スカットロン 師

日本に宣教者としてやって来た25年前と同じように、今も私は「一人でも多くの人をキリスト教に導くためにどうしたら良いだろう」と考え、悩んでいます。

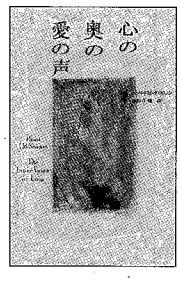
私の中にある原因を探ってみると、いくつかの間違いや性格上の欠点などが浮かんできます。それとともに「私の信仰は足りないのではないだろうか」と自分を責める時があります。聖書には「もし、からし種一粒ほどの信仰があれば、この山に向かって『ここから、あそこに移れ』と命じても、そのとおりになる」（マタイ17章20節）と書かれています。「本当に動く山はあるだろうか…」と考えながらも、別の思いが浮かんできます。「未洗者という山は動かせないかもしれない、この私の頭、時々山のように不動となる頭を誰かが動かしてくれ。違う観点からものを見ることができたら…」と。

最近、その思いを少し強める出来事がありました。敬老の日の前日に、園長としてお年寄りに話す機会がありました。話し終わると、一人のおじいさんが近付いて来て「先生の話をとても懐かしく聞きました。子どもの時、柳川に住む一人のアメリカ人牧師のもとで讃美歌を習いました。残念ながらその後、教会に近付く縁がありませんでしたが、今日久しぶりにその思い出が浮かび、感動しました」と話してくれました。

60年前、ある牧師が種を播いた。その実りは？私が今月もらう孫の保育料だけではないと思います。年月を経て、まだ生きているその種は一生の間、一人の人間、その息子や孫にも影響を及ぼしているでしょう。このように洗礼を受けなくても、神様は人々の中に働いていらっしゃいます。神様と同じように長い目で見、忍耐をもって待ち、人間の心の奥深いところを見抜くことができたら、不思議な業が見えてくるに違いない。だが、自分の仕事の結果を直ちに確認したがり、その結果は自分の労苦のおかげで得られたと考えがちな私のような者には、密かに働く神の業に気付き、信じることは簡単ではありません。けれども不可能でもありません。私の頭も少しづつ動かされているような気がします。

大牟田教会主任司祭

BOOK 読みは専科



★心の奥の愛の声
苦悩から自由への旅
H・J・M・ナウエン 著
小野寺 猛 訳

『これは、わたしの秘密の日記である』とあるように、デイブレイクの知的障害を持つ人々との共同生活に入って間もなく遭遇した、ある友情の破綻により心のバランスを失ってから、再び光を見いだすまでの半年余りの日記である。（私はかってないほど強く心の底の愛の声をすでに聞いた。私はあくまでもその声を信じ・・神が全てである世界へ行きたいと願っている。）

女子パウロ会　発行
本体　1300円

◇　◇　◇

★フランシスコと歩む観想の道：今日の不安な社会の中で
現代カトリック思想叢書19
エロワ・ルクレール 著
大西 房子 訳

今日、実践的な無信仰を標榜する世界を前にして、多くのキリスト者は苦悩に似たものを感じ、どのように信仰を表現すればよいか不安に包まれている。このような状況に対して、著者は、フランシスコの生き方が答えを与え、新しい時代に適した神との一致の道を示していると確信し、現代における神の観想の道を探求する。サンパウロ

税抜き　1800円

ジャパンスマイルか株式会社
不動産／管理・仲介・売買・建設／一般建築
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL092−761−8800
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

吉田設計株式会社
建築設計／企画・設計・監理
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-7
TEL092−711−0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ　森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811−7265

感謝と賛美のために
祭服，聖器具，聖像
信心用品，ベール，
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092−526−9176

キリストの愛をかかげて 前に進もう！

福岡教区創立75周年 感謝ミサと記念式典

11月4日(日・文化の日代休)

場所：サン・スルピス大神学院

♣受　付　9：00
♣開会式　10：30
♣感謝ミサ　13：30

☆各小教区や修道会から出展される紹介のパネルは、福岡教区内を巡礼した気持ちになるでしょう！
誘い合わせて、皆で参加しましょう。

熊本地区神学講座開講 第2期

◆10月13日　「いのち」に関しての教会の教え　中村倫明神父
◆11月10日　人間と罪　山元　眞神父
◆11月24日　十戒　1～5　田中重治神父
◆11月24日　十戒　6～10　田中重治神父

問合せ先：☎096-352-1515／携帯090-8664-4039
手取教会　日向までご遠慮なく。

聖書週間特別聖書講座

日　時：2002年11月24日(日) 14時から
テーマ：福音を証しする共同体
講　師：Sr. 今道　瑤子（女子パウロ会会員）
場　所：カテドラル大名町教会
参加費：５００円

福岡典礼を学ぶ集い

【開催日と学習内容】
…ことばの典礼…
③10月20日(日)　ミサを歌う
④1月19日(日)　信仰宣言／共同祈願
講　師：③深堀純先生(サン・スルピス大神学院)
④白浜満神父(サン・スルピス大神学院)
場　所：カテドラル大名町教会
時　間：14時～16時
参加費：６００円
申込先：☎0940-33-8122　井上元之
※典礼に関心のある方どなたでも参加できます。

バザーで～す

◎10月20日(日)
・茶山教会と幼稚園合同
・箱崎教会
◎10月27日(日)
・光丘教会
・西新教会と幼稚園合同
・新田原教会大バザー
◎11月10日(日)
・大楠教会
・南粕屋教会
・古賀教会

・掘り出し物をさがしに…
・美味しいものを味わいに…

編集後記

子どもたちから、夏の思い出を綴った便りがたくさん寄せられました。紙面の都合上、全文を掲載することができませんでした。ごめんなさい。
澄みきった秋10月、ロザリオの珠をくりながら、心に通うものに触れる瞬間にめぐりあいたいものです。

ロザリオの月　案内版　会合と催し　10月のこよみ

福岡黙想の家　10月

◇5日(土)～6日(日)　北九州レジオ・マリエ黙想会
◇9日(水)　ミカエル会
◇14日(月)　第12回むなかたてんてんまつり
◇14日(月)～18日(金)　福岡教区邦人司祭黙想会
◇20日(日)～26日(土)　サレジオ会黙想
◇31日(木)～11／2日(土)　日本ナース・クリスチャン・フェローシップ研修会
11月
◇3日(日)～4日(月)　九州アシュラム
◇8日(金)　宗像・和善の聖書
◇9日(土)～10日(日)　山口・島根信徒養成研修会

[問合先] 黙想の家　☎0940・32・3222　FAX 32・3385

生命山カトリック別院

※祈りの集い
・10月6日(木) 10時～15時
テーマ：キリストに出会った人々
指　導：Sr.マリアとフランコ神父
※諸宗教平和のための祈りの大会
・10月6日(日)
対　象：全国の諸宗教者とカトリック信徒
※訪問(黙想会)
・10月24日(木)
大名町カトリック教会マリア会
[問合先]
・生命山カトリック別院
☎0968・85・3100
FAX 0968・85・3186

マグリン神父によるゆるしの秘跡

日　程：毎月第1と第3土曜日
場　所：大名町カトリック教会小聖堂

10月のこよみ

7日(火)　ロザリオの聖母
13日(日)　年間第28主日
列福祈願ミサ（カテドラル14時）
14日(月)　祈りの森むなかたTEN・TENまつり（黙想の家）
福岡教区邦人司祭黙想会（～18日）
体育の日
16日(水)　†フランソア徳山登［門司港教会2000］
17日(木)　聖イグナチオ
†J.グリーン（玉名教会1994）
18日(金)　聖ルカ福音記者
19日(土)　十字架の聖パウロ
20日(日)　年間第29主日　世界宣教の日（献金日）
茶山教会／箱崎教会バザー
23日(水)　†J.P.ドラビ［1黒崎教会967］
27日(日)　年間第30主日
今村教会オラショフェスタ聖体行列
光丘教会／西新教会／新田原教会バザー
†J.ベルトラン［門司港教会1987］
28日(月)　聖シモン・聖ユダ使徒
31日(木)　†ヨセフ糸永一［今村教会1992］
11月
1日(金)　諸聖人
2日(土)　死者の日　ゴチックは司教日程

お知らせ

▼墓地清掃日
10月20日(日)
・8時から清掃
・11時からミサ
＊雨天の場合
▼10月27日(日)
墓地ミサ
▼11月3日(日)
・14時から
＊当日、納骨を希望される方は早めに小教区の納骨堂委員へお申し出ください。
和田墓地
納骨堂委員会

行ってみようよ！ むなかたTEN・TENまつり

日時：10月14日(体育の日) 10時～
場所：宗像黙想の家
催物：特別講演「春鳥ばんぶうを語る」
♠子どもコーラス♠もちつき大会♠竹とんぼ競技会♠バザールいっぱい♠他
♥子どもも大人も、老若男女歓迎

◆福岡

■福岡祈りの集い
[日時] 毎週月曜11時～12時30分 [場所] カトリック大名町教会 [内容] 聖霊による祈り [問合先] ☎092・522・5139ブラザー床嶋

■生と老い死を見つめる会
[日時] 10月6日(日) 14時から [場所] カトリック大名町教会 [内容] 生と老を取り巻く現代医療 [講師] 三木浩二医師（小倉記念病院）♥遺族の悲嘆ケアの集いもあります。 [参加費] 会員500円／一般700円 [問合先] ☎092・713・8523大山・607・6992村尾

■召命祈願ミサ
[日時] 10月10日(木) 19時15分 [場所] サン・スルピス大神学院 [主式] 伊東成晃神父（水巻教会主任司祭）

■召命を共に祈る会
[日時] 10月17日(木) 14時30分 [場所] 召命の家 [指導] 浦川務神父（召命担当）

■グレゴリオ聖歌を歌う集い
[日時] 10月24日(木) 13時から [場所] 聖クララ寮聖堂（南区塩原） [内容] レクイエム [講師] 坂田孝子氏 [参加費] 自由献金 [問合先] ☎096・380・5686堺

■在世フランシスコ会集会
[日時] 10月27日(日) 14時～16時 [場所] カトリック高宮教会集会所 [内容] アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習 [指導] 小池如安神父 [問合先] ☎092・843・5831岩崎・8月は休会。

■第22回福岡ホスピスの会
[日時] 11月10日(日) 14時～16時 [場所] カトリック大名町教会 [テーマ] 遺族へのアプローチI [講師] 野島一彦先生（九州大学臨床心理学教授） [問合先] ☎092・737・3701小林

■美野島司牧センターから
美野島衣類バンクでは、限定男性用ズボン・Tシャツ・靴下・洗面道具・靴など寄付を待っています。また、火曜・金曜日13時から衣類バンクの奉仕者を募っています。 [問合先] コース神父 ☎092・431・1419

◆北九州

■小倉祈りの集い
[日時] 10月25日(金) 13時30分～15時 [場所] 小倉教会信徒会館2階 [内容] 「みことば」をあじわう賛美の祈り [指導] B・ガブリエル神父（御受難会） [問合先] 093・452・1556安藤

■典礼聖歌研修会
[日時] 10月26日(土) 14時～27日(日) 15時まで [場所] 黒崎カトリック教会 [講師] 町田治氏（作曲家） [参加費] 感謝献金 [問合先] ☎093・643・6381竹井

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
[日時] 10月10日(木) 10時～11時30分 [場所] 佐賀カトリック会館 [内容] 祈り [日時] 10月26日(土) 10時～12時はミサと祈り [問合先] ☎0952・72・7536吉田・毎月第2木と第4土曜日。どうぞご参加下さい。

■聖書を読む会
[日時] 毎月第1木曜日、午前の部10時～11時半／午後の部19時半～21時 [場所] 佐賀カトリック会館 [内容] 「詩編」を読む [講師] A・アレグリーニ神父 [テキスト] 聖書 [参加費] 無料 [問合先] ☎0952・23・4754阿南

◆熊本

■五教会合同聖体礼拝とミサ
[日時] 10月6日(日) 13時30分から [場所] 武蔵が丘カトリック教会 [主催] 永久聖体礼拝実行委員会

■天草殉教祭
[日時] 10月27日(日) ミサ17時～本渡カトリック教会。キャンドル行列18時～千人塚 [問合先] ☎0969・23・1111　本渡観光協会

一日黙想会のご案内

日　時：10月15日(火) 10時～16時
場　所：カトリック高宮教会
テーマ：「私はあなた方を友と呼ぶ」
指導者：ケヴィン・スカロン神父（聖ヴィンセンチオ会）
Sr.　ブリージ・マッケナ（『秘跡…救いの泉』の著者 聖クララ会）
参加費：不　要
申込み：不　要
対象者：どなたでも、秋の一日をこの指導者の講話を聴きミサとご聖体の前での癒しのいのりで心を豊かになさりたい方。
尚、昼食の準備はございません。
連絡先：☎092-541-6207　ライル神父　カトリックファミリーセンター

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具　コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鵜木67－3
TEL 0942－77－3199
代表者　ペトロ 平田　清

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険
〒814-0153
福岡市城南区樋井川3丁目17－10
大石保険事務所　大石真澄
☎092-552-8195　Ⓕ092-541-7734

FUJIKI
未来へ――安心を創る
藤木工務店
福岡支店 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-1-1　TEL 092-441-6585（代表）
取締役社長 藤木鐵三　福岡支店長 城戸隆秀

カトリック 福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　牧山美好
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

今月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】配偶者を亡くした人々の慰めと支え
【布教】広報による福音の普及
【日本の教会】アジアの人々との連帯

教区司祭の黙想会／横浜教区長梅村司教を講師に

教区司祭 教区司祭 黙想会

集まりを機に、健康診断も5年ぶり

教区司祭の黙想会が、10月14日から18日まで、福岡黙想の家で行われた。今年の指導は、横浜教区長の梅村昌弘司教。この黙想会に先立ち5年ぶりの健康診断が行われ、司祭の健康管理に対しても注意が促された。

口の周りに白くバリウムを残して黙想会は始まった。

梅村司教は最初に「みなさん、神学生の頃にもどった気持ちでこれからの話を聞いてください」と呼びかけた。神学生時代、楽しい思い出もあるが、司祭目指して祈り学んだ、どこか懐かしい香りの中で、見失いかけていた大切なもの、自分自身と今ともに生きている教会の仲間の姿と出会えたような気がした。司教も講話のところどころに東京カトリック神学院で神学生として、また養成担当者として生活していた当時の体験をまじえながら、親しく語りかけた。

梅村司教は司祭職が教会共同体からの召命であることを強調した。さらに第二バチカン公会議が唱える「交わりとしての教会」について、教会の各構成員について考察したシノドス後に発布された文書をひもときながら解説した。そして交わりとしての教会の中で「司祭であること」を顧みるよう促した。

いま司祭に求められているのは「諸カリスマを整え、統合していくこと」。そこで必要となるのが識別であると述べた。司教は、木を知悉する「最後の宮大工」と称される西岡常一が著した『木のいのち　木のこころ』（新潮社）を紹介しながら、棟梁が檜の巨木の選別から堂塔の復興を果たしていくまでの様子を教会になぞらえて興味深く語った。

黙想を結ぶにあたって、司教は祈りについて話した。「忙しいこと、それが司祭を評価する指標のように錯覚されている。毎日の生活がたとえどんなに忙しくとも、どこかで立ち止まらなければならない。司祭が、司祭として本当の意味で生きる時間を持つために、いつも祈りをもって神につながっていることが大切である」と諭した。

教区長の重責に就き、小教区・諸教会の交わりに配慮するに際して「あり余る中からではなく、自分に不足がありながら、自分以外のものに自分を役立てていくことを忘れずにいたい」、という司教のことばが印象深かった。

2002年11月17～24日
聖書週間
テーマ
正義が造りだすものは真の平和なのです。
（イザヤ32・17参照　教皇メッセージより）
はじめにことばがあった。ことばは神と共にあった。ことばは神であった。（ヨハネ1-1）

福岡教区内28殉教者の列福を祈る

福岡教区の殉教者ディエゴ加賀山隼人ほか27人を顕彰し、列福を求めるミサが10月13日14時から、教区長松永久次郎司教の主司式でカテドラル大名町教会で行われた。殉教者ゆかりの地をはじめ、教区内各地から15人の司祭、信徒・修道者400余人が参加。

教区創立75周年を記念する今年、典礼の内容は「殉教者の顕彰と列福を求め祈ることを通して、私たちも自らの信仰を見つめ、活性化させよう！」というテーマのもと、新たに構成された。

説教を担当した殉教者顕彰担当の深堀勝人神父（佐賀教会主任）は「日本の人口は数年後には減少に転じるが、カトリックの信者数は果たしてどのように推移していくのだろうか?」と問いかけ、殉教者を顕彰することは、単に彼らの一日も早い列福を願うことにとどまらず、いま生きている私たちに未来への責任を意識させるものであることを強調した。

殉教者一人ひとりを記したローソクを奉納

奉納では、28人の奉仕者が殉教者を記したろうそくを運び、祭壇前に用意された台上に一つひとつ安置した。その光は殉教者の心に燃えた信仰の灯り、愛の炎のようであり、私たちにも愛に燃え、信仰をあかしして生きるよう招いているようでもあった。

カトリック教会の2000年の歴史、それは殉教者のまいた種と、彼らの聖性の遺産とによって発展してきた歩みといえる。大聖年を前に出された使徒的書簡『紀元2000年の到来』のなかで、教皇ヨハネ・パウロ二世は次のように述べている。「血を流すことも辞さないキリストに対するあかしを忘れないために、私たちはそのあかしについて心を配り、できる限り保持していくようにつとめなければならない。殉教者の記録を守ること、また必要な記録を収集することが求められている」と（37項）。現在、福岡教区でも、教会の歴史、宣教の歴史、殉教の歴史を教会内外に伝えるため、2001年11月に発足したカトリック福岡司教区宣教史委員会により編纂作業が行われている。

殉教者において、殉教とその聖性の起源であるキリストをあがめてきた教会。このことへの認識をますます深め、確かなものとするようつとめたいものである。

時の話題

Sr. 泉 キリ江

スピリチュアルケア（霊的ケア）は、現在真に時の話題の一つと考えます。霊的ケアを「生きていることに意味を見い出させる行為」と考えると、この9月に帰天した70歳の女性信徒の姿を憶います。

彼女の最後の道程は「不本意、喜び、希望、存在感、一体感」のキーワードで括られます。

入院初期の彼女は、免疫療法、漢方薬等々、動きによって希望を支えておりました。その間、教師であった彼女は卒業生の面会、教会ボランティアとの関わりさえ避けていました。

5月初めの頃、二人の卒業生の面会が許されました。教え子は「わたしは先生が好きです」と言ってくれました。

これを契機に彼女は変化し始めました。「今日までの人生、自分のことばかり考え厳しいばかりであった。でも好きと言ってくれる人がいる。わたしの死に泣いてくれる人がいることを知った」が、その時は別人のように輝きを増していきました。

「先生が好きです」のことばは彼女を救いました。彼女からのメッセージであったように思います。

イエズスの聖心病院

霊的ケア

イヤイヤと言っていた。今は死から生を眺めている。生と死が一体となって、死が怖くなくなった」と、また「こんなに幸せでいいのかしら、もっと苦しまなければ天国へは行けないのでは?」とも言いました。そして、彼女の望みどおり、聖歌を歌いつつ、静かに帰天されました。

彼女を通して、人は希望がなければ、助っ人がいなければよき死は遂げられない、希望の中にこそ生きる意味があることを学びました。「助っ人を探し、助っ人になりなさい」が、彼女からのメッセージであったように思います。

イエズスの聖心病院

「あっち、こっちミサ」に50人の若者

全国11会場で同時ミサを企画した若者たち　大名町

9月29日（日）、全国の青年有志の企画による「あっちこっちミサ」がおこなわれた。

祭壇を囲んで、心も一つ！

この試みは「見つけよう、はじめよう　～あなたがたは地の塩、世の光～」をテーマに、全国各地の若者が中心となって、同じ時間に同じ典礼で一斉にミサを捧げようというもので、全国11会場が祈りの輪で結ばれた。九州では福岡と鹿児島が会場になり、九州北部各地から大名町教会に約50人の若者が集った。

各会場ともミサの前後に独自の企画が行われ、福岡では今年7月にカナダのトロントで開催されたワールド・ユースデイに参加した青年の報告会が行われた。福岡教区から参加した4名の青年のうち、大名町教会の山口正芳さんと光丘教会の宮原ゆうきさんから、日本そして世界の若者との信仰による一体感を感じることのできた経験が語られると、みな興味深く二人の話しに聞き入っていた。

その後、ミサを通して全国の若者と心をひとつにする、「あっちこっちミサ」が行われた。このミサでは、遠く離れた仲間と思いを一つにするために、共同祈願の作成、サン・スルピス大神学院の白浜神父の協力を得て祈願文も独自のものを準備するなど、全国で同じ典礼を使う試みをおこなった。

参列者全員が大聖堂の内陣に上り、祭壇を間近に囲んでミサに参加することで、いつものミサ以上の強い一体感を感じることができたと、一同感動の声もあった。

企画した青年の一人は、今回の企画は主催者の予想を超える成功だったが、「見つけよう、はじめよう」のテーマのように、これはあくまでも最初の一歩である。今回も連絡や準備不足など多くの反省点もある。しかし、今回出会った仲間とのつながりを大切にして、これからもっと実り多い活動を行うことができると感じている、と語っている。

みちくさ

「秋の日ざしをあびてとぶんぼをかろく休ませて　しずかに咲いた野べの花　やさしい野菊　うすむらさきよ」石森延男作詞による童謡『野菊』の一節。私の中に今もかすかに残る菊の香。その漂う源をたどってみると幼児期を過ごした、あの庭に行きついた。大人の背丈ほどもある菊、あの頃は、まず深呼吸してからその間を突き進んだものだった▼日本人は自然を内面化させ受けとめてきた。この自然観は同時に日本人独特の宗教観・生命観ともなった。四季おりおりに恵みをもたらしてくれる自然が持つエネルギーを超越的なものととらえ、抱いてきたのである▼かつて、人が死に、その体に起こる激しい変化を自然の推移のもとにとらえ、土に帰っていくありようを目のあたりにしていた。その実感によって人間の生と死をとらえてきたのである。だが現代の日本では、死はシステムの中におかれてしまった感が強い。科学的合理主義のもとに管理される死。この現実に直面し、宗教が死の意味とそこにあるべきみずからの姿を説けないとしたら…▼死は永遠の生命への門といわれる。主はみずからを羊の「門」と呼んだ。私たちにとって最大の課題である局面にぶつかるそのときも、主はともにいてくださる▼今日、自然のもつ豊かさが失われつつある。こころの中の原風景の色合いはだんだん薄らいでいく。誰も彼もが多忙が常態の中にあって、絶えずこころを襲う原因をしぼり難い不安に縛られている。私たちのすぐ近くに、信じることのできる確かな何かを探している人々がいる。（F）

出版が待たれていた新要理書
「カトリック教会のカテキズム」出版

今年7月、『カトリック教会のカテキズム』（カトリック中央協議会発行）が出版された。そこで教区信仰教育担当の櫻井尚明神父（糸島教会主任）に本カテキズムの案内役をお願いした。二回に分けて連載する。第一回目はカテキズム編纂の過程・構成などについて解説する。

カトリック教会のカテキズム

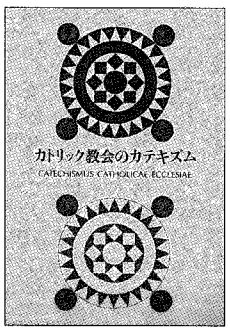
一九九二年仏語で初版が出て以来待望されていた「カトリック教会のカテキズム」の邦訳が先頃出版された。仏語初版が出て五年後、同書に八十数カ所の修正を加えたラテン語規範版が出版されたが、今回の邦訳はその規範版からの翻訳ということである。

「公教要理」というと文庫本サイズの本のイメージをもっている人たちが多いかも知れないが、今回出版されたものは八七〇ページを超える分厚い単行本サイズのもので、私たちにとってはこれまでにないカトリック教会信仰の内容豊かなかつ権威ある参考書を得たことになる。そこでその編纂の過程と内容について簡単にまとめてみたい。

新カテキズム編纂の過程

一九六二年教皇ヨハネ二三世によって招集された第二バチカン公会議は、キリスト教のすばらしさを再確認しそれをすべての人にとって近づきやすいものにしようと四年間にわたって作業を続け、現代社会に生きるすべての人に向けたキリスト教の教えの説明と教会の諸活動についての指針をまとめた。公会議後その指針を世界各地の教会に適応させる試みがなされた。この試みは多くの信者にとまどいや不安を与えたことは事実だが、それ以上にカトリック教会に活力を与え、多くの人々にキリストの福音を伝える力となった。

一九八五年現教皇ヨハネ・パウロ二世は公会議閉会二十周年を記念し、公会議の恵みを感謝し、その精神をさらに確かなものにしようと臨時世界代表司教会議を招集された。その会議の中で、トレント公会議後（一五六六年）にできたカテキズムに代わる、第二バチカン公会議の精神でまとめられたカテキズムの早急な編纂の必要性が認められた。そこで同会議は閉会にあたって教皇へ「それぞれの国で作成されるカテキズムまたは概説書の参考書として、信仰および道徳に関するカトリック教理を網羅するカテキズムまたは概説書を作成して欲しい。この教理の展開は聖書的、典礼的で、安全な教えであると同時に、キリスト者の現在の生活に適応した教えを示すものであって欲しい。」という要望を表明し、教皇はそれに同意した。そして新カテキズム編纂の作業が翌年から始まり、五年後に仏語で初版が発行されたのである。



神からの賜物

仏語初版の出版に際して教皇ヨハネ・パウロ二世は新カテキズムがカトリック信者たちへの「父なる神からの賜物」であることを強調された。そもそもカテキズムはイエス・キリストにおいて啓示され、教会によって伝えられてきた真理の教えを信者たちに体系的に提示するものである。つまり信仰の指南書としてカトリック教会の信仰の内容とその信仰に生きる信者のいのちについてよく理解させるものである。この神とその救いの計画の神秘を理解させる働きは人間の力によって始められるものではなく、神からのイニシアティブがあってはじめて実現するものである。そのイニシアティブへの教会の協力の具体的な形としてカテキズムは生み出されたのである。

信仰の伝達

新カテキズムの邦訳ではタイトルの「カテキズム」ということばを以前のように「公教要理」や「教理要綱」などと訳さずそのまま残している。これはカテキズムをカトリック教会の教理をまとめ保存する「文書資料」として捉え、信仰を教理の知的理解とだけ考えないでほしいという邦訳者の意図である。

カテキズムということばは「こだまのように響かせる」という意味のギリシャ語から派生したものである。カテキズムのなかに提示されている教えや救いの出来事はそれを読む人々のこころのなかで「こだま」となり、その人の生活を変革していく力を持っている。なぜならそこにあることばは、イエス・キリストから使徒たちに託され、その後教会を通して聖霊のはたらきにより二千年に渡り伝えられてきた「信仰の遺産」とそれを説き明かすものだからである。このようにカテキズムが目指すものは単なる教えと知識の伝達ではなく、その教えを具体的に生きた信仰の伝達という教会の使命そのものである。

福音宣教

新カテキズムは第二バチカン公会議の精神の適応の流れの中で要請され、作成されたものである。前述のように公会議の精神はキリストの福音をすべての人に近づきやすいものとして伝えたいということであった。

公会議後のその精神を教会としてまた個人として実践しようとする中で、多くの人たちがそれまでのカテキズムに不足を感じた。日本の教会でもひと頃よく言われた「生活と信仰の遊離」を当時のカテキズムの中に感じたのである。

第二バチカン公会議の精神によって作成された新カテキズムは、まず神の救いの意志を示し、それに答えて、現代の生活の中でどのように祈り生活し、救いの神秘を祝うのかを示している。このカテキズムによって、カトリック信者は自らの信仰をより明らかに理解し、その生活は刷新されていく。これを通してカトリック信者は現代社会の人々に、人間のいのちの意味と希望を、そしてキリストの福音をよりよく伝えることができるようになる。

このように新カテキズムは福音宣教への効果的な助けである。教皇も「新カテキズムはカトリック教会が何を信じているのかを知りたいと望むすべての人々にささげられています」と述べ、そのために先ずカトリック信者が新カテキズムを熱心に利用することを勧めている。

カテキズムの構成

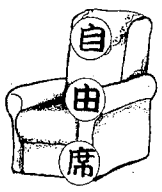
新カテキズムの構成は信仰宣言、信仰の秘跡、信仰における祈りづく生活、信仰に基という四つの部分、順序から成っている。新カテキズムがこのような構成になったのは単に技巧的な理由からではなく、教会の伝統、特に教父たちの伝統に従ったからである。

しかし新カテキズムの構成は信仰のように構成されたのは、むしろこのような構成が教会における信仰の伝達をよく表しているからである。つまり信仰の伝達は、神を信じること、秘跡を通して神と出会う体験をすること、神と隣人を愛すること、祈りによって神に心を向け神の国の到来を希望することの営みにおいてなされるからである。このような営みを伝統的な構成はよく表しているのである。

中央協では「カテキズム」の初版をすでに完売し、第二版の準備にかかっている。

第二版では、64番と489番の「アンナ」が「ハンナ」に、14番の4行目の「救い主」が「あがない主」に修正されることになっている。初版購入の方は修正を要する。

ワールドユースデイ2002トロント大会に参加して



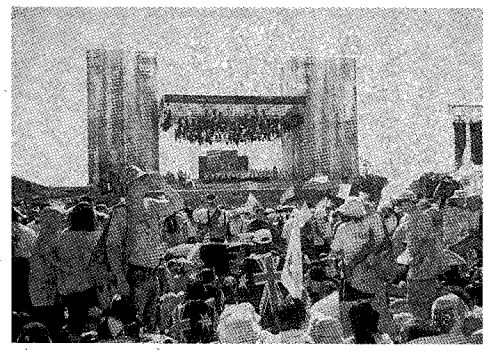
山口　正芳

「みなさんは若者です。教皇は老人で、少し疲れてもいます。けれども、教皇は、まだまだ、みなさん若者たちと同じ期待と希望に生きています。」

２００２年7月28日、私は世界中から集まった何十万という青年たちと共に、教皇ヨハネ・パウロ二世の言葉を聞いた。

トロントの元空軍基地だったダウンズビュー・パークは、地平線が見えるのではないかと思わせるくらいの広さがある公園だが、見渡しても見渡しても人・人・人。

この日の前日、日本の団体からはぐれないようにと必死でたどり着き、夜通し仲間たちと語り合ったり、他の国の団体と交流したりして、自分の寝袋で休むことができたのは、朝の4時を過ぎた頃だった。だが、就寝後すぐにやってきた嵐にたたき起こされ疲労はピークに達していた。



しかし、ミサが始まると、不思議なことに天気予報では、一日中とされていた嵐が過ぎ去ったのである。真っ青な空、果てしなく続く大地に響き渡る、ゆっくりだが力強い教皇様の声。なぜだか、力が溢れてくるのを感じた。どの国の青年たちも自信に満ちあふれ、すがすがしい表情をしていたのが印象的であった。

福岡教区から参加した４人(筆者右端)

私が参加した今回のＷＹＤ日本公式巡礼団は、現地合流組を含めて１０５人（福岡教区からは４人）。団長の松浦悟郎大阪大司教区補佐司教、京都教区長大塚喜直司教、仙台教区長溝部脩司教ほか13人の司祭が引率者として同行してくださった。

「私たちは、ただ弱い失敗だけの存在ではありません。かえって、神なる御父の愛に満たされ、その御子キリストのようになる可能性に満ちた存在なのです。」

こうして、教皇様の肉声を聞いて強められ、世界中・日本中から集まった仲間たちと共に神様の大きなお恵みをいただいたＷＹＤは終了した。

宿泊先のセント・ジョセフ・アット小学校では、女性は教室、男性は体育館に寝袋を敷き寝泊まりをした。「寒いから長袖を持ってくるように」と言われていたトロントは、連日35度を超える猛暑であったが、ボランテイアの方々の温かいお世話により、元気に過ごすことができた。

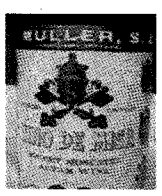
大会期間中は、主なものだけでも、毎日のミサ、司教様のカテケージス、テゼの祈り、アジアの青年たちの集い、十字架の道行き、徒歩巡礼、教皇ミサなど様々なプログラムが盛りだくさんであった。

次回のＷＹＤは、三年後にドイツのケルンで行われる。さらに充実したプログラムが待っているのではないだろうか。

最後に、ＷＹＤ参加にあたって、職場の同僚や教会の方々に数えきれないほどの励ましやお祈りをいただいたことを感謝している。これから、自分自身が、まさしく「地の塩、世の光」（今回のＷＹＤのテーマ）として輝いていけるように頑張っていきたい。

（大名町教会信徒）

むなかた祈りの森
グループ・個人の黙想、研修会等に…
カトリック福岡黙想の家
PRAYER GROVE MUNAKATA
聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056　Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ　デ　ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命　お問い合せは
有限会社　大楠酒店
ヨハネ　青木　彰
〒815-0082　福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718　Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑（SOU-EN）
カトリックのご葬儀
木下株式会社
ＴＥＬ092－526－5656
〒810-0016
福岡市中央区平和３丁目1-5

熊本地区5教会合同聖体礼拝が8年目

健郡教会での永久聖体礼拝

10月6日13時30分から、8年目を迎えた熊本地区合同聖体礼拝を記念し、熊本の武蔵ケ丘教会（主任：フランシス・マッケイ神父）において、永久聖体礼拝実行委員会主催による感謝ミサが行われた。

当日は雨天にもかかわらず、熊本市内五小教区（手取、健軍、島崎、帯山、武蔵ケ丘）から約90人が参加し、午後のひとときを聖体賛美のために過ごした。

ご聖体が顕示された聖時間では、聖歌を歌った後、「ご聖体を訪問しての祈り」を全員で唱和した。その後、賛美・聖書の朗読・沈黙がくり返され、引き続き聖体降福式が行われた。

ミサはマッケイ神父とヤング・キャンプ神父（帯山教会主任）によって捧げられた。マッケイ神父は説教の中で、聖ヨハネ・ボスコの生涯について話し、今世紀における信仰の試練に備え、ご聖体・聖母マリア・教皇につながっていることの重要性を説いた。また永久聖体礼拝に対して励ましの言葉を述べた。

共同祈願では、五教会がそれぞれ「この日の集いを感謝して」、「召命の恵みを求めて」、「いやしの恵みを求めて」、「これからの聖体礼拝の上に恵みと導きを願って」、「亡くなられた人々のため」の意向で祈りが捧げられた。

ミサの後、お茶と共に分かち合いの時間がもたれた。8年目に入った合同の永久聖体礼拝を通して、熊本地区五教会の兄弟的交わりがますます深くなっているのを強く実感した。

福岡地区婦人会が巡礼を兼ねて黙想会

小郡教会を訪問巡礼

福岡地区婦人会恒例の黙想会が10月1日行われ、33人が参加した。

今年は教区創立75周年という記念の年にあたり、巡礼をかねて行うことにした。目指す地は筑後小郡。バスは使わず電車で、そして下車後は仲間と語らいながら徒歩で教会へ向かった。天気にも恵まれ、一行はやわらかくなった陽射しの中を、頬に清々しい秋風を感じながら進み、自然に囲まれた教会の静かなたたずまいに迎えられほっと一息。

黙想会を指導してくださったのは、牧山勝美神父（小郡教会主任）。今回は『いのり』がテーマであった。家庭生活の中での祈り、その力と重要性が述べられた。祈ることによって支えられるのは、祈りの中で思い続けられている人にとどまらない。ほかならぬ祈りをささげている本人でもあるということを気付かされた。

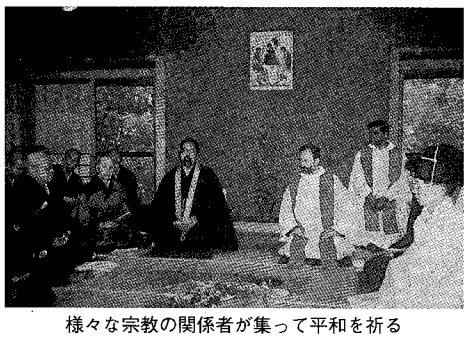
神父は祈りを具体的なところから考えるよう、いくつかの例をもって語った。それにより聞く者にとって祈りが自分と離れたものではなく、実生活と不可分であることが強く意識されたように思う。神父の言葉を通して、参加者は自分自身をふり返るためのきっかけを与えられた。講話の合間には多くの人がゆるしの秘跡を受けた。

感謝のミサを捧げ、昼食をとった後、巡礼指定地である聖クララ修道院に移動した。昼下がりの静かなチャペルで、教皇様の意向に心を合わせ、ロザリオ、教区創立75周年の祈りを唱え、聖歌を歌った。

今回の巡礼を通して、信仰の旅が決して一人ではないことを実感した。ともに歩む仲間がいることのすばらしさ。この日いただいた霊的な実りの味わいを深め、これからの生活の中で、仲間と一緒に証しすることができるようにと願いながら、帰途についた。

宗教の垣根を越え平和を祈る　生命山

10月6日（日）玉名郡の生命山で、宗教者が共に集い、世界の平和のために祈ることによって、あらためて戦争の罪深さを思い、ゆるしを乞い、明日の平和の実現に向かって決意を新たにすべく、「第五回平和の祈りの会」が計画され、先の呼びかけに応えて、天台宗、曹洞宗、浄土真宗、大本、立正佼成会、カトリックから50人が参集した。


様々な宗教の関係者が集って平和を祈る

この式典は二年に一度行われている。会を重ねるたびに、他の宗教者との交わりが深められている。

式典では、それぞれの宗教による祈りが荘厳に捧げられた。またこの日、はるばるバチカン教皇庁諸宗教評議会からフェックス・マチャド師も来山し、祝辞をのべた。

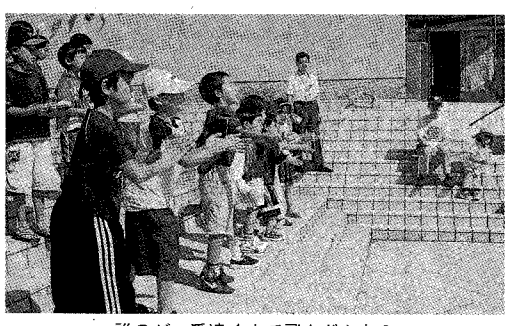
式の終わりに、一同でフランシスコの平和の祈りを唱え（アッシジの聖フランシスコは諸宗教対話の保護の聖人）、平和の誓い、代表者による署名が行われ、式典は閉じられた。

諸宗教対話を目的に創立、活動している生命山にとって有意義な一日だった。

今年も「むなかた・てんてんまつり」

黙想の家に千五百余人

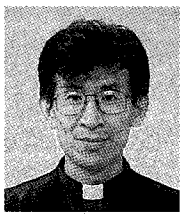
晴天に恵まれた10月14日（月）、宗像の黙想の家で恒例の「むなかた・てんてんまつり」が開催され、千五・六百人が集った。普段教会とは縁のない宗像市民、宗像市長、市議や町内会の人々をはじめ、近隣の人たちで賑わった。身近な人々への福音宣教の一環として始められたこの祭りも、年々宗像市恒例の行事になって来た感である。出店は全部が無料。様々な福祉活動をしているグループ、NPOなどが今年もバザールを開き、売れ行きも上々のようであった。


誰のが一番遠くまで飛んだかな？

売上はそれぞれの活動の場で生かされていく。今回のメインイベントは「むなかた竹飛ぶ物語」。阿部春島さん（門司教会信徒）が「竹と里山」と題して講演。宇宙工学を駆使した竹トンボ作りと飛ばしくらべに大人も子どもも興じていた。屋内では、外の賑やかさと対照的に茶の湯がたてられ、聖堂ではいつも祈る人の姿があった。

最後に行われたルルドの前でのミサでは、大勢が祭壇を囲み、今年も市民のコーラスグループの奉仕も見られた。

今田昌樹神父



「御血でミサ典書が清められたね」今は亡き島本大司教様が私に語られた忘れもしない言葉。今から5年前、浦上での日本26聖人殉教四百周年閉年ミサでのことだ。前年の開年ミサや2月5日の記念ミサではイエズス会、フランシスコ会の神父様方に奉仕いただいたので、今回はアウグスチノ会にということで、私が大司教様の左に付くことになったのだが、大切な役割をいただきながら、こともあろうに、私は感謝の祈りの終わりの時、御血のなみなみ入ったカリスを奉持した直後傾けてしまい、再壇の上、大司教様の目の前にあるミサ典書にばしゃっとこぼしてしまったのだ。言うまでもなく、ミサ典書は一瞬のうちに御血の色に染まってしまった。私の口は一瞬開いたまま。「大変だ。どうしよう。すみません」頭の中ではこの三つの言葉だけがぐるぐると渦を巻いていた。しかし、大司教様と式長の神父様は、プリフィカトリュウムで御血を拭き取ると、何も無かったかのようにミサを続けていく。私は申し訳ない思いでいっぱいで、その後はずっとうつむき加減だった。派遣の祝福が終わり退堂後、司祭館の前で謝る私に大司教様がおっしゃった一言が冒頭の言葉だった。私の心の重荷がこの一言でそれはそれは随分軽くなったことを感謝のうちに思い出す。

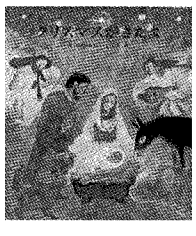
何気ない一言

大司教様が熟慮の末、この言葉を語られたのでないことは言うまでもない。大司教様にしてみれば、それは何気ない一言だったろう。しかし、私には随分重みのある言葉だった。人間生きている限り、言葉との関わりは続く。言葉は神さまが私たちに委ねてくださった最も大切な賜物の一つだ。とっさの時に私たちの口から出る一言が、人を活かしもし、殺しもする。生ける神の御言葉イエスに信仰と洗礼によって結ばれた私たち。何気なく美しい言葉が語れるようになりたいし、さらに、自分の人生そのものが美しい言葉のようであったらと思う。11月は死者の月。人は死んでもその人の言葉は残る。

（笹丘教会助任司祭）

BOOK 読みは専科

★クリスマスがきたよ
森津 和嘉子 絵
山元 眞 文



遠い昔、小さな町ベトレヘムの馬小屋で救い主イエスがお生まれになった。

羊飼いは天使に知らされ、学者たちは星に導かれてやってきた―。喜びの光に満ちた聖書のクリスマス物語絵本。

著者は司祭として教会で働きながら、幼稚園園長の仕事、教会学校の指導、講演など広く活動。子ども向け、青年向けの話に定評がある。柔らかい子どもの心に聖夜の素晴らしい想いを育むことでしょう。

女子パウロ会　発行
本体　1000円

◇　◇　◇

★なきむし　ライオンのクリスマス
倉吉 啄也 絵
矢崎 節夫 文

かわいい動物たちが登場する本作品は、どちらかというと幼稚園年少向きです。

動物たちをとおして、クリスマスの心がじんわりと伝わってきます。文と絵が、とってもかわいい素敵な世界を創り出しています。

サンパウロ
税抜き　1000円

ジャパンスマイルか
株式会社
不動産／管理・仲介・売買・建設／一般建築
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL092−761−8800
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

吉田設計
株式会社
建築設計／企画・設計・監理
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-7
TEL092−711−0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811−7265

感謝と賛美のために
祭服．聖器具．聖像
信心用品．ベール．
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092−526−9176

キリストの愛をかかげて前に進もう！

熊本地区神学講座開講 第2期

◆11月10日　人間と罪　山元　眞神父
◆11月24日　十戒　1～10　田中重治神父
◆12月8日　教会の掟　1～5
福音宣教とインカルチュレーション　牧山美好神父

[時　間] 13時から16時15分まで
問合せ先：☎ 096-352-1515／携帯090-8664-4039
手取教会　日向までご遠慮なく。

聖書週間特別聖書講座

日　時：2002年11月24日(日) 14時から
テーマ：福音を証しする共同体
講　師：Sr. 今道　瑤子（女子パウロ会会員）
場　所：カテドラル大名町教会
参加費：５００円
♠今年の聖書週間のテーマは「正義が造りだすものは平和なのです」とイザヤ書の箇所が取られています。今年はSr.今道に来ていただきます。大勢の方の参加をお待ちします。

九州合同ＣＬＣ開催

【テーマ】あなたらしさが神の証し！
…起こそう弟３の風　築こういのちの文化…
日　時：11月22日(金)15時～24日(日)14時
場　所：行橋市研修センター『ゆくトピア』
助言司祭：Fr.アモロス／Fr.レンゾ・デ・ルカ
参加費：１３,０００円
申込締切り：11月５日(火)
申込先：☎ 0930-24-1814（黒木）
♠集って、ありのままの自分を語りませんか？

バザー

◎11月10日(日)
・大楠教会
・南粕屋教会
・古賀教会
◎11月17日(日)
・箱崎教会

・掘り出し物をさがしに…
・美味しいものを味わいに…

第28回カナの会　クリスマスはきっとあなたと！

結婚を考えている方へ、出会いの場を企画しました。初めての方も大歓迎！ツーショットでの話し合いの時間も充分とっています。

と　き：2002年11月23日(祝)
じかん：10：00～17：00
ところ：召命の家（浄水通教会となり）
ミサと講話：山頭原太郎神父
対象者：20歳以上の独身男女
会　費：２,０００円（昼食代含む）
締　切：11月17日
申込先／問合せ先：☎ 090-4347-3319（前野）
※各小教区のカナの会担当者へお尋ね下さい。

死者の月　案内版　会合と催し　11月のこよみ

福岡黙想の家　11月

◇3日(日)～4日(月)　九州アシュラム
◇8日(金)　宗像・和善の聖書
◇9日(土)～10日(日)　山口・島根信徒養成研修会
◇15日(金)～17日(日)　ユースフルライフ・カウンセリングワークショップ
◇20日(水)～22日(金)　カトリック防府教会婦人会黙想会
◇23日(土)～24日(日)　聖母カテキスタ会黙想
※待降節中は、週末に黙想会を行います。お問合せをお待ちしています。
※様々なグループが参加したTEN・TENまつりで今年も多くの出会いがありました。静けさを取り戻した祈りの森では間もなく幼子イエスさまを迎える準備も始まります。どうぞ、お出かけください。
[問合先] 黙想の家　☎ 0940・32・3222　FAX 32・3385

生命山カトリック別院

※祈りの集い
・11月14日(木) 10時～15時
・12月12日(木) 10時～15時
テーマ：キリストに出会った人々
指　導：Sr.マリアとS.フランコ神父

[問合先]
・生命山カトリック別院
☎ 0968-85-3100
FAX 0968・85・3186
※紅葉した木々の間から遠く有明海が見える山頂に、この祈りの家があります。静かな一時をお友達と過ごすのもいいものです。

マグリン神父によるゆるしの秘跡

日　程：毎月第１と第３土曜日
場　所：大名町カトリック教会小聖堂

11月のこよみ

3日(日)　年間第31主日
教区和田墓地ミサ［14時］
4日(月)　**教区創立75周年感謝の集い［大神学院10時30分］**
9日(土)　ラテラン教会の献堂
10日(日)　年間第32主日
新田原教会堅信式
17日(日)　年間第33主日
聖書週間（～24日）
黒崎教会堅信式
21日(木)　聖マリアの奉献
大神学院祭［10時］
22日(金)　聖セシリアおとめ殉教者
†P.ポール［黙想の家1996年］
23日(土)　**健軍教会創立50周年と堅信式**
†B.シュルツ［吉塚教会1996年］
24日(日)　王であるキリスト
小倉教会堅信式
特別聖書講座（カトリック大名町教会14時）
27日(水)　†S.ズワノイ［1962年］
30日(土)　聖アンデレ使徒
12月
1日(日)　待降節第１主日
宣教地司祭育成の日（献金）
天草地区合同堅信式
†アシジF．伊東誠二［1997］
3日(火)　聖フランシスコ・ザビエル
8日(日)　待降節第２主日
八代教会殉教祭
9日(月)　無原罪の聖マリア
ゴチックは司教日程

福岡

11月4日（月）教区創立75周年感謝の集い
大神学校に集ろう！

◆大神学校で行われる記念感謝ミサに預り、聖体拝領を受ける人にかぎり全免償が与えられます。但し、ゆるしの秘跡、教皇様の意向のための祈りなど、一般規程に従う必要があります。

■福岡祈りの集い
［日時］毎週月曜11時～12時30分［場所］カトリック大名町教会［内容］聖霊による祈り［問合先］☎０９２・５２２・５１３９ブラザー床嶋

■第22回福岡ホスピスの会
［日時］11月10日（日）14時～16時［場所］カトリック大名町教会４階［テーマ］遺族へのアプローチⅠ／傾聴［講師］野島一彦先生（九州大学大学院臨床心理学教授）［問合先］☎０９２・７３７・３７０１小林

■在世フランシスコ会集会
［日時］11月24日（日）14時～16時［場所］高宮フランシスコ会修道院在世会集会所［内容］アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習［指導］小池如安神父［問合先］☎０９２・８４３・５８３１岩崎

■召命を共に祈る会
［日時］11月28日（木）14時30分［場所］召命の家［指導］浦川務神父（召命担当）

■グレゴリオ聖歌を歌う集い
［日時］11月28日（木）13時から研修前11時から死者ミサ［場所］聖クララ寮聖堂（南区塩原）［内容］レクイエム［講師］坂田孝子氏［参加費］自由献金［問合先］☎０９６・３８０・５６８６堺

■生と老い死を見つめる会
［日時］12月1日（日）14時から［場所］カトリック大名町教会［内容］精神障害者のリハビリテーション［講師］皿田洋子先生（福岡大学人文学部教育臨床心理学）♥遺族の悲嘆ケアの集いもあります。［参加費］会員５００円／一般７００円［問合先］☎０９２・７１３・８５２３大山・６０７・６９９２村尾

■召命祈願ミサ
［日時］12月12日（木）19時15分［場所］サン・スルピス大神学院［主式］中村倫明神父（長崎教区時津教会主任）

■スピリチュアル研修会
［日時］12月16日（月）～18日（水）９時30分～16時30分［場所］サンパウロ福岡センター３階［内容］スピリチュアルケア［講師］W・キッペス神父（臨床パストラルケア研修センター所長）研修費１５００００円教材費２４５０円［問合せ先］臨床パストラルケア教育研修センター☎０９４２・３１・４８３６谷村

■美野島司牧センターから
美野島衣類バンクでは、毛布・冬物男性用衣類・靴下・洗面道具・靴・米など寄付を待っています。また、火曜・金曜日11時から衣類バンクの奉仕者を募っています。［問合先］☎コース神父

北九州

■北九州召命を祈る会
［日時］11月14日（木）14時から［場所］カトリック小倉教会［指導］中村信哉神父［問合せ先］☎０９４９・２２・１１４７直方教会

■第88回福岡結婚準備講座
［日時］1月15日（水）から２月８日（土）毎水曜日と土曜日全８回19時～21時30分［場所］大名町カトリック教会［問合せ先］☎０９２・５５２・５０２２皿山カトリックファミリーセンター

佐賀

■佐賀祈りの集い
［日時］11月14日（木）10時～11時30分［場所］佐賀カトリック会館［内容］祈り［日時］11月30日（土）10時～12時はミサと祈り［問合先］☎０９５２・７２・７５３６吉田・・毎月第2木と第4土曜日。どうぞご参加下さい。

■聖書を読む会
［日時］毎月第1木曜日、午前の部10時～11時半／午後の部19時半～21時［場所］佐賀カトリック会館［内容］［詩編］を読む［講師］A・アレグリーニ神父［テキスト］聖書［参加費］無料［問合先］☎０９５２・２３・４７５４阿南

熊本

■第70回熊本結婚準備講座
［日時］1月20日（月）から２月17日（月）毎月曜日と火曜日全８回19時～21時30分［場所］手取カトリック教会［問合せ先］☎０９６・３５２・３０３０FAX０９６・３５２・１５１５手取教会　安部

■小倉祈りの集い
［日時］11月22日（金）13時30分～15時［場所］小倉教会信徒会館２階［内容］「みことば」をあじわう賛美の祈り［指導］B・ガブリエル神父（御受難会）［問合先］０９３・４５２・１５５６安藤

編集後記

木枯らしのふく季節を前に、神様は人間がかぜをひかないよう栄養価の高い果物が実るようにしてくださいました。ところが私には間に合いませんでした。ひととおり風邪のコースを体験し、今も鼻をすすりながら懸命に柿をほおばっています。夜、せきが出てなかなか寝つけないとき、じっと目を閉じていると、亡くなった人々のことが思い浮かび、なつかしくなります。

COSMOS
スポーツ用品・ＯＡ・文具　コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鵜木 67 － 3
ＴＥＬ　0942－77－3199
代表者　ペトロ 平田　清

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険
〒814-0153
福岡市城南区樋井川３丁目17－10
大石保険事務所　大石真澄
☎092-552-8195　Ⓕ092-541-7734

FUJIKi
未来へ――安心を創る
藤木工務店
福岡支店 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-1-1　TEL 092-441-6585（代表）
取締役社長 藤木鐵三　福岡支店長 城戸隆秀

福岡教区創立75周年を祝い2700人が集う

テーマソング「とびたとう」の大合唱で感謝ミサ開祭

「これからの教区を創るのは私たち」と若者が決意表明

大神学院

11月4日、福岡教区創立75周年感謝の集いが盛大に挙行された。会場となった福岡サン・スルピス大神学院には教区内外各地から信徒、修道者、司祭、神学生およそ2700人が集った。時折冷たい雨が降る中、野外で行われたミサでは、寒さをものともしない熱気に溢れた感謝がささげられた。福岡教区神の民は、キリストの愛をかかげて、希望のうちに未来へ向かう力強い一歩を踏み出した。

青年の決意表明

今日、このサン・スルピス大神学院に集まったわたしたちは、ここに来ることのできなかった全ての人々とも心を合わせて、わたしたちの教区の75周年をお祝いしました。そして、わたしたちが生まれるずーっと前からの長い長い積み重ねの上に、今の自分たちの信仰があるんだなということ、またこれから先、教区の歴史を作るのはわたしたち自身なんだ、ということを感じました。この気持ちを胸に、100周年、200周年まで、司教様を中心に神父様も信徒も手をとり合って、ともに歩んで行くことを誓います!

若者の決意表明に全員が手をとって呼応した

感謝の集いを終えて

実行委員長　川上惣一神父

実行委員の神父様や信徒の方々、そして快く会場を提供し、ご協力くださった大神学院の教授の皆様や、恒例の「召命の集い」をこの「感謝の集い」に振り替えて積極的に協力してくださった神学生をはじめとして、講演やゆるしの秘跡を引き受けてくださいました神父様方、それぞれの担当スタッフとして協力してくださった多くの方々に支えられて「感謝の集い」は挙行することができました。皆様に深く感謝申し上げます。小教区・修道会・宣教会等の紹介パネルもすばらしい作品だったと思います。

当日の気候・天候を考えますと、これまで幾多の困難苦難が伴いながらも、今日に至っている教区の様を表しているかのようでした。教区の礎となり、教区を支え、築いてこられた殉教者や宣教師の方々をはじめ、歴代の司教様方、司祭、修道者、信徒の皆様のおかげであり、何よりも恵みと照らしの中で導き、強めてくださった神様に感謝しています。

一人ひとりの力は小さなものかもしれません。『二人、三人が私の名のもとに集まっているとき、そこにわたしもいる』と言われ、共にいて、共に歩んでくださる主と、一人ひとり、たくさんの心と力が合わさって大きな力となることが、当日、如実に表されていたように思います。

これを糧として、さらに新たな一歩を未来に向かって、若者や子どもたちと共に歩んでいけたらと願います。

神様とすべての方々への感謝のうちに。

天に栄光 地に平和

お生まれになった幼子を拝みに行こう!

ライムンド 佐藤千敬司教帰天

前仙台教区長ライムンド佐藤千敬（ちひろ）司教（＝ドミニコ会）が、11月12日、多臓器不全のため仙台市のスペルマン病院で帰天。享年76歳。1976年から22年間、第7代仙台教区長の任にあった。1998年6月健康上の理由により、退任。その後療養を続けていた。

司祭人事

福岡地区青少年担当＝浦川務神父［大名町教会助任］

時の話題

牧山　満安

明治初年、来日した宣教師の中には、地方に定着して歴史に残る仕事をされた方が多かった。天草のガルニエ師をはじめ、外海のド・ロ神父、久留米のソーレ神父、馬渡島のブルトン神父など。愛情をこめ信仰を証しされた。長崎、福岡両教区はその遺産と伝統を受け継ぎ、揺るがぬ信仰の基を作り上げた。

新聞でも報道されたが、今アメリカでは「少年性暴力事件」が深刻な社会問題となり、カトリック教会が非難の的となって揺れている。対岸の火事とは言いきれない。

馬渡島のお爺ちゃん、八十八歳。誕生日を前に子どもたちが話し合って、「米寿の祝いと従兄弟の会」を企画した。直系の子息達とその伴侶、及び、子や孫達が全国から集った。一族が同じ信仰の絆で結ばれた人々の姿は、壮観であり、微笑ましい光景である。彼らは、これからもたすけ合いながら切磋琢磨してゆくのであろう。

ところで今の60代、70代の多くから、若い頃は働く事に夢中で、家庭や子どもを顧みる余裕がなかった…という反省や後悔をよく聞く。早い頃から家族揃って教会に通う習慣をつけ、信仰を不動のものにしたいと願うのは、何時の時代も何故か年をとってからのようだ。

（佐賀カトリック教会信徒）

教区創立75周年を迎えて あれこれ思うこと

何のことも無く過ぎる毎日も、少しまとまれば十日となり一ヵ月となる。そして十年となり、何何記念日となる。福岡教区もついさっき創立75年を祝ったばかりである。十年は十年であり、何も加えられてはいない。でも、十周年を特別な年として記念したい気持ちは分かる様な気がする▼一つの思いが続けられたのであり、同じ心の中で幾つかの日や月が、そして年が過ぎて行ったのである。一つの思いが一日を越えて続いたのである。その日その日を生きている人間にとってそれは何かである。どこかで継続は力なり、というような声が聞こえて来そうである▼けれどそれは単に続いただけで、誰も中止するか、新しく始める決意をしなかっただけかもしれない。そうなると続ける力も、新しく始める力も無かったというだけのことになるかもしれない▼一つのことが続くためには何らかの一つの意志が必要である。神の意志か、人間の意志か、それに類するものが必要である。表面に出てくるものもあるが、表面に出てこないで、そのことを支えているものが確かにある。継続させているなにものか、それが確かに働いて、この状態を造ったのである▼それが何であったか、表面には出てこなかったかも知れないが、そこに大きな意味が隠されているのである。何かを祝うものが、そのものを正しく見極めることが必要であろう▼私たちも、よく目を開いて、世界の歩みを支える神の御手を、或いは信じる人々の尊い心を正しく見つめねばならないと思う。私たちは尊い世界に生きているのである。（J）

みちくさ

カトリック福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所　福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人
カトリック福岡司教区
編集人　牧山美好
TEL　092-522-5139
FAX　092-523-2152
振替口座　01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価　一部60円

今月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】あらゆる暴力からの子どもの保護
【布教】ご降誕と小さな人や貧しい人への尊敬
【日本の教会】救い主の誕生への感謝

出版が待たれていた新要理書「カトリック教会のカテキズム」(II)

『カトリック教会のカテキズム』について紹介するコーナーの2回目。カテキズム各部の内容・活用方法について、今回も教区信仰教育担当の櫻井尚明神父(糸島教会主任)が解説する。

各部の内容

教会の教えというとき、どちらかというと信者の生活を規制する道徳と考えがちだが、新カテキズムの内容構成はその六割が信仰宣言と秘跡に関する部分である。つまり神の神秘と秘跡を通して示される神の働きかけを重視している。そして私たちの生活は神の働きかけに対する応答なのである。

(1) 信仰宣言

人間が神に向けて創造されたものであることを前提に、人間による神の探求について先ず簡単にまとめられている。そして人間と出会う神を、神の啓示そのもの、啓示の伝達、聖書というテーマを通して示している。またこの神の啓示に対する応答として信仰を考察している。

そしてローマの教会で二世紀にすでに用いられていた洗礼信条(使徒信条)の内容に従ってカトリック教会の信仰の内容、全能の父創造主である唯一の神と、その御子救い主イエス・キリストと、聖霊への信仰について考察している。

(2) キリスト教の神秘を祝う

ここでは先ず教会の典礼が三位一体の神の業であることと秘跡が私たちを生かす救いの恵みであることが考察されている。

そして、秘跡の挙行について「だれが」「どのように」「いつ」「どこで」という点から説明している。そこではキリストが典礼の原挙行者であるとともに、キリストの神秘体に属するすべての人びとともそれぞれの役割を果たしながらの挙行者となること、典礼が様々なしるしによって成り立っていること、典礼は主日、典礼暦年、聖人の祝祭日、時課の典礼において挙行されること、そして典礼は特定の場所に限定されるものではないが普通礼拝用の建物の中で挙行され、その建物には様々な意味を持つシンボルが用いられることが考察されている。

最後に教会の七つの秘跡が入信の秘跡(洗礼、堅信、エウカリスチア)、いやしの秘跡(ゆるしと和解、病者の塗油)、交わりをはぐくむための秘跡(叙階、結婚)にわけて説明されている。

(3) 信仰に基づく生活

ここで新カテキズムは人間として、キリスト者としてふさわしいいのちについて考察している。先ず人間が神の似姿であり、そのいのちの究極目的が永遠の至福であることを示している。そして目的に到達するために神から人間に与えられた理性、自由な行為、法と恵みなどについて考察している。

そしてキリスト教的道徳生活を十戒によって説明する。十戒というと人間を規制する法という感があるが、新カテケジスはそれよりも十戒の解放的力を強調している。このなかでスピード違反、飲酒運転、胎児診断、臓器移植という新しい問題にも触れている。また死刑の正当な執行についてはより制限されたものになっている。

(4) 信仰における祈り

信仰を宣言することも、信仰の神秘を祝うことも、信仰を生活の中で具現することも、すべて神との交わりを生きていなければ不可能なことである。この交わりが祈りである。

ここで祈りは先ず神の呼びかけによって始まるものであり、人間の祈りはその呼びかけに対する応答であることが、聖書に示される神の救いの歴史を通して説明されている。そして祈りは自然に出てくるものではなく、習得していくものだということ、祈りには口祷、黙想、念頭の祈りがあること、祈るためには本人自身との戦い、悪魔との戦いがあることを教えている。

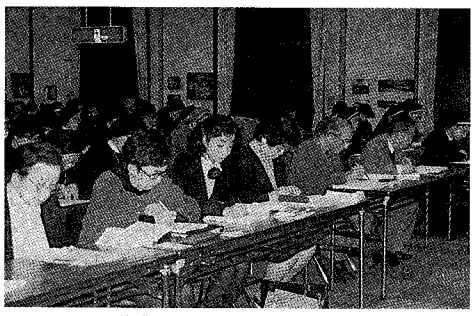
さいごに基本的な祈りとして「主の祈り」を解説している。

活用するために

新カテキズムはカテケジスの第一の責任者である司教たちに宛てて書かれたものであるが、教会の中の様々な立場にあるすべての人々にとっても生涯教育の有益な道具となる。その活用法は立場によって大きく違っているが、ここではできるだけ一般信徒の立場でどのように活用できるのか考えてみたい。

(1) 信仰を深めるために

洗礼の準備期間、あるいは教会学校などで「公教要理」を学んだはずであるが、それは度々体系的でなかったり、暗記中心であったり、概論的であったりする。そして洗礼後カトリック教会の信仰について学ぶ機会はそう多くはない。そのために信仰内容のことばは知っていてもその内容がわからなかったり、一つ一つの教えのつながりがわからなかったり、またカトリック教会の信仰の教えの一部しか学んだことがないということが生じている。


養成講座で熱心に学ぶ信徒達

(2) 信仰を証しするために

信仰を証しすることは信者それぞれおかれている日常生活のなかで信仰を生きることである。しかしわたしたちが生きている世界はすばらしいものであるが、いつもキリストの福音が示す世界の状況にあるとは限らない。この世にはびこる悪の力や人間を苦しめる不幸は、キリスト者の信仰を揺るがすものであり、時には信仰を失わせるものになっている。

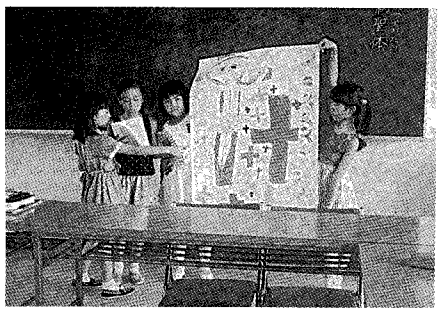
こういう状況の中で生きるキリスト者にとって大切なことは、自分の信仰に確信を持つことである。このために信じる理由と信仰に基づく生活を提示してくれるカテキズムは大いに助けになる。カテキズムに養われて困難な状況の中でも確信を持って信仰を生きることができるようになる。新カテキズムの中で聖人たちのことばが多く引用されているのは、彼らがどのように信仰を証ししたのか示すためである。

(3) 宣教のために

宣教は信仰を証しすることだと言われる。だから自分の置かれている状況でキリストを信じその教えを実践することが宣教になる。しかし宣教は信仰を証しすることだと言っても、宣教と言うからには「伝える、宣伝する」ことをないがしろにできない。そういうなかで宣教に対する不安感は度々「何を伝えたらいいのかわからない」ということから出てきているようである。時々訪ねてくる他宗教の信者の雄弁さをみると、そのように手際よく伝えることを持っていない自分には宣教など不可能だと結論してしまう。確かに信仰の知識を伝えるだけが宣教ではないが、信仰の内容をわかりやすく伝えることは信仰へ招くために大切なことである。そのためにはカトリック教会について、その信仰内容について、また信仰に基づく生活の指針について正しい理解を持たなくてはならない。それを助けるのがカテキズムである。

(4) 司祭・カテキスタとともに読む

新カテキズムの内容は誰でも簡単に読んで理解できるものではない。神学や哲学についての知識が要求される部分も少なくない。そのため信徒として新カテキズムを活用するためには、先ず司祭やカテキスタとともに読むことが勧められる。小教区や教区単位で勉強会のような形で説明を受けながら学んでいく方が個人で読むよりも正しい理解を得られるし、またグループの中で互いに励まし合いながら根気強く学び続けることができるだろう。そしてそれは司祭・カテキスタにとっても学びの機会となる。


初聖体の準備「私たちのキリスト」

(5) 要約の部分を利用する

先月ローマで新カテキズム出版10周年を記念して開かれたカテキズムについての国際大会で、新カテキズムを最終的にまとめる作業をしたションボン枢機卿は、もっと短い形のカテキズムの必要性について発言した。同時に、新カテキズムそのものがすでにカトリック教会の信仰内容をまとめたものなので、それをさらにまとめる作業の困難さについても言及している。

新カテキズムにはテーマごとに要約があるが、これらは「各地域でカテケジスを行う場合、総括的で暗記できる文章を作成するため」のものである。だからまずこの部分から読むのもひとつの方法である。日本ではこの部分を利用し問答式に構成した本もすでにいくつか出版されている。

(6) 難点

日本語版に限って難点を言えば、仏語初版、ラテン語規範版にはある索引がないことである。これは出版をこれ以上遅らせないための処置であったようであるが、ここまで遅れたのだからもう少し遅れても索引は付けて頂きたかった。別刷りの索引が後で出版されると聞いたが、是非そうして頂きたいと思う。

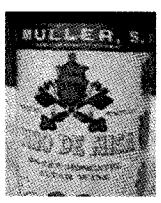
なぜならこれだけ広範囲な内容で、かつかなりのページ数なので、詳しい目次があっても知りたい内容を見つけ出すのは簡単なことではない。カトリックの信仰内容の体系的な知識が必要になる。例えば「死者のための祈り」について知りたいとき、それは「聖徒の交わり」の箇所に説明されているが、多くの人たちはまず「祈り」の箇所を探そうとするのではないだろうか。もし索引があればもっと楽に知りたい内容を見出すことができるのに残念である。

さいごに

イエス・キリストの使命は神の愛を伝えることだった。その使命は使徒たちに、そして教会に託されてきた。つまり教会の歴史は神の愛を伝えようとした人たちの歴史である。その動きの中でカテキズムが生まれたのである。今回新カテキズムが出版されたのも、現代どのように神の愛を伝えるのかという思いの中から出てきたものである。

私たち信者はそれぞれの立場で新カテキズムを活用し、私たち一人一人も神の愛を伝える者となるように努力したいものである。

むなかた祈りの森
グループ・個人の黙想、研修会等に…
カトリック福岡黙想の家
PRAYER GROVE MUNAKATA
聖堂／洋個室(洗面トイレ付)／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ (赤)(白)
ご用命 お問い合せは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑 (SOU-EN)
カトリックのご葬儀
木下株式会社
TEL092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

創立75周年感謝ミサと集いに、喜びの奉仕

“コーヒーにケーキはいかがですか”と修女連

感謝の集いには、様々なところで生き生きと奉仕する人々の姿があった。典礼やレクリエーションの内容について検討を重ねた人びと。連日会場を訪れ、途中雨にぬれながらも、会場整備・準備に取り組んだ人たち。そして当日も、自らの持ち場をはなれず忠実に役割を果たし続けた人たち。多くの人々のまごころがさし出され、結ばれ合って感謝の集いは行われた。

グランドでの開会式、その後会場を移して、こども、おとなそれぞれに用意されたプログラムに参加した。聖堂では、教区殉教者顕彰担当の深堀勝人神父による講演が行われた。講演の模様はモニターを通じて食堂でもみることができた。

こどもたちは、神学生や青年たちと一緒に楽しいふれ合いのひとときを過ごした。またホールでは劇が上演された。

9時からミサ直前まで、2階小聖堂ではゆるしの秘跡が行われた。この記念行事に際し、教区長松永司教は、規定にある条件を果たす参加者に全免償を受けられるよう配慮した。ゆるしの秘跡を受ける人の列はほとんどたえることなく続き、一時はベランダでも行われるほどだった。

昼食後、松永司教主司式、約70人の司祭の共同司式による感謝ミサが行われた。手話の同時通訳も行われた。松永司教は、この記念を通して未来へ向かう私たちの姿勢を確かなものとするよう諭し、特に信仰を強め、おそれずに伝えていこうと呼びかけた。また、熱心に準備されたことに感謝し、「未来はみなさんのもの、これからの教会は若いみなさんにかかっています」と激励した。

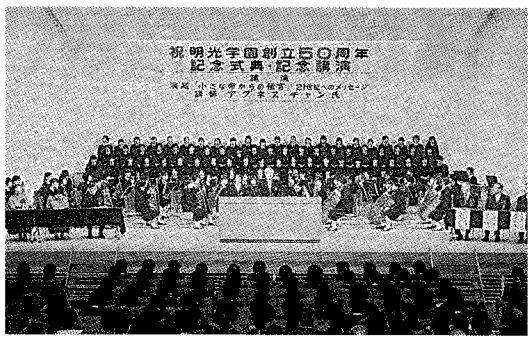
力作揃いのパネルに見入る参加者たち

ミサの結びで行われた閉会式で、テーマソング、シンボルマークの特賞、入賞者の発表が行われ、最後に会場の全員が手をつなぎ、青年代表者の力強い決意表明にこころをひとつにした。

奉納されたミサ献金は252、829円にのぼった。意向に沿って、「列福運動のため」「青少年育成のため」「召命のため」に分配され、活かされていくことになっている。

表彰される璃利ちゃんと瑠利ちゃん

喜びの明光学園…創立50周年を祝う



明光学園（経営＝カノッサ修道女会）創立50周年の感謝と喜びの記念式典が11月1日（金）、大牟田文化会館で荘厳に挙行された。式典の序としてクワイアチャイムによるアヴェ・マリアなどが演奏された。続いて合唱部が『おお、聖なる宴よ』をラテン語で力強く歌い上げた。

式典に入り、理事長のシスター山崎トミヨが挨拶に立ち、「明光学園の礎を築いてくださった多くの方々に、感謝の祈りを捧げると共に、大きな喜びと希望をもって、歓喜の歌を歌いたいと思います」と述べた。

式典の中で、教皇ヨハネ・パウロ2世からのメッセージを福岡教区長松永久次郎司教が代読し、教職員、生徒、卒業生、保護者ならびに学園関係者の上に神の祝福がおくられた。続いて福岡県知事麻生渡氏、大牟田市長栗原孝氏、福岡県私学協会会長倉田圭爾氏によって祝辞が述べられた。

明光学園は、深堀仙右衛門司教の招きに応え、イタリアから来日したカノッサ修道女会会員の尽力により、戦後まもない1952年に大牟田の地に創立された。愛と奉仕の精神で築き上げられてきた学園の歴史の中で一万余人の卒業生を数える。

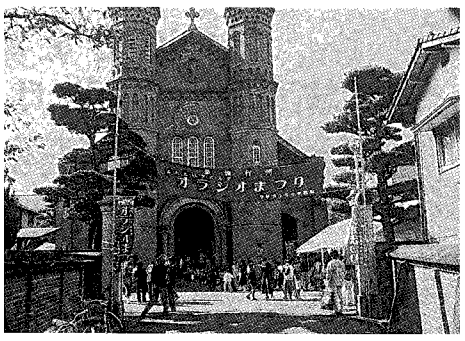
式典の結びに、中学校・高校それぞれの生徒代表が次のような喜びの言葉を述べた。

「設立に携わったマドレ・フランゲリをはじめ、学園を育んでくださり、伝統を守ってきた多くの方々に心から感謝したい」、「学園に受け継がれてきた『真実にして、叡智に富み、義務を重んぜよ』という校訓や世界平和に貢献する女性を育てようとする教育理念は、ますます私たちの足元を確かなものとし、なくてはならない支えであると強く感じる。私たちがこの学園で学ぶことに誇りを持ち、充実した毎日を生きようとすることで、伝統を守り、同時に新たな歴史を刻んでいきたい」。

最後に、オラトリオ『メサイヤ』より、感謝と賛美の大合唱「ハレルヤコーラス」が全館に響き渡り、式典は終了した。

続いて行われた記念講演では、アグネス・チャン氏が「小さな命からの伝言」（21世紀へのメッセージ）と題して講演し、これからの生き方を考えさせる素晴らしい内容で聴衆の心を魅了した。

ふれあいフェスタ・オラシオまつり　今村教会

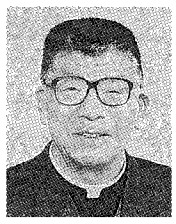


今村教会（主任＝岩永義人神父）では、10月27日に第五回ふれあいフェスタ・オラシオまつりが開催された。これは、以前行われていた聖体行列を復活させようという信徒の熱意により始まり、バザーやイベントを組み合わせて実施されている。祈りと相互のふれあいを通して、信仰の活性化と教会の維持に寄与することをめざしている。当日は、近隣教会の司祭、信徒も多数参加し、盛大に行われた。

ミサに続き、ご聖体を中央に3キロの道のりを行列した。田園を渡る爽やかな風を受け、赤レンガの聖堂を望みながら、先人たちが迫害のなかで必死に守り伝えてきた信仰と、信徒発見後、この聖堂建設にかけた先祖の情熱を感じつつ、こうして晴れやかに信仰の表明ができる幸せに感動しながら、賛美歌と祈りを響かせて進んだ。その後、聖母園中庭に設けられた仮祭壇で聖体賛美式が行われた。

続いて行われた教会広場でのバザーとイベントには地域の人々も大勢参加、近隣の小学生による庄屋太鼓の演奏、大刀洗中学校ブラスバンド部の演奏、町内のボランティアによるハワイアンダンスが披露され、祭りも大いに盛り上がった。

本気になって取組んで


山頭原太郎神父

もうすぐ受験シーズン。そこで離されるなよーと書きましたが（7月号の時の話題）、「離されてなんかいないよ、僕は勉強もスポーツも先頭を走っているよ」という人も多いのではないかと思い、申し訳ない気がしているところです。

しかし、人間は誰でも成長すること、上達することを望むものです。残念ながらあきらめてしまう人が少なくありませんが。そしてよからぬ道に入ってしまう人もいます。くやしいことです。

実は、私たちが本気になって取り組むならば勉強は出来るようになるし、スポーツも強くなりうるのです。

ここで本気になって取り組むとは、まず、そうなりたいものだと望むことです。そんなに勉強してもつまらないなどと考えないでください。しっかり勉強することで根性のある人間になります。それに加えて人間がよーく考える賢い人になれるのです。そうなることはうれしいことです。なぜなら人間は何時でも、ここで、どうしたらよいだろうかと迷う場面が多いのです。そこを賢く解決するために役立ちます。だから勉強することは大切なことです。

次に大切なことは続けることです。1ヵ月でよいから、自分を信じて本気になって勉強してください。必ず成績もよくなってきます。

人間は常に成長しているのです。身長だけでなく考える能力もです。でも、これらの能力が本当に成長するためには、その能力をしっかり使ってみることです。若い時に好きなことしかしない、きつくなればすぐやめるようでは本当に成長できません。毎日教科書を読みかえすことです。そうすれば、自分にはこんな力があったのかと驚くことでしょう。世界のふしぎ発見よりもズーッと面白いですよ。

（召命の家）

キリストの視点から見た『喜悦』について。

★いのちのしるし
H・J・M・ナウウェン 著
宮沢 邦子 訳

恐れからは何も生まれない、平和も喜びも。人は多くの恐れに支配されて生きている。神は愛の家に呼んでおられる。信頼することが出来たら人生は変わる筈だ。彼はラルシュで生活するうちに、仕えるほうがより多く与えられていることに気づく。最後の章は九月十一日以後の世界を考えて読むとピンとくる。

女子パウロ会　発行
本体　1000円

◇　◇　◇

★うれしいうれしいしらせ
蔵富 千鶴子 文
小西 英子 絵

ハルミは、ひつじかい。ハルミは、ふえをふくのが、だいすき。しずかなよる、とつぜんてんしたちの、うつくしいうたごえが、ひびきました。『うれしいうれしいしらせ』です。こんや、ベツレヘムにおとこのあかちゃんが、うまれました。かみさまが、おくってくださった、すくいぬし……。クリスマスのよろこびと伝統がていねいに描き出されています。

サンパウロ発行
本体　1000円

BOOK 読みは専科

ジャパンスマイルか 株式会社
不動産／管理・仲介・売買・建設／一般建築
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL092-761-8800
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子

吉田設計 株式会社
建築設計／企画・設計・監理
〒810-0044 福岡市中央区六本松4-9-7
TEL092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事　・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811-7265

感謝と賛美のために
祭服．聖器具．聖像
信心用品．ベール．
ロザリオ他
典礼センター ピエタ
師イエズス修道女会
〒810-0028
福岡市中央区浄水通37
Tel.Fax 092-526-9176

キリストの愛をかかげて前に進もう！

2003年教区行事予定

2003年
◎1月15日(水) 司祭新年の集い
◎1月26日(日) 児童福祉の日
◎2月4日(火) 2002年度第2回司祭評議会
◎2月11日(火) 松永司教／司教叙階25周年記念式典［カテドラル大名町教会］
◎3月4日(火) 松永司教霊名の祝い
◎4月15日(聖火曜日) 聖香油ミサ［カテドラル15時］
◎4月18日(聖金曜日) 聖地のための献金日
◎4月20日(日) 復活の主日
◎5月11日(日) 召命祈願日
◎5月25日(日) 世界広報の日
◎6月8日(聖霊降臨の主日) 合同堅信式［カテドラル14時］
◎6月29日(日) 聖ペトロ使徒座への献金日
◎6月24日(火)～26日(木) 教区全司祭研修会
◎7月16日(水) 教区創立75周年記念終日
◎9月14日(日) 世界難民移住者移動の日
◎10月13日(月)～18日(土) 教区邦人司祭黙想会
◎10月19日(日) 世界宣教の日
◎12月7日(日) 宣教地司祭育成の日

案内版

死者の月　会合と催し　12月のこよみ

福岡黙想の家　12月

◇7日(土)～8日(日) 待降節黙想会［来住神父］
◇11日(水) ミカエル会
◇14日(土)～15日(日) 待降節黙想会［ガブリエル神父］
◇21日(土)～22日(日) 待降節黙想会［鈴木神父］
※年末年始も開かれています。年内週末には黙想会を行います。時間など詳しいことはお問合せください。
♥クリスマスミサの時間
◇12月24日(火) 19時 子どもと一緒に祝うミサ
0時 イブのミサ
◇12月25日(水) 11時 ご降誕ミサ
［問合先］黙想の家 ☎0940・32・3222 FAX32・3385

生命山カトリック別院

※祈りの集い
・12月12日(木) 10時～15時
テーマ：キリストに出会った人々
指導：Sr.マリアと S.フランコ神父
［問合先］
・生命山カトリック別院
☎0968-85-3100
FAX 0968-85-3186

第55回 福岡市民クリスマス

日時：2002年12月9日(月) 18：30～
場所：福岡市民会館大ホール（手話通訳有り）
♥クリスマスメッセージ：川上惣一神父
♥賛美の歌：国分友里恵／岩本正樹
♥入場料：無料
♥主催：福岡キリスト教連合会／実行委員会

12月のこよみ

1日(日) 待降節第1主日
宣教地司祭育成の日（献金）
天草地区合同堅信式
†アシジF．伊東誠二［馬渡島1997］
3日(火) 聖フランシスコ・ザビエル
8日(日) 待降節第2主日
八代教会殉教祭
9日(月) 無原罪の聖マリア
12日(木) †M・コーフィールド［手取2001］
17日(火) †M・コニリー［島崎1990］
18日(水) †J・マグラ［荒尾1976］
19日(木) †パウロ青木功［行橋1973］
20日(金) †M・ソーレ［久留米1917］
23日(月) †A・ベニエ［飯塚1983］
24日(火) 降誕祭夜ミサ［カテドラル20時30分］
25日(水) 主の降誕
29日(日) 聖家族
2003年1月
1日(水) 神の母聖マリア［守るべき祝日］
世界平和の日ミサ［カテドラル10時］
†C．バスチ［黒崎2002］
2日(木) †J．ドノフ［菊池1985］
†ヨゼフ牧山藤房［直方1993］
4日(土) †E．モーゼ［八王寺本部1998］
ゴチックは司教日程

マグリン神父によるゆるしの秘跡

日程：毎月第1と第3土曜日
場所：大名町カトリック教会小聖堂

◆福岡

■福岡祈りの集い
［日時］毎週月曜11時～12時30分［場所］カトリック大名町教会［内容］聖霊による祈り［問合先］☎092・522・5139ブラザー床嶋

■召命祈願ミサ
［日時］12月12日(木) 19時15分［場所］サン・スルピス大神学院［主式］中村満神父（長崎教区カトリックセンター司祭）

■スピリチュアル研修会
［日時］12月16日(月)～18日(水) 9時30分～16時30分［場所］サンパウロ福岡センター3階［内容］スピリチュアルケア［講師］W・キッペス神父（臨床パストラルケア研修センター所長）研修費15000円教材費2450円［問合せ先］臨床パストラルケア教育研修センター☎092・31・4836谷村

■在世フランシスコ会集会
［日時］12月22日(日) 14時～16時［場所］高宮フランシスコ会修道院在世会集会所［内容］アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習［指導］小池如安神父［問合先］☎092・843・5831岩崎

■召命を共に祈る会
［日時］12月19日(木) 14時30分［場所］召命の家［指導］浦川務神父（召命担当）

■第22回福岡ホスピスの会
［日時］1月12日(日) 14時～16時［場所］カトリック大名町教会4階［テーマ］遺族へのアプローチII［講師］藤泰澄師（専立寺住職）［問合せ］☎092・737・3701小林

■美野島司牧センターから
美野島衣類バンクでは、毛布・冬物男性用衣類・靴下・洗面道具・靴・米など寄付を待っています。また、火曜・金曜日11時から衣類、奉仕者を募っています。［問合先］☎コース神父 ☎092・431・1419

■第88回福岡結婚準備講座
［日時］1月15日(水)から2月8日(土) 毎水曜日と土曜日全8回19時～21時30分［場所］大名町カトリック教会［問合せ先］☎092・541・5022 FAX092・552・5022カトリック・ファミリーセンター

◆北九州

■小倉祈りの集い
［日時］12月20日(金) 13時30分～15時［場所］小倉教会信徒会館2階［内容］「みことば」をあじわう賛美と感謝の祈り［指導］B・ガブリエル神父（御受難会）［問合先］093・452・1556安藤

◆佐賀

■佐賀祈りの集い
［日時］12月12日(木) 10時～11時30分［場所］佐賀カトリック会館［内容］祈り［日時］12月21日(土) 10時～12時はミサと祈り［問合先］☎0952・72・7536吉田：毎月第2木と第4土曜日。どうぞご参加下さい。

■聖書を読む会
［日時］毎月第1木曜日、午前の部10時～11時半／午後の部19時半～21時［場所］佐賀カトリック会館［内容］「詩編」を読む［講師］A・アレグリーニ神父［テキスト］聖書［参加費］無料［問合先］☎0952・23・4754阿南

◆熊本

■第70回熊本結婚準備講座
［日時］1月20日(月)から2月17日(月) 毎月曜日と火曜日全8回19時～21時30分［場所］手取カトリック教会［問合せ先］☎096・352・3030 FAX096・352・3015手取教会 安部

召命をはぐくむ共同体を目指して

日時：1月22日(水) 13時
23日(木) 昼食
場所：福岡黙想の家
指導：来住英俊神父
対象：一般信徒
費用：7,500円
問合：☎092-741-3687浦川

講演会のご案内

テーマ：キリストの夢と出会う教会と社会
日時：2003年1月19日(日) 14時～16時
場所：カトリック大名町教会
講師：松浦悟郎司教（大阪教区補佐司教／日本カトリック正義と平和協議会会長）
主催：福岡地区正義と平和協議会

キリスト教一致祈祷集会

テーマ：わたしたちは、このような宝を土の器に納めています。（コリントII 4－7）
日時：2003年1月19日(日) 19時～20時
場所：カトリック大名町教会聖堂
説教：浜生正直司祭［聖公会福岡教会］
主催：キリスト教超教派の準備委員会

日曜日も開店

サンパウロ福岡センターの休業日が木曜日になり日曜日が営業日となりました。［問合先］☎092・721・2032

編集後記

2002年も終わりに近づきました。今年も教区報編集にたくさんの方にご協力いただき、本当に有り難うございます。人間と神が出会った記念、クリスマス。この大きな喜びの灯りが皆様の心を明るく照らし出しますように！

2002年 降誕前夜祭と大晦日のミサ時間

教会	降誕深夜	大晦日	教会	降誕深夜	大晦日	教会	降誕深夜	大晦日
福岡地区			本郷	18:30		鹿島	19:30	
糸島	20:00			21:00		唐津	20:00	18:00
今村	20:00		吉塚	19:30	19:30	佐賀	17:30	0:00
大楠	20:00		南粕屋	19:30		多久	20:00	
大牟田	20:00		北九州地区			武雄	20:00	
小郡	19:30		飯塚	19:30		鳥栖	19:00	19:00
久留米	19:00	0:00	黒崎	19:00	0:00	馬渡島	19:00	6:00
	22:00			22:00		呼子	20:00	
古賀	19:00	23:00	小倉	18:00	0:00	熊本地区		
	23:00	0:00		20:30		荒尾	19:00	
笹丘	18:00			23:00		大江	19:30	23:30
	20:30		新田原	20:00	0:00	帯山	19:00	10:00
浄水通	20:00		田川	18:00		菊池	20:00	
大名町	18:00	23:30	天神町	20:00		健軍	19:30	0:00
	20:30		戸畑	20:00		崎津	21:00	
	23:00		直方	19:00		島崎	19:00	0:00
英語25日	16:00		水巻	19:00	0:00	玉名	19:00	
高宮	20:00	23:45		22:00		手取	18:00	0:00
茶山	20:30	0:00	門司	19:30	0:00		22:00	
西新	19:00		湯川	19:30	0:00	人吉	20:00	
箱崎	19:00	19:00	行橋	19:30		本渡	20:00	0:05
光丘	20:00	0:00	豊津		0:00	水俣	20:00	0:00
二日市	19:30	0:00	若松	19:00		武蔵ケ丘	19:30	
老司	19:30	0:15	佐賀地区			八代	19:00	0:00
美野島	19:30		伊万里	20:00				

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具　コスモス
〒830-1224 三井郡大刀洗町鵜木67－3
TEL 0942－77－3199
代表者 ペトロ 平田 清

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険
〒814-0153
福岡市城南区樋井川3丁目17－10
大石保険事務所 大石真澄
☎092-552-8195 Ⓕ092-541-7734

FUJIKI
未来へ――安心を創る
藤木工務店
福岡支店 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585（代表）
取締役社長 藤木鐵三　福岡支店長 城戸隆秀